

2020年 4月 1日 制定
2024年 4月 1日 第2次改正
(所管)配電部

目次

I. 一般事項

1. 一般事項	(1) 目的……………1
	(2) 適用範囲……………1
	(3) 用語の定義……………1
	(4) 本マニュアルの位置付けと 関連マニュアル……………1

II. 業務の基礎知識

1. 計測器業務の概要	(1) 業務処理の種類……………2
2. 計測器業務の流れ	(1) 計測器業務……………3
	(2) 計測器業務と関連システム……………5
	(3) 計測器の流通体系……………6

III. 工事業務

1. 設備工事	(1) 設備工事の種類……………7
	(2) 設備工事の受付……………8
	(3) 計測器工事設計と設計起案……………9
	(4) 実施承認……………9
	(5) 工事発注と倉出……………9
	(6) 倉入と工事検収……………12
	(7) 定数管理……………23
	(8) 移管……………24
	(9) 受払管理……………25
	(10) 受払委託費管理……………25

2. 検満工事	(1) 検満工事とは……………2 7
	(2) 計画……………2 7
	(3) 計測器工事設計と設計起案 ……3 0
	(4) 実施承認……………3 1
	(5) 工事発注……………3 1
	(6) 検満作業情報管理（工程管理） ……3 6
	(7) 工事検収（低圧検満）……………3 7
	(8) 工事検収（高圧検満）……………4 5
	(9) 検満計測器工事票の受け渡し ……5 2
	(10) 計測器検満アラームリスト ……7 3

3. 補修工事	(1) 補修工事の種類……………7 6
	(2) 計測器工事設計と工事発注 ……7 6
	(3) 実施承認……………7 7
	(4) 工事検収……………7 7
	(5) 計測器箱・板数の管理……………7 9

IV. 工事関連業務

1. 購買・請負	(1) 購買・請負について……………8 1
	(2) 購買・請負手続き……………8 1
	(3) 新契約・簡易発注システム入力時 の留意事項……………8 1
2. 電力量計請求予告月報	(1) 電力量計請求予告月報について ……8 3
	(2) 実施方法……………8 3
3. 特別検定計器予告月報	(1) 特別検定計器予告月報について ……8 5
	(2) 実施方法……………8 5

V. 予算管理

1. 予算体系	(1) 予算の種類……………8 6
	(2) 建仮（特定）工事の予算……………8 6
	(3) 修繕工事の予算……………8 7
	(4) 一般損益予算……………8 7
2. 予算計画	(1) 予算計画……………8 8
3. 予算管理	(1) 予算管理……………8 9
	(2) 未竣工工事管理……………9 0

VI. 設備管理

1. 計測器設備情報のメンテナンス	(1) 目的……………9 3
	(2) 処理内容……………9 3
2. 計測器設備ダウンロード	(1) 目的……………9 4
	(2) 出力方法……………9 4
3. 年度末設備ダウンロード	(1) 目的……………9 4
	(2) 出力方法……………9 4

VII. 計測器関連業務

1. 計測器事故処理業務	(1) 高低圧事故計測器調査原票……………9 5
	(2) スマートメーター（SM）不具合 調査票……………9 6
	(3) 事故の報告……………9 6
	(4) 使用電力量の協定……………9 8
	(5) 計測器損害賠償請求……………9 9
2. パルス提供	(1) パルス提供と種類……………1 0 2
	(2) パルス提供の承認処理……………1 0 3

3. 計測器ネジキャップの取扱い	(1) 計測器ネジキャップの目的 ……………1 0 6
	(2) 適用範囲 ……………1 0 6
	(3) 取付箇所 ……………1 0 6
	(4) 計測器ネジキャップ色 ……………1 0 6
4. T S 設定ブロックの取扱い	(1) T S 設定ブロックの使用目的 …… 1 0 7
	(2) T S 設定ブロックの種類 …………… 1 0 7
	(3) T S 設定ブロックの払出 …………… 1 0 7
5. 変成器 2 次配線の取扱い	(1) 2 次配線の太さの選定について ……1 0 8
	(2) 2 次配線の施工 ……………1 0 8
	(3) 既設の取扱い ……………1 0 8
6. 未使用計測器（残材品等）の取扱い	(1) 取扱区分 ……………1 0 9
	(2) 損傷の確認 ……………1 0 9
	(3) 取扱方法 ……………1 1 0
	(4) 損害賠償処理 ……………1 1 3
	(5) 倉入・移管について ……………1 1 3
	(6) 破損受渡書の保管 ……………1 1 3

VIII. 計測器業務の委託

1. 業務の委託内容	(1) 計測器受払い業務 ……………1 1 4
	(2) 低圧検満業務 ……………1 1 4
2. 委託の予算 ……………	1 1 5
3. 委託の実施計画 ……………	1 1 5
4. 委託業務の付託および受託 ……………	1 1 5
5. 委託業務の実施	(1) 計測器受払い業務 ……………1 1 5
	(2) 低圧検満業務 ……………1 1 6

参考資料

1. 計測器略号一覧 ……………	1 2 5
2. インพุット原票一覧 ……………	1 2 7
3. アウトプット帳票一覧 ……………	1 2 9
4. 計量法 ……………	1 6 3

5. 荷札	172
6. 修繕工事関係用紙一覧	173
7. 計測器業務の年間予定	176
8. 計測器事故処理関係資料	177
9. パルス提供関係資料	183
10. 電力取引用計量器の取替完了のお知らせ	186
11. ほくでんネットワークから電気メーターの取替のお知らせ	187
12. 停電作業による電気メーター取替時のお願い	189
13. ほくでんネットワークから電気メーターの取替完了のお知らせ	190
14. 検満計測器工事票 受渡票	191
15. 計測器返納連絡書	199
16. 未使用計測器（残材品等）関係書類	200
17. 低圧検満業務委託計画表	204
18. 誤差試験	205
19. 変成器付計測器工事自主検査票兼現地検査処理票	206

I. 一般事項

1. 一般事項

(1) 目的

本マニュアルは、お客さまとの電気料金取引に使用する計測器について、適正な計量の維持を確保すべく、計量法および関係する政令・省令ならびに当社の各種約款※を遵守した、計測器業務の基本的業務・事項に関わる取り扱いおよび内容について定めた「N-1-6 計測器業務マニュアル」に関して、取り扱いの具体的な内容について定め、円滑な管理運営を図ることを目的とする。

※各種約款とは、電気供給約款（特定一般小売供給約款）、電気標準約款〔低圧〕、電気標準約款〔高圧〕、離島供給約款〔低圧〕、離島供給約款〔高圧〕、電気最終保障供給約款、託送供給等約款をいう。

(2) 適用範囲

本マニュアルは、特別高圧を除く高低圧計測器業務に関わる工事業務、予算管理、設備管理等の各業務処理について定める。

(3) 用語の定義

本マニュアルで使用する用語は、次のとおりとする（計測器の略号は参考資料-1 参照）。

- a. 計測器……………計量器、変成器、契約安全ブレーカおよびタイムスイッチ等の総称
- b. 計量器……………電力量計（単独計器または変成器付計器および電子式計器または機械式計器、スマートメーター）、最大需要電力計、無効電力量計等
- c. 変成器……………計量器に付属して使用する計器用変圧変流器および変流器
- d. 計測器箱……………計器箱、変流器箱、計器用保護カバーの総称
- e. 契約用安全ブレーカ(SB)…電流制限器
- f. タイムスイッチ(TS)……通電制御スイッチ
- g. 試験用開閉器……………高圧変成器2次配線で変成器と計量器との間に設ける開閉器
- h. その他付属品……………電磁接触器(MC)、高圧開閉器、補助継電器、通信端末等

(4) 本マニュアルの位置付けと関連マニュアル

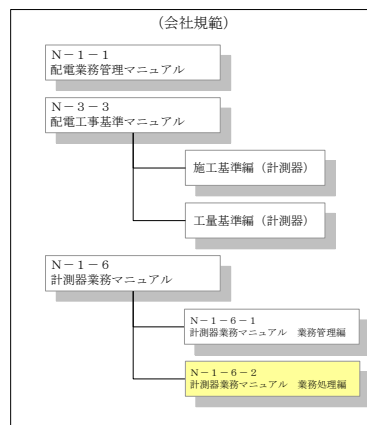


図 I-1-1

Ⅱ. 業務の基礎知識

1. 計測器業務の概要

(1) 業務処理の種類

計測器業務には工事業務、予算管理、設備管理、関連業務等があり、代表的な業務の種類を図Ⅱ-1-1に示す。

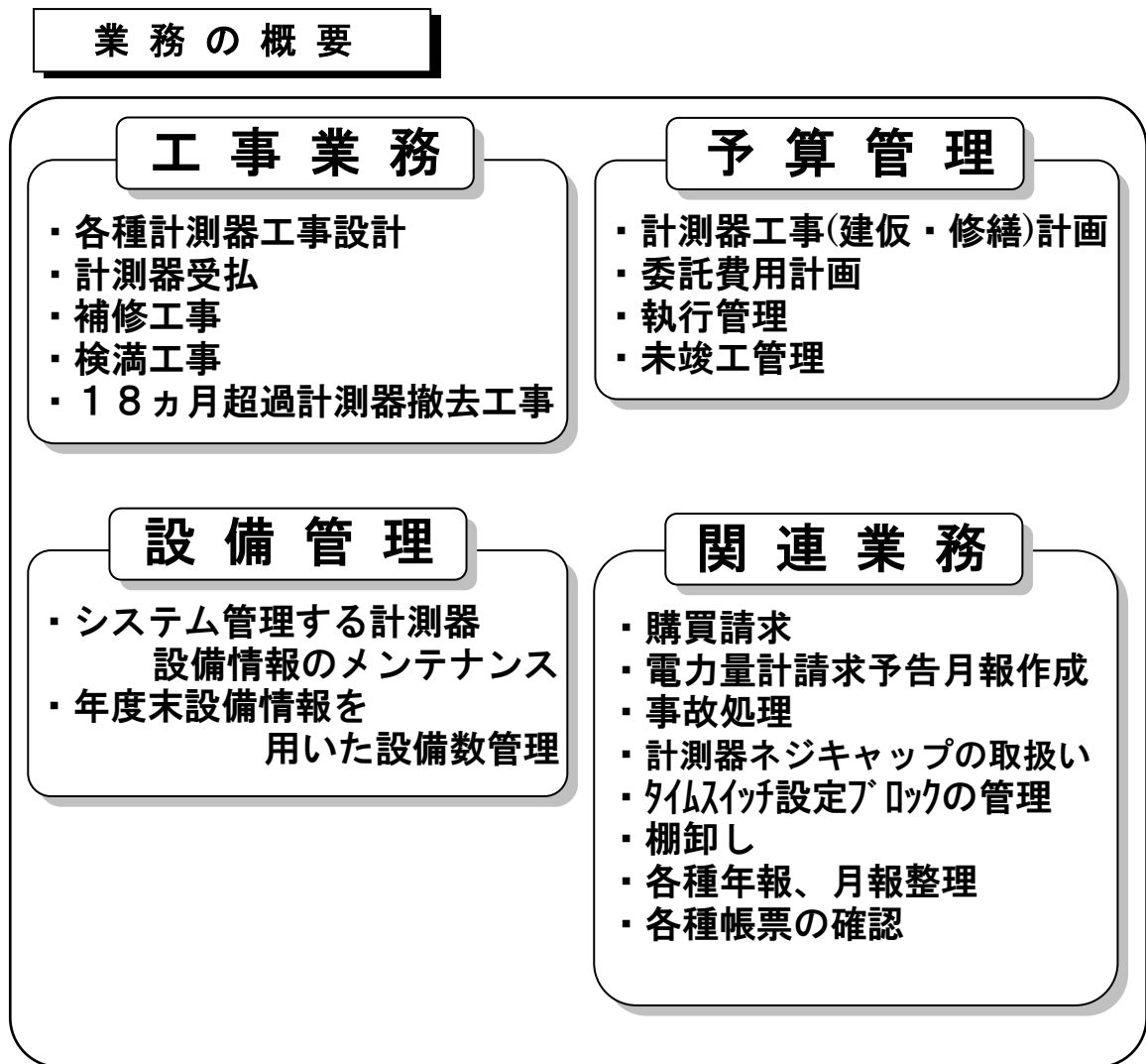


図 Ⅱ-1-1

2. 計測器業務の流れ

(1) 計測器業務

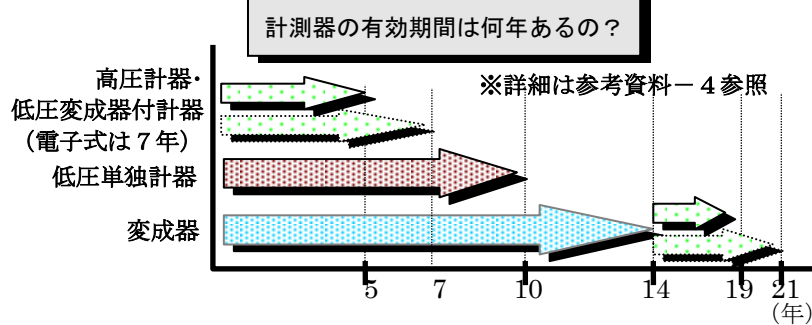
新設・容変工事

住宅・ビル・工場等の建設、増改築の供給工事に伴う計測器の新設・容変工事を行う。

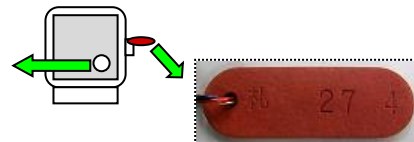
検満工事

検定有効期間満了取替工事（略して「検満工事」という。）は、計量法に基づく有効期間満了前に計測器を取替するものであり、有効期限が近づくにつれて計測器管理システムにより自動的に対象のお客さまが抽出されるため、配電担当箇所は、この情報をもとに半期に1回（7月、1月）検満工事計画を実施する。

検満工事計画後、検満工事計画時に指定した工事予定月をもとに検満工事設計を実施し、発注の手続きを行う。また、取外した計測器の一部は修理され再利用によりコスト低減を図る。

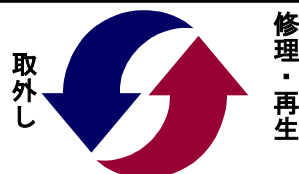


有効期限は、「単独計器」は計器ガラス面の丸い『シール(検定ラベル)』および『計器封印』に、「変成器付計器」はカバーねじに付けられた『ファイバー票(検定票)』に表示されている。



取外計測器の一部は再生される

各事業所（統括支店・支店・ネットワークセンター）
および各工事組合等の倉庫



本店倉庫
(北海電気工事(株)計測器部)

計測器事故取替・補修工事

計測器の事故も配電線と同様に各種の原因があり、計測器取替工事等を迅速に進めるとともに、原因特定や再発防止対策を的確に行うことが必要である。

予算・設備管理

計測器工事の予算は、建設仮勘定、修繕費、諸費、委託費等があり、年度当初に配分される。担当箇所は各々の工事および業務の進捗状況を管理し、予算の適正な運用を図る。

設備は、全道で約379万個（2024年3月末現在）と膨大であるが、お客さまとの契約に重要な役目を持っており、適正かつ効率的に管理する必要がある。

また、各種月報類は各々の工事システムデータの蓄積であるため、その運用も正確に行うことが必要である。

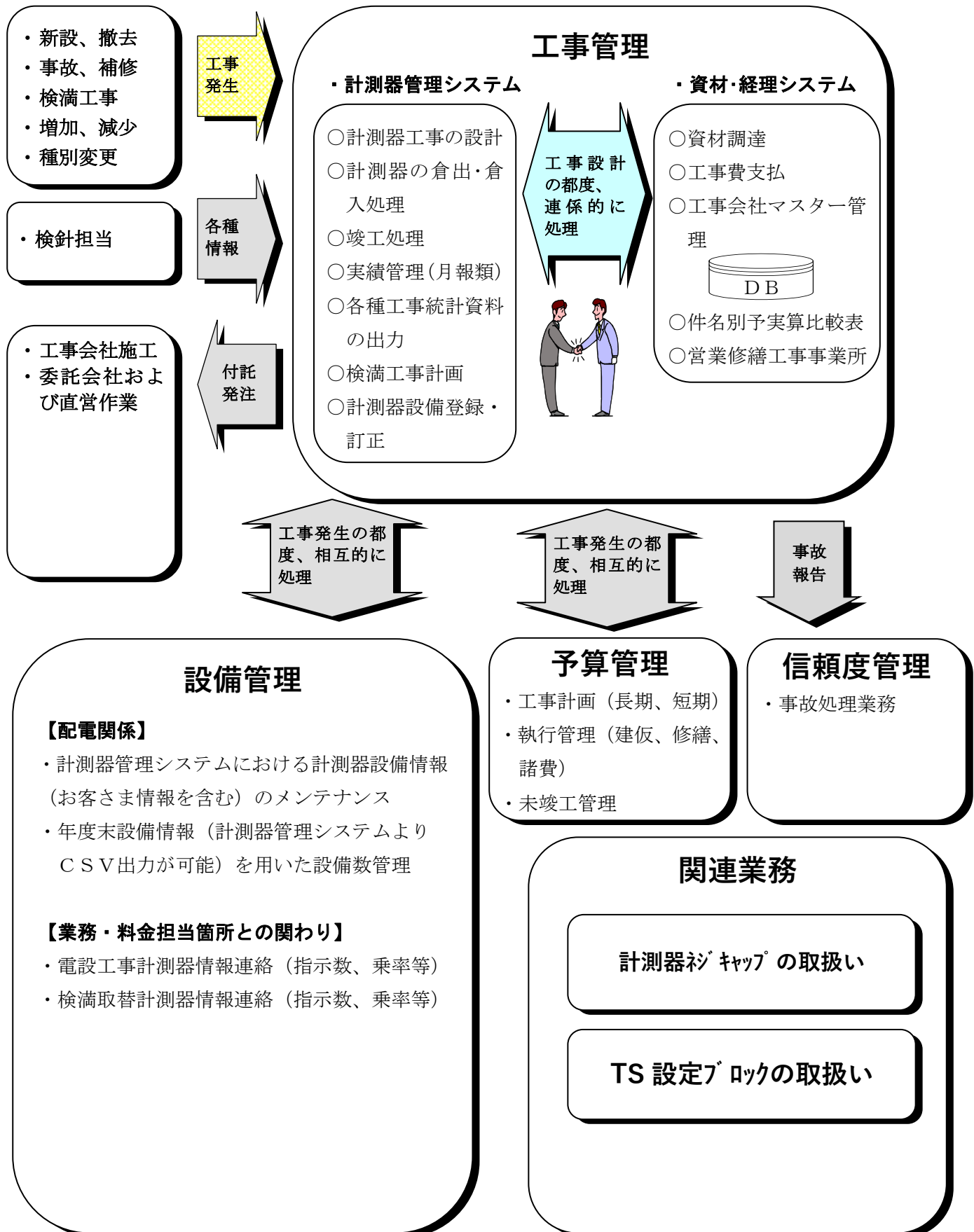
関連業務

その他、多種多様な業務があるが、以下にその一部を記載する。

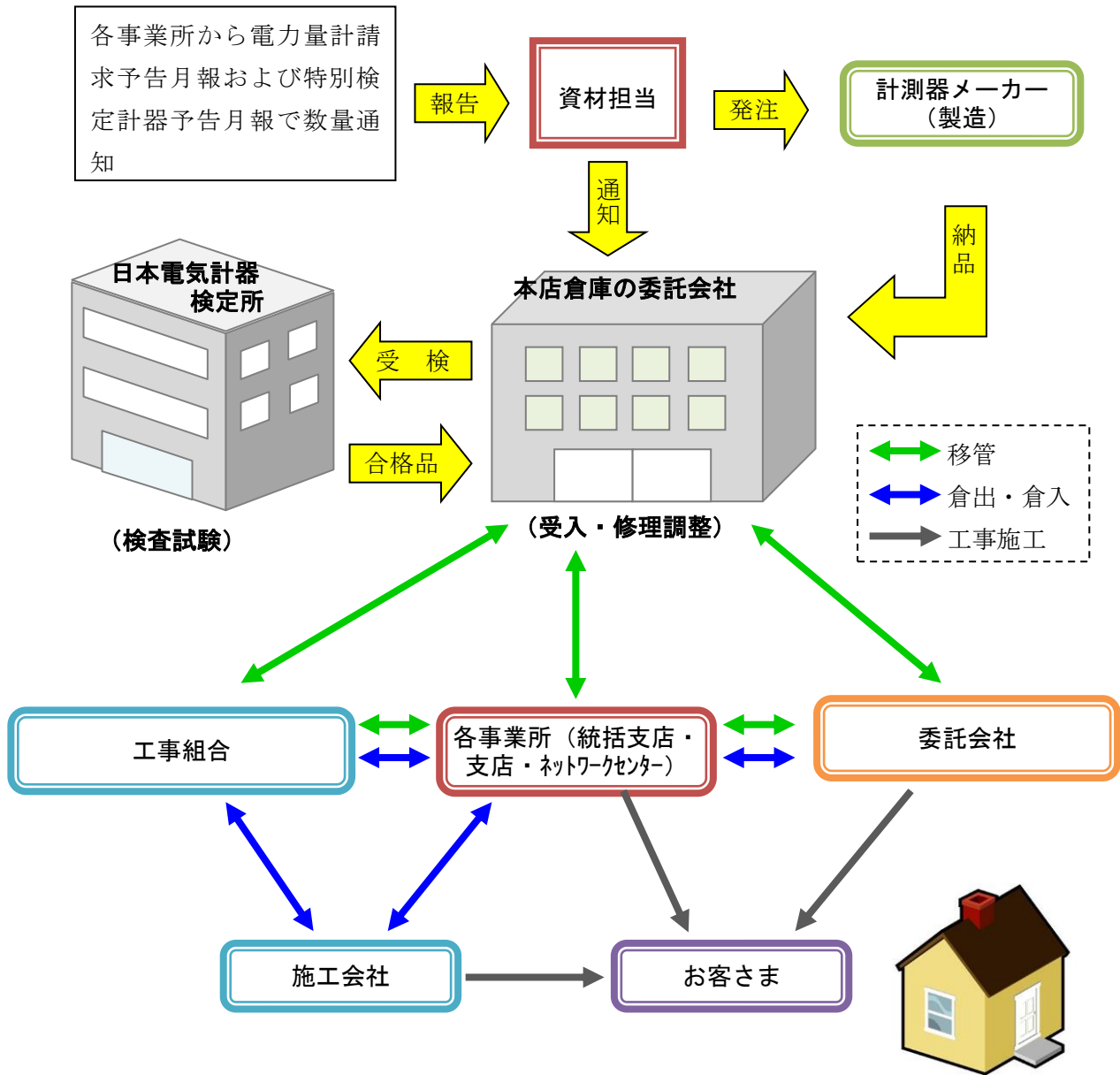
- ・ 購買請求
- ・ 電力量計請求予告月報および特別検定計器予告月報の作成、報告
- ・ 計測器ネジキャップの取扱い
- ・ T S設定ブロックの取扱い

この他、計測器の受払、移管および残数管理等がある。

(2) 計測器業務と関連システム



(3) 計測器の流通体系



【参考】

1. 移管とは

本店倉庫から各計測器倉庫への計測器の補充や引き上げ等、各計測器倉庫間で計測器を配送することをいう。

2. 倉出・倉入とは

計測器を工事目的のために倉庫から工事会社や作業員へ払出することをいう。

Ⅲ. 工事業務

1. 設備工事

(1) 設備工事の種類

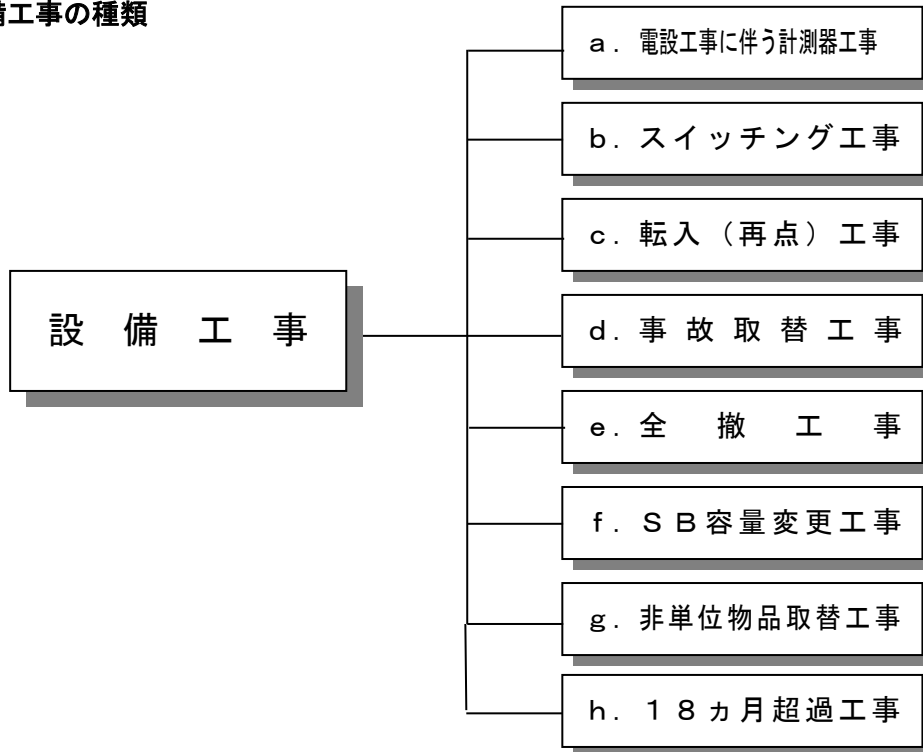


図 Ⅲ-1-1

a. 電設工事に伴う計測器工事

電気工作物の新設、増設、変更等の電設工事に伴う計測器工事

b. スイッチング工事

他の小売事業者への契約切替による従来計器からスマートメーターへの取替工事

c. 転入(再点)工事

転出中の家屋に入居することに伴い、電気を使用し、新たに電気の需要を開始する場合に伴う計測器工事。18ヵ月超過工事等により計測器が撤去された箇所に対して、契約の復活が発生した場合の計測器の取付工事も含む。

d. 事故取替工事

計測器事故に伴う単位物品(計量器)の取替工事

e. 全撤工事

住宅の取壊し等に伴う計測器の撤去工事

f. SB容量変更工事

契約容量の増加または減少に伴うSB容量変更工事

g. 非単位物品取替工事

非単位物品(SB(容量変更以外の取替)、TS、MC、その他付属品)の取替工事

h. 18ヵ月超過工事

原則として全廃後18ヵ月を超過した単独計器（電子式計器、大容量計器を除く）の撤去工事。

18ヵ月超過工事の実施方法については、別に定める「契約廃止後長期未使用計器の撤去の手引き」によるものとする。

(2) 設備工事の受付

設備工事の受付は、ネットワーク情報管理システムによる受付情報を選択して工事設計を実施する。

a. 概要

受付担当箇所にて異動受付登録した受付情報が、ネットワーク情報システムから計測器管理システムに連係される。

なお、計測器工事が発生しない契約異動の受付情報も連係されるため、その場合は、自動削除（設計未着手で異動年月日から6ヶ月超過した受付情報はシステム月次処理により削除）される。

受付情報のシステムの連係タイミングは、電気使用申込書や接続供給契約申込書が配電（図面照査担当箇所）に回付された時点で、受付情報が連係されている。

b. 修正

ネットワーク情報システムから連係される受付情報に対して、次の理由により修正が必要となる場合は、図面照査担当または計測器担当等にて実施する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- ① 即日倉出の受付に対して、契約情報およびお客さま情報の一部等、主に自動選定に必要な情報を補完する場合。
- ② 「受付お客さま一覧」画面の確認欄に既設確認フラグ「*」があり、連係情報の内容を確認する場合。
- ③ 高圧契約の受付に対して、主任技術者情報を入力する場合。
- ④ 受付情報の連係後に、申込内容に変更・取り消しが発生した場合。

なお、集合住宅の受付で、受付情報の連係後に部屋番号の変更があった場合は、部屋番号等の修正は行わないこと（変更後の部屋番号等は、初回料金発行後に電設異動受付システムから連係され、自動的に計測器管理システムのお客さま情報を更新する）。

(3) 計測器工事設計と設計起案

受付された設備工事に対して図面照査を実施した後、計測器の自動選定に必要な受付情報の確認を行い（自動選定しない場合は、計測器の選定を行う）、「計測器管理システム」により計測器工事設計を行い「設計起案」する。

計測器工事設計にあたり、設計共通項目情報の登録において受付情報を選択した後、計測器工事設計を作成する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

計測器工事設計に際しては、次の点に注意する。

- a. 工事発生の理由が適正か（設備工事としての受付がされているか）。
- b. 契約に適した計測器が設計されているか。
- c. 取替工事の場合、取付・取外の計測器の内容および数量が一致しているか。
- d. 事故取替工事の場合、取付・取外の計測器の種別、相線電圧、容量および数量が一致しているか。
- e. 設計された計測器の組合せおよび単位物品数が適正か。
- f. 負担金対象の有無（負担金対象がある場合は、請求漏れが無いよう担当に指示する）。
- g. 全撤工事の場合、工事目的コードが「全撤工事」であること。
- h. 高圧精密級（容量100A以上）で一般検定品の対象となる場合があること。

(4) 実施承認

上長は、設計起案された計測器工事設計について、上記の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「実施承認」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(5) 工事発注と倉出

a. 工事発注

工事発注とは、設備工事を当社認定施工会社（以下、「施工会社」という。）に発注することをいう。

実施承認後、「計測器管理システム」から「計測器工事票」（参考資料－3.3－1（4）参照）を出力し、必要書類を添付のうえ、施工会社へ発注する。

なお、工事発注は、「N－1－1 配電業務管理マニュアル 引込線・計測器施工会社認定編」により、工事施工範囲と発注先の施工会社区分を確認したうえで行う。

表 III-1-2 施工会社区分

施工会社 区分	低圧施工会社			高圧施工会社	
	I	II	III	I	II
施工範囲	低圧引込線工事 低圧計測器工事	低圧引込線工事 低圧メッセンジャ 付引込線工事 低圧計測器工事	低圧計測器工事	低圧引込線工事 低圧計測器工事 高圧計測器工事	低圧引込線工事 低圧メッセンジャ 付引込線工事 低圧計測器工事 高圧計測器工事

b. 倉出

倉出とは、新設工事等に伴い計測器の取付けを施工会社へ発注するため、当社計測器倉庫より計測器を払出すことをいう。

なお、倉出は原則として、しゅん工調査申込予定日の数日前以内とする。

(a) 計測器倉出

- ① 計測器倉出箇所は、「計測器工事票」を確認後、払出計測器の「計測器管理シール（QRコード付）」を電気使用申込書や接続供給契約申込書等に貼付け（払出計測器情報の異動票への転記は不要）し、計測器管理シールの「QRコード」の読み取りにより当該計測器設備情報を計測器管理システムへ登録後、「倉出計測器設備票」（参考資料-3. 3-1（14）参照）を出力し申込書類に添付する。

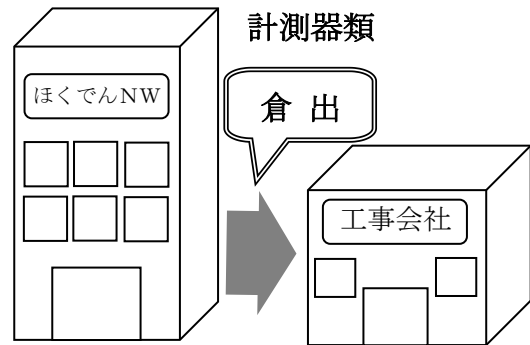
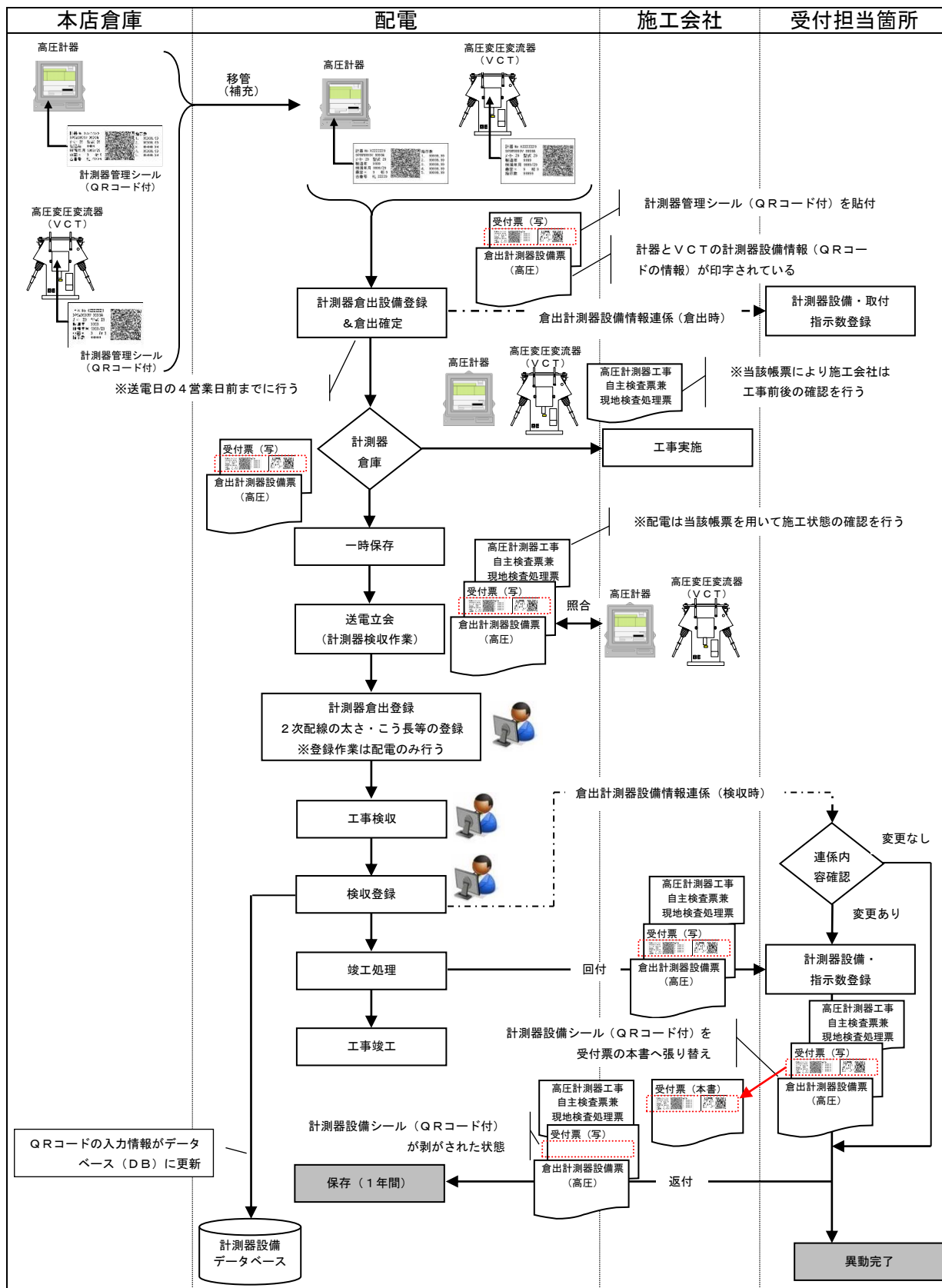


図 III-1-2

なお、「倉出計測器設備票」には個人情報に記載されていることから、紛失等が無いよう、取扱いには十分留意する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- ② 高圧計器、変成器（VCT）を倉出する際は、「計測器管理シール（QRコード付）」を「受付票」の写し等に貼付けし、QRコードの読み取り（計測器倉出設備登録）により当該計測器設備情報を計測器管理システムへ登録後、「倉出計測器設備票（高圧）」（参考資料-3. 3-1（15）参照）を出力し、計測器工事の検収作業（以下、「計測器検収作業」という。）時まで配電担当箇所にて一時保存する。計測器検収作業後、受付担当箇所に回付し、返付された後、配電担当箇所にて1年間保存する。
- ③ 変成器付計測器（低圧CT付計測器、高圧計測器）を倉出する際は、「変成器付計測器工事自主検査票兼現地調査処理票」（自主検査および工事検収に使用する。参考資料-17参照。）を渡し、施工会社の自主検査工事前後の確認を実施させる。施工会社が使用した当該帳票は、計測器検収作業時に使用し、計測器検収作業後は、「倉出計測器設備票」とともに配電担当箇所にて1年間保存する。

図 Ⅲ-1-3 倉出計測器設備票（高圧）のフロー

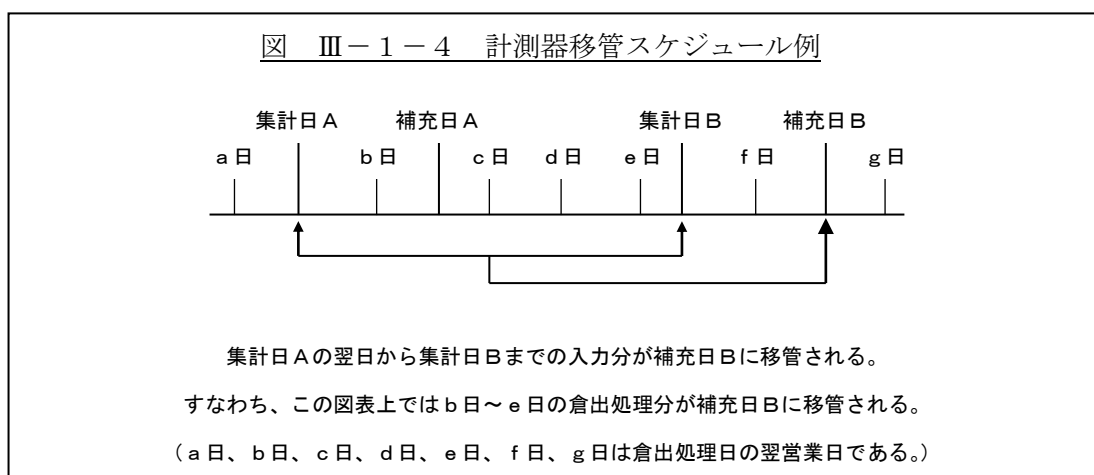


(b) 倉出確定

計測器倉出箇所は前述 (a) の倉出処理を終えた後、計測器管理システムにて「倉出確定」処理（倉出年月日の登録）を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(c) 計測器の移管（定数の補充）

計測器の倉出後、定数より減少した数量を、倉出月日の入力により品目別に定数との差を補充する。前述 (b) の作業を終了すると、次回の補充日に倉出した計測器と同種類、同容量のものが補充される。到着後、種類・容量・数量を確認し計測器倉庫に受入れする。



(6) 倉入と工事検収

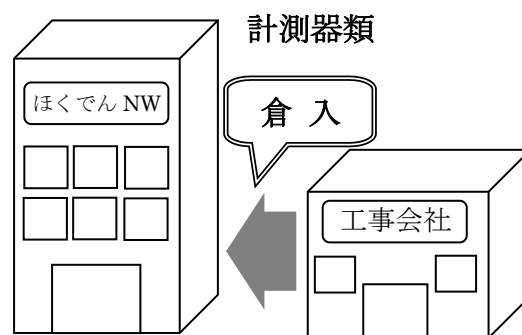
a. 倉入

倉入とは、撤去工事および取替工事に伴い撤去した計測器を各計測器倉庫が受け取ることをいう。

なお、倉入を伴わない工事の場合、計測器管理システムにおける倉入処理は不要である。

(a) 計測器倉入

施工会社は、現場より撤去した計測器を倉入する。その際、「計測器返納票(C票、D票)」を取付ける。



(b) 倉入確定

イ. 計測器の検収作業を行った後、計測器管理システムにて「倉入確定」処理（倉入年月日の登録）を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

ロ. 良品、廃品の区別は倉入された計測器を確認し、「R J-2-1 貯蔵品管理マニュアル 別表-2 不用品判定基準」により判断する。

(c) 計測器の移管（引き上げ）

- ① 計測器の移管（引き上げ）は、計測器作業スケジュールリスト（資材担当箇所作成）に基づき行う。「移管指示票」（移管指示票とは、移管する内容が記載されたもので、倉入票の入力処理後集計され、帳票出力日以降に端末機から出力可能）と照合した計測器は良品、要修理品に区別し、本店倉庫を通して移管（引き上げ）する。
- ② 良品と判断された計測器は、一定の試験が行われ、使用可能なものは再度使用し、廃品は処分される。

b. 工事検収

工事検収とは、工事完了後の検収作業を終え、計測器管理システムに検収内容を入力することをいう。

(a) 検収

計測器検収作業は、低圧の場合しゅん工調査時に、高圧は送電時にあわせて行うことを基本とする。種変工事等で、しゅん工調査または高圧送電が発生しない場合は単独で計測器検収作業を行う。

なお、事故取替工事、全撤工事、復活計器取付工事および異動に伴う取替工事の計測器検収作業は、施工会社の自主検査による書類検収とする。

計測器検収作業には「倉出計測器設備票」および施工会社から返却された「変成器付計測器工事自主検査票兼現地検査処理票」（低圧CT付計測器工事および高圧計測器工事の場合）を用い、これら帳票の記載情報と現地施設計測器の情報・施工状態を照合して一致していることを確認する。

次の①～④の情報について該当がある場合は、「倉出計測器設備票」の確認箇所に記入する。

- ① 計器容量、番号、表示確認、計測器の取付位置、取付状態および接続の確認ならびに計測器箱・板の取付け状態等を確認する。
なお、取付位置については、施設計測器のすべて（SBを除く）に対してシステム入力が必要なため、検収時に確認した結果を「倉出計測器設備票」の該当箇所に記載し、当該設備情報を工事検収前までに倉出設備登録にてシステム入力する。
- ② 変成器と組合せて使用する計量器の検収については、合番号・乗率・容量の組合せが一致していることを確認するとともに、2次配線太さ・こう長等も確認する。
なお、2次配線太さ・こう長・2次配線の資産区分は、「倉出計測器設備票」の該当箇所に確認結果を記載し、当該設備情報を工事検収前までに倉出設備登録にてシステム入力する。
- ③ 高圧通信端末の検収については、通信端末の電源取得先、収納箇所等も確認する。
- ④ スマートメーターは双方向計量のため、逆潮流がある場合においても動作確認は順方向のみとする。

また、次の①～⑦については、適正計量の実施および適正な契約の履行を目的に、重点的に確認する（適正に実施されない場合は、「電気事業法 第18条 第2項、第20条 第2項、第21条 第2項」、「計量法 第10条 第1項」および「計量法 第16条 第2項」に抵触する）。

- ① 契約に適した計測器が施設されていること。
- ② 計測器の組合せが適正であること。
- ③ 変成器付計器については、計器と変成器の合番号・乗率・容量の組合せが一致していること。
- ④ 電子式計器およびTSにおける各種設定（現在年月日・現在時刻・計量確定日・夜間開始時刻・通電時間帯設定等）が適正であること。
- ⑤ 1 需要場所において複数の計測器が施設される場合において、二重計量が発生しないように適正配線されていること。
- ⑥ 集合住宅については、各戸に施設された計測器が（配線上、またはシステム登録上）入り繰りしていないこと。

【集合住宅の計測器検収の注意点】

集合住宅の受付情報連絡後に部屋番号の変更があった場合は、受付担当箇所より回付された電気使用申込書に付された「連絡内容連絡票」の「6. その他」欄に部屋番号等が変更となっていることが記されているため、その内容に基づき、倉出計測器設備票の「お客さま名」に記載されている部屋番号を手書き（朱記）により修正し、修正後の部屋番号にて現地計測器の確認を行う。

- ⑦ 高圧精密級（容量100A以上）で一般検定品の対象となる場合があること。

(b) 検収データの登録

現地における計測器検収作業終了後、2次配線太さ・こう長等を計測器管理システムに入力（計測器倉出設備登録）した後、当該設計の「工事検収」処理を行い、上長の確認を得る。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、工事検収前には、次の注意点を確認する。

- ① 当該設計の工事が確実に完了したか。
- ② 契約に適した計測器が施設されていたか。
- ③ 施工内容が工事設計に漏れなく反映されているか。
- ④ 取替工事の場合、取付・取外の計測器の内容および数量が一致しているか。
- ⑤ 事故取替工事の場合、取付・取外の計測器の種別、相線電圧、容量および数量が一致しているか。
- ⑥ 施設された計測器の組合せ（合番号含む）および単位物品数が適正であり、かつ、工事設計に漏れなく反映されているか。
- ⑦ 負担金対象がある場合は、負担金請求漏れが無いか。
- ⑧ 高圧精密級（容量100A以上）で一般検定品の対象となる場合があること。
- ⑨ 変成器付計測器を施工する際に、「変成器付計測器工事自主検査票兼現地調査処理票」による確認を行っているか。

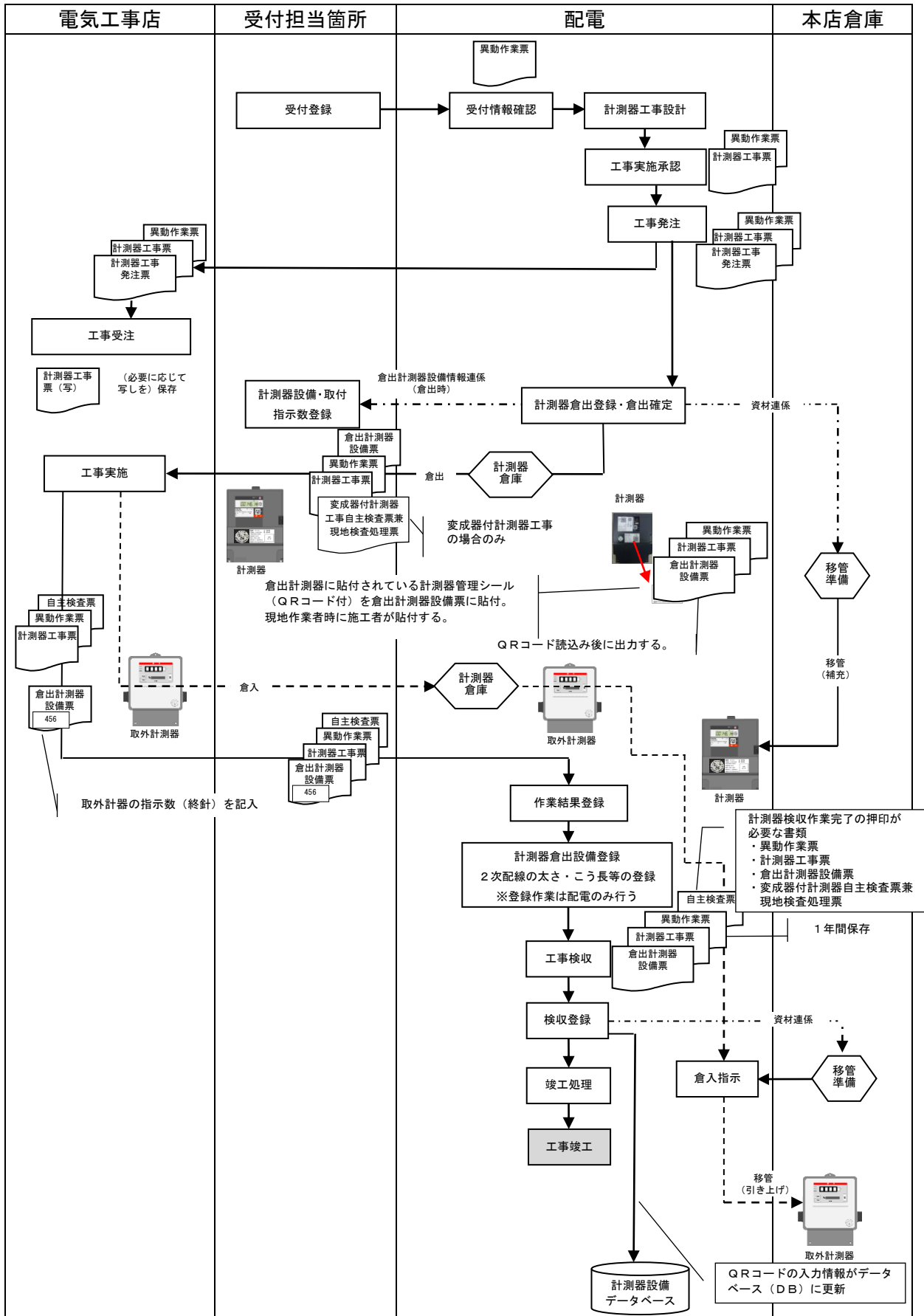
c. 検収登録

上長は、工事検収完了後の工事竣工が可能な計測器工事設計について、上記の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「検収登録」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

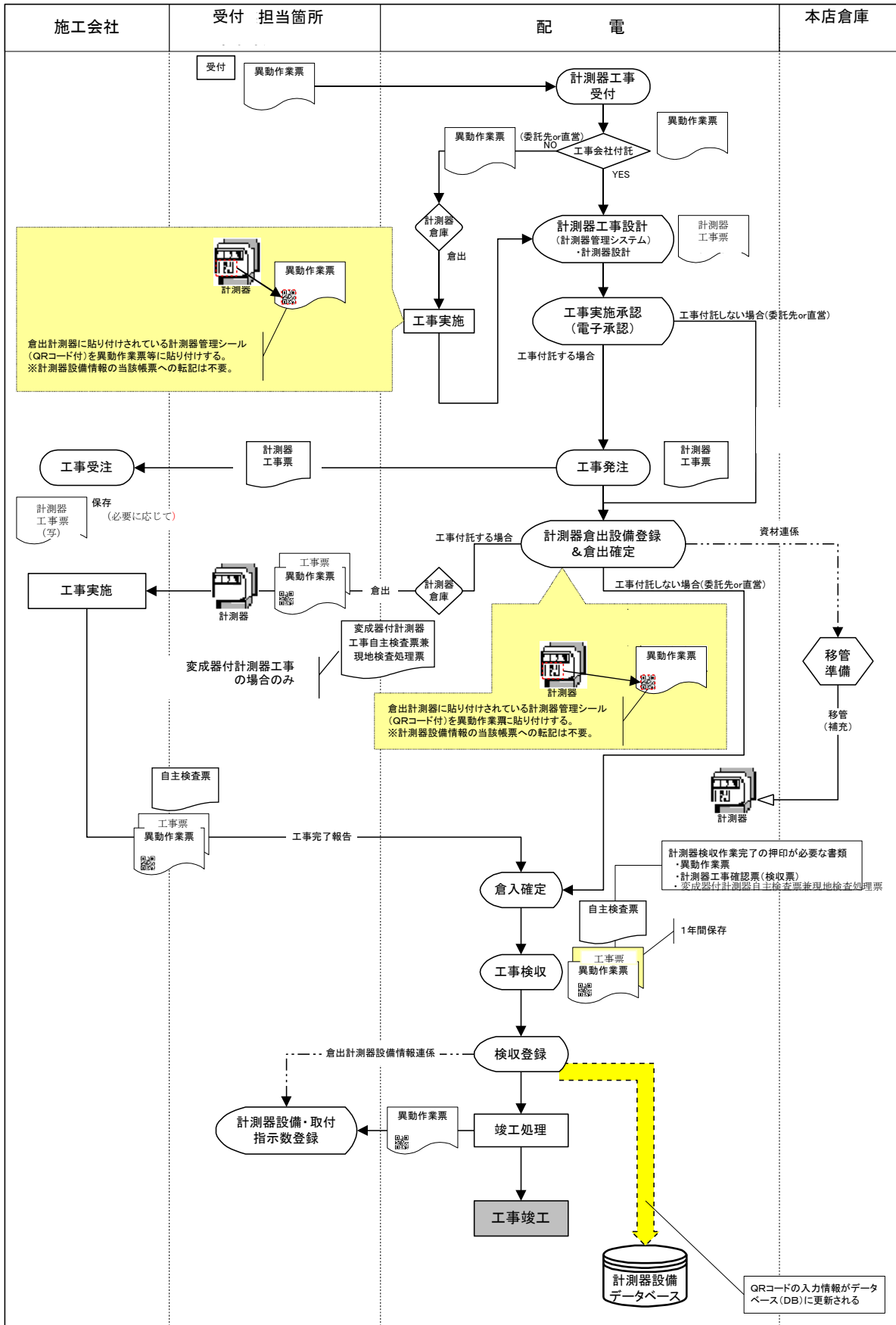
d. 計測器設備情報のネットワーク情報管理システムへの連携

ネットワーク情報管理システムから計測器管理システムへ連携した受付について、計測器払出時にQRコードから読み取りされた計測器設備情報は、「倉出登録」と「検収登録」時の2回、ネットワーク情報管理システムへ連携される。ただし、容変・種変・全撤等、計量器を撤去する場合には、取外指示数（終針）がシステムに連携されないため、「倉出計測器設備票」に取外指示数を記入して通知する。

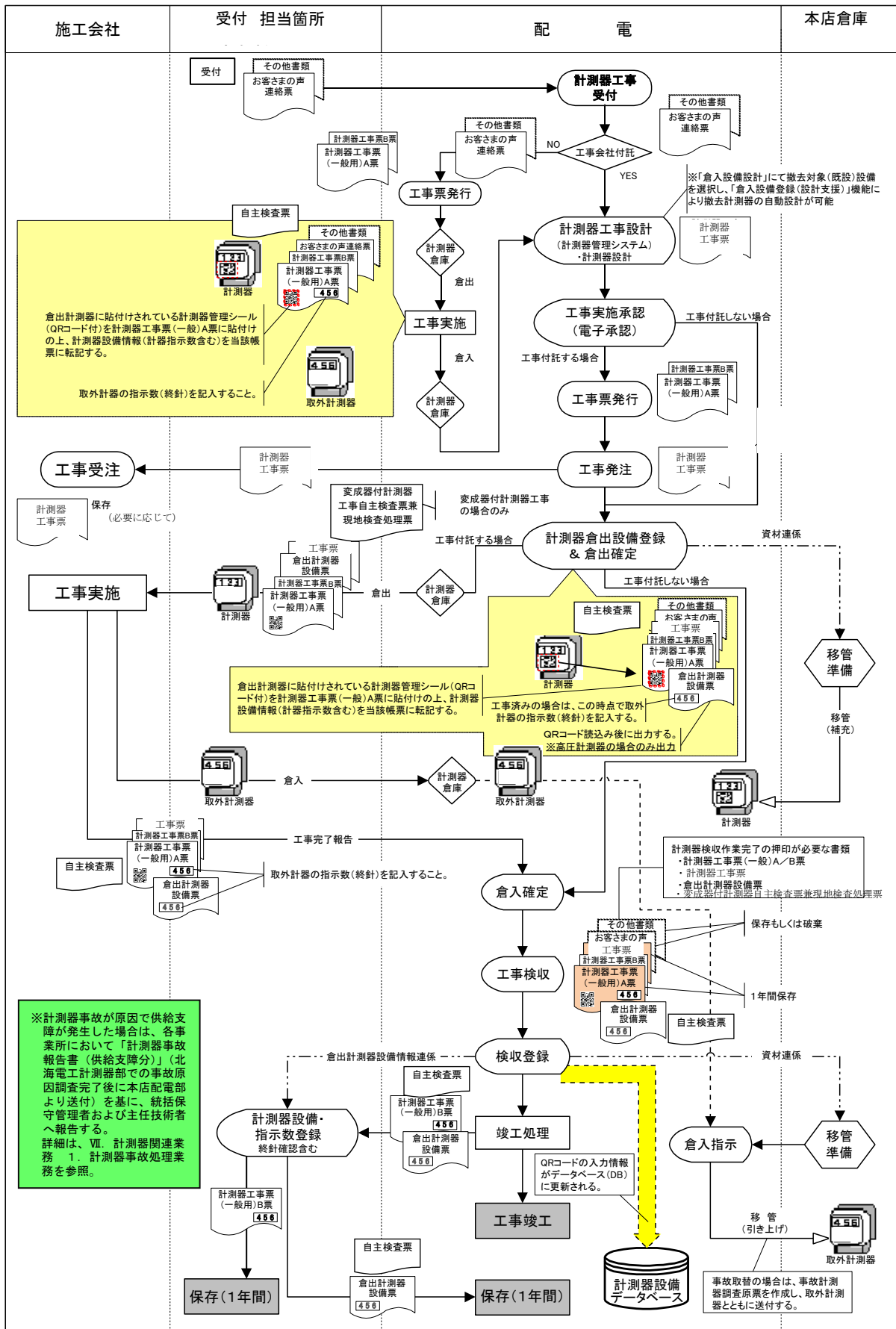
計測器業務フロー b. スwitching工事



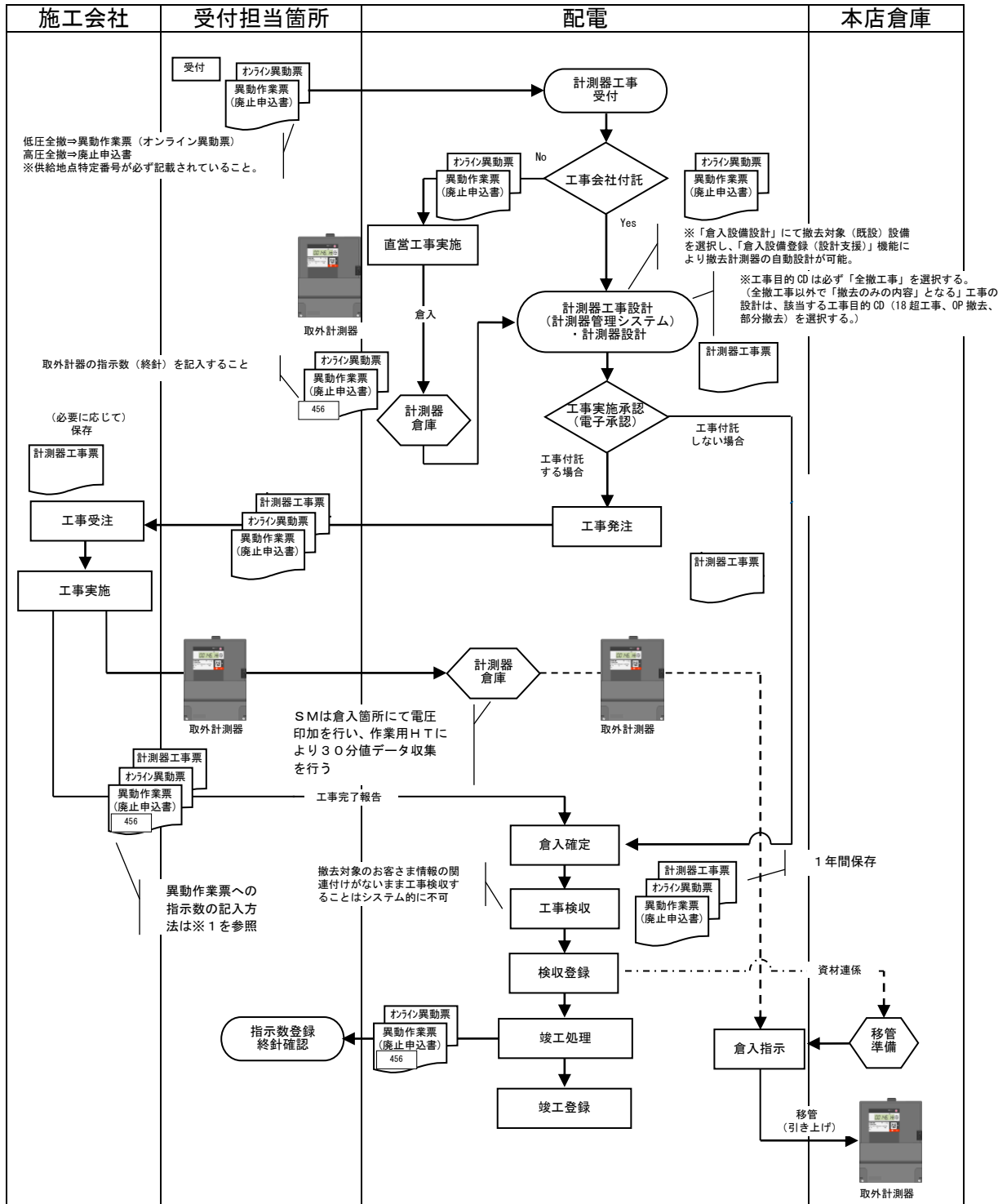
計測器業務フロー c. 転入（再点）工事（復活計器取付）



計測器業務フロー d. 事故取替工事・g. 非単位物品取替工事（SB除く）



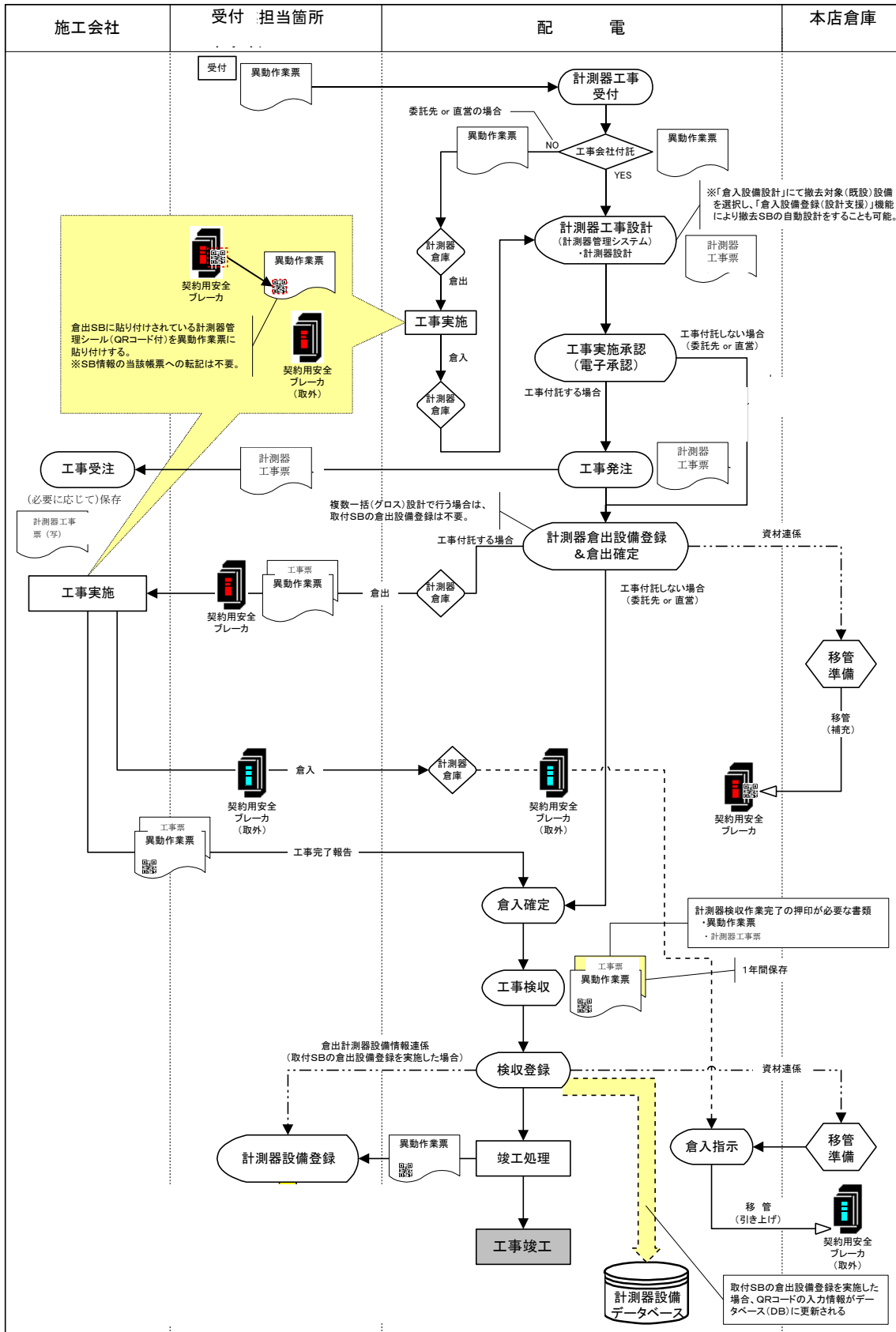
計測器業務フロー e. 全撤工事



【※1 異動作業票への指示数の記入方法】

	従来型計器	SM (現在値検針)	SM (30分値収集)
単時間帯契約	作業時指示数を記入	作業時指示数を記入	SM終針日時の指示数を記入
多時間帯契約	作業時指示数を記入	—	記入しない (後に検針担当で記入)

計測器業務フロー f. SB容量変更工事



(7) 定数管理

定数とは、計測器倉庫単位に必要な種類および数量を過去の実績に基づき定めた計測器の種類および数量をいう。

定数管理とは、主に計測器倉庫の残数管理であり、定数を日常運用していくうえで差異発生防止のために定期的または必要に応じて数量の照合、確認を行うことをいう。詳細は「R J - 2 - 1 貯蔵品管理マニュアル」を参照する。

a. 棚卸

(a) 棚卸とは、資材担当箇所の依頼に基づき棚卸実施担当者（原則として、計測器受払・保管に直接携わっていない者）が年1回、定数の照合と保管状況の確認をするもので、計測器担当はこれに協力する。

(b) 棚卸の実施は、「棚卸実施表」を端末機から出力し、棚卸実施担当者が倉庫コード設置箇所単位に行い、計測器担当はこれに協力する。詳細は「R J - 2 - 1 貯蔵品管理マニュアル」を参照する。

b. 日常管理

計測器担当は移管日（補充・引き上げ）等に合わせ、端末機から「残高照合表」を出力し計測器の残高照合および保管状況等について調査を行い日常管理に努める。詳細は「R J - 2 - 1 貯蔵品管理マニュアル」を参照する。

(8) 移管

移管とは本店倉庫から各計測器倉庫への計測器の補充や引き上げ等、各計測器倉庫間で計測器をやり取りすることをいい、移管に際しては上長の確認を得る。

なお、移管は事前移管請求を原則とする^(注2)。

(注2) 特別検定計器については、配電システム側の都合^(※1)により、「事前移管請求」扱いであっても「移管請求」で行う。ただし納期年月日は定期便の配送年月日^(※2)を入力し、スポット配送を回避すること。

※1 事前移管請求の摘要欄へお客さま名・合番号等を入力しても内容が本店倉庫の委託会社側へ反映されないため。

※2 定期便の配送年月日を入力しないとスポット扱いになってしまうため、必ず定期便の配送日を入力する。

a. 事前移管請求

- (a) 各計測器倉庫において、次回の補充日に定数に基づき補充される計測器数量とは別に請求する場合に行う。
- (b) 請求は、資材担当箇所から送付される計測器作業スケジュールリストの払出データ集計日まで行うことができ、それ以降払出到着日まで、次回の補充日に向けての請求はできない。
- (c) 受注生産計測器や本店倉庫に在庫の少ない計測器は、事前に本店倉庫へ連絡し、その有無を確認する。
- (d) 補充日までに手配がつかず未補充となることがあるので、その場合は再度請求しなければならない。

b. 移管請求

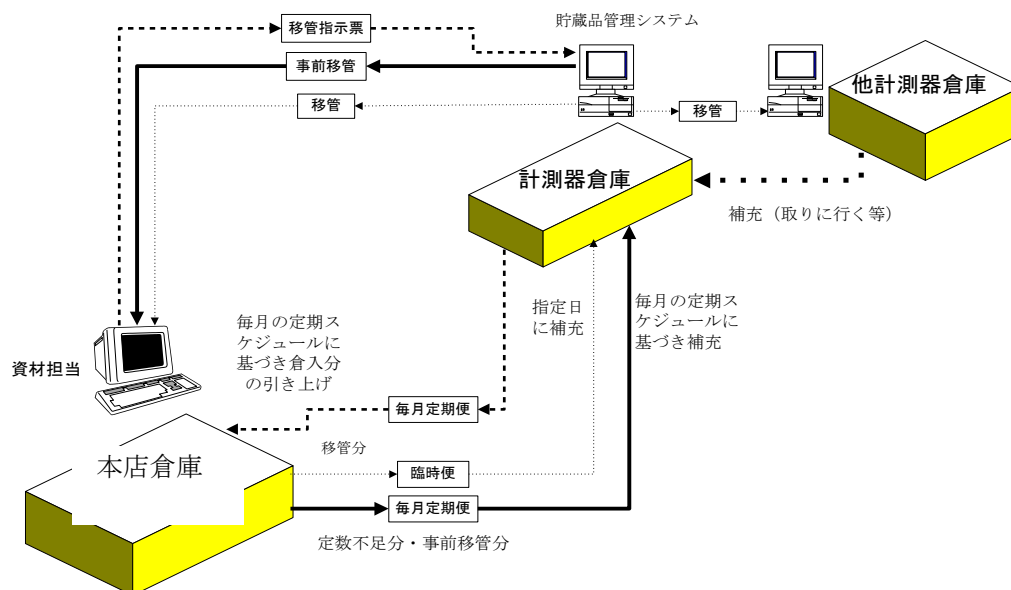
- (a) 各計測器倉庫において、やむをえず次回の補充日まで間に合わないような倉出請求が発生した場合または定数超過計測器を委託先である本店倉庫へ引き上げる場合に行う。なお、各計測器倉庫間で計測器をやり取りする場合も同様に行うことができる。
- (b) 受注生産計測器や本店倉庫に在庫の少ない計測器は、事前に本店倉庫へ連絡し、その有無を確認する。

c. 請求方法

請求は、資材システム（貯蔵品管理システム）により行い、事前移管請求と移管請求とでは処理方法が異なるので注意する。

d. 移管イメージ

図 III-1-6



(9) 受払委託管理

各計測器倉庫における日々の計測器受払管理は、貯蔵品管理システムにより行う。

(10) 受払委託管理

計測器工事の実施に伴う計測器受払業務を委託する場合は、次による。

a. 受払委託費の管理

年度始め（4月）に本店から配分された受払委託費の予算を計測器管理システムに入力する。受払委託費の執行状況は「計測器受払業務委託実績表（当社用）」により毎月確認する。受払委託費の予算算訂正は、計測器管理システムにより行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

b. 受払委託費の支払い

計測器工事の実施に伴う計測器受払業務の委託先に対し、委託費の支払処理を行う。委託費の支払いについては、表III-1-3の手順により毎月実施する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

表 Ⅲ-1-3

手順	実施項目	実施内容
①	委託費の請求	受払委託先は、毎月月初めの営業日に「計測器受払業務委託実績表（委託先用）」を計測器管理システムから出力し、当社配電担当箇所に請求書（適格請求書）を提出し、委託費の請求を行う。
②	委託費の審査	配電担当箇所は、①により委託先から提出された請求書（適格請求書）の内容について、計測器管理システムから出力した「計測器受払業務委託実績表（当社用）」を基に、その内容を審査する。
③	委託費の支払い	電子決裁システムによる決裁の後、新会計システム（会計モニター）により委託費の支払い手続きを行う。【上長による電子決裁】 なお、新会計システム（会計モニター）により委託費の支払い手続きを行う場合は、①により委託先から提出された請求書（適格請求書）を会計モニターの証拠書類（電子保存）として添付すること。ただし、支払い誤り等が発生した場合は、委託先より内容修正した請求書の提出依頼を行い、訂正処理を実施する。

新会計システム（会計モニター）による委託費の支払いについては、「通常月」と「四半期末」で次のように行う。

①通常月（４・５月、７・８月、１０・１１月、１・２月）の支払い

証拠書類となる委託実績表（当社用）を添付し、毎月１５日頃までに新会計システムに入力する。通常月は翌月勘定・翌月支払いとなる。

②四半期末（６月、９月、１２月、３月）の支払い

四半期末月は勘定上、当月（６、９、１２月）または当年度勘定（３月）とするため、当月勘定・翌月支払いとなることから、未払い計上処理を行う。

2. 検満工事

(1) 検満工事とは

- a. 計量法において、計測器で電力量を計量しその計量値により料金取引をする場合は日本電気計器検定所または指定検査機関が行う検定を受け、これに合格し検定証印が付された計器を使用すると定められている。また、検定証印には有効期間が定められており、この期間を超えて使用することは出来ない（参考資料－4 参照）。

仮に、有効期間を超過した計器を取引又は証明における法定計量単位による計量に使用し、又は使用に供するために所持した場合は、「計量法 第16条 第1項の3」に抵触する。

- b. 一般的に「検満」とは検定証印の有効期間の満了を意味し、「検満工事」とは、まもなく有効期間の満了を迎える計測器を取替える工事をいう。
- c. 本マニュアルに基づいて検満工事を計画的に推進し、適正計量および的確な設備管理をし、検満年月経過後の計測器使用を防止する。

(2) 計画

- a. 毎年6月末・12月末に検満工事対象となる設備データを計測器設備情報から抽出し、検満工事計画に利用する検満計画データを計測器管理システムにて作成する（検満工事計画実施時期と検満対象データ抽出範囲については、図Ⅲ－2－1 参照）。

検満対象データ抽出後に「高圧検満計画対象お客さまデータ」（参考資料－3.3-3(3) 参照）が出力可能となるため、高圧検満におけるお客さまとの停電調整および負担金対象の確認等に活用する。

なお、検満計画情報作成時、取付け品名コードに変換できなかった場合、または、1施設No.に複数の計器受量器情報が存在する場合は、「検満計画データ作成エラーリスト」（参考資料－3.3-1(29) 参照）に設備の情報を出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

「検満計画データ作成エラーリスト」に出力された設備情報に関する処理については、「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- b. 配電担当箇所は、検満対象データ抽出機能により抽出された低圧または高圧のお客さまデータに対して、取替え対象設備ならびに検定種別等を確認した後、低圧の場合は「ブロッカー住所」または「ブロッカー住所－街区」毎に、高圧の場合は「お客さま」毎に工事予定月を設定する（上期工事計画は「1月中」、下期工事計画は「7月中」に実施すること）。

工事予定月の設定に際しては、月毎の工事数をできるだけ均一にすることが望ましいが、お客さまの停電取得状況、施工会社の繁忙状況などを十分に考慮する。

工事予定月設定後、検満工事計画を確定する（確定は低圧ならびに高圧で個別に処理が可能）。

なお、確定後は工事月の変更は不可とする。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- c. 検満計画が確定された検満計画情報から「計測器月別検満計画表」（参考資料－3.3-2(1) 参照）ならびに「特別検定計器予告期報」（参考資料－3.3-2(2) 参照）の情報を計測器管理システムにて作成する。

- d. 配電担当箇所は、計画確定した検満工事計画により作成された「計測器月別検満計画表」ならびに「特別検定計器予告期報」を出力し、上長回付する。また、「検満計画データ作成エラーリスト」が存在する場合は出力し、その内容に応じて検満計画確定処理により作成された「計測器月別検満計画表」「特別検定予告期報」などの各種情報の変更を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- e. 配電担当箇所は検満計画が確定されたものに対し、上長の了承が得られた後、その情報をデータベースに反映させる「検満工事計画反映指示」を上長が行うとともに、「計測器月別検満計画表」ならびに「特別検定計器予告期報」を指定期日（上期工事計画：1月末、下期工事計画：7月末）までに事業所毎に資材担当箇所へ報告する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- f. 「検満工事計画反映指示」された検満計画情報から、検満取替え予定の情報を計測器管理システムにて作成する。この処理により検満設計支援が可能となる。
- なお、「検満工事計画反映指示」を実施しなければ「検満設計支援」が可能にならないことから、確実に行う。
- g. 配電担当箇所（決裁者）は「検満工事計画反映指示」を処理した翌営業日に、お客さま情報の一部が記載されている「高圧検満工事対象お客さまデータ」（参考資料－3.3－3（2）参照）を出力する。当該データは料金担当箇所において無線検針対応などの事前準備資料として利用する場合もあるため、料金担当箇所から依頼された場合は送付する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

図 Ⅲ－2－1 検満工事計画実施時期と検満対象データ抽出範囲

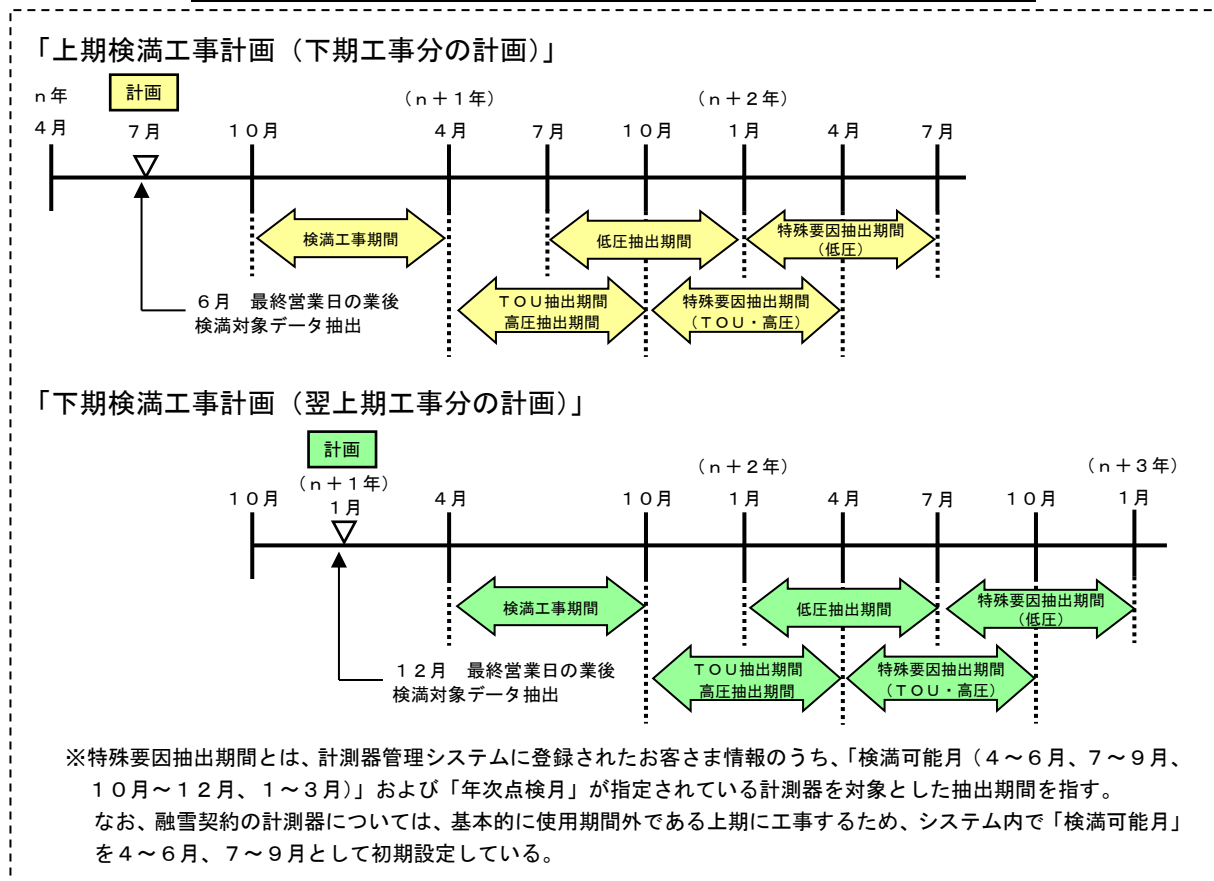
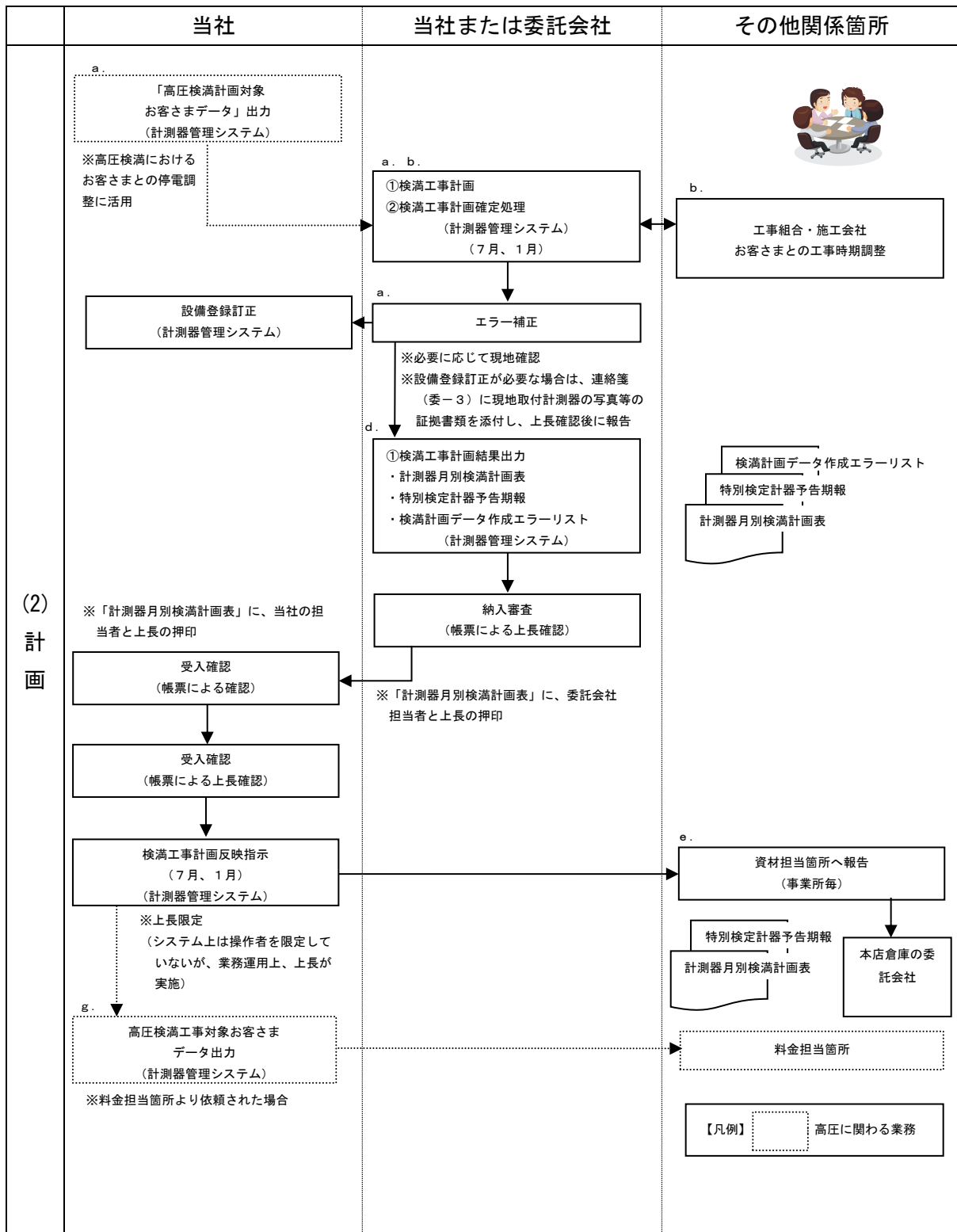


図 Ⅲ-2-2 (2) 計画 フロー



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する（高圧検満に関わる業務は当社が全て実施する）。

(3) 計測器工事設計と設計起案

- a. 配電担当箇所は、検満工事計画により検満工事予定となった低圧および高圧のお客さまに対して、計測器管理システムの「検満設計支援」のお客さま一覧表示から、設計対象のお客さまを選択する。また、検満工事対象となっていた計器を事故取替等で既に取り替えた場合など、検満工事予定が残ってしまう設備に対し、検満工事予定情報の削除を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、検満工事計画時に設定した検満工事予定月を経過しても設計していないものについては、計測器管理システムの「検満設計支援」画面に残り続けるため、毎月1回、上長はシステムのインフォメーション画面にある「検満工事進捗情報」および「検満対象設備工事進捗」画面により、前月までの工事対象分（工事予定年月日を超過したもの）について設計未完の有無を確認する。

設計未完がある場合はその理由を確認し、工事設計漏れがないように管理^(注3)する。

(注3)「検満対象設備工事進捗」画面の備考欄に必要情報を登録することが可能なため、工事予定年月日を超過した場合の理由等を登録して管理する。

- b. 配電担当箇所は、検満工事お客さま一覧において検満工事対象のお客さまを選択した後、検満設計支援にて設計書を作成する（共通項目：検満北海扱い）。

なお、設計書の「工事期間自年月日」は、当該設計書の資材が本店倉庫より到着する日（計測器作業スケジュールリストの払出検満の到着日（H））と同じ日付にするとともに、「工事期間至年月日」は当該設計書にて取外した資材を本店倉庫へ戻入れする日（計測器作業スケジュールリストの戻入検満の発送日（O））と同じ日付にする。

- c. 「検満設計支援」により作成した設計において、設計登録時に設計パターンコードに変換できなかった設備の情報は「検満自動設計対象外リスト」（参考資料－3.3－1（26）参照）に出力されるため、設計修正を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- d. 有効期間満了の年月まで3ヵ月以下となった設備は「計測器検満アラームリスト」（参考資料－3.3－1（30）参照）に出力されるため、必要な場合は設計に追加する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- e. 次の注意点について確認を行い「設計起案」する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- ① 検満工事対象が漏れなく設計されているか。
- ② 「計測器検満アラームリスト」に出力された対象が設計に反映されているか。
- ③ 「検満自動設計対象外リスト」に出力された対象が設計に反映されているか。
- ④ 取付・取外の計測器の種別、相線電圧、容量および数量が一致しているか。
- ⑤ 設計された計測器の組み合わせおよび単位物品数が適正か。
- ⑥ 負担金対象はあるか。（負担金対象がある場合は、請求漏れが無いようにすること）。
- ⑦ 高圧精密級（容量100A以上）で一般検定品の対象となる場合があること。

(4) 実施承認

- a. 上長は、設計起案された計測器工事設計について、前頁の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「実施承認」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- b. 設計工程が「実施承認済かつ倉出確定未」の検満工事設計書で、「工事期間自年月日」の月が翌月である設計情報を集計した「電力量計請求予告月報」(参考資料-3.3-2(3)参照)データを計測器管理システムにて作成する。この処理は当該帳票の資材担当箇所提出期限の2営業日前に実施される。
- c. 配電担当箇所は、「電力量計請求予告月報」^(注4)および「特別検定計器予告月報」(参考資料-3.3-2(4)参照)を出力し、「翌月検満倉出数」の確認、補正ならびに「翌月一般倉出数」の入力後、事業所毎に資材担当箇所へ報告する。提出された情報は翌月の計測器の生産計画に使用される。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(注4)「電力量計請求予告月報」は事業所毎に作成し、予告数量が「0」の場合も作成する。

※「電力量計請求予告月報」の検満倉出数と「計測器倉出・倉入合計票」の倉出数が合致していることを確認する。

※「電力量計請求予告月報」ならびに「特別検定計器予告月報」は、あくまで翌月の請求予定であり、実際の請求は「計測器倉出・倉入合計票」により行うため、注意が必要。

なお、「特別検定計器予告月報」のデータは検満計画時のデータを使用しているため、検満計画時に「検満計画データ作成エラーリスト」に出力された対象設備は反映されないため修正が必要となる。

- d. 実施承認後、計測器管理システムより「計測器倉出・倉入合計票」(参考資料-3.3-1(1)参照)を出力し上長回付後、「特別検定計器予告月報」とともに、本店倉庫の委託会社へメールで速やかに(最終は倉庫到着日の5営業日前まで)送付する。メールの送付方法等は参考資料-3.3-1(1)b参照。また、「計測器工事票」(参考資料-3.3-1(4)参照)を出力し工事発注まで保管する(道央統括支店は省略可)。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
※「計測器倉出・倉入合計票」は、検満工事における計測器の移管書類であり、送付を怠ると移管されないことから、確実に送付する。
※「電力量計請求予告月報」(参考資料-3.3-2(3)参照)の検満倉出数と「計測器倉出・倉入合計票」の倉出数が合致していることを確認する。

- e. 実施承認された検満工事設計に関する「検満計測器工事票」(参考資料-3.3-1(27)、(28)参照)を帳票出力するためのデータを計測器管理システムにて作成する。その後、集中機から出力された帳票が各事業所に配送される(工事実施承認から帳票配送までは4~5日程度かかる)。

(5) 工事発注

- a. 配電担当箇所もしくは低圧検満業務委託会社は、行動系業務管理システムの検満作業情報管理メニューにおいて、計測器管理システムから連係した検満工事設計一覧より当該工事設計を選択し、登録する。

なお、作業情報において作業事業所等を変更する場合は、都度修正する。

b. 高圧計器を倉出する際は、高圧計測器設定ツールもしくは計測器設定チェック票を用いて現在年月日時刻・計量確定日等の設定を行う。また、工事日の4営業日前までに計測器に添付されているQRシールにより計測器管理システムで倉出設備登録を実施する。

なお、入り繰り防止の観点から、この倉出設備登録の際にQRシールを「検満計測器工事票」に貼付け（先貼り）しないこと。

c. 計測器を移管後、計測器、計測器工事票、検満計測器工事票、作業用ハンディターミナル（以下、「作業用HT」という。）一式、工事対象需要者への配布帳票一式〔ほくでんネットワークから電気メーター取替時のお知らせ、停電作業による電気メーター取替時のお願い、ほくでんネットワークから電気メーター取替完了のお知らせ〕（単独計器の場合、参考資料－1 1～1 3参照）、変成器付計器取付取外指針票（G票）（変成器付計器の場合取付計器に添付する、参考資料－5参照）および変成器付計測器工事自主検査票兼現地検査処理票（変成器付計器の場合、自主検査および工事検収に使用する。参考資料－1 9参照）（以下、「自主検査票」という。）を施工会社（検満計測器の受払い業務を委託している場合は委託会社）へ渡し、検満工事を発注する。

d. 作業用HTを施工会社に貸与する場合、配電担当箇所は、行動系業務管理システム「配置・利用事業所管理」の備考欄に貸与先の施工会社名および受渡者名、作業用HTを貸与した年月日などを入力して適切に管理した上、作業用HTを受渡しする。貸与期間は、検満工事の付託期間を基本とする。

なお、配電担当箇所から施工会社へ直接受渡し貸与することを基本とするが、必要に応じて郵送による受渡しを可とする。

貸与期間中の管理については、施工会社が適切に保管、取扱いするものとし、配電担当箇所は行動系業務管理システムにて施工会社の作業用HTの使用状況を把握し、適切に管理されていることを確認する。

工事完了後の作業用HT（一式）の返却可否については、翌月の検満工事に着手する日および施工会社と配電担当箇所間の返却・貸与に要する時間（往復）などを考慮の上、判断する。施工会社が、上記理由から作業用HT（一式）を返却せず、検満工事期間外も継続して保管する場合、配電担当箇所は行動系業務管理システム「配置・利用事業所管理」の備考欄にて適切に管理すること。

工事繁忙期に複数社の施工会社に工事発注するため、検満工事に使用する作業用HTが不足する場合は、配電担当箇所が保有する作業用HTを貸与すること。また、事業所間において作業用HTを融通する場合は、作業用HTの所属（利用事業所）変更を行った上、双方の事業所にて適切に管理する。

(作業用HT貸与時の行動系業務管理システムによる管理)

行動系業務管理システム - Windows Internet Explorer

【配置・利用事業所管理】

機器管理番号 12345678 配置事業所 1234567 選択 利用事業所 1234567 選択

作業用HTの情報を更新します。
端末の情報を入力してください。

機器管理番号 12345678

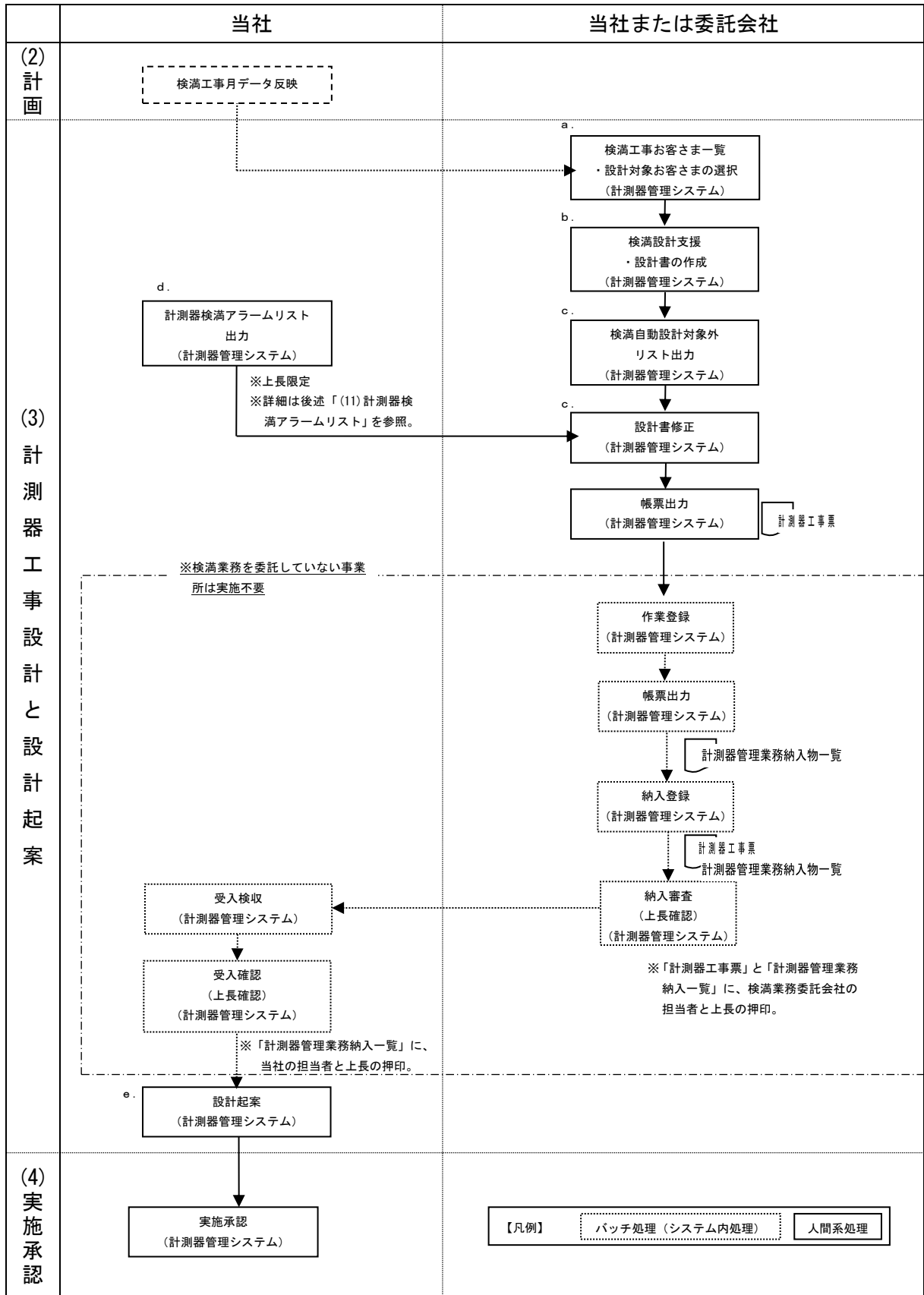
配置事業所CD 1234567 選択 配置事業所名 □□□□□□□□■□□

利用事業所CD 1234567 選択 利用事業所名 □□□□□□□□■□□

備考 貸与先：〇〇電気株式会社、北電太郎、貸与年月日：平成29年10月1日～

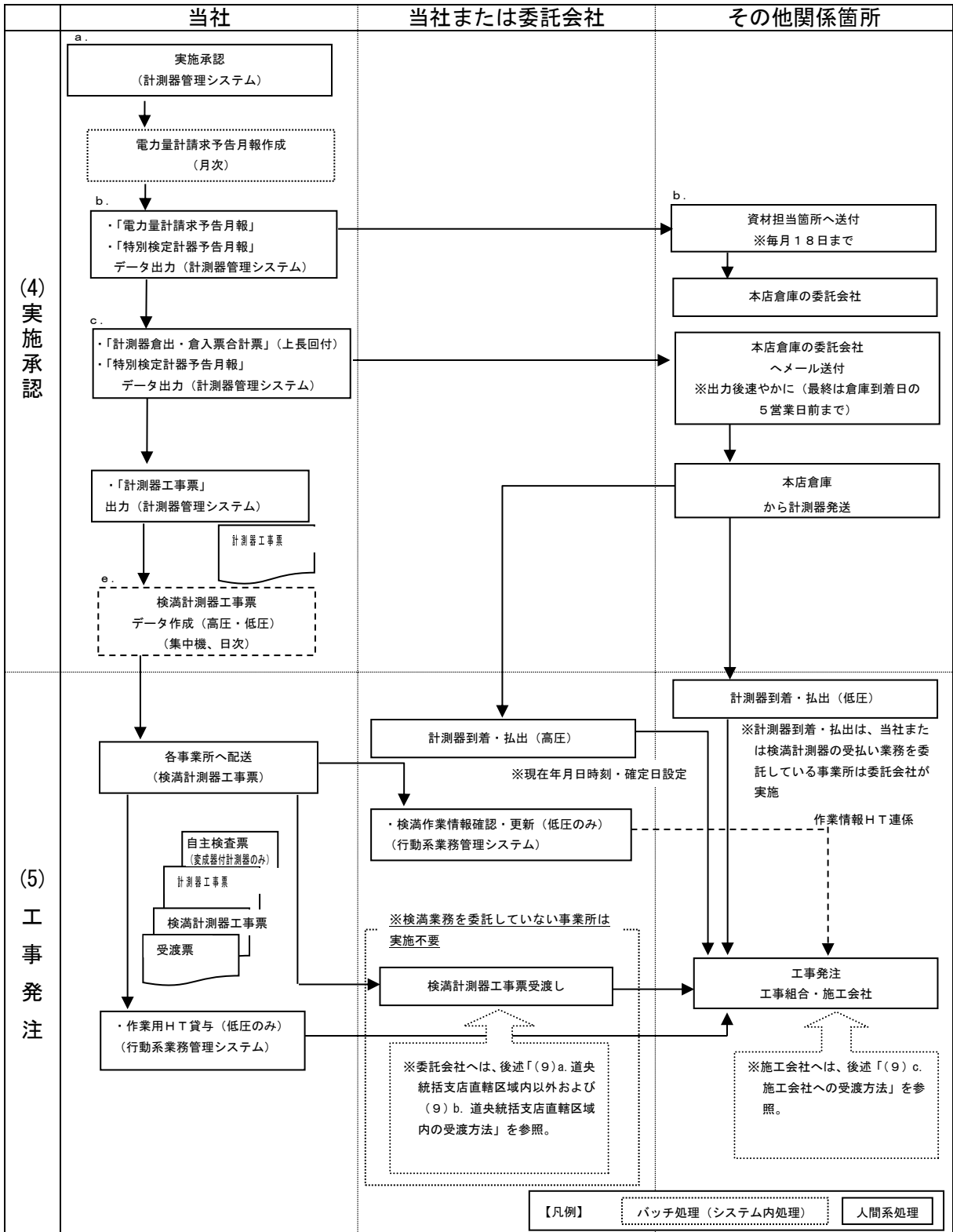
- e. 「検満計測器工事票」および「作業用HT」には個人情報等の業務情報が記載または保存されていることから、紛失等がないよう、取扱いには十分留意する。「検満計測器工事票」の施工会社への受け渡しは、後述「(9) 検満計測器工事票の受け渡し」による。

図 Ⅲ-2-3 (3) 計測器工事設計と設計起案～(4) 実施承認 フロー



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する（高圧検満に関わる業務は当社が全て実施する）。

図 Ⅲ-2-4 (4) 実施承認・配送手配～(5) 工事発注 フロー



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する（高圧検満に関わる業務は当社が全て実施する）。

(6) 検満作業情報管理（工程管理）

作業用HTによる検満工事を実施する場合、配電担当箇所もしくは低圧検満業務委託会社は、行動系業務管理システムの検満作業情報管理により、工事設計No単位に作業の進捗状況および施工会社の検満作業状況の他、設計変更の有無などの検満作業情報について、以下のとおり管理・運用する。

a. 検満工事のステータス管理

検満工事のステータス管理については、工事設計全体の工程管理を行うとともに、サービスポイントID^(注5)（以下、「SPID」という。）および施設No単位の工事別ステータスを確認することにより、適切な検満作業情報の管理、運用を実施する。以下に各ステータスの状態を示す。

(注5) システム間連係に用いる計器施設場所（施設No単位）に設定するユニークな番号（計測器管理システム自動発番の10桁）。

表 検満作業情報におけるステータス状態

工事設計 ステータス		工事設計内 工事別ステータス	状態
未着手 ^{※1}		未着手	検満工事実施承認後に検満作業情報が連係された状態
設計 変更 あり ^{※4}	作業中 ^{※2}	HT連係中	検満作業情報を「HT連係中」へ更新し、HT通信サーバーへ登録された状態
		HT連係済	作業用HTに検満作業情報が連係された状態
工事未完		検満作業情報が未着手のまま、計測器設計が検収登録された状態	
—		一部完了	取外作業のみの完了情報が作業用HTから連係、または手入力で登録された状態
—		完了または不調	取付・取外が「完了」または「不調」で登録された場合
完了 ^{※3}			全ての取付・取外が「完了」または「不調」で登録された場合
—		設計取消 ^{※5}	検満作業情報が検満工事が完了または一部を完了する前に取消となった場合

※1 工事設計内の工事別（SPID、施設No単位）のステータスが全て「未着手」の状態。

※2 工事設計内の工事別（SPID、施設No単位）のステータスが「未着手」以外の状態。

※3 工事設計内の工事別（SPID、施設No単位）のステータスが全て「完了」の状態。

※4 「作業中」のステータスにおいて、「一部完了」「完了」「不調」以外の工事設計に設計変更が連係された状態。

※5 工事設計取消により、検満作業情報が削除されるため、非表示ステータスとなる。

b. 検満工事の進捗管理

- ・配電担当箇所もしくは低圧検満業務委託会社は、施工会社から返付された検満計測器工事票により作業の実施状況を確認する。
- ・工事対象の計測器が全撤または取替済みなどの理由により工事不要となっている場合は、当該SPIDのステータスを「HT関係済」から「不調」へ変更する。変更後は、工事設計単位の検満作業情報一覧を確認し、工事不調数量に反映されたことを確認する。
同一工事設計の全作業情報が完了後、工事完了（不調）数量を確認し、計測器管理システムによる工事検収に反映させる。
- ・作業用HTによる検満工事が正常に完了した場合は、当該SPIDのステータスが「HT関係済」から「完了」へ自動的に更新される。ステータスが「完了」の作業情報は、日次バッチ処理でスマートメーター運用管理システム（以下、「MDMS」という。）や計測器管理システムにデータ連係する。
なお、外部関係済みとなった作業情報については、修正は不可となる。
- ・また、ステータスが「一部完了」となっている作業情報については、取外計測器のみ作業用HTにて作業を行いシステム連係となったものであることから、取付計測器の作業状況などを施工会社に確認する。
- ・検満工事の設計数量に対して、工事完了数量と工事不調数量の合計数量を比較し、工事の進捗状況を確認する。

(7) 工事検収（低圧検満）

- a. 施工会社はその日の工事完了の都度、作業用HTにてモバイル通信を行い、行動系業務管理システムに検満作業結果情報（指示数や計器番号などの計器諸元データ）を送付する。
- b. 検満計測器工事票は週1回程度、当社事業所（検満計測器の受払い業務を委託している場合は、委託会社）に持参してもらう（「検満計測器工事票」の施工会社への受け渡しは、後述「(9) 検満計測器工事票の受け渡し」による）。

なお、「検満計測器工事票」に貼付けされた計測器管理シール（QRコード付）が、施工前に事前に貼付け（先貼り）したものではなく、「検満計測器工事票」1枚毎に施工の都度、貼付けしたものであるかを施工会社から「検満計測器工事票」が返却されるごとに口頭で確認する。

※入り繰り防止の観点から「検満計測器工事票」への計測器管理シール（QRコード付）の貼付けは、事前に実施せず、「検満計測器工事票」1枚毎に施工の都度、貼付けることを徹底する。

配電担当箇所は、検満計測器工事票および行動系業務管理システムの検満作業情報管理により工事不要分・工事取消分を確認する（工事不要分・工事取消分の取扱いは、「VII. 計測器関連業務 5. 未使用計測器（残材品等）の取扱い」による）。

※工事不要とは、検満工事を発注し施工会社が現地出向したが、現地の計器が不明、外壁工事により計器取替不能等、検満工事ができなかったもの。

※工事取消とは、検満工事実施承認後のお客さまで、検満工事前に異動および事故等で計器取替が必要となり、検満工事を取り消すもの。

配電担当箇所は、工事完了分の検満計測器工事票に、撤去対象設備に対応する計測器管

理シール（QRコード付）が貼付けされているか等、内容に誤りが無いことを確認する。また、工事会社が検満計測器工事票の記事欄に計測器不具合状況（計測器箱の破損など）や現地施設状況（配線誤りなど）などの特記事項を記載している場合、配電担当箇所は、その詳細について施工会社に確認し適切に対応、業務処理を行うこと。

- c. 行動系業務管理システムの検満作業情報管理において、工事設計内の工事別に作業情報のステータスが「完了」の作業完了情報は、日次バッチ処理により計測器管理システム、MDMS等に外部連携する。

作業用HTによる検満工事を実施した場合は、計測器管理システムに連携した際に「倉出設備登録済」の状態となる。ただし、計測器管理システムに「検満倉出設備登録エラーリスト」が出力された場合は、他システムに計測器設備情報が連携されていないため、検満計測器工事票の内容、行動系業務管理システムおよび計測器管理システムの登録データを確認し、必要に応じて修正を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- d. 検満計測器工事票が施工会社（検満計測器の受払い業務を委託している場合は、委託会社）から返付（返付方法は後述「（9）検満計測器工事票の受け渡し」による）された後、検満計測器工事票に記載されている無停電の要否、割増の有無および工事不要手数料の有無を確認し、工事实施承認時との差異が発生した場合は、計測器管理システムにより設計番号毎に修正設計を行う。

なお、「検満計測器工事票」、「自主検査票」（変成器付計測器の場合）と「検満計測器指示数連絡票」一式は配電担当箇所にて5年間保存する。行動系業務管理システムの検満作業情報も同様に5年間保存され、保存期間を過ぎた検満作業情報は自動的に消去される。

- e. 配電担当箇所（決裁者）は当該設計に関連付いているお客さま情報の一覧が記載されている「検満工事設計対象お客さまデータ」（参考資料-3. 3-3（1）参照）を、当該設計の検満倉出設備登録完了後から工事検収の前までの期間、計測器管理システムにより出力することが可能となるため、必要に応じて出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

- f. 配電担当箇所は検満工事の検収を行う。検満工事の検収方法は、次の2種類とする。

（a）書類検収

書類検収は、施工会社から返却された検満計測器工事票により行う。変成器付計測器の場合は、検満計測器工事票と自主検査票により書類検収を行う。書類検収の基本的な確認項目は、表 III-2-1 による。

なお、作業用HTにより取付計測器のQRコードを読み取り、検満工事設計どおりの施工がされているか設備の組合せチェック（計器と変成器の合番号、容量等の整合性チェック）を現地で実施済みであることから、書類検収時における変成器付計測器の合番号、容量等の整合性確認は省略する。

取付計測器に添付された「変成器付計器取付取外指針票（G票）」は、取外計測器にそのまま添付した状態で事業所倉庫に戻し入れすること。

表 Ⅲ－２－１ 書類検収項目

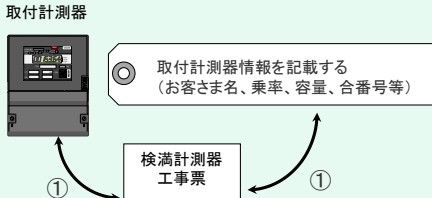
確認項目		確認内容
【計器】		
工事票	検満年月	・施工年月が取外計器の検満年月を超過していないか。 (超過している場合は、協定が必要である)
	QR シール	・工事対象の QR シールが全て貼付されているか。
自主検査票 (変成器付計測器の場合)		・記載内容は適正か。(特に二次配線の接続状態(色の照合)に注意すること)
【CT】		
自主検査票 (変成器付計測器の場合)		・記載内容は適正か。(特に二次配線の接続状態(色の照合)に注意すること)
【TS (タイムスイッチ)】		
工事票	通電・遮断時間	TS 設定ブロックを使用した場合 ・使用した TS 設定ブロックの略号が記入されているか。 ・TS 設定ブロックと通電・遮断時間が一致しているか。
	自主検査票 (変成器付計測器の場合)	
【MC (電磁接触器)】		
自主検査票 (変成器付計測器の場合)		・記載内容は適正か。
【その他】		
工事票	工事不要	工事不要の場合 該当する計測器の工事不要欄に記入されているか。

※作業用HTによる検満工事を実施することにより、計器No、相線電圧、容量、型式、合番号などの取付・取外計測器の整合性確認を実施している。

図 Ⅲ-2-5 取付・取外計測器および計器と変成器の合番号、容量等の整合性確認について

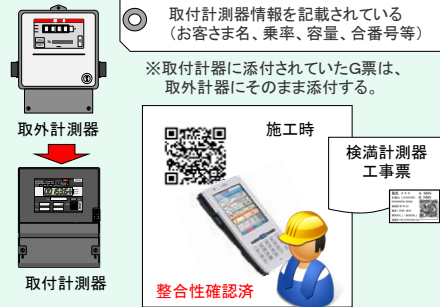
■ 計器のみ取替の場合

1. 工事付託時に実施すること



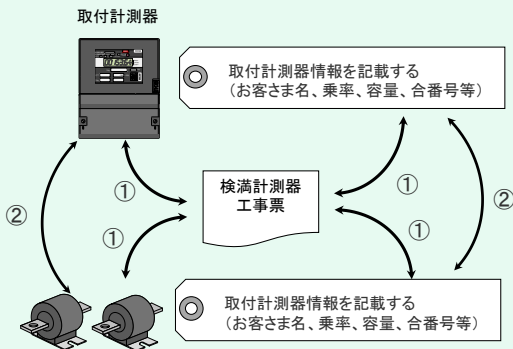
① 取替対象(取外)計器と取付計器の[合番号]、[容量]が正しいことを、「計器本体」および「G票の記載情報」と「検満計測器工事票に記載された取外設備情報」を照合する。

2. 工事検収時(書類検収)の変成器付計測器における合番号、容量等の整合性確認は、施工時に作業用HTによる設備の組合せチェックを実施済みであるため、省略する。



■ 組替(計器と変成器の両方を取替)の場合

1. 工事付託時に実施すること



① 取替対象(取外)計器と取付計器の[合番号]、[容量]が正しいことを、「計器本体」および「G票の記載情報」と「検満計測器工事票に記載された取外設備情報」を照合する。
 ② 計器と変成器の組合せ([合番号]、[容量])が正しいことを「計器本体」と「G票の記載情報」の両方で照合する。

2. 工事検収時(書類検収)の変成器付計測器における合番号、容量等の整合性確認は、施工時に作業用HTによる設備の組合せチェックを実施済みであるため、省略する。



(b) 現地検収（抜取り）

低圧の変成器付計測器を対象に実施する。抜取り方法は、低圧の変成器付計測器を施工した工事会社毎（工事組合のみ）に年5%程度※を抜取り、現地検収を行う。

※施工件数の5%が1件に満たない場合においても、最低1件は現地検収を行う。

なお、現地検収は「自主検査票」により行う。

① 1次検収

抜取った工事の現地検収を実施する。

② 2次検収

抜取った工事に不良があった場合、施工会社は再度自主検査を行う。

なお、2次検収で不良があった場合は、文書による改修指示および指導を行い、当該工事が適合するまで2次検収を実施する。

g. 次の注意点を確認の上、当該設計の「工事検収」処理を行い、上長の確認を得る。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

《注意点》

- ① 工事対象箇所に対して確実に工事が実施されたか。
- ② 設計分の工事が確実に完了したか行動系業務管理システムにて確認する。
- ③ 工事発注分の「検満計測器工事票」が施工会社から全て返却されたか。
- ④ 残材が発生した場合、その理由および工事不要手数料が設計に反映されているか。
- ⑤ 施工内容が工事設計に漏れなく反映されているか。
- ⑥ 施設された計測器の組合せ（合番号を含む）および単位物品数が適正であり、かつ、工事設計に漏れなく反映されているか。え
- ⑦ CT付計測器を施工する際に、「自主検査票」による確認を実施しているか。

h. 配電担当箇所は、上長へ検収登録（納入審査）を依頼する際、当該設計の全「検満計測器工事票」に加え、次の受渡票を添付し回付する。

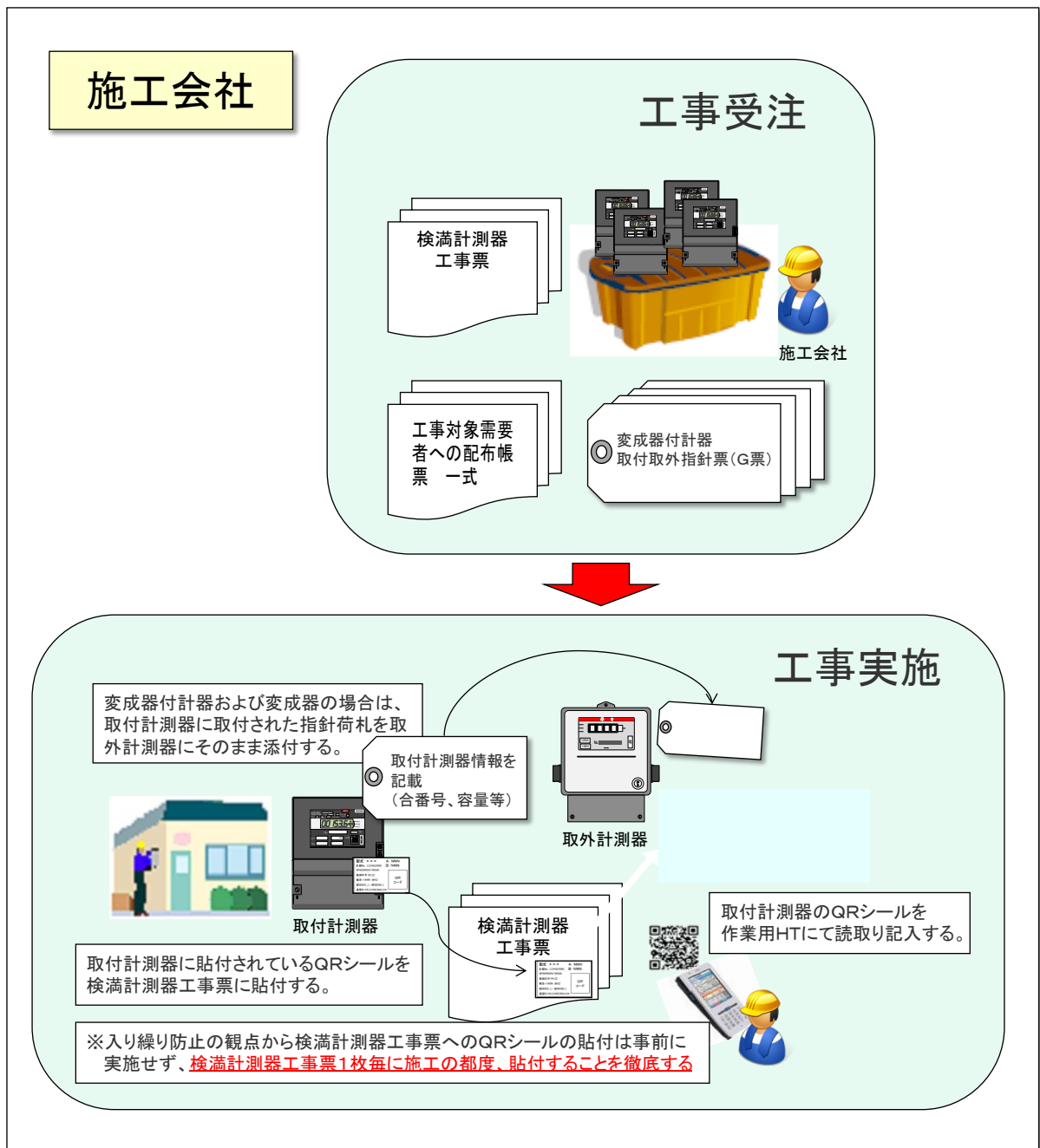
検満工事設計箇所	添付する受渡票
配電担当・ 検満業務委託会社（道央統括支店 直轄区域内以外）	・[施工会社用・副]の写し、[施工会社用・正]
検満業務委託会社（道央統括支店 直轄区域内）	・[委託会社（道央統括支店直轄区域内）用・副 （写）]の写し、[委託会社（道央統括支店直轄 区域内）用・正]

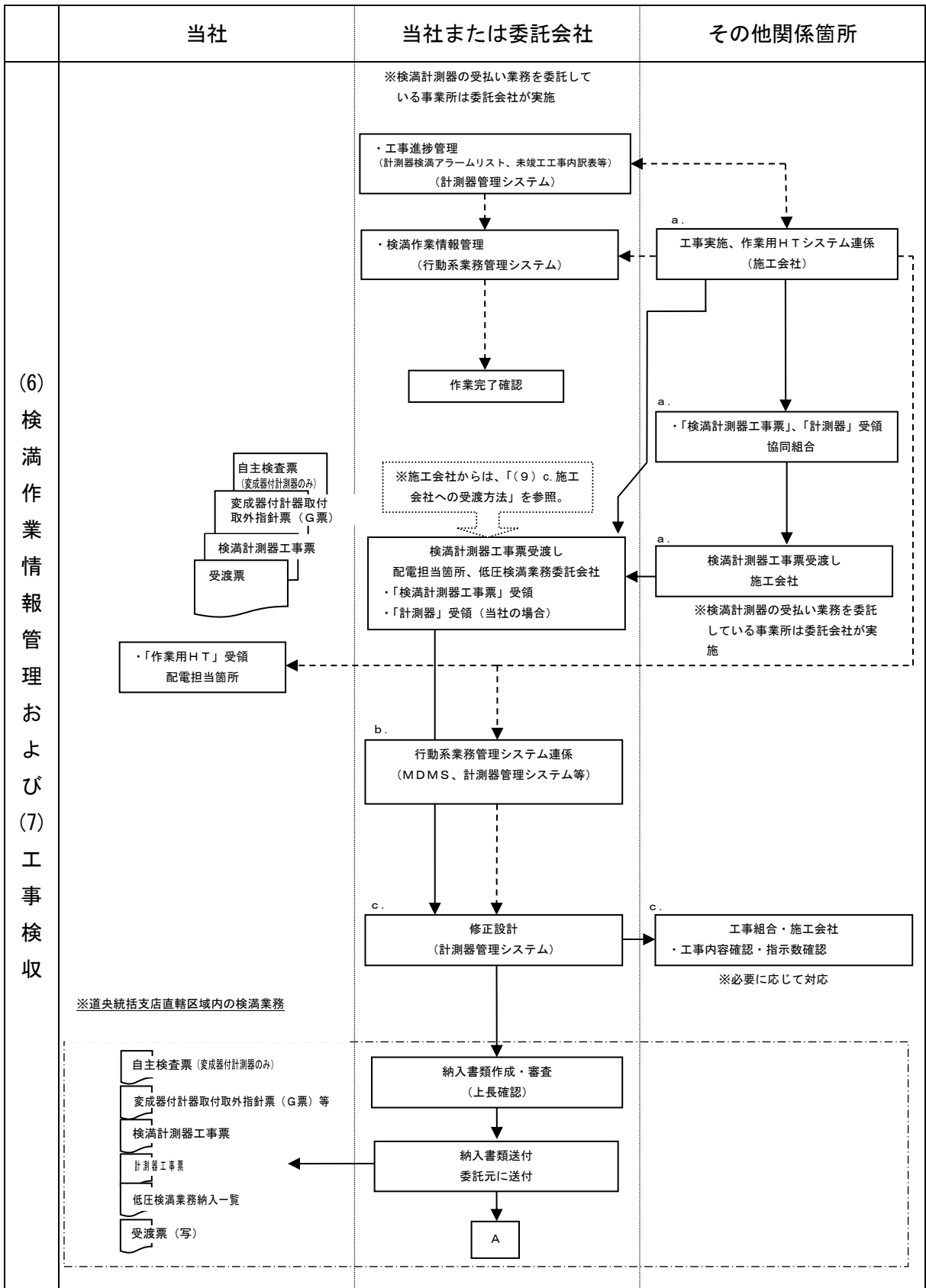
i. 上長は、工事検収完了後の工事竣工が可能な計測器工事設計について、g項の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「検収登録」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

j. 計測器の倉入れは、設計番号毎に工事終了後一括して行う。倉入れ計測器の連絡は、計測器管理システムより「計測器倉出・倉入合計票」を出力し上長回付後、本店倉庫の委託会社へメールで速やかに（最終は倉庫発送日の1営業日前まで）送付する。また、「計測器返納連絡書」（参考資料-15参照）を作成し、本店倉庫の委託会社へメールで速やかに（最終は倉庫発送日の2営業日前まで）送付する（「計測器返納連絡書」により、本店倉庫の委託会社が運送手配を行う）。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

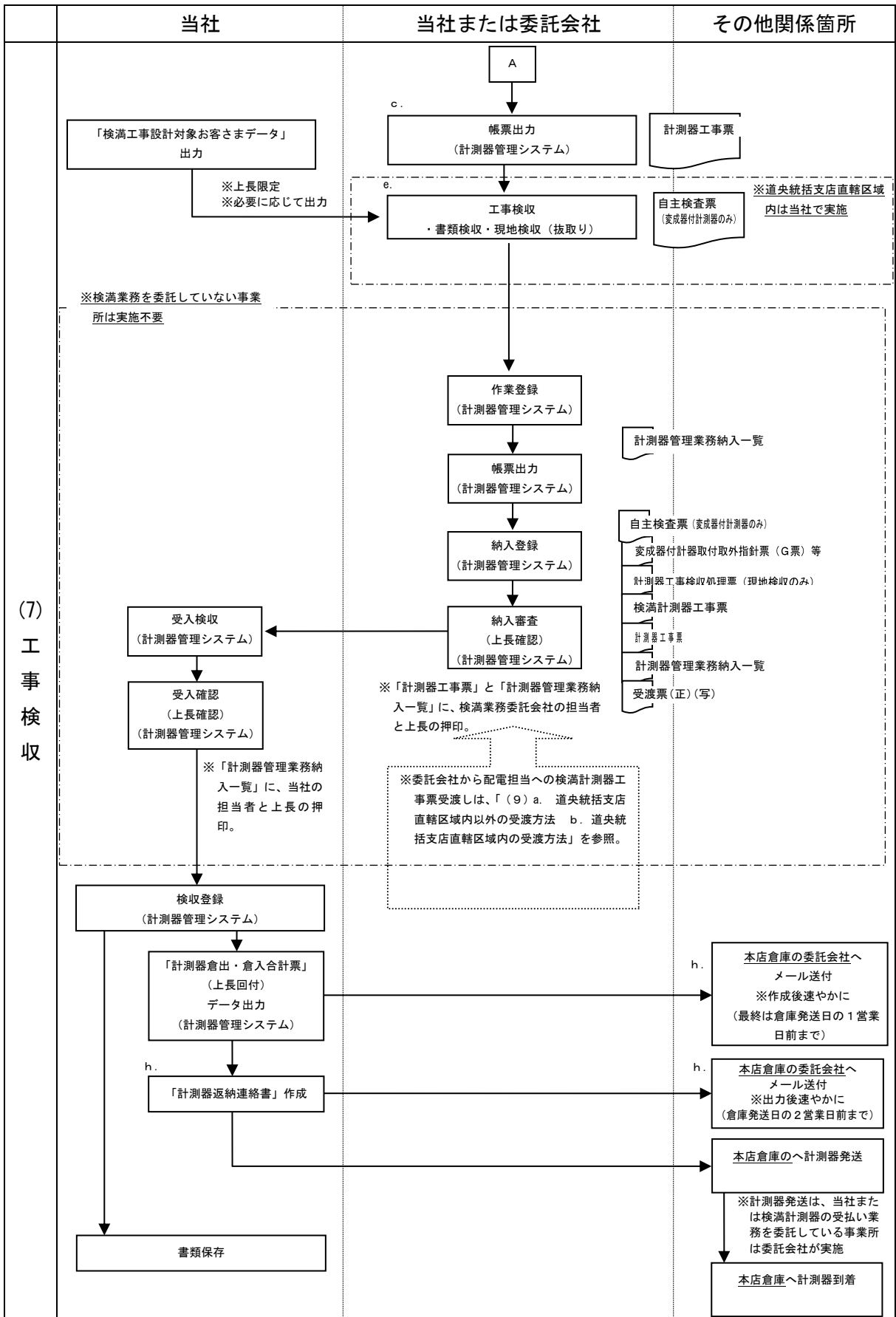
※「計測器倉出・倉入合計票」は、検満工事における計測器の移管書類であり、送付を怠ると移管されないことから、確実に送付する。

図 Ⅲ-2-6 (6) 検満作業情報管理および(7) 工事検収フロー





※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する。



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する。

(8) 工事検収（高圧検満）

- a. 検満計測器工事票および自主検査票は工事完了の都度、当社事業所（検満計測器の受払い業務を委託している場合は、委託会社）に持参してもらう（「検満計測器工事票」の施工会社への受け渡しは、後述「(9) 検満計測器工事票の受け渡し」による）。

なお、「検満計測器工事票」に貼付けされた計測器管理シール（QRコード付）が、施工前に事前に貼付け（先貼り）したものではなく、「検満計測器工事票」1枚毎に施工の都度、貼付けしたものであるかを施工会社から「検満計測器工事票」が返却されるごとに口頭で確認する。

※入り繰り防止の観点から「検満計測器工事票」への計測器管理シール（QRコード付）の貼付けは、事前に実施せず、「検満計測器工事票」1枚毎に施工の都度、貼付けることを徹底する。

配電担当箇所は、検満計測器工事票および検満計測器工事票 受渡票（施工会社用）をもとに工事不要分・工事取消分を確認する（工事不要分・工事取消分の取扱いは、「VII. 計測器関連業務 5. 未使用計測器（残材品等）の取扱い」による）。

※工事不要とは、検満工事を発注し工事会社が現地出向したが、現地の計器が不明、外壁工事により計器取替不能等、検満工事ができなかったもの。

※工事取消とは、検満工事実施承認後のお客さまで、検満工事前に異動および事故等で計器取替が必要となり、検満工事を取り消すもの。

配電担当箇所は、工事完了分の検満計測器工事票に取外計器の指示数（終針）、TSを取付した場合はTS設定ブロック略号等の記入があるか、撤去対象設備に対応する計測器管理シール（QRコード付）が貼付けされているか等、内容に誤りが無いことを確認する。ただし、検満計測器の受払い業務を委託している事業所については、委託会社が実施した倉出設備登録結果について検満計測器工事票の内容と計測器管理システムに登録されたデータを確認し、必要に応じて修正を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、検満倉出設備登録におけるQRコード読み取り時には、取付計器と取外計器の「相・線・電圧」をシステムチェックし、一致しない場合はエラーとなるため、エラー発生時には登録内容を確認の上、適正なデータにて処理を行う（当該エラーが発生した場合は、工事場所誤りの可能性が高いことから、確実に処理すること）。

- b. 配電担当箇所は、検満倉出設備登録完了後、計測器管理システムにより「取付完了設備連係」を行い、「取付完了設備連係」を行った検満計測器工事票はすみやかに料金担当箇所へ回付する（回付方法は後述「(9) 検満計測器工事票の受け渡し」による）。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、検満倉出設備登録された計測器データは、この処理によって計測器設備データベースに更新される。

- c. 検満計測器工事票が料金担当箇所から返付（返付方法は後述「(9) 検満計測器工事票の受け渡し」による）された後、検満計測器工事票に記載されている無停電の要否、割増の有無および工事不要手数料の有無を確認し、工事実施承認時との差異が発生した場合は、計測器管理システムにより設計番号毎に修正設計を行う。

なお、「検満計測器工事票」と当該設計で発行した「自主検査票」、「受渡票」一式は配電担当箇所にて5年間保存する。

- d. 配電担当箇所（決裁者）は当該設計に関連付いているお客さま情報の一覧が記載されている「検満工事設計対象お客さまデータ」（参考資料－3. 3－3（1）参照）を、当該設計の検満倉出設備登録完了後から工事検収の前までの期間、計測器管理システムにより出力することが可能となるため、必要に応じて出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- e. 配電担当箇所は検満工事の検収を行う。検満工事の検収方法は、次の2種類とする。

（a）書類検収

書類検収は、施工会社から返却された検満計測器工事票により行う。変成器付計測器の場合は、検満計測器工事票と自主検査票により書類検収を行う。書類検収の基本的な確認項目は、表 III－2－2による。また、取外計測器に添付された「変成器付計器取付取外指針票（G票）」^{（注6）}に記載されている、取付計測器の情報（お客さま名、乗率、定格一次電流（容量）、合番号等）をもとに、取付・取外計測器および計器と変成器の合番号、容量等の整合性についても確認する。

（注6）取付計測器に添付された「変成器付計器取付取外指針票（G票）」は、取外計測器にそのまま添付した状態で事業所倉庫に戻し入れすること。

表 III－2－2 書類検収項目

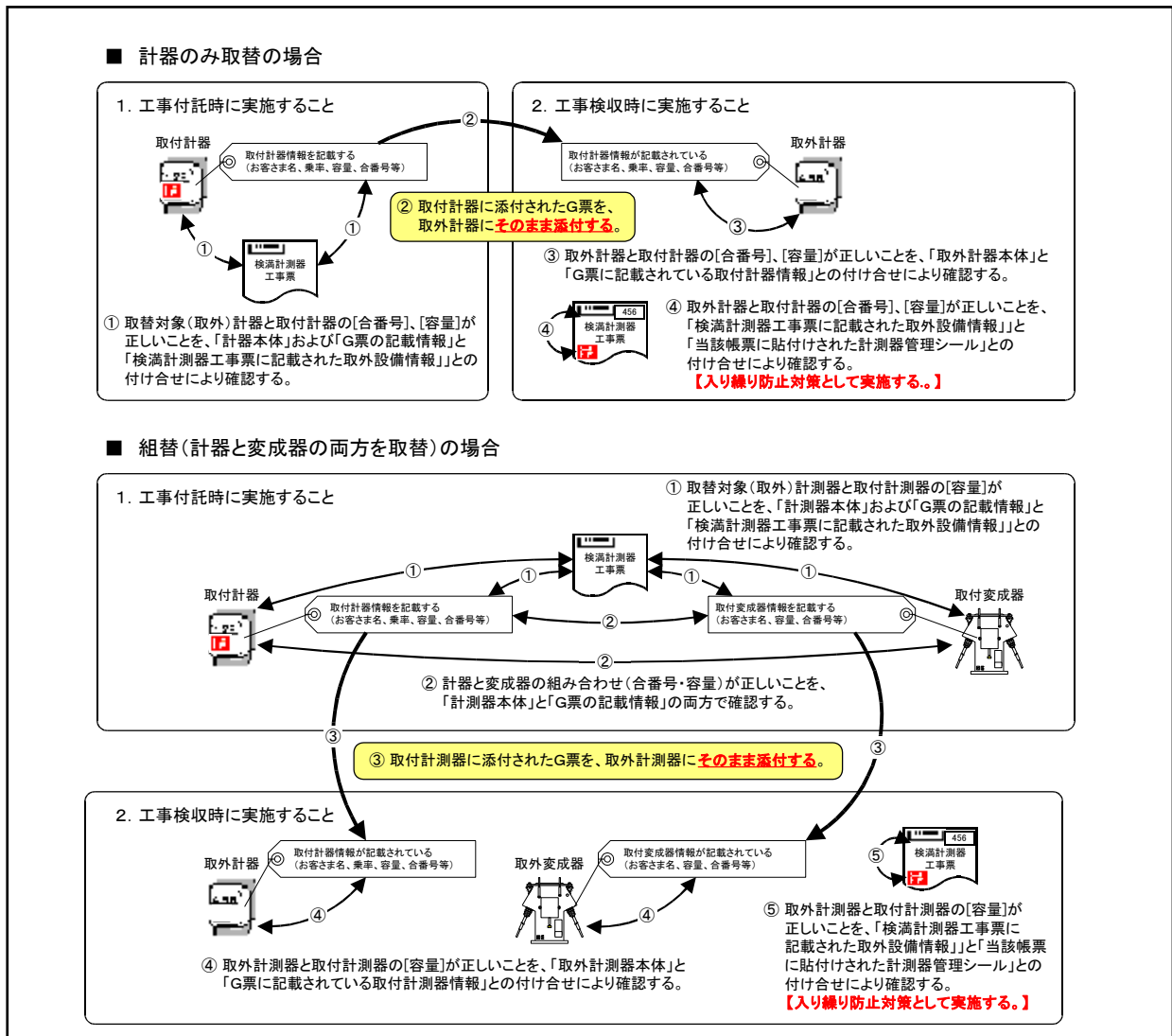
確認項目		確認内容
【計器】		
工事票	計器No	・検満計測器工事票に施工会社が記入した取付計器Noと計測器管理シール（QRコード付）の計器Noが一致しているか。
	相線電圧	・取外計器と取付計器の計測器管理シール（QRコード付）の相線電圧が一致しているか。
	容量	・取外計器と取付計器の計測器管理シール（QRコード付）の容量が一致しているか。
	合番号	・取外計器と取付計器の計測器管理シール（QRコード付）の合番号が一致しているか。
	指示数	・取外指示数が所定の欄に記入されているか。 （契約内容により、記入箇所に違いがあるので注意すること）
	検満年月	・施工年月が取外計器の検満年月を超過していないか。 （超過している場合は、協定が必要である）
自主検査票		・記載内容は適正か。（特に合番号および二次配線の接続状態（色の照合）に注意すること）

（次頁へ続く）

(表 III-2-2 書類検収項目の続き)

確認項目		確認内容
【変成器 (VCT・VT・CT)】		
工事票	相線電圧	・取外変成器と取付変成器の計測器管理シール (QRコード付) の相線電圧が一致しているか。
	合番号	・取外変成器と取付変成器の計測器管理シール (QRコード付) の合番号が一致しているか。
	容量	・取外変成器と取付変成器の計測器管理シール (QRコード付) の容量が一致しているか。
自主検査		・記載内容は適正か。(特に合番号および二次配線の接続状態 (色の照合) に注意すること)
【タイムスイッチ】		
工事票	容量	・取外TSと取付TSの計測器管理シール (QRコード付) の容量が一致しているか。
	通電・遮断時間	TS設定ブロックを使用した場合 ・使用したTS設定ブロックの略号が記入されているか。 ・TS設定ブロックと通電・遮断時間が一致しているか。
自主検査票		・記載内容は適正か。
【併用開閉器 (HAS/MC)】		
工事票	相線電圧	・取外併用開閉器と取付併用開閉器の計測器管理シール (QRコード付) の相線電圧が一致しているか。
	容量	・取外併用開閉器と取付併用開閉器の計測器管理シール (QRコード付) の容量が一致しているか。
自主検査票		・記載内容は適正か。
【通信端末】		
自主検査票		・記載内容は適正か。(特にVCT共用時の通信端末電源取得先の接続相に注意すること)
【その他】		
工事票	工事不要	工事不要の場合 該当する計測器の工事不要欄に記入されているか。

図 Ⅲ-2-7 取付・取外計測器および計器と変成器の合番号、容量等の整合性確認について



(b) 現地検収(抜取り)

高低圧の変成器付計測器を対象に実施する。抜取り方法は、高低圧の変成器付計測器を施工した工事会社毎(工事組合のみ)に年5%程度*を抜取り、現地検収を行う。

*施工件数の5%が1件に満たない場合においても、最低1件は現地検収を行う。

なお、現地検収は「自主検査票」により行う。

① 1次検収

抜取った工事の現地検収を実施する。

② 2次検収

抜取った工事に不良があった場合、施工会社は再度自主検査を行う。

なお、2次検収で不良があった場合は、文書による改修指示および指導を行い、当該工事が適合するまで2次検収を実施する。

f. 次の注意点を確認の上、当該設計の「工事検収」処理を行い、上長の確認を得る。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

《注意点》

- ① 工事対象箇所に対して確実に工事が実施されたか。
- ② 設計分の工事が確実に完了したか。
- ③ 工事発注分の「検満計測器工事票」が施工会社から全て返却されたか。
- ④ 検満倉出設備連系および料金担当箇所への「検満計測器工事票」の回付が漏れなく実施されているか。
- ⑤ 料金担当箇所に回付した「検満計測器工事票」が料金担当箇所から全て返却されたか。
- ⑥ 残材が発生した場合、その理由および工事不要手数料が設計に反映されているか。
- ⑦ 施工内容が工事設計に漏れなく反映されているか。
- ⑧ 施設された計測器の組合せ（合番号を含む）および単位物品数が適正であり、かつ、工事設計に漏れなく反映されているか。
- ⑨ 施工する際に、「自主検査票」による確認を実施しているか。
- ⑩ 負担金対象がある場合は、負担金請求漏れが無いのか。
- ⑪ 高圧精密級（容量100A以上）で一般検定品の対象となる場合があること。

g. 配電担当箇所は、上長へ検収登録（納入審査）を依頼する際、当該設計の全「検満計測器工事票」に加え、次の受渡票を添付し回付する。

検満工事設計箇所	添付する受渡票
配電担当・ 検満業務委託会社道央統 括支店直轄区域内外)	・[施工会社用・副] の写し、[施工会社用・正] ・[料金担当箇所用・副] の写し、[料金担当箇所用・正]
検満業務委託会社（道央 統括支店直轄区域内）	・[委託会社（道央統括支店直轄区域内）用・副（写）] の写 し、[委託会社（道央統括支店直轄区域内）用・正]

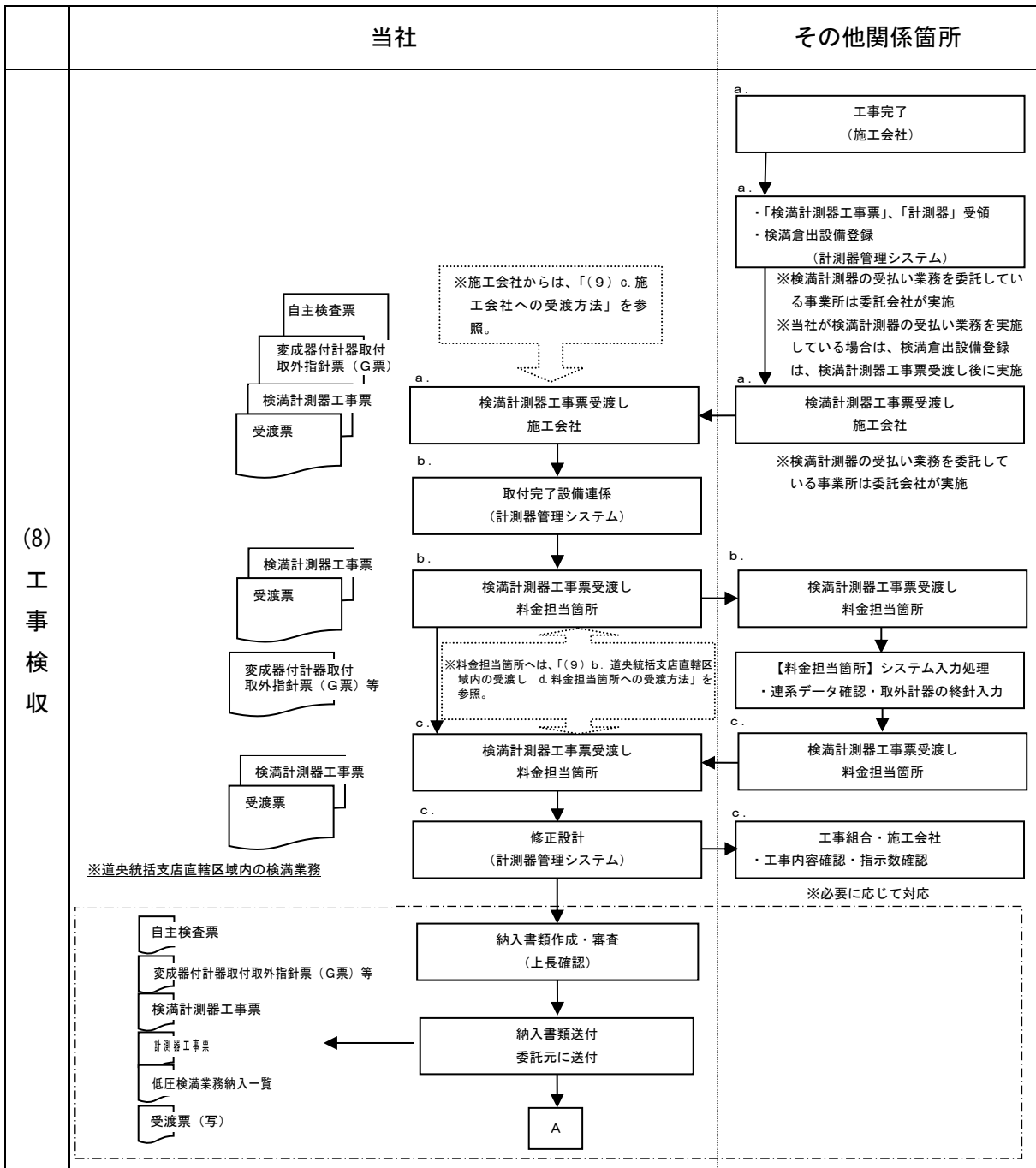
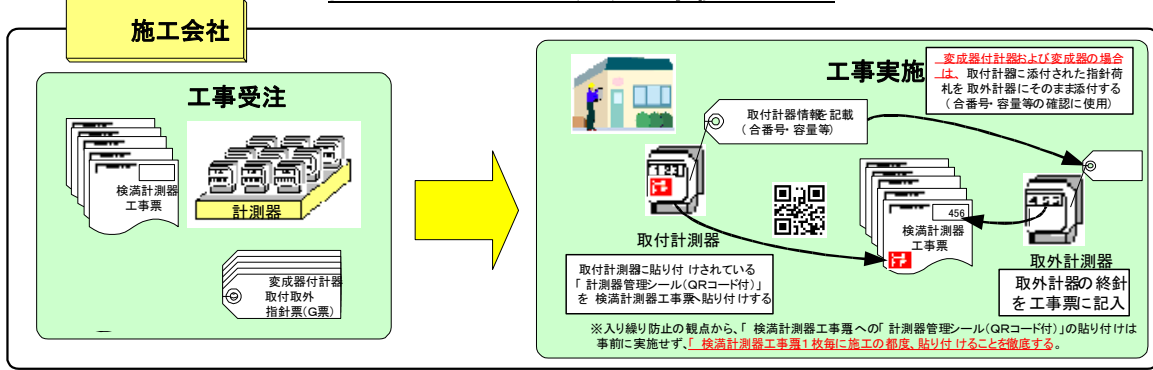
h. 上長は、工事検収完了後の工事竣工が可能な計測器工事設計について、f 項の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「検収登録」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

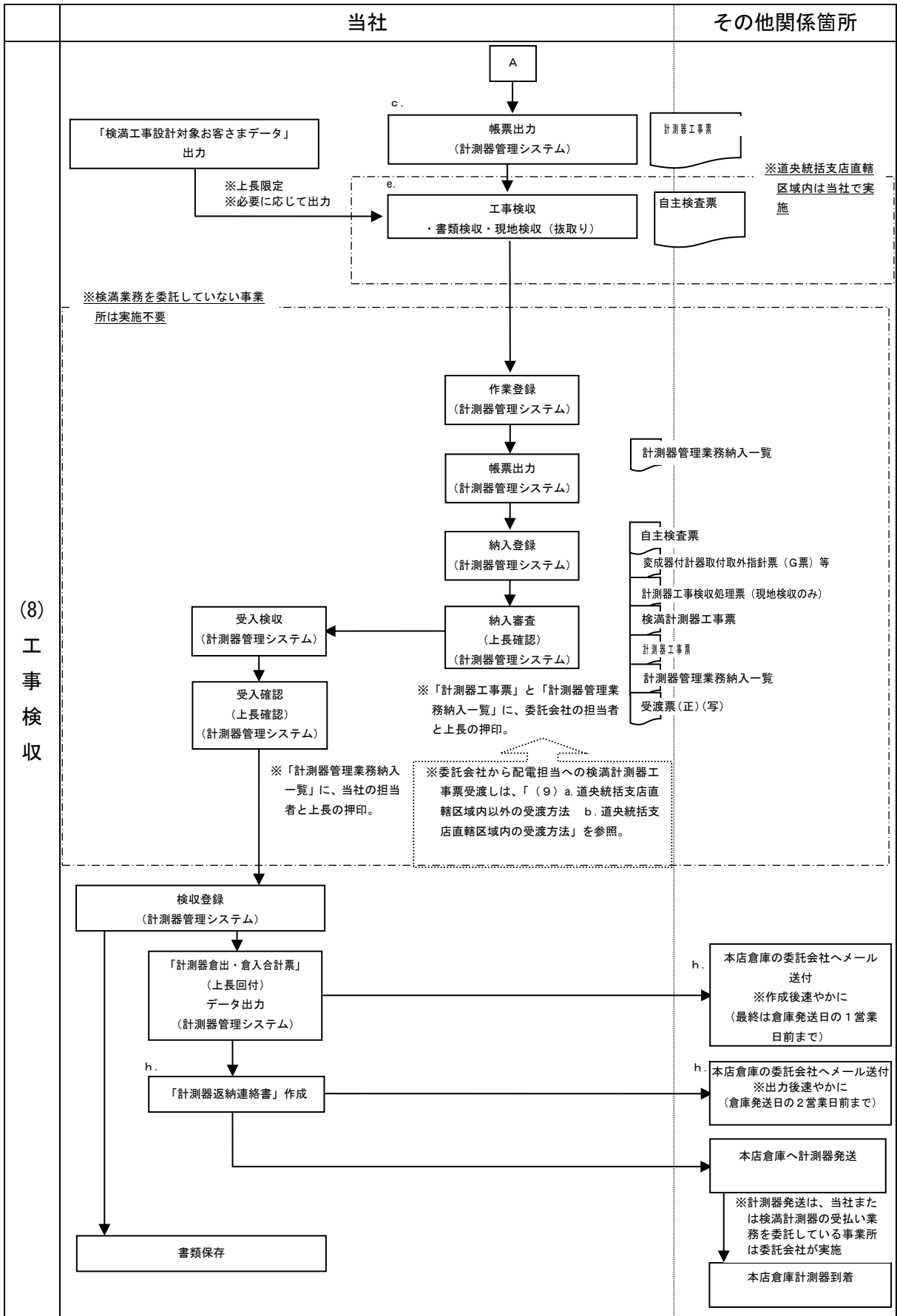
i. 計測器の倉入れは、設計番号毎に工事終了後一括して行う。倉入れ計測器の連絡は、計測器管理システムより「計測器倉出・倉入合計票」を出力し上長回付後、本店倉庫の委託会社へメールで速やかに（最終は倉庫発送日の1営業日前まで）送付する。また、「計測器返納連絡書」（参考資料-15参照）を作成し、本店倉庫の委託会社へメールで速やかに（最終は倉庫発送日の2営業日前まで）送付する（「計測器返納連絡書」により、本店倉庫の委託会社が運送手配を行う）。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

※「計測器倉出・倉入合計票」は、検満工事における計測器の移管書類であり、送付を怠ると移管されないことから、確実に送付する。

なお、当該設計書の検満倉出設備登録された計測器データで「検満倉出設備関係指示」が未処理のデータは、検収登録処理によって他システム関係されるとともに計測器設備データベースに更新される。

図 III-2-8 (8) 工事検収フロー





(9) 検満計測器工事票の受け渡し

「検満計測器工事票」(以下、「工事票」という)には個人情報に記載されていることから、紛失等がないよう、取扱いには十分な注意が必要である。また、適正業務の観点から、社外への工事票の受け渡しには「受渡票」を使用する。

なお、各受渡票は、1年間保存する。

a. 道央統括支店直轄区域内以外の受渡方法

(a) 工事票配送時

- ① 当社は「検満計測器工事票 受渡票 委託会社(道央統括支店直轄区域を除く)用」(以下、「受渡票(委託会社用)」という。)(参考資料-14(1)参照)を受渡単位に2部[正・副]作成<①②>*し、工事票を添付のうえ、配電受渡確認欄<③>に上長確認を得る。

* < >は受渡票の記入欄Noを示す。また、各欄に日付および自身の氏名を記入する場合、名入り日付印の押印にて記入を省略することができる。

- ② 上長確認後、以下の方法により検満業務委託会社へ「受渡票(委託会社用)」と工事票を受け渡す。受渡しは立会いのみとする。

受け渡しの内容
②-1 検満業務委託会社は「受渡票[正・副](委託会社用)」の記載内容(設計No、工事票合計受渡枚数)が正しいことを当社立会いのもと確認する。
②-2 検満業務委託会社は「受渡票[正・副](委託会社用)」の検満業務委託会社受領確認欄<④>に担当者の上長の確認を得て、「受渡票[副](委託会社用)」と工事票を受取る。

- ③ 「受渡票[正](委託会社用)」は当社にて一時保存し、「受渡票[副](委託会社用)」は検満業務委託会社が保存する。

(b) 工事検収後

- ① 検満業務委託会社は設計書単位に「受渡票[副](用)」に返付枚数<⑤>を記入し、「受渡票[副](委託会社用)の写し」を作成のうえ、「受渡票[副](委託会社用)」および「受渡票[副](委託会社用)の写し」の返付確認欄<⑤>に必要事項を記入する。
- ② 検満業務委託会社は、以下の方法により、当社へ工事検収後の提出書類に「受渡票[副](委託会社用)の写し」を添付し、返付する。受渡しは立会いのみとする。

受け渡しの内容
②-1 検満業務委託会社は、工事検収後の提出書類と「受渡票[副](委託会社用)の写し」を当社へ持参する。
②-2 当社は「受渡票[副](委託会社用)の写し」の記載内容(工事票合計返付枚数)が正しいことを確認し、配電受領確認欄<⑥>に押印(日付要)する。

- ③ 当社は「受渡票[副](委託会社用)の写し」の返付枚数を「受渡票[正](委託会社用)」に転記<⑤>し、検満業務委託会社へ受け渡した工事票が全数返付された事を確認する。

b. 道央統括支店直轄区域内の受渡方法

(a) 工事発注時

- ① 配電担当箇所は「検満計測器工事票 受渡票 委託会社(道央統括支店直轄区域内)」(以下、「受渡票」という)(参考資料-14(2)参照)を受渡単位に2部〔正・副〕作成<<①②③④>>し、工事票を添付のうえ、上長に回付し、確認後、受渡内容・方法確認欄<<④>>に上長確認を得る。

なお、必要事項の記入にあたっては、日付印を用いることで良い。

- ② 上長確認後、以下の方法により検満業務委託会社へ工事票を受け渡す。

立会いによる受け渡しの場合	送付による受け渡しの場合
<p>②-1 検満業務委託会社は「受渡票〔正・副〕」の記載内容(設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法)が正しいことを配電担当箇所立会いのもと確認する。</p> <p>②-2 配電担当箇所および検満業務委託会社は「受渡票〔正・副〕」の引渡・引受確認欄<<⑤>>に必要事項を記入し、配電担当箇所は「受渡票〔正〕」、検満業務委託会社は「受渡票〔副〕」と工事票を受取る。 施工会社は「受渡票〔副〕」の引渡・引受確認欄<<⑤>>に上長の確認を得る。</p>	<p>②-1 配電担当箇所は「受渡票〔正・副〕」の引渡発送欄<<⑥>>に必要事項を記入し、「受渡票〔副〕」と工事票を検満業務委託会社へ送付*した後、送付連絡をする。 ※梱包後、封印する。</p> <p>②-2 送付連絡後、配電担当箇所は「受渡票〔正〕」の引渡発送連絡日欄<<⑦>>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 検満業務委託会社は送付された「受渡票〔副〕」が到着次第、記載内容(設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法)が正しいことを確認し、「受渡票〔副〕」の受領欄<<⑦>>に必要事項を記入し、上長の確認を得る。</p> <p>②-4 検満業務委託会社は工事票の引受確認後、配電担当箇所に受領連絡を行い、検満業務委託会社は「受渡票〔副〕」の引受連絡欄<<⑧>>、配電担当箇所は「受渡票〔正〕」の引受連絡欄<<⑧>>に必要事項を記入する。</p>

- ③ 「受渡票〔正〕」は配電担当箇所、「受渡票〔副〕」は検満業務委託会社が保存する。

(b) 工事完了後(低圧検満の場合)

- ① 検満業務委託会社は配電担当箇所に工事票を受け渡す都度、「受渡票〔副〕」の写しを作成する。

検満業務委託会社は、設計書単位に「受渡票 [副]」に受渡数等欄<⑩>、「受渡票 [副] (写)」の受渡数等欄<⑩>、受渡方法・場所等欄<⑫⑬⑭>に必要事項を記入し、「受渡票 [副] (写)」の写しを作成する。

② 検満業務委託会社は、以下の方法により、配電担当箇所へ工事票を受け渡す。

持参による返付の場合	送付による返付の場合
<p>②-1 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」およびこの写しの受渡欄<⑮>を記入し、工事票とともに配電担当箇所へ持参する。</p> <p>②-2 配電担当箇所は「受渡票 [副] (写)」およびこの写しの記載内容(受渡方法、工事票合計返付枚数)が正しいことを確認し、「受渡票 [副] (写)」およびこの写しの受渡欄<⑮>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 配電担当箇所は「受渡票 [副] (写)」の写しを「受渡票 [副]」として受領し、「受渡票 [副] (写)」を検満業務委託会社に返却する。</p>	<p>②-1 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」およびこの写しの引渡発送欄<⑯>に必要事項を記入し、「受渡票 [副] (写)」の写しを工事票に添付し配電担当箇所へ送付*する。 *梱包後、封印する。</p> <p>②-2 送付連絡後、検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」の引渡連絡欄<⑰>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 配電担当箇所は送付された「受渡票 [副] (写)」の写しを記載内容(受渡方法、工事票合計返付枚数)が正しいことを確認後、検満業務委託会社に引受連絡を行い、「受渡票 [副] (写)」の写しの引受連絡欄<⑱>に必要事項を記入する。</p> <p>②-4 検満業務委託会社は配電担当箇所からの引受連絡受領後、「受渡票 [副] (写)」の<⑱>に必要事項を記入する。</p>

③ 配電担当箇所は、「受渡票 [副] (写)」の写しを一時保管し、「受渡票 [正]」の受渡履歴欄<⑨>に配電担当箇所が受領した枚数等の必要事項を記入する。但し、受渡履歴欄<⑨>の料金引受日欄については、別途行動系業務管理システムで管理していることから記入不要とする。

④ 検満業務委託会社は受渡票単位の工事票の全てを配電担当に引渡した後、「受渡票 [副]」の受渡枚数合計欄<⑪>および全数引渡完了欄<⑲>に必要事項を記入し、全数引渡完了欄<⑲>に上長の確認を得る。

確認後、検満業務委託会社が持参する「受渡票 [副] (写)」および配電担当箇所が保管している「受渡票 [副] (写)」の写しの内容を確認し、配電担当箇所は返付欄<⑳>に必要事項を記入し、配電担当箇所は工事票の返付を受ける。

配電担当箇所は検満業務委託会社から工事票の返付を受けた後、「受渡票 [正]」の受渡履歴の配電受領日<⑨>に必要事項を記入し、受渡票単位に全ての工事票が返付された場合、「工事票 [正]」の全数返付欄<⑩>に必要事項を記入し、上長の確認を得る。

(c) 工事完了後（高圧検満の場合）

- ① 検満業務委託会社は料金担当箇所にて工事票を受け渡す都度、「受渡票 [副]」の写しを作成し、料金担当送付欄<⑨>をチェックして「受渡票 [副] (写)」を作成する。
 検満業務委託会社は、設計書単位に「受渡票 [副]」に受渡数等欄<⑩>、「受渡票 [副] (写)」の受渡数等欄<⑩>、受渡方法・場所等欄<⑫⑬⑭>に必要事項を記入し、「受渡票 [副] (写)」の写しを作成する。
- ② 検満業務委託会社は、以下の方法により、料金担当箇所へ工事票を受け渡す。

持参による返付の場合	送付による返付の場合
<p>②-1 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」およびこの写し^(注7)の受渡欄<⑮>を記入し、工事票とともに料金担当箇所へ持参する。 <small>(注7)「受渡票 [副] (料金担当用)」と表記する。</small></p> <p>②-2 料金担当箇所は「受渡票 [副] (写)」およびこの写し^(注7)の記載内容(受渡方法、工事票合計返付枚数)が正しいことを確認し、「受渡票 [副] (写)」およびこの写し^(注7)の受渡欄<⑮>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 料金担当箇所は「受渡票 [副] (写)」の写し^(注7)を「受渡票 [副] (料金担当用)」として受領し、「受渡票 [副] (写)」を検満業務委託会社に返却する。</p> <p>②-4 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」の写しを配電担当箇所に提出する。</p>	<p>②-1 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」およびこの写し^(注7)の引渡発送欄<⑯>に必要事項を記入し、「受渡票 [副] (写)」の写し^(注7)と工事票を料金担当箇所へ送付[*]し、料金担当箇所へ送付連絡をする。 <small>※梱包後、封印する。</small></p> <p>②-2 送付連絡後、検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」の引渡連絡欄<⑰>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 料金担当箇所は送付された「受渡票 [副] (写)」の写し^(注7)を記載内容(受渡方法、工事票合計返付枚数)が正しいことを確認後、検満業務委託会社に引受連絡を行い、「受渡票 [副] (写)」の写し^(注7)の引受連絡欄<⑱>に必要事項を記入し、受渡票 [副]として一時保管する。</p> <p>②-4 検満業務委託会社は料金担当箇所からの引受連絡受領後、「受渡票 [副] (写)」の<⑱>に必要事項を記入する。</p> <p>②-4 検満業務委託会社は「受渡票 [副] (写)」の写しを配電担当箇所に送付する。</p>

- ③ 配電担当箇所は、「受渡票 [副] (写)」の写しを一時保管し、「受渡票 [正]」の受渡履歴<⑨>に料金担当箇所への引渡結果を記入する。
- ④ 検満業務委託会社は受渡票単位の工事票の全てを料金担当箇所に引渡した後、「受渡票 [副]」の受渡枚数合計欄<⑪>および全数引渡完了欄<⑲>に必要事項を記入し、全数引渡完了欄<⑲>に上長の確認を得る。

⑤ 料金担当箇所はシステム入力 completed した後、工事票および「受渡票 [副] (料金担当用)」の写しを配電担当箇所に持参し、立会の上で工事票を確認する。

確認後、料金担当箇所が持参する「受渡票 [副] (料金担当用)」の写しおよび配電担当箇所が保管している「受渡票 [副] (写)」の写しの内容を確認し、双方で返付欄 <⑩> に必要事項を記入し、配電担当箇所は工事票の返付を受ける。

配電担当箇所は料金担当箇所から工事票の返付を受けた後、「受渡票 [正]」の受渡履歴の配電受領日 <⑨> に必要事項を記入し、受渡票単位に全ての工事票が返付された場合、「工事票 [正]」の全数返付欄 <⑩> に必要事項を記入し、上長の確認を得る。

c. 施工会社^(注8)への受渡方法

(注8) 検満計測器の受払業務を委託している場合は、委託会社とする。

(a) 工事発注時

① 配電担当箇所は「検満計測器工事票 受渡票 施工会社用」(以下、「受渡票 (施工会社用)」という) (参考資料-14(3)参照) を工事設計書単位に2部 [正・副] 作成 <①②③> し、工事票を添付のうえ、配電受渡確認欄 <④> に上長確認を得る。

② 上長確認後、以下の方法により施工会社へ「受渡票 (施工会社用)」と工事票を受け渡す。

立会いによる受け渡しの場合	送付による受け渡しの場合
<p>②-1 施工会社は「受渡票 [正・副] (施工会社用)」の記載内容 (設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法) が正しいことを配電担当箇所立会いのもと確認する。</p> <p>②-2 施工会社は「受渡票 [正・副] (施工会社用)」の施工会社受領確認欄 <⑤> に記入・押印 (サイン可) し、「受渡票 [副] (施工会社用)」と工事票を受取る。</p>	<p>②-1 配電担当箇所は「受渡票 [正・副] (施工会社用)」の送付確認欄 <⑥> に必要事項を記入し、「受渡票 [副] (施工会社用)」と工事票を施工会社へ送付[*]した後、施工会社へ送付連絡をする。 <small>※梱包後、封印する。</small></p> <p>②-2 送付連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (施工会社用)」の送付連絡確認欄 <⑦> に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 施工会社は送付された「受渡票 [副] (施工会社用)」が到着次第、記載内容 (設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法) が正しいことを確認し、配電担当箇所へ受領連絡をする。</p> <p>②-4 受領連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (施工会社用)」、施工会社は「受渡票 [副] (施工会社用)」の受領連絡確認欄 <⑧> に必要事項を記入する。</p>

③ 「受渡票 [正] (施工会社用)」は配電担当箇所にて一時保存し、「受渡票 [副] (施工会社用)」は施工会社が保存する。

(b) 工事完了後

- ① 施工会社は「受渡票 [副] (施工会社用)」に必要事項<⑨>を記入し、「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」を作成のうえ、「受渡票 [副] (施工会社用)」および「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」の返付確認欄<⑩>に必要事項を記入する。

なお、分割返付の場合は、最終返付時に返付枚数の合計<⑨>を記入し、受渡枚数と合致していることを確認する。

- ② 施工会社は、以下の方法により、配電担当箇所へ「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」と工事票を返付する。

持参による返付の場合	送付による返付の場合
<p>②-1 施工会社は「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」と工事票を配電担当箇所へ持参する。</p> <p>②-2 配電担当箇所は「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」の記載内容 (受渡方法、工事票合計返付枚数) が正しいことを確認し、配電受領確認欄<⑬>に押印 (日付要) する。</p>	<p>②-1 施工会社は、「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」と工事票を配電担当箇所へ送付*した後、配電担当箇所へ送付連絡をする。 ※梱包後、封印する。</p> <p>②-2 送付連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (施工会社用)」、施工会社は「受渡票 [副] (施工会社用)」の送付連絡確認欄<⑪>に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 配電担当箇所は送付された「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」が到着次第、記載内容 (受渡方法、工事票合計返付枚数) が正しいことを確認し、配電受領確認欄<⑬>に押印 (日付要) した後、施工会社へ受領連絡をする。</p> <p>②-4 受領連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (施工会社用)」、施工会社は「受渡票 [副] (施工会社用)」の受領連絡確認欄<⑫>に必要事項を記入する。</p>

- ③ 配電担当箇所は、「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」の返付内容を「受渡票 [正] (施工会社用)」に転記<⑨>し、全数返付となるまで一時保存する。

- ④ 施工会社から返付された工事票は料金担当箇所へ回付する [高圧検満の場合]。受渡方法は、後述「d. 料金担当箇所への受渡方法」による。

- ⑤ 施工会社へ受け渡した工事票が全数返付されたら、配電担当箇所は「受渡票 [正] (施工会社用)」の配電完了確認欄<⑭>に押印 (日付要) し、「受渡票 [副] (施工会社用) の写し」を全数添付のうえ、上長確認を得る。

d. 料金担当箇所への受渡方法

作業用HTを未使用の場合は、配電担当箇所から料金担当箇所に工事票を次のとおり受渡しする。

(a) 料金担当箇所への受渡時

- ① 配電担当箇所は「検満計測器工事票 受渡票 料金担当箇所用」(以下、「受渡票(料金担当箇所用)」という。)(参考資料-14(4)参照)を工事設計書単位に2部〔正・副〕を作成<①②③>し、帳票種別毎に仕分けされた状態の工事票を添付のうえ、配電受渡確認欄<④>に上長確認を得る。
- ② 上長確認後、以下の方法により料金担当箇所へ「受渡票(料金担当箇所用)」と「工事票」を受け渡す。なお、高圧検満の場合は原則1週間以内(当月工事分は月末最終営業日の前日まで)に送付すること。

持参による受け渡しの場合	送付による受け渡しの場合
②-1 配電担当箇所は料金担当箇所へ「受渡票〔正・副〕(料金担当箇所用)」と工事票を持参する。	②-1 配電担当箇所は「受渡票〔正・副〕(料金担当箇所用)」の送付確認欄<⑥>に必要事項を記入し、「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」と工事票を料金担当箇所へ送付*した後、料金担当箇所へ送付連絡をする。 *梱包後、封印する。
②-2 料金担当箇所は、「受渡票〔正・副〕(料金担当箇所用)」の記載内容(設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法)が正しいことを確認する。	②-2 送付連絡後、配電担当箇所は「受渡票〔正〕(料金担当箇所用)」の送付連絡確認欄<⑦>に必要事項を記入する。
②-3 料金担当箇所は、「受渡票〔正・副〕(料金担当箇所用)」の料金担当箇所受領確認欄<⑤>に記入・押印(サイン可)する。	②-3 料金担当箇所は送付された「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」が到着次第、記載内容(設計No、工事票合計受渡枚数、受渡方法)が正しいことを確認し、配電担当箇所へ受領連絡をする。
	②-4 受領連絡後、配電担当箇所は「受渡票〔正〕(料金担当箇所用)」、料金担当箇所は「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」の受領連絡確認欄<⑧>に必要事項を記入する。

- ③ 「受渡票〔正〕(料金担当箇所用)」は配電担当箇所が一時保存し、「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」は料金担当箇所が保存する。

(b) 料金担当箇所からの返付時

- ① 料金担当箇所は、システム入力後に「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」に必要事項<⑨>を記入し、「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)の写し」を作成のうえ、「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)」および「受渡票〔副〕(料金担当箇所用)の写し」の返付確認欄<⑩>に必要事項を記入する。

- ② 料金担当箇所は、以下の方法により、配電担当箇所へ「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」と「工事票」を返付する。

持参による返付の場合	送付による返付の場合
<p>②-1 料金担当箇所は「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」と工事票を配電担当箇所へ持参する。</p> <p>②-2 配電担当箇所は「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」の記載内容 (受渡方法、工事票合計返付枚数) が正しいことを確認し、配電受領確認欄 ≪⑬≫ に押印 (日付要) する。</p>	<p>②-1 料金担当箇所は、「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」と工事票を配電担当箇所へ送付*した後、配電担当箇所へ送付連絡をする。 ※梱包後、封印する。</p> <p>②-2 送付連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (料金担当箇所用)」、料金担当箇所は「受渡票 [副] (料金担当箇所用)」の送付連絡確認欄 ≪⑪≫ に必要事項を記入する。</p> <p>②-3 配電担当箇所は送付された「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」が到着次第、記載内容 (受渡方法、工事票合計返付枚数) が正しいことを確認し、配電受領確認欄 ≪⑬≫ に押印 (日付要) した後、料金担当箇所へ受領連絡をする。</p> <p>②-4 受領連絡後、配電担当箇所は「受渡票 [正] (料金担当箇所用)」、料金担当箇所は「受渡票 [副] (料金担当箇所用)」の受領連絡確認欄 ≪⑫≫ に必要事項を記入する。</p>

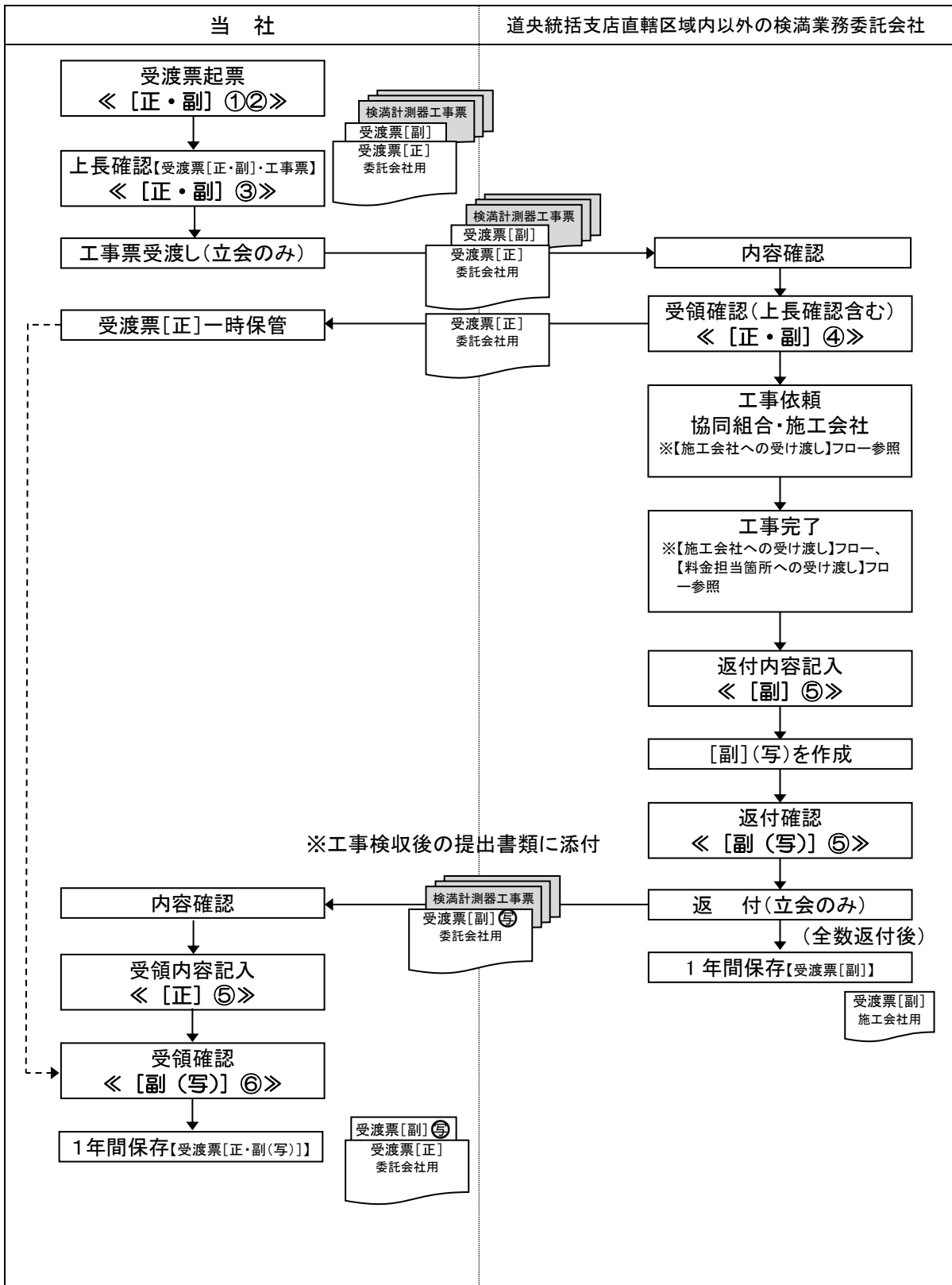
- ③ 配電担当箇所は「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」の返付内容を「受渡票 [正] (料金担当箇所用)」に転記 ≪⑨≫ し、料金担当箇所へ受け渡した工事票が全数返付された事を確認する。

- ④ 確認後、「受渡票 [正] (料金担当箇所用)」の配電完了確認欄 ≪⑬≫ に押印 (日付要) し、「受渡票 [副] (料金担当箇所用) の写し」および工事票を添付のうえ、上長確認を得る。

検満計測器工事票の受け渡しフロー

【道央統括支店直轄区域内以外の受け渡し（立会のみ）】

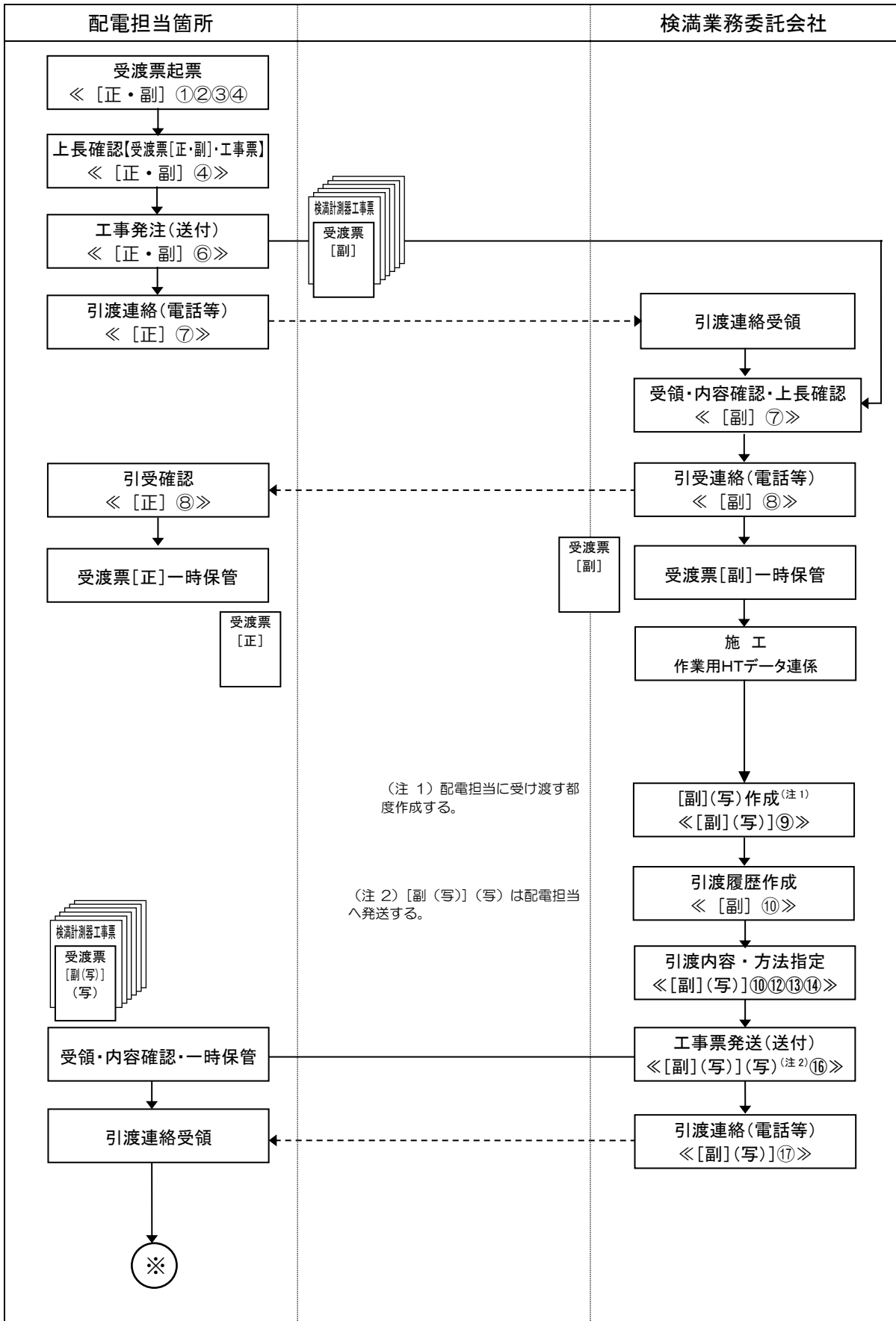
※《 》は各処理における受渡票への記入欄N○を示す

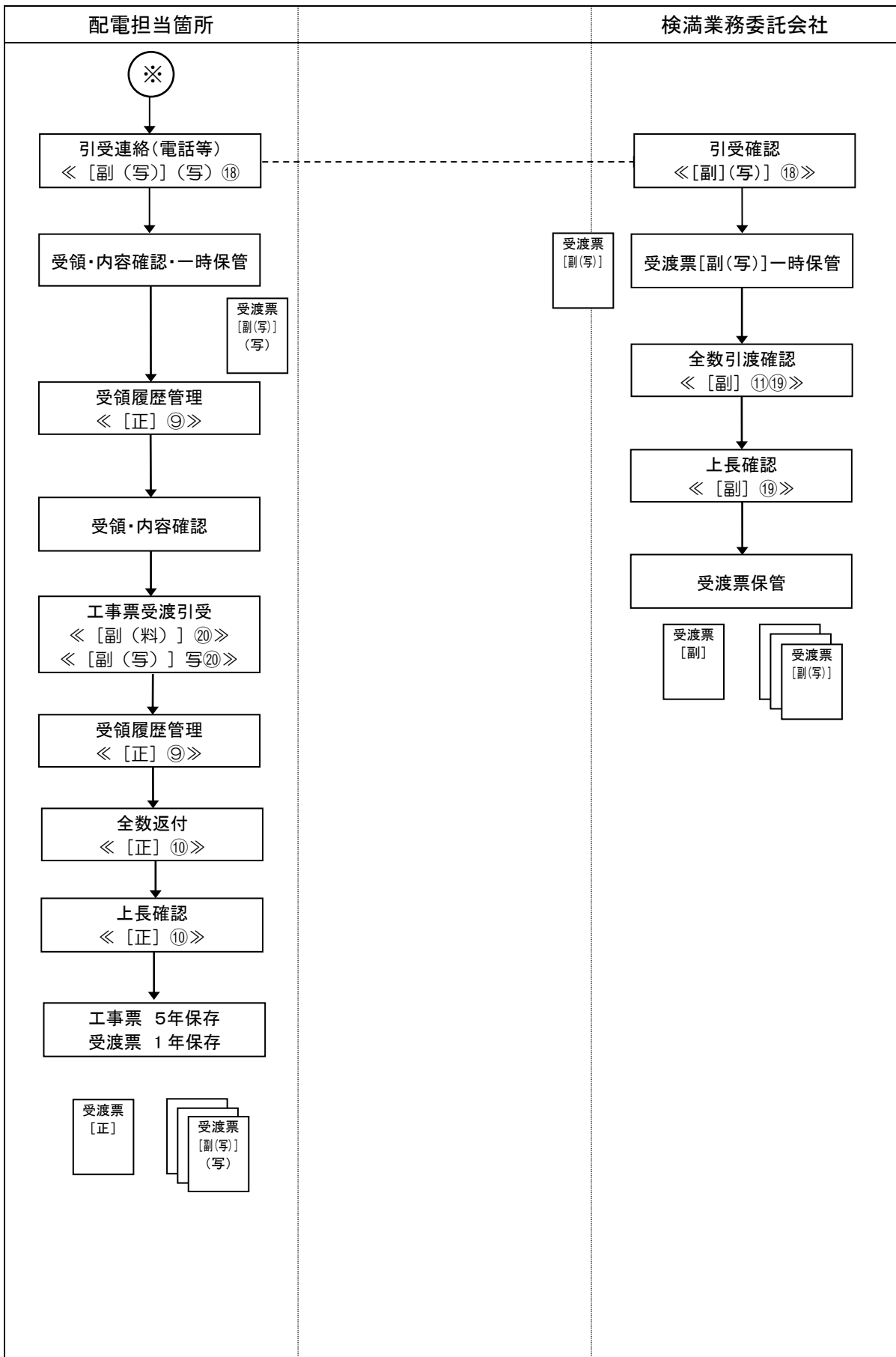


【道央統括支店直轄区域内の受け渡し（送付の場合）】

◆低圧検満の場合

※ <<>>は各処理における受渡票への記入欄Noを示す

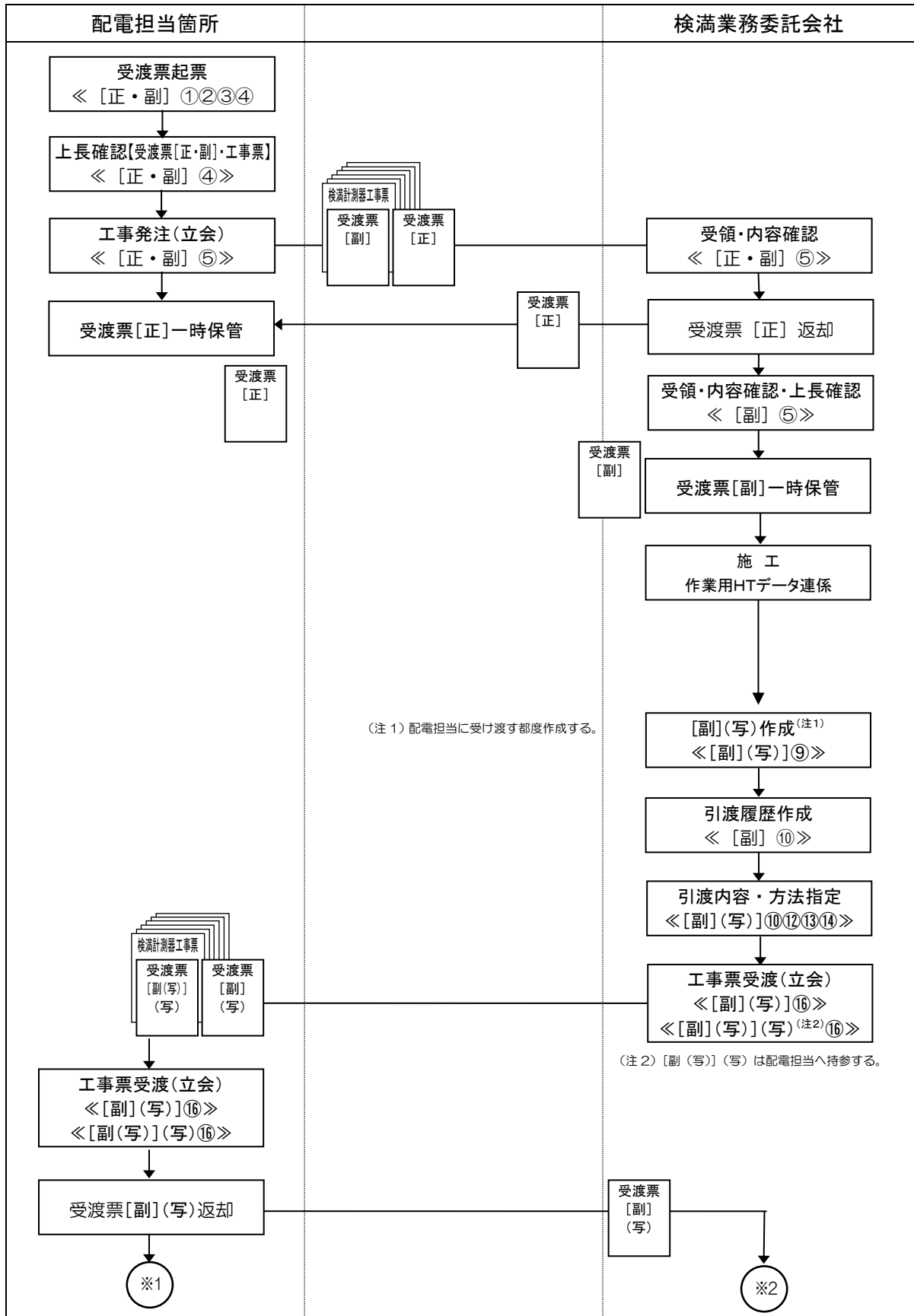


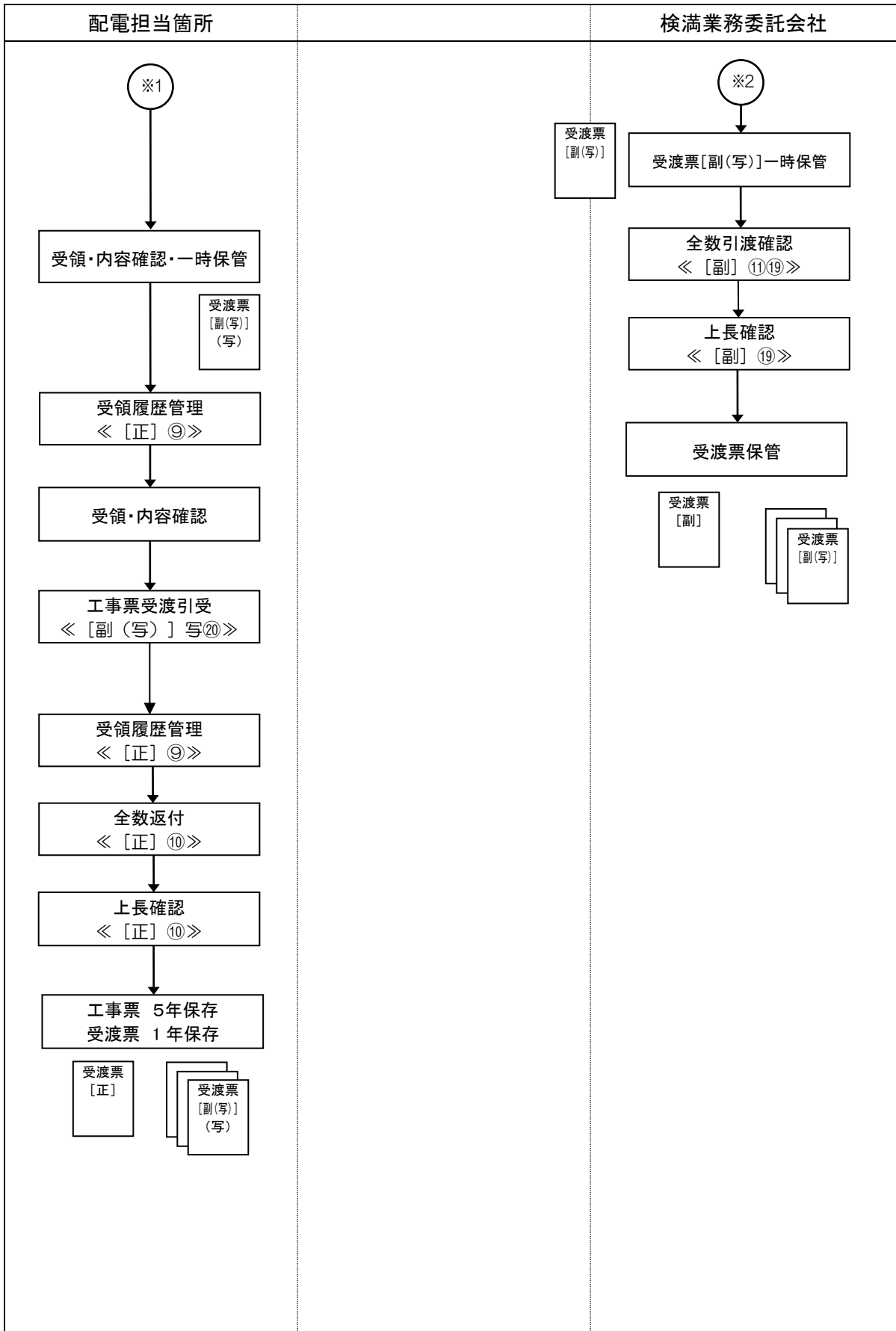


【道央統括支店直轄区域内の受け渡し（立会の場合）】

◆低圧検満の場合

※ 《 》は各処理における受渡票への記入欄N oを示す

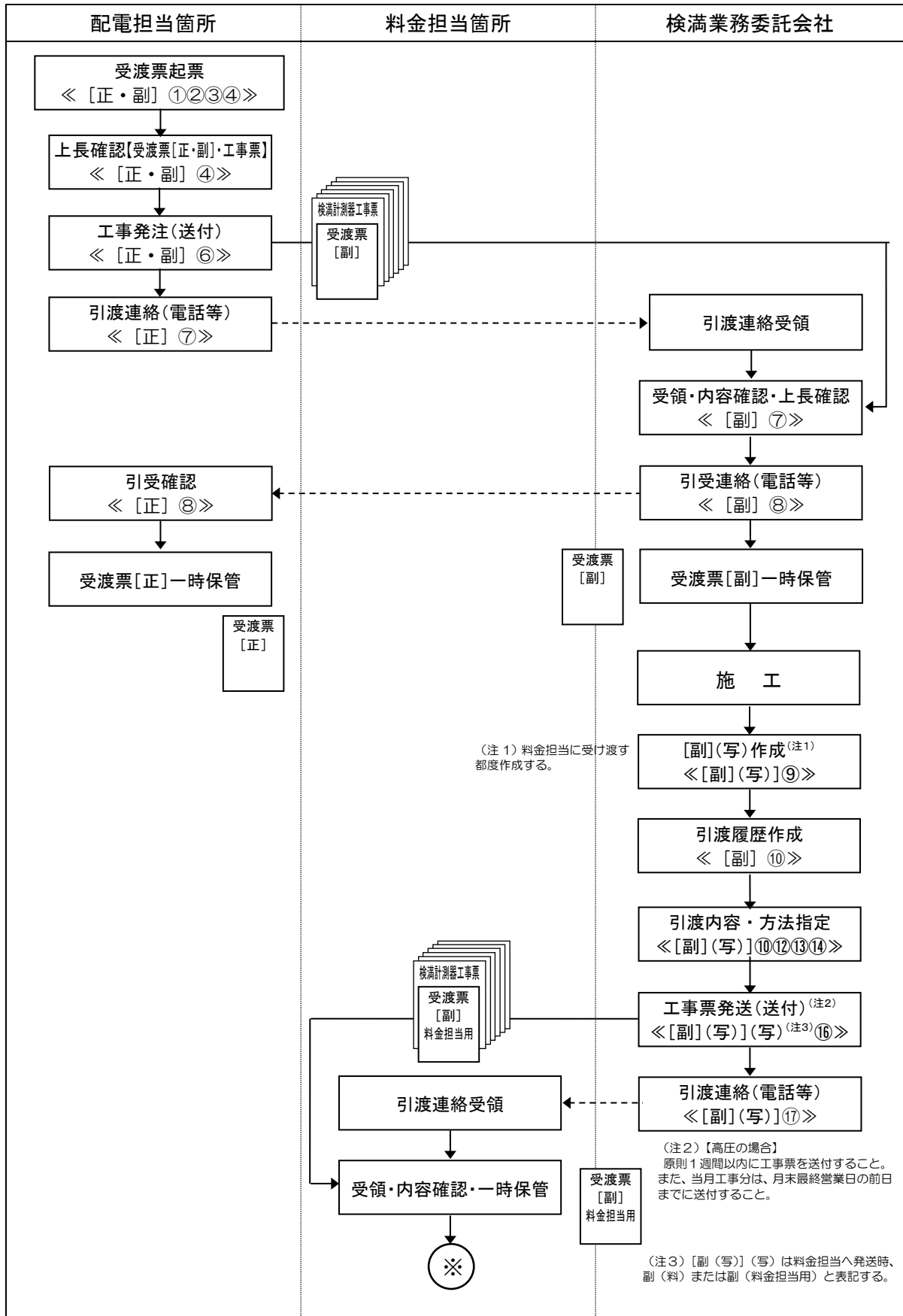


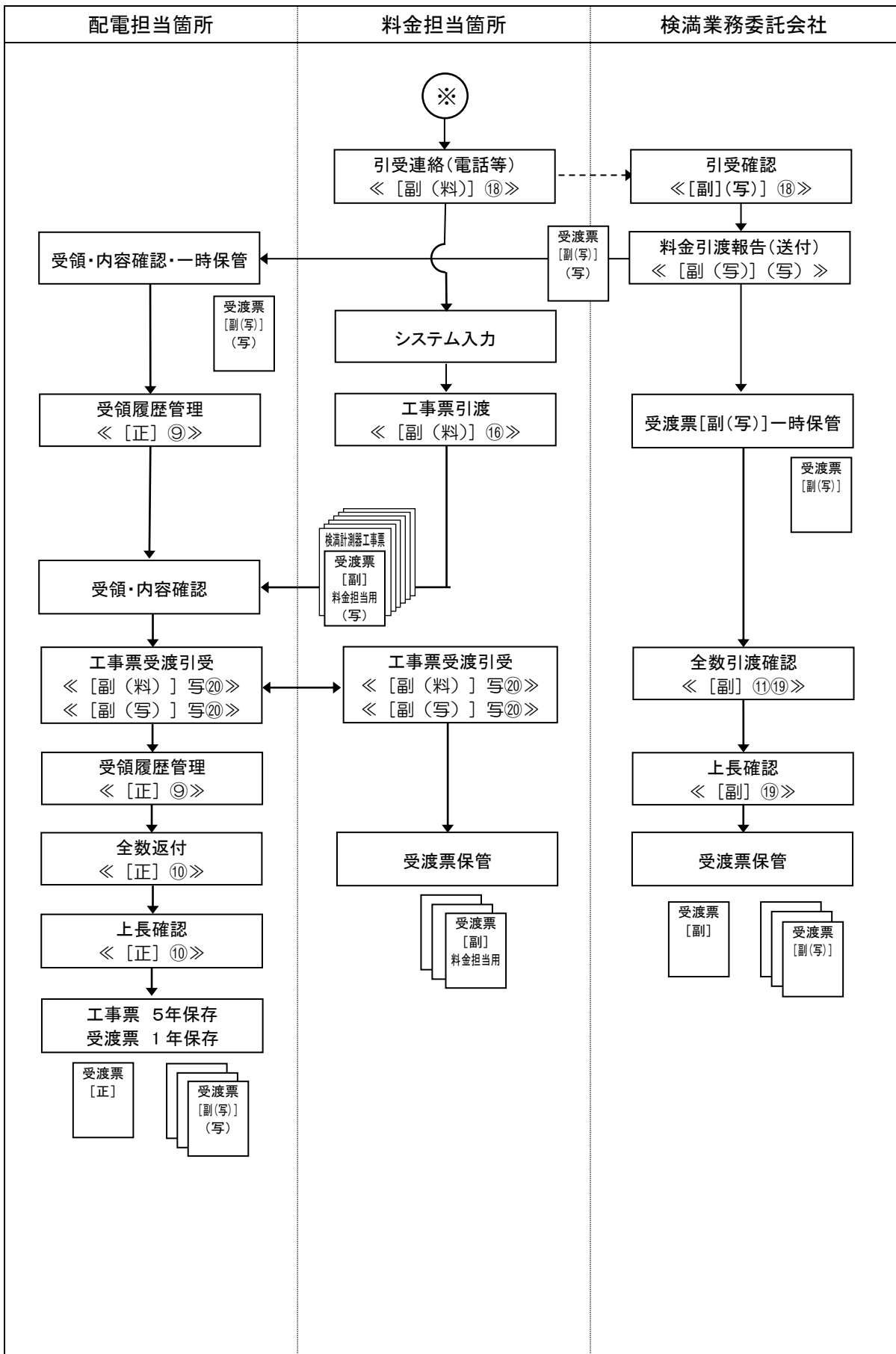


【道央統括支店直轄区域内の受け渡し（送付の場合）】

◆高圧検満の場合

※ <<>>は各処理における受渡票への記入欄N oを示す

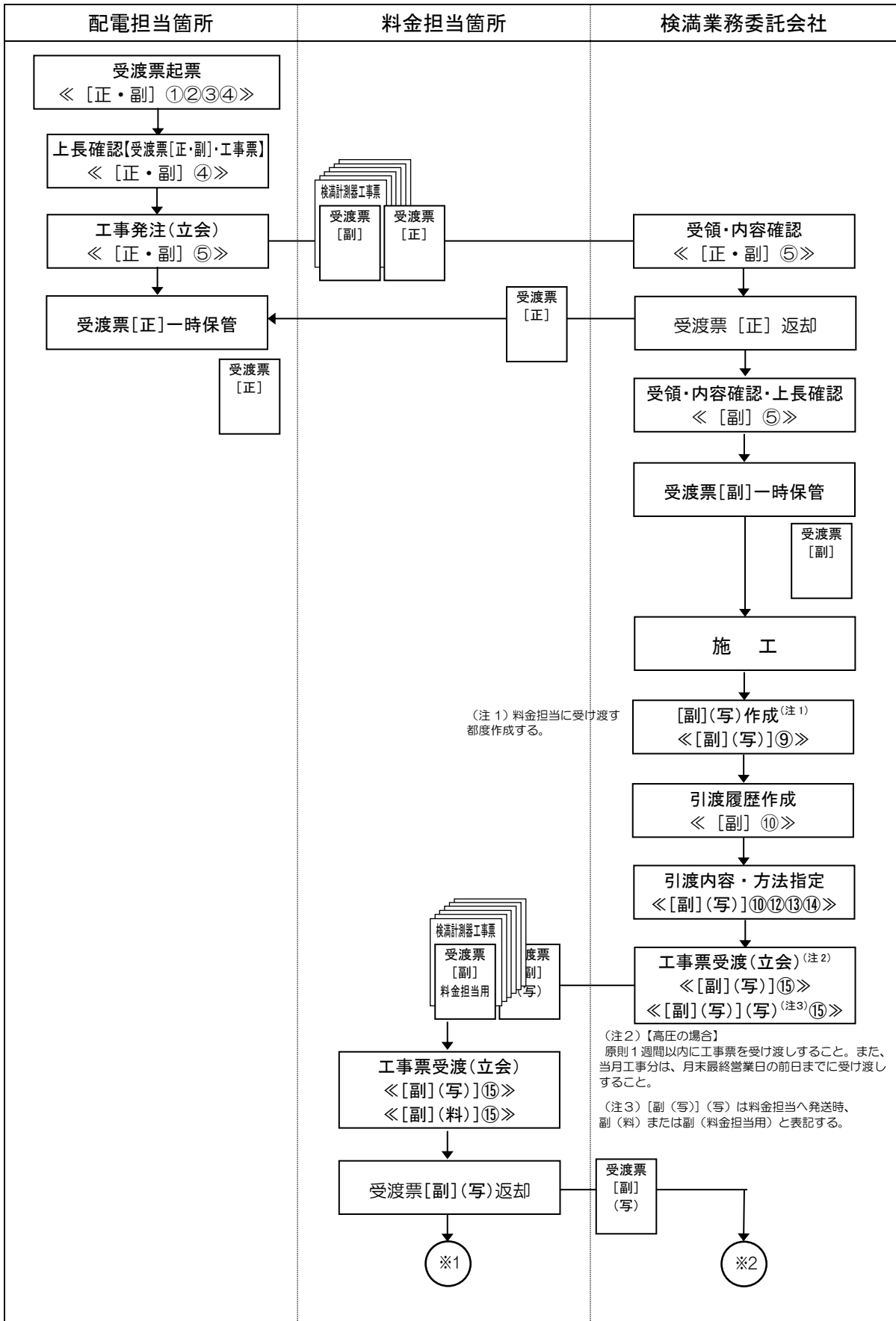


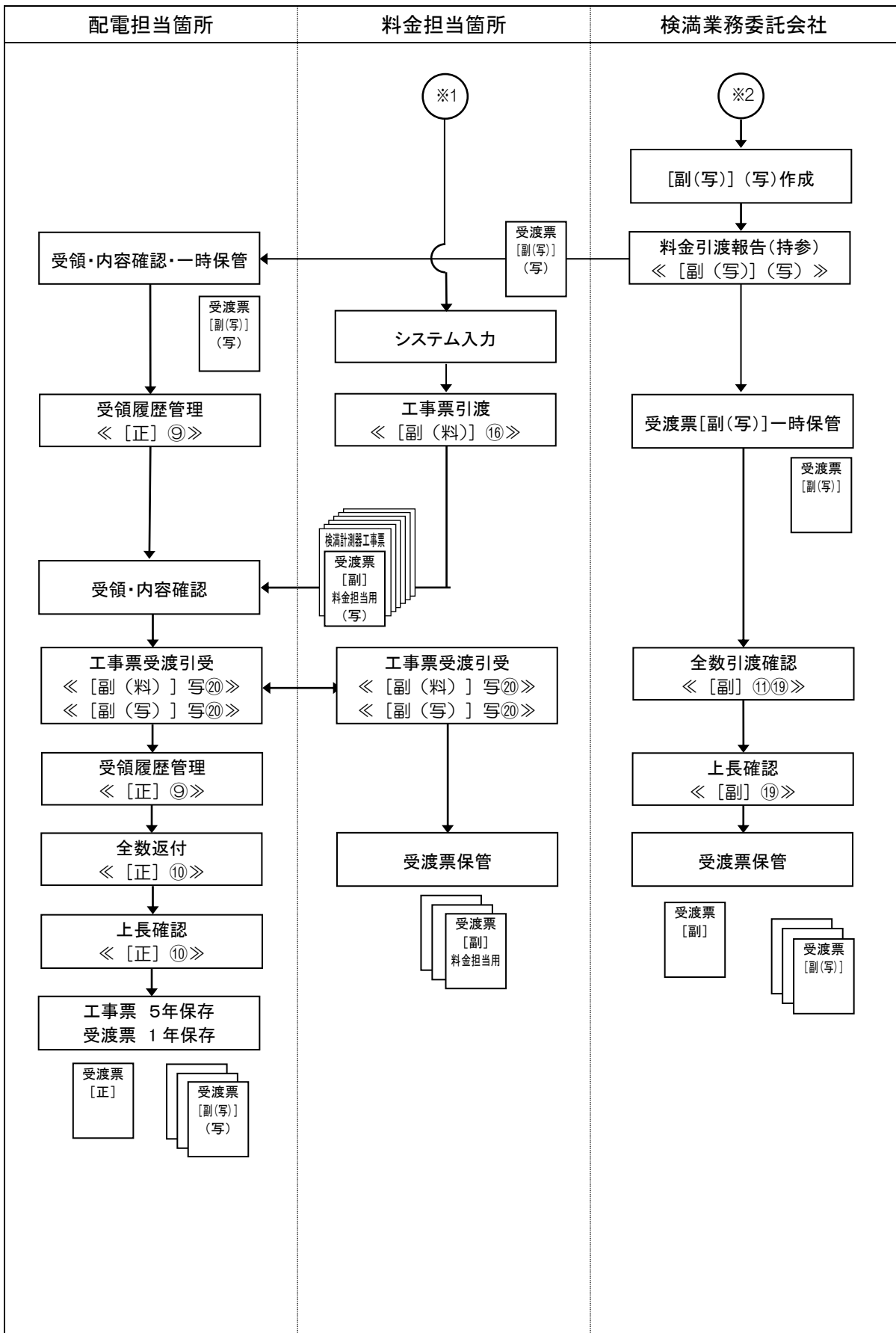


【道央統括支店直轄区域内の受け渡し（立会の場合）】

◆高圧検満の場合

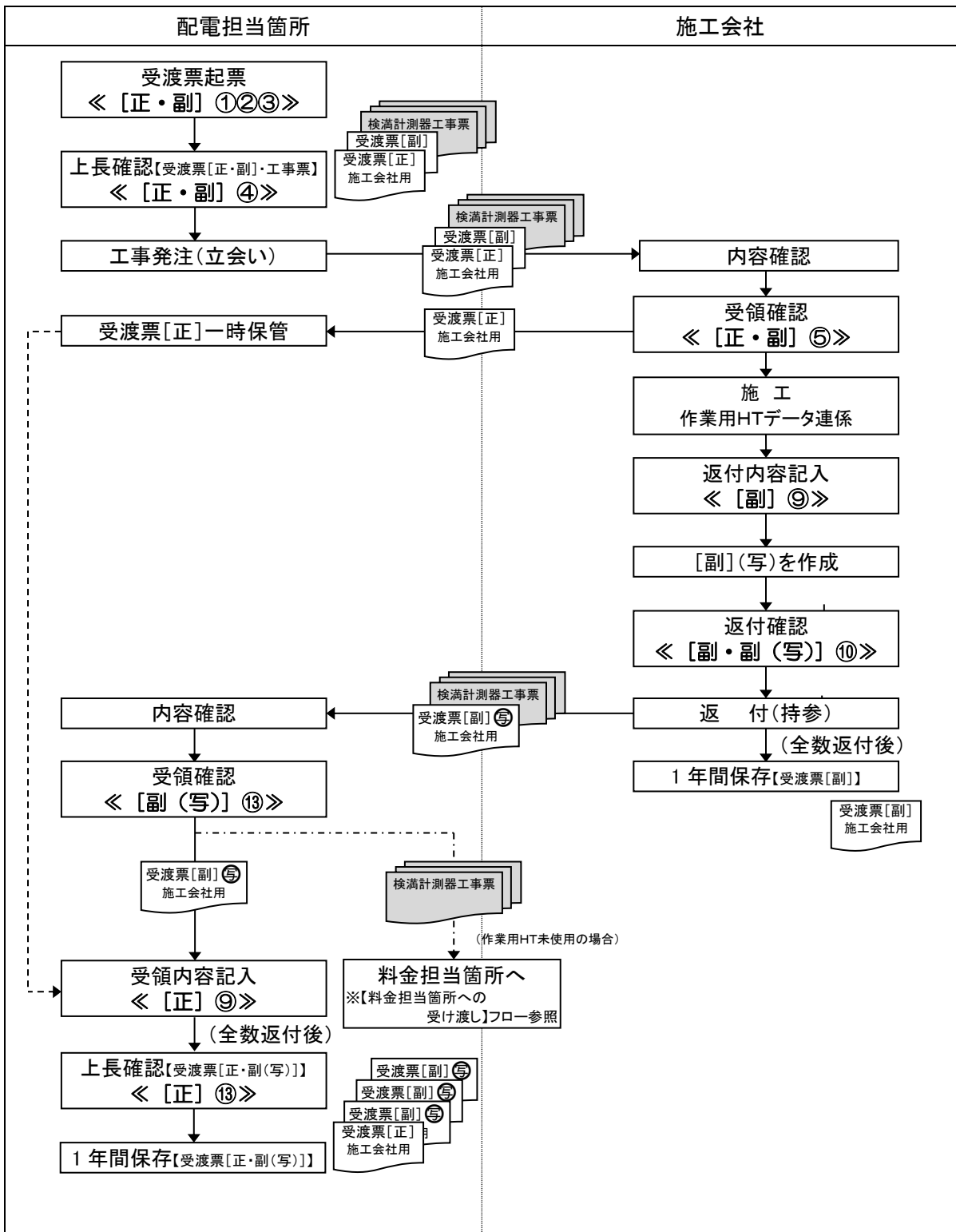
※《》は各処理における受渡票への記入欄N○を示す





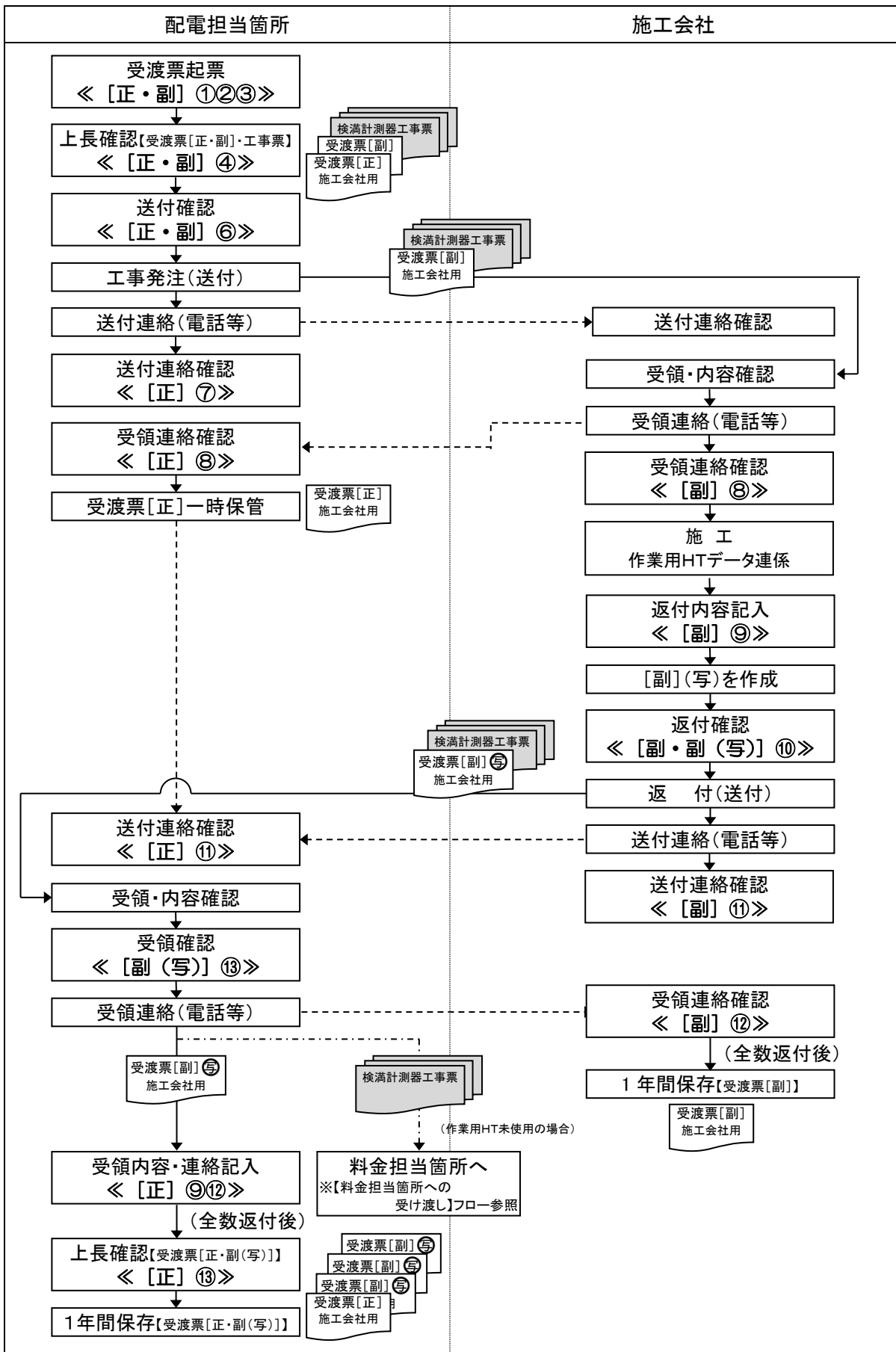
【施工会社への受け渡し（立会いの場合）】

※ <<>>は各処理における受渡票への記入欄N○を示す



【施工会社への受け渡し（送付の場合）】

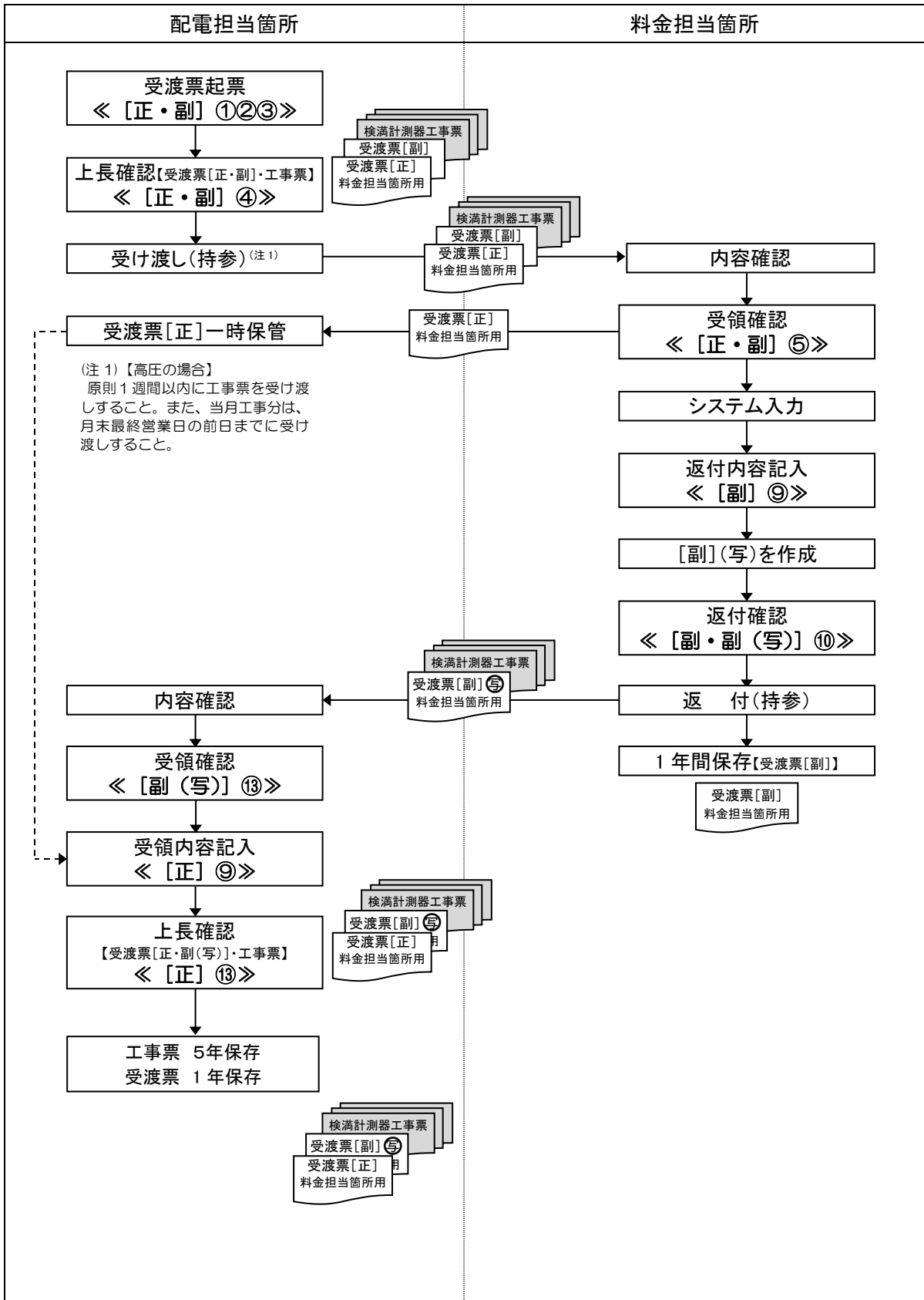
※ <<>>は各処理における受渡票への記入欄N○を示す



【料金担当箇所への受け渡し（持参の場合）】

◆高圧検満の場合

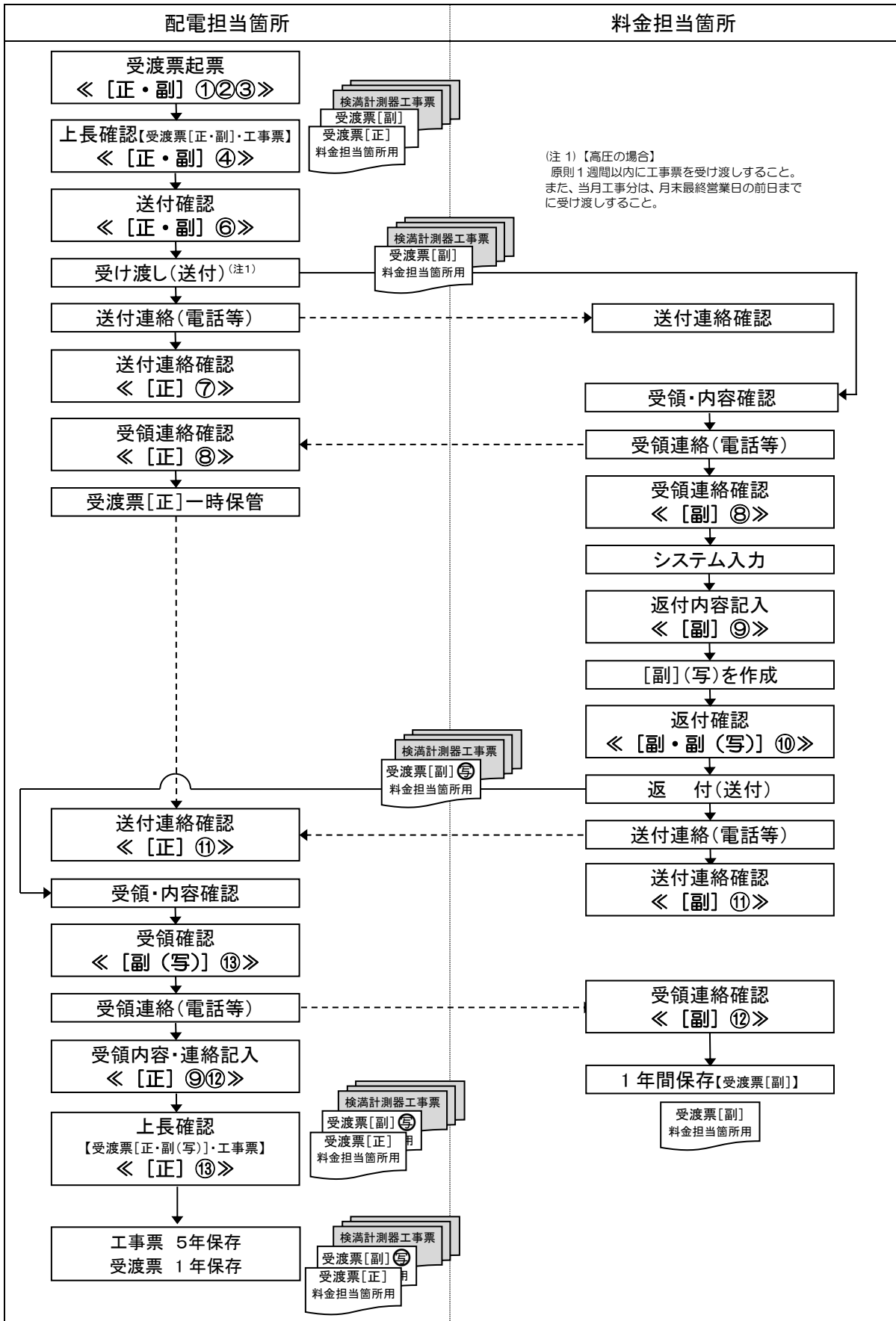
※ <<>>は各処理における受渡票への記入欄N○を示す



【料金担当箇所への受け渡し（送付の場合）】

◆高圧検満の場合

※ <>は各処理における受渡票への記入欄N oを示す



(10) 計測器検満アラームリスト

当社の計量器は、計量法により有効期間内での使用が定められており、有効期間満了前に取替工事を行わなければならないことから、有効期間超過の防止を目的に、計測器管理システムに登録された計器・受量器に関して、有効期間満了の年月まで3ヵ月以下となった設備は「計測器検満アラームリスト」(参考資料-3. 3-1 (30) 参照)に出力される。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

a. 当該リストが作成された場合は、決裁者が計測器管理システムのログインした際に検満アラームリスト出力画面への遷移以外不可となっていることから、すみやかに当該リストを出力し(出力に関しては個人情報に記載されていることから上長限定としている)、担当者へ状況確認を実施させる。

b. 配電担当箇所は、アラームリストに記載された内容について、工事の進捗状況などを確認し、備考欄に次のとおり工事工程を補足する。

(a) 補足対象

- ・アラームリストに出力された検満迄月数が「0ヵ月」で工程が「検収登録」以外のお客さまについて、備考欄に工事実施状況(「取替済」「取替予定」「工事不要」「工事取消」)を記載する。
- ・「取替済」とする場合は工事月日、「取替予定」の場合は取替予定日(または期間)を記載する。
- ・「取替予定」に対しては当月内の進捗管理を徹底し、月末までの「取替済」確認した上で、取替完了後は「取替済」と同様の記載を備考欄に追記し、証跡とともに上長へ再回付する。

(b) 工事関係書類の添付

補足した工事実施状況に応じて、次の書類を添付する。

イ. 「取替済」「工事不要」

「取替済」「工事不要」と記載したお客さまは、「工事票」の写しを添付する。

なお、「工事票」については、料金担当箇所に回付することから業務処理方法として、取外計器の検満年月が失効1ヵ月前のものをコピーし、保管することとして良い(不要となった工事票(写)は適切に処理する)。

ロ. 「工事取消」

「工事取消」と記載したお客さまは、異動・事故等の計測器工事設計が伴うため、その工事設計状況に応じて、次の書類を添付する。

なお、「工事取消」は受付担当や工事組合等の関係箇所と電設工事工程の確認が必要となること、および事故は配電担当が対応することから、書類の添付は配電担当が実施する。

(イ) 異動・事故等が設計済の場合

「計測器管理システム」-「工程管理」-「計測器工程管理」画面のハードコピーを添付する。

(ロ)異動・事故等が未設計の場合

異動申込み、事故処理が分かる書類※添付する。

※異動票のコピー、システム画面ハードコピー、計測器工事設計票（一般用）A票のコピー等

- c. 「計測器検満アラームリスト」の検満迄月数が「0ヵ月」で、かつ建物の封鎖等により当月中に取替または撤去できないお客さまは、個別に3桁の管理No. を付与し、計測器管理システムのお客さま名（漢字）の先頭に管理No. を入力するとともに、管理No. 毎の対応履歴を別紙（任意様式）にて管理する。

なお、対応履歴はアラームリストの上長回付および確認時に添付（写し可）する。

※お客さま名（漢字）は電設異動情報があった場合に変更（書換え）されるため、入力した管理No. が消去される。この場合は、検満迄月数が「0」になっている理由を改めて確認し、管理No. を再入力すること。

- d. オプション（OP）計測器は撤去完了までの期間、「計測器検満アラームリスト」の備考欄に自動印字される情報（撤去予定年月日・巡視年月日）※¹で管理する。

なお、本自動印字機能を使用した管理を行う対象は、OP計測器（離島を除く※²）のみでOP計測器管理以外には使用しない※³ことから、自動印字機能により登録する際は、対象に誤りが無いことを配電担当箇所の担当者および上長のダブルチェックで確認すること。

※¹ 検満工事進捗画面の備考欄（全角20文字登録可能）に以下の3項目を登録することで自動印字される。また、OP計測器に該当する契約区分は、計測器検満アラームリストの契約区分欄に「OP」と表示されるため、備考欄の表示が誤っていないかのチェックに使用すること。

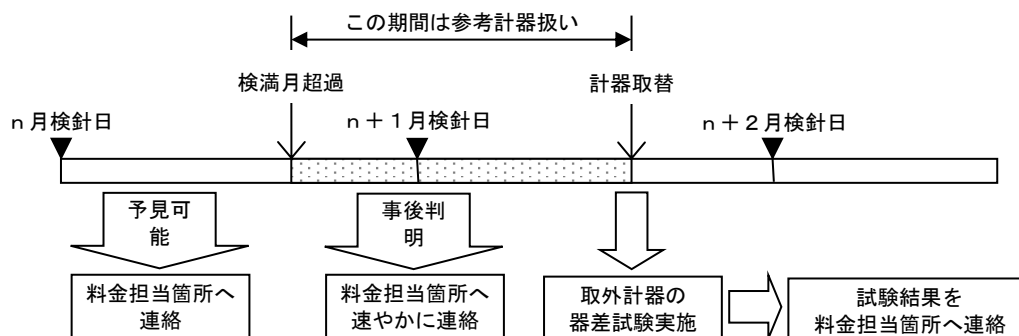
①OP	OP計測器であることを表示	【入力例】 撤去予定：2023年4月1日、 巡視日：2021年12月24日 OP_撤去230401_巡視211224
②撤去予定年月日	施工予定管理情報	
③巡視年月日	設備保守管理情報	

※² 離島はOP契約が継続しているため、通常どおりの検定有効期間管理が必要。

※³ 通常の検満管理が必要な対象については、毎月の確認およびお客さま対応等を実施し、その結果を備考欄に記入（更新）する必要があることから、自動印字機能対象外としている。

以上のとおり、「計測器検満アラームリスト」による管理を適切に実施し、計量器の有効期間超過防止を図るが、お客さま都合等により止むを得ず検満月を超過した場合は、図Ⅲ-2-9のとおり料金担当箇所へ連絡し、検満工事完了後には取外計器の器差試験を確実に実施する。

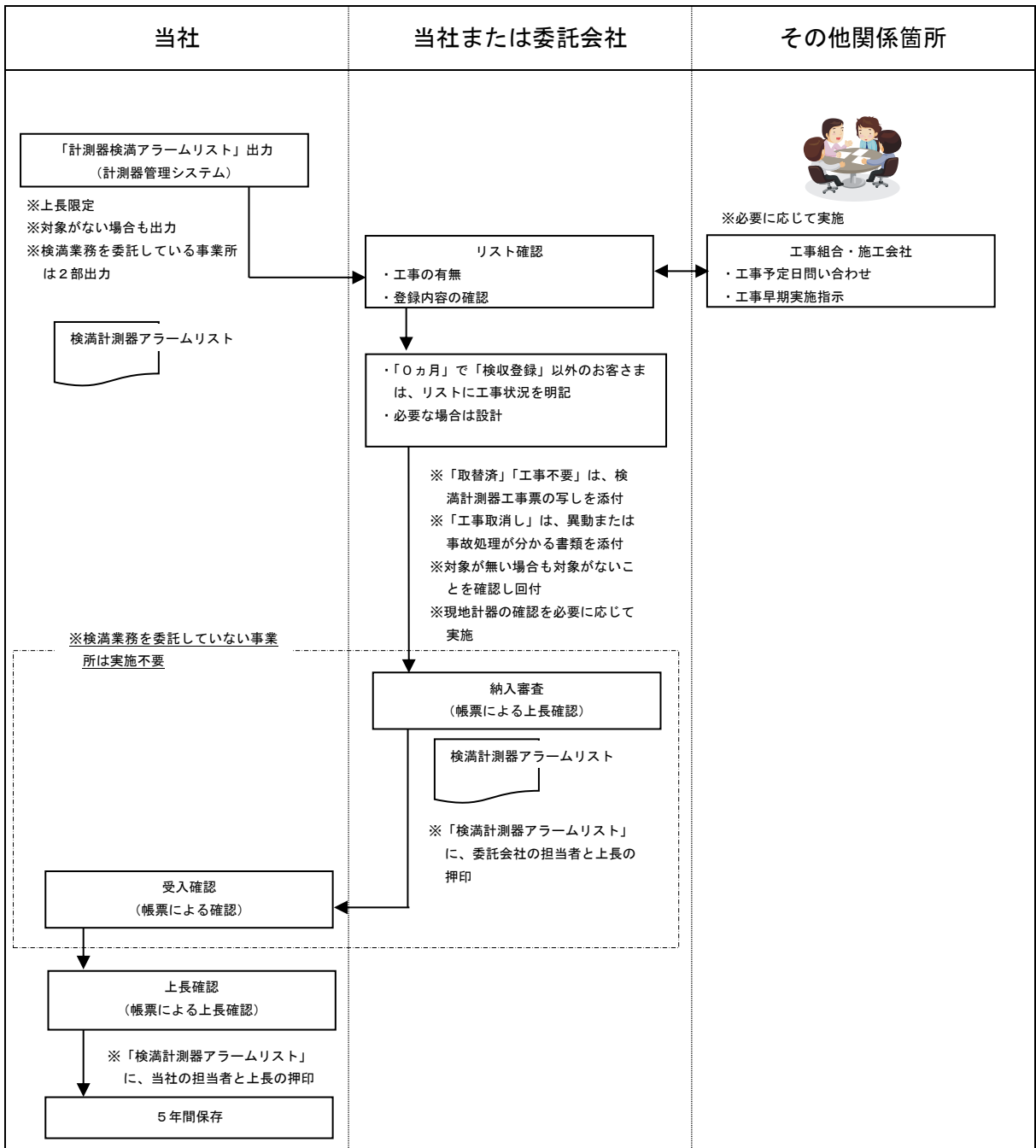
図 Ⅲ-2-9 検満月超過時の業務処理



※事後判明ケース例

・予定していた停電が急遽お客さま都合により取得できなかった場合など。

図 Ⅲ-2-10 (10) 計測器検満アラームリスト フロー



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する（高圧検満に関わる業務は当社が全て実施する）。

3. 補修工事

(1) 補修工事の種類

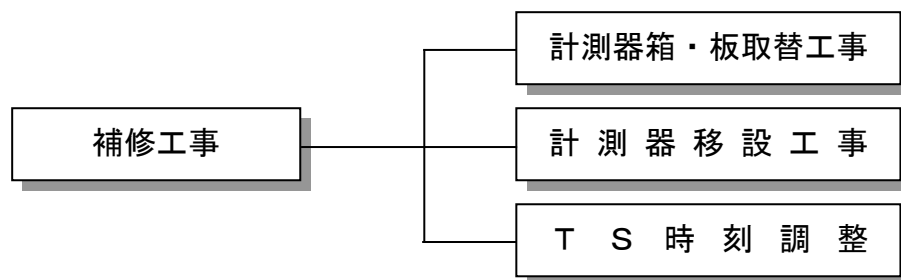


図 Ⅲ-3-1

a. 計測器箱・板取替工事

計測器箱・板の破損・腐食等により取替えが必要な場合に工事を行う。

b. 計測器移設工事

落雪による計測器破損・脱落のおそれがある箇所や検針支障等、当社の都合により計測器を移設する場合にお客さまと協議のうえ当社の費用で工事を行う。

お客さまが自らの都合により計測器移設を希望する場合は、お客さまサービスグループ／課で受け付けし位置変更工事費を申し受け、工事を行う。

なお、サイディング工事のように同位置での計測器取外・取付工事は位置変更該当しないので、当社負担とする。ただし、サイディング工事等であっても、その工事に伴い位置変更工事を要する場合は、お客さま負担とする。

c. TS時刻調整

検針などでTSの時間ずれが発見された場合に行う。

(2) 計測器工事設計と工事発注

a. 計測器箱・板取替工事

「計測器管理システム」による設計で工事発注する。

なお、保安上、至急の対応が必要な場合は、「計測器箱・板修繕工事内訳表」等（各事業所独自で作成している様式も可）で上長の確認後に発注することを可とする。この場合、工事設計漏れや工事設計遅延が発生する可能性があるため、それまでの工事工程を管理簿で管理する（「計測器管理システム」で設計し発注した場合、「計測器管理システム」で工程管理が可能のため管理簿による管理は不要）。

管理簿は次の7項目を管理必須とする。

管理項目
受付番号・工事会社・付託月日・施工期日・工事完了日・工事設計日・設計番号

工事設計漏れや工事設計遅延の防止を図るため、施工期日までに工事が完了していることおよび工事完了日から1ヵ月以内に工事設計が完了していることについて、上長は毎月月上旬に自所の管理簿を確認する。

「計測器箱・板修繕工事内訳表」等で発注した場合は、「計測器管理システム」で設計するまで、管理簿で管理すること。

- 【 施工会社が発見した計測器脱落、計測器箱・板破損等取替の取扱いは以下のとおり。
（a）施工会社は当社へ電話連絡する（発見時に当社への連絡が不可能な場合は工事不可）。
（b）電話により、当社が工事の是非や、保安上、至急の対策が必要かを判断する。】

1 件の工事で件名区分が複数になる場合は、主体となる工事※の 1 件名区分に取り纏め、1 工事設計にて工事を実施する。

※主体となる工事とは、工事の主目的となる工事内容（金額の大小に依らない）を指し、また、主目的と成り得る工事内容が複数あり判断し難い場合は、工事金額（資材代＋工費）の大きい方とする。

b. 計測器移設工事・T S時刻調整

移設工事は「計測器関係修繕工事設計書」、T S時刻調整は「計測器工事設計票（一般用）A票」を作成し、必要に応じて工事場所の地図を添付のうえ施工会社へ発注する（参考資料－6（3）参照）。

c. 設計時の確認事項

計測器工事設計に際しては、次の点に注意する。

- （a）工事発生の理由が適正か。
- （b）工事内容の内訳が適正か。
- （c）取替工事の場合、取付・取外の内容および数量が一致しているか。
- （d）移設工事の場合、工事理由から見て適正な内容であるか。

（3）実施承認

上長は、設計起案された計測器工事設計について、前項の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「実施承認」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

同一の者が起案者と決裁者となる場合には、別の者が設計書を作成する、あるいは別の者が設計内容を確認のうえ、計測器工事関係修繕工事設計書の余白に押印する。

（4）工事検収

工事検収とは、工事完了後の検収作業を終え、計測器管理システムに検収内容を入力することをいう。

なお、工事付託で作成した「計測器箱・板修繕工事内訳表」等（各事業所独自で作成している様式も可）、「計測器関係修繕工事設計書」、「計測器工事設計票（一般用）A票」は、5年間保存する。

a. 計測器箱・板取替工事の検収

計測器箱・板取替工事の検収方法は、次のとおりとする。

検収方法	箱板破損の発見経緯による工事区分	検収方法の詳細
現地検収 (抜取り)	施工会社が箱板破損を発見し連絡があった工事	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が、工事前の現地確認が出来ない場合を対象とする。 ・施工会社毎に月5%程度を抜き取りし現地検収する。 ・施工件数の5%が1件に満たない場合においても、最低1件は現地検収を行う。 ・施工会社が発見時と工事後の状態を携帯電話で写真撮影し、当社が確認した場合は書類検収とすることができる(施工会社で協力可能な場合に限る)。 ・写真で確認した場合は、書類等に「写真確認済」と記載する。
書類検収	上記以外の工事	<ul style="list-style-type: none"> ・施工会社の自主検査結果を、配電が書類検収する。

なお、現地検収(抜取り)は「計測器工事検収処理票」(参考資料-6(4)参照)により行う。

① 1次検収

抜取った工事の現地検収を実施する。

② 2次検収

抜取った工事に不良があった場合、施工会社は再度自主検査を行う。

なお、2次検収で不良があった場合は、文書による改修指示および指導を行い、当該工事が適合するまで2次検収を実施する。

b. 計測器移設工事・TS時刻調整の検収

施工会社の自主検査による書類検収とする。

c. 検収データの登録

検収作業終了後、当該設計の「工事検収」処理を行い、上長の確認を得る。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

工事検収前には、次の注意点を確認する。

- (a) 設計分の工事が確実に完了したか。
- (b) 施工内容が工事設計に漏れなく反映されているか。
- (c) 取替工事の場合、取付・取外の内容および数量が一致しているか。

d. 検収登録

上長は、工事検収完了後の工事竣工が可能な計測器工事設計について、c項の注意点に関して内容を審査し、計測器管理システムにより「検収登録」処理を行う。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(5) 計測器箱・板数の管理

1 1 地区工事組合は各組合単位に、計測器管理システム出力帳票と払出管理簿等により、計測器箱・板の整合性を管理する。

a. 計測器システム出力帳票

計測器管理システム出力帳票は、計測器工事設計により取付けとなる計測器箱・板の材料数の建仮・修繕工事合計を集計出力する（取付工量では集計しない）。

(a) 出力単位

1 1 地区工事組合単位に計測器管理システムより毎月「計測器工事会社別計器箱板個数月報」（参考資料－3. 3－1（25）参照）を出力する。この帳票は、工事組合の所在地である事業所および1 1 地区工事組合が各々出力し保管する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(b) 出力対象会社

「計測器工事会社別計器箱板個数月報」には、修繕工事で竣工実績のある施工会社が出力される。

(c) 出力対象品目

計測器箱・板で副資材となる1 2品目とする。ただし、取扱いの少ない品目については、当該組合の所在地である事業所と工事組合との協議のうえ、管理対象外とすることができる。

b. 整合性管理箇所

1 1 地区工事組合が行う。

c. 整合性管理方法

1 1 地区工事組合は「計測器工事会社別計測器箱板個数月報」で集計される計測器箱・板の材料数と、当該各組合の計測器箱・板払出数とを比較し、管理する。

d. 購入品

新契約システムおよび簡易発注システムにより購入し、施工会社へ直接払出ししている計測器箱・板（主に、無停電改良型計測器箱が該当）については、「計測器工事会社別計器箱板個数月報」に反映しないため、各事業所の配電（工事・技術）G・配電課にて施工会社への払出数と計測器工事設計数（竣工数）とを比較し、管理する。

e. 判断基準

「材料数>払出数の差」を確認する。

なお、この比較は完全に一致するものではないので、半期（6ヵ月）で50個未満の差は適正として扱い、2半期連続して50個以上の差がある場合は1 1 地区工事組合が調査を行う。ただし、不審な点や明らかに異常と判断できる場合は、これに限らず調査を行い、不適正行為が確認できた場合、ただちに当該組合の所在地である事業所へ報告する。

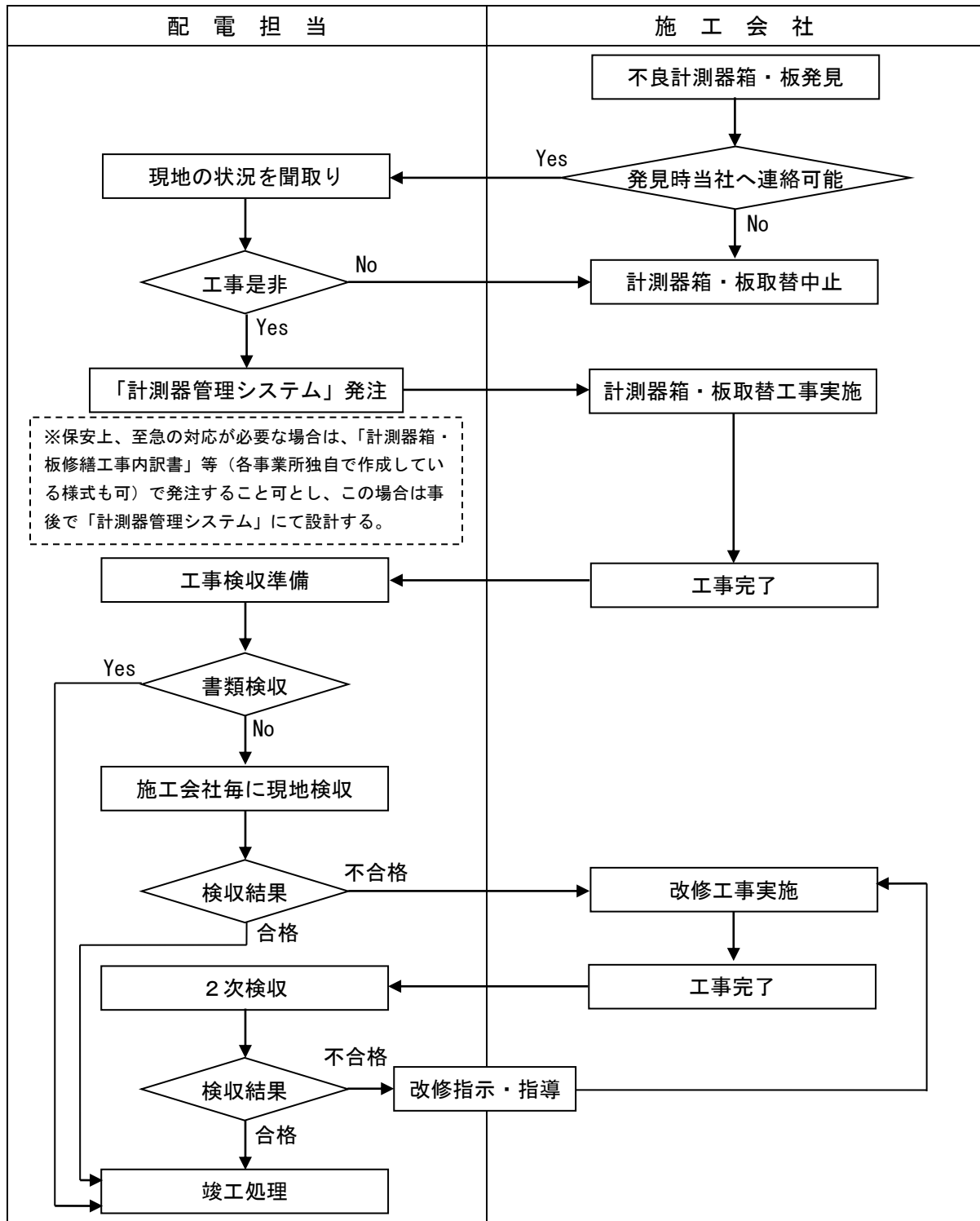
【要調査】

2半期連続して、竣工数>払出数の差が50個以上となった施工会社

f. 報告

1 1 地区工事組合は管理結果を半期毎に当該組合の所在地である事業所へ報告する。報告内容については、上長の確認を得る。

施工会社が発見した計測器脱落、計測器箱・板破損等取替フロー



IV. 工事関連業務

1. 購買・請負

(1) 購買・請負について

貯蔵品や副資材以外（計測器スリーブ、共用形絶縁キャップ等）で工事に必要な材料は、購買により購入する。

また、見積工事の場合は、工事に必要な資材を購買により購入し、工費等の費用については請負にて発注する。詳細は、「R J - 1 - 2 購買契約マニュアル」および「R J - 1 - 3 請負契約マニュアル」による。

なお、購買・請負請求については、上長の電子決裁が必要である。

(2) 購買・請負手続き

購買および請負手続きは「新契約システム」または「簡易発注システム」により行う。

(3) 新契約・簡易発注システム入力時の留意事項

システムに入力する「款コード・件名No.・工事No.」は、該当する計測器工事設計と同一とすることにより、購買・請負データの検収処理後、該当する計測器工事設計の竣工と連係して購買・請負データが竣工振替となる（竣工振替は建仮工事のみ対象）。

表 IV-1-1 勘定科目・科目コード表

区分	科 目	項	目	節	小節					
計器工事 80	建設仮勘定 (特定)	070	建設工事口	05	需要者屋内 装置未竣工口	58	特別高圧計器	81	請負工事費	05
									主要材料	06
									諸材料	69
							総係費	93	振替給料手当	73
				雑給	78					
				旅費	79					
				消耗品費	80					
				補償費	85					
				通信運搬費	91					
				諸税	92					
				雑費	93					
				高圧計器	82	請負工事費	05			
						主要材料	06			
						諸材料	69			
						諸経費	70			
				低圧三相計器	84	以下高圧計器 に準ずる。				
				低圧単相計器	85					
				需要者屋内 装置竣工口	56	以下未竣工口 に準ずる。				
00	修繕費	565	配電費	35	需要者屋内 装置修繕費	30	材料費	05	払出材料	10
									撤去戻入 (貸方)	15
							請負工事費	10		00
							諸費	15	日常の工事で は発生しない	
	諸費	620	配電費	35	雑損	40		00	計器取付不能 手数料	15

2. 電力量計請求予告月報

(1) 電力量計請求予告月報について

計測器は、資材担当箇所にて必要個数を一括で調達・配給を行っている。このため需要急増時等に、在庫がなくなり未払い品が出ることはないよう、各事業所配電担当箇所は倉出予定の計測器個数を資材担当箇所に毎月報告する。

電力量計請求予告月報は、電力量計調達における重要な帳票であり、本店倉庫の委託会社では本帳票により、翌月の請求に向けた需給調整（修理および新品購入の実施）および、翌々月の予測を行っていることから、常に高い精度が求められる。

(2) 実施方法

a. 作成手順

- (a) 電力量計請求予告月報は、計測器管理システムより毎月出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- (b) 検満の計測器工事所要数は、設計工程が「実施承認かつ倉出確定未」の検満工事設計書で、「工事期間自年月日」の月が翌月である設計情報から自動集計されるため、出力後、内容を確認する（検満工事設計の倉出し計測器の数量を「電力量計請求予告月報」に自動集計させるための工事実施承認タイミングは次頁の補足説明を参照）。自動集計のタイミングから外れた検満工事設計書の設備は反映されないため、手補正を行うこと。
- (c) 検満工事以外の計測器工事所要数（翌月一般倉出数）は、計測器工事件数月報（参考資料－3. 3－1（23）、（24）参照）の一昨年、昨年、先々月および先月の所要数を基に想定し、さらにスイッチングや新メニュー等のコンサルティングによる必要数を加味して作成する。

b. 報告手順

配電担当箇所は、検満工事と一般工事のそれぞれについて、翌月倉出数を想定し、各事業所配電担当箇所は（予告数量が「0」の場合も作成する）、毎月18日^(注9)までに資材担当箇所へ報告する。

(注9) 18日が休日の場合は翌営業日。

『電力量計請求予告月報の翌月検満倉出数に自動集計されるタイミングについて』

電力量計請求予告月報の翌月検満倉出数に自動集計されるためには、検満工事設計の工事実施承認を「電力量計請求予告月報データ」作成処理日（資材担当箇所提出期限の2営業日前。資材担当箇所への提出期限は18日であるため、通常は16日に実施される。16日が非営業日の場合は変更される）までに完了させることが必須である。

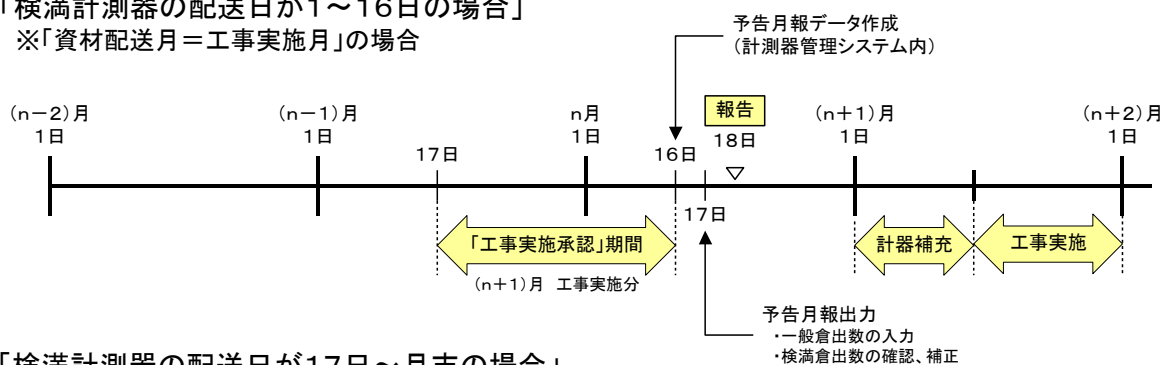
例えば、(n+1)月に検満の資材配送を希望する場合、n月報告分の電力量計請求予告月報の翌月検満倉出数に所要数量を反映する必要があるため、n月16日のシステム稼動時間内までに当該検満工事設計を実施承認しなければならない。

仮に、n月16日までに工事実施承認が間に合わなかった場合は、自動集計処理の翌日（17日）以降～翌月資材配送日までに当該工事の工事実施承認を行ってもn月報告分の電力量計請求予告月報には反映されないため、当該帳票の出力後に手補正する必要がある。また、電力量計請求予告月報に自動集計させるための検満工事設計の工事実施承認タイミングは、資材配送スケジュールにより異なるため注意が必要である。

図 IV-1-1 電力量計請求予告月報に自動集計されるタイミング

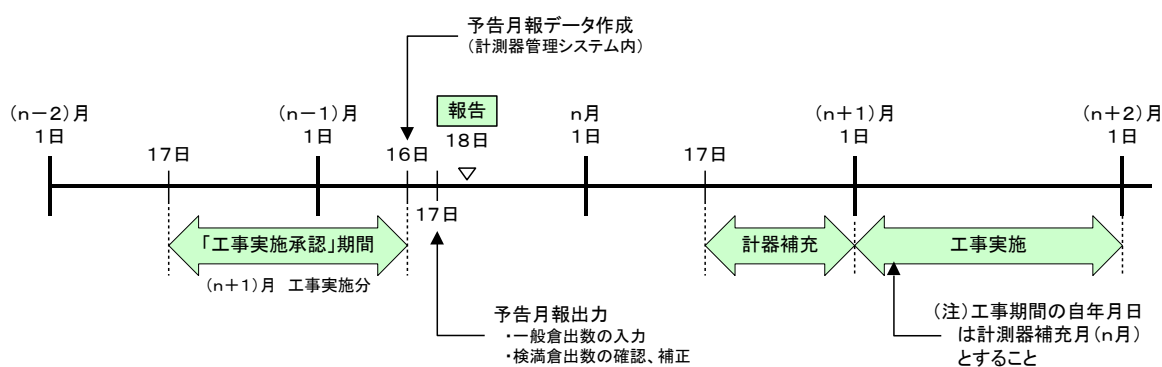
「検満計測器の配送日が1～16日の場合」

※「資材配送月＝工事実施月」の場合



「検満計測器の配送日が17日～月末の場合」

※「資材配送月≠工事実施月」の場合



3. 特別検定計器予告月報

(1) 特別検定計器予告月報について

変成器付計器の資材請求において、特別検定を受ける計器を必要なタイミングで取得するため、翌月に請求する特別検定計器を明確にした「特別検定計器予告月報」（参考資料－3. 3－2（4）参照）を計測器管理システムより出力し、電力量計請求予告月報に添付して資材担当箇所へ報告する。

(2) 実施方法

a. 作成手順

- (a) 特別検定計器予告月報は、計測器管理システムより毎月出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。
- (b) 当該帳票に出力される対象設備は、設計工程が「実施承認かつ倉出確定未」の検満工事設計書で、「工事期間自年月日」の月が翌月である設計情報から自動集計されるため、出力後、内容を確認する（当該帳票に自動集計させるための工事実施承認タイミングは、電力量計請求予告月報の補足説明を参照）。自動集計のタイミングから外れた検満工事設計書の設備は反映されないため、手補正を行うこと。

なお、特別検定計器予告月報のデータは、検満計画時に確定した特別検定計器予告月報のデータから電力量計請求予告月報作成時に該当データを抽出して作成されるため、検満計画時に「検満計画データ作成エラーリスト」に出力された対象設備は当該帳票には反映されないため、エラー内容により次の修正が必要となる。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

① 1 契約 1 施設 No. に複数台の計器情報が登録されていた場合

当該エラーによるデータは、検満計画の対象外につき検満設計支援も不可能であるが、電力量計請求予告月報は設計数集計のため設計書内部で修正を行うことにより自動反映が可能であるのに対し、特別検定計器予告月報は当該検満対象計器の情報が反映されないため、当該帳票の全項目を手補正する必要がある。

② 品名コードに変換できなかった場合

当該エラーによるデータは、検満計画により工事予定月の設定は可能であるが、検満設計支援時にも同様にパターン設計コードへの変換エラーにより「自動設計対象外リスト」に出力される。検満計画確定後～検満設計支援前までに「検満計画データ作成エラーリスト」に出力された対象設備を計測器設備登録訂正で正しい値に修正することにより、検満設計支援時の自動設計対象外エラーを回避することは可能になるが、特別検定計器予告月報には品名と品名コードが入力されていない状態で出力されるため、出力後に未入力箇所に対して手補正する必要がある。

b. 報告手順

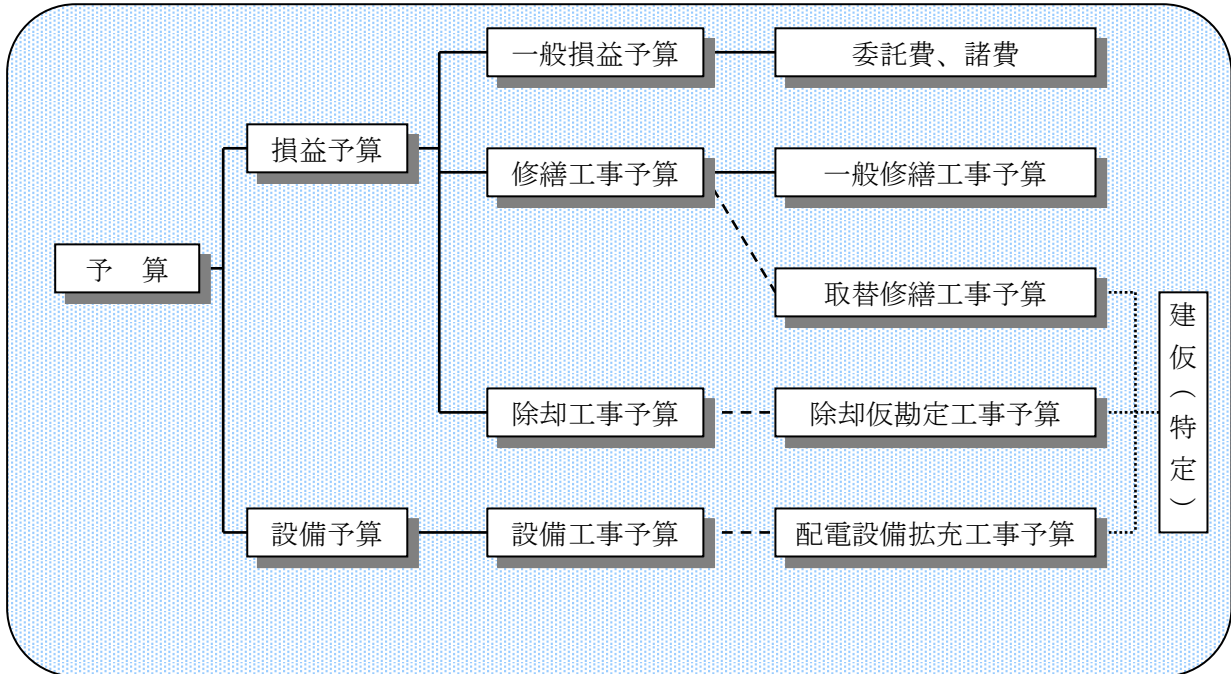
配電担当箇所は、翌月倉出分の特別検定計器の内容を確認し、各事業所配電担当箇所は、毎月 18 日^(注 10)までに資材担当箇所へ報告する。

(注 10) 18 日が休日の場合は翌営業日。

V. 予算管理

1. 予算体系

図V-1-1 予算体系図



(1) 予算の種類

計測器業務に係る予算体系は、図V-1-1のとおり「損益予算」と「設備予算」とに大別され、「損益予算」の中に、①一般損益予算（委託費、諸費）、②修繕工事予算（一般修繕工事予算、取替修繕工事予算）および③除却工事予算（除却仮勘定工事予算）があり、「設備予算」の中に設備工事予算がある。

(2) 建仮（特定）工事の予算

計測器工事のうち表V-1-1に示す、資産単位物品の新設、撤去または取替（これに伴う非単位物品の付加・取替を含む）を行った場合、建仮（特定）の勘定科目で会計整理される。

表 V-1-1

配電資産単位物品名		取替法適用資産
需 屋 内 装 置 者	低 圧 単 相 計 器	○
	低 圧 三 相 計 器	○
	高 圧 計 器	○
	特 別 高 圧 計 器	○

(3) 修繕工事の予算

修繕工事とは資産単位物品の異動が伴わない工事をいい、その工事に係る予算が修繕工事の予算である。修繕工事の具体的な工事内容は次のとおりである。

- a. 非単位物品（S B、T S）の単独取付・取外および取替工事
- b. 単位物品の移設工事
- c. 補修工事（計測器箱・板取替工事）

(4) 一般損益予算

工事予算以外の各種費用および収入の予算をいい、計測器業務においては委託費と諸費とがある。

- a. 委託費：計測器受払業務、低圧検満業務等
- b. 諸 費：工事不要手数料

2. 予算計画

(1) 予算計画

需要動向および社会情勢をふまえ、予算編成方針ならびに収支状況等から必要性、優先度を考慮し、予算執行計画を策定する。

表 V-2-1

項目	備考
計測器工事（建仮（特定）） ①供給工事 ②検満工事 ③その他工事（18ヵ月超過、容変等）	設備計画
計測器修繕工事 ①計測器箱・板取替 ②計測器移設 ③S B取替 ④計測器修理	損益予算計画
計測器受払業務委託費 低圧検満業務委託費 工事不要手数料	損益予算計画
その他（受託工事、補償金等）	

a. 提出方法

統括支店単位にまとめ、本店配電部へ提出（損益予算は統括支店企画総務Gを経由）する。

b. 提出資料

表 V-2-2

項目	提出資料
計測器工事 （建仮（特定））	①工事数想定（Excelシート） ②計測器総括表（Ⅱ）（Excelシート）
計測器修繕工事	配電一般修繕工事計画総括表
計測器修理	提出資料なし（本店配電部で作成）
受払委託費 （低圧検満委託費含む※）	雑委託費短計内訳表
工事不要手数料	短計算定内訳表

※計測器受払業務委託費と低圧検満業務委託費は雑委託件名が同じため、合わせて雑委託費短計内訳表を作成する。

3. 予算管理

(1) 予算管理

a. 予算管理の単位

予算執行箇所（各事業所）と連携の上、統括支店毎に管理する。

b. 決定予算の配分

(a) 本店は、決定した予算を科目あるいは工事区分別に統括支店毎に配分する。

(b) 統括支店は、科目あるいは工事区分別に各事業所へ配分する。

(c) 各事業所は配分された予算の確認を行う。

c. 予算執行管理

(a) 各事業所は月次執行計画を立てる。

(b) 各事業所は月次の執行状況（工事の実施状況）を把握し、増減額の著しいものについて統括支店へ理由を報告する。

(c) 統括支店は、事業所別の月次傾向を把握し、統括支店管轄区域内のバランスを調整の上、増減額の著しいものについては、本店配電部に報告する。

d. 予算運用

統括支店は配分予算の範囲内において、統括支店管轄区域内の運用（調整）を行う。

e. 期末予想

期末予想は本店の指示により行う。

(a) 建仮予算

①年度末予想は計測器管理システムの年度末予想にて行う。

②入力方法は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照のこと。

(b) 修繕予算

非単位物品取替（特に、異動に伴うS Bの取替）は恒常的に発生することから、過年度の執行実績を基に傾向を把握し、「計測器関係修繕工事月報」（参考資料-3. 3-1 (18) 参照）の平均単価を参考に予想する。

(c) 受払委託費・工事不要手数料

過年度の執行実績を基に傾向を把握したうえで予想する。

(2) 未竣工工事の管理

計測器工事発生に伴い、工事設計を行い実施承認された工事は全て未竣工工事となる。このうち長期（倉出後3ヵ月超過）未竣工工事の工事データを次の方法により確認し、工事の進捗状況を把握するとともに、工事完了後すみやかに竣工処理を行う。

なお、検満工事について未竣工工事を確認しない場合、有効期間満了の年月を超過する可能性があることから、確実に実施すること。

a. 日処理

前日までの未竣工工事について、計測器管理システムの「未竣工工事内訳表印刷」画面で出力指定 [日処理]、倉出超過月数 [3月以上] を選択して確認する。帳票表示には倉出日からの経過月が表示されることから、長期未竣工工事の内容と現在の状態を把握し竣工処理漏れを防ぐ。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

b. 月処理

(a) 前月までの未竣工工事について、毎月1回（上旬）、計測器管理システムの「未竣工工事内訳表印刷」画面で出力指定 [月処理]、倉出超過月数 [3月以上] を選択して確認するとともに帳票出力する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

(b) 日処理と同様に倉出日からの経過月が表示されることから、工事発注先へ施工状況・予定等の状況を確認し、その結果を「未竣工工事内訳表」に明記^(注11)の上、上長確認を得る。

なお、対象がない場合は計測器管理システム画面で「該当するデータはありません」と表示されるため、画面のハードコピーを出力し、上長確認を得る。

(注11) 負担金対象工事がある場合、（負担金精算遅延のリスクがあるため）未竣工理由について特に注意する。

(c) 上長回付した帳票は、1年間保存する。

c. 四半期処理

四半期毎に（6・9・12・3月）に経理担当箇所から送付される「竣工件名 未竣工データ一覧表（計器）」に基づき、竣工漏れ工事について、再竣工処理を行うとともに、長期未竣工工事を管理する。

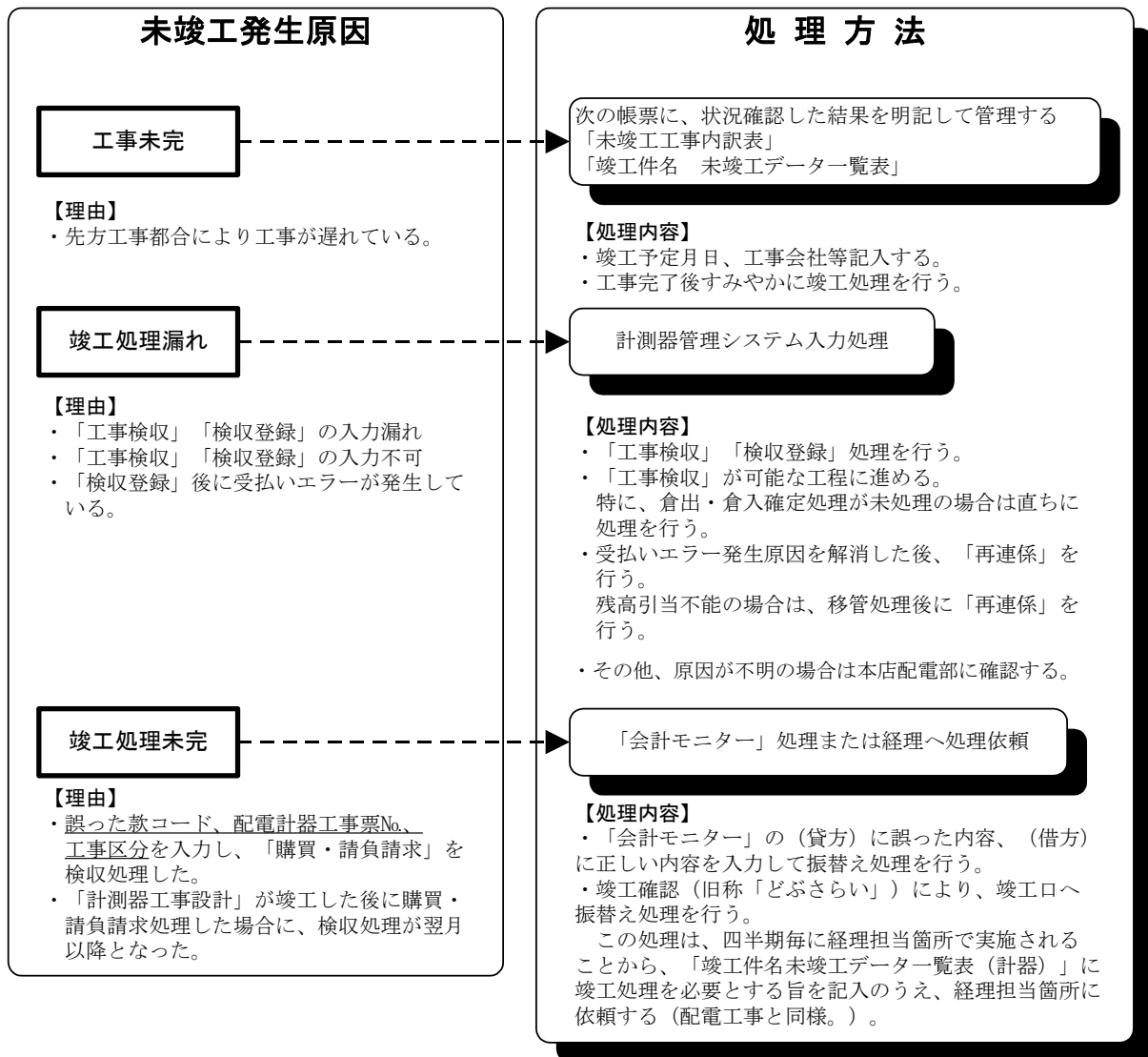
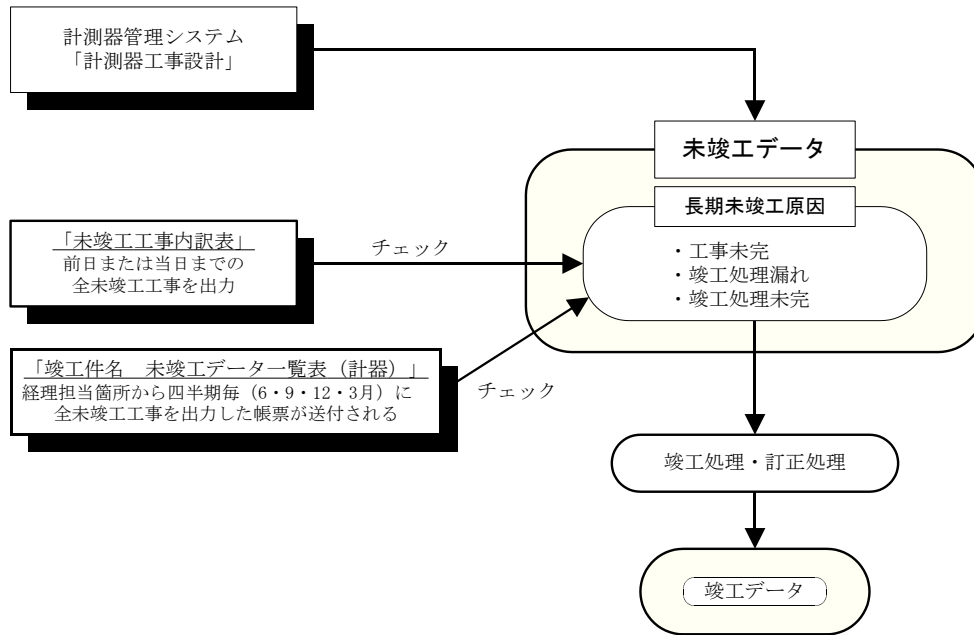
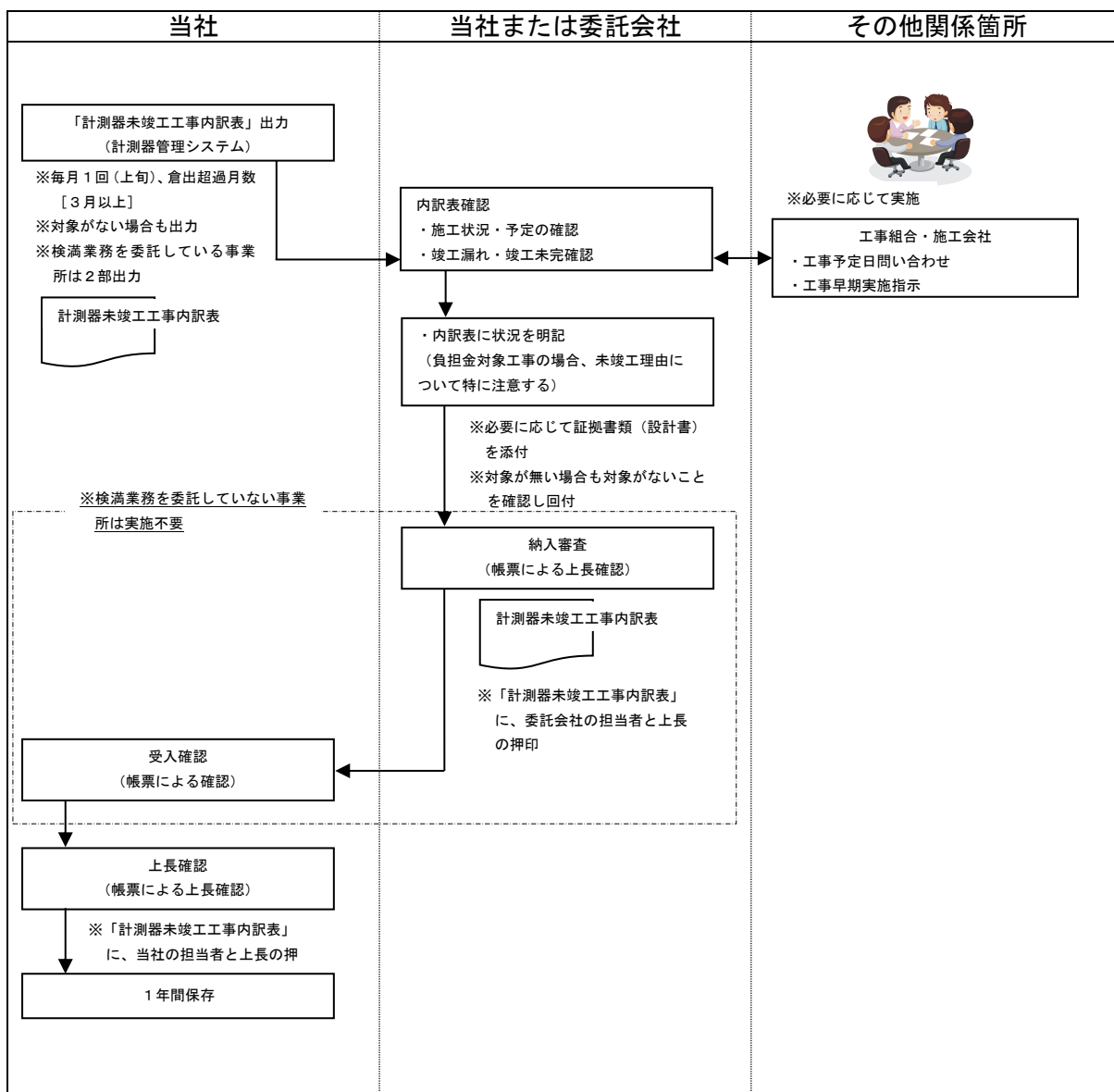


図 V-3-1 未竣工工事管理のイメージ

図 V-3-2 未竣工工事管理（月処理） フロー



※低圧検満業務を委託していない事業所においては、当社が表中の「当社または委託会社」欄に記載の業務を実施する（高圧検満に関わる業務は当社が全て実施する）。

VI. 設備管理

1. 計測器設備情報のメンテナンス

(1) 目的

計測器管理システムにて管理している計測器設備情報について、必要の都度、設備登録・訂正によりメンテナンスを行う。

計器、変成器の設備登録・訂正については、「計測器設備訂正承認リスト」（参考資料－3. 3－1（12）参照）が出力されるため、実施理由を明記の上、上長確認を得る。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、次の項目の設備登録・訂正については、上長の電子決裁が必要である。

【電子決裁対象項目】

- 計器受量器、SM計量部および変成器を「新規・削除登録」した場合。
- 計器受量器で、以下の項目のいずれかを「修正」した場合。
「相線電圧」「計器No.」「乗率」「合番号（略称・No.）」「指示数桁」「検満年月」
- 変成器で以下の項目のいずれかを修正した場合。
「相線電圧」「合番号（略称・No.）」「VCT共用区分」「受検年月」

※上記項目の設備登録・訂正に対する電子決裁時には、実施理由（特に、不整合がないか）について重点的に確認する。

(2) 処理内容

計測器管理システム登録された計測器設備データならびにお客さま情報は、システム内で定期的に次の処理を実施しており、処理の結果、異常が発生した場合は「未反映契約異動データ一覧」（参考資料－3. 3－1（33）参照）や「計測器チェックリスト」（参考資料－3. 3－1（13）参照）が作成されるため、当該帳票をシステムから出力の上、メンテナンスを実施する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、「計測器チェックリスト」は上長確認を得た上で、1年間保存する。

a. 完了異動データ連係処理

ネットワーク情報システムからの「完了異動情報」により、お客さま情報を更新する処理。計測器管理システム内で日次処理される。

NW情報管理システムから連係された完了異動情報のNWシーケンス番号（連係 Key 情報）が計測器管理システムに存在しなく、お客さま情報が更新できなかったものが、「未反映契約異動データ一覧」に出力されるため、出力データについて対処する。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

b. 計測器設備整合性チェック処理

計測器管理システムデータベース内の整合性チェックを行い、不整合があった場合、計測器チェックリストに出力する（最終営業日に月次処理）。

詳細は、「計測器管理システム_オンライン操作ガイド」の「別紙3 計測器チェックリストの対処方法とお客さま情報更新処理について」を参照。

c. 引込柱No.更新処理

配電総合システム（電圧負荷管理）により管理されている引込柱No.を取得し、計測器お客さま情報へ更新する処理。計測器管理システム内で日次処理される。計測器チェックリスト出力対象外。

2. 計測器設備ダウンロード

(1) 目的

配電担当箇所は、設備調査時や施設されている設備状況の分析などを行う場合に、設備種別、メーカー、型式、製造年、容量などの検索条件に該当するすべての設備情報を計測器管理システムの「計測器設備ダウンロード」にてCSV出力する。

(2) 出力方法

計測器設備情報は、計測器管理システムから設備区分毎に随時出力が可能であり、検索条件で指定した対象についてCSV出力する。ただし、抽出した結果、規定件数（システムにて規定）を超える場合はCSVの出力は不可とする。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

なお、CSV出力は次の2通りである。

a. お客さま情報

お客さまの各種情報（お客さま名、住所、電話番号など）および契約情報。当該データは個人情報につき、配電担当箇所（決裁者）のみ出力が可能である。

b. 設備情報

設備種別毎の設備情報。当該データは配電担当箇所にて出力が可能である。

3. 年度末設備ダウンロード

(1) 目的

年度末設備情報は、毎年3月31日現在の設備数（計器・受量器、変成器、TS、併用開閉器、SB等）について集約したものであり、次の報告用資料として使用するとともに、設備管理、工事計画（長期、短期等）の基礎資料となるものである。

- a. 「電気事業便覧（取引用電気計器）」（電気事業連合会に報告、年1回。）
- b. 「単3施設率」（電気事業連合会に報告、年1回。）
- c. 「電気計器取付使用個数調書」（日本電気計器検定所に報告、年1回。）
- d. 「電気計器受検計画」（日本電気計器検定所に報告、年1回。）
- e. 「当社設備要覧」（企画部に報告、年1回。）
- f. 「はいでんデータパル」（本店配電部にて作成、年1回。）
- g. 「電気事業統計」（電気事業連合会に報告、随時。）

(2) 出力方法

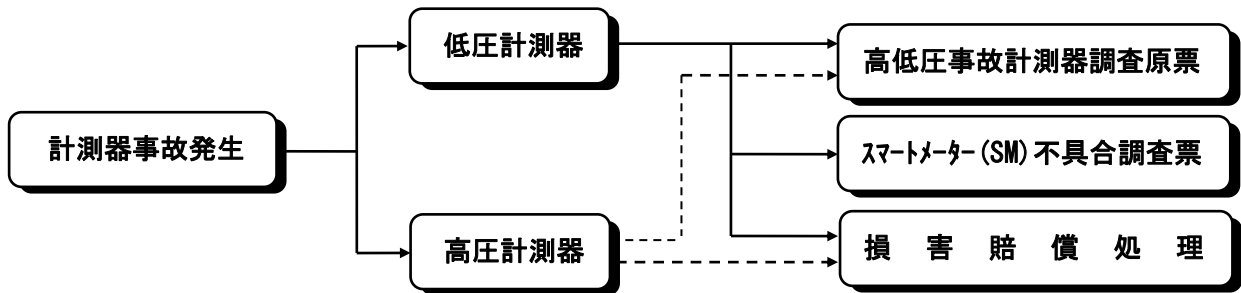
年度末設備情報は、計測器管理システムから設備区分毎に随時出力が可能である（参考資料-3.3-3(4)参照）。詳細は「計測器管理システム オンライン操作ガイド」を参照する。

Ⅶ. 計測器関連業務

1. 計測器事故処理業務

計測器事故発生時の業務処理概要は、図Ⅶ-1-1のとおり。

図 Ⅶ-1-1 計測器事故発生時の業務処理の概要



(1) 高低压事故計測器調査原票

a. 目的

高低压計測器が取付け中に発生した事故において作成し、詳細な調査を本店倉庫の委託会社またはメーカーで実施し、調査結果により事故原因の実態を把握することで、計測器の運用管理および類似事故の防止に活用することを目的とする。

b. 様式

参考資料-8 (1) 参照

c. 作成・提出方法

- (a) 計測器事故発生の都度、スマートメーターネットワーク保守支援システム (SMNW) で、事故設備単位^{*}に作成 (計器と変成器のどちらか事故原因が不明な場合はそれぞれ作成) し、保守管理者へ報告する。

※計器以外の設備 (CT、VCT、TS、MGS、高压通信端末等) に対する事故取替を実施した場合は、当該設備単位に事故原票を作成することに留意。

SM計量部 (計量器と通信端末がセット) やCT 2個組 (単三や三相の場合) は、1件設備として事故原票も1件の作成とする。

- (b) 作成方法は、参考資料-8 (1) の記入例を参照する。
- (c) 詳細な業務フローは、図Ⅶ-1-2 高低压計測器不具合発生時の調査業務フローを参照する。
- (d) 提出は、計第92号様式の封筒 (参考資料-8 (3) 参照) に封入し、倉入計測器に添付し本店倉庫の委託会社へ送付する。

d. 保管場所・期間

高低压事故計測器調査原票は、本店倉庫の委託会社にてSMNWへ調査結果が入力されるので、統括支店および発生事業所は都度システムで確認する。なお、SMNWの導入前に発行された高低压事故計測器調査原票は、発生事業所にて5年間保管する。

(2) スマートメーター (SM) 不具合調査票

a. 目的

スマートメーターは構造や機能が従来計器と異なり、不具合発生時の原因特定においてより詳細な現地情報が必要となることから、高低圧事故計測器調査原票とは別に、スマートメーター不具合の原因特定に特化した調査票を作成し、それを基に円滑に調査を行うことを目的とする。

b. 様式

参考資料－８（２）参照

c. 不具合発生時の対応方針

(a) スマートメーター本体が不具合の場合

スマートメーター本体に関する不具合（表示異常、開閉器異常、スマートメーター端子部異常等）については、可能な限り異メーカーのスマートメーターに取替える（スマートメーター端子部を含めて全て取替える）。

(b) 通信端末が不具合の場合

通信端末の異常（LEDランプにより状態確認）は、スマートメーターを取替える（スマートメーター端子部を含めて全て取替える）。

d. 作成・提出方法

(a) スマートメーターの事故発生の都度、SMNWで作成し、高低圧事故計測器調査原票とともに、保守管理者へ報告する。

(b) 以下の事故や不具合の場合は作成不要とする。

イ. 器差試験（お客さま対応上で必要な場合）

ロ. 原因が明らかに判明している場

(イ) 破損、焼損、浸水、腐食によるもの

(ロ) 雷害（外観が破損しているものに限る）

(ハ) 施工不良（過電圧印加、ネジ損傷等）

(c) 作成方法は、参考資料－８（２）の記入例を参照する。

(d) 具体的な業務フローは、図Ⅶ－１－２を参照する。

(e) 提出は、高低圧事故計測器調査原票とともに計第92号様式の封筒（参考資料－８（３）参照）に封入し、倉入計測器に添付し本店倉庫の委託会社へ送付する。

(3) 事故の報告

配電線路保守規程では、計量装置（計測器）等に事故が発生し、当該事項によりお客さまへの電力供給が停止となった場合（供給支障）、事故の記録を半期毎に総括保守管理者へ、年毎に電気主任技術者へ報告することとなっているため、高低圧計測器事故が原因で供給支障事故が発生した場合は、以下のとおり取り扱う。

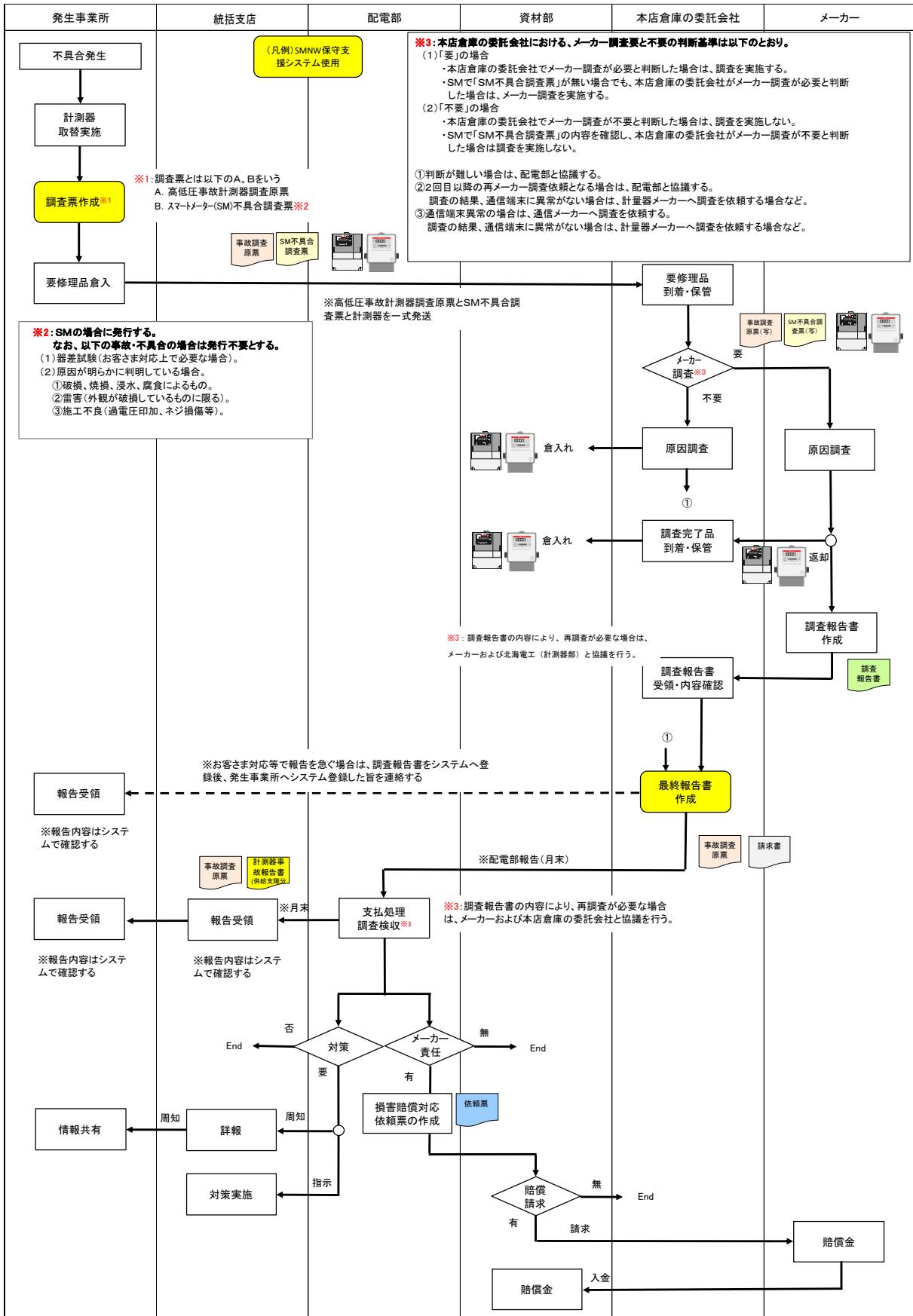
a. 本店配電部

本店配電部は、本店倉庫の委託会社より送付される事故調査報告書から高低圧の供給支障となったものを抽出し、「計測器事故報告書（供給支障分）」を総括支店毎に作成し、事故発生事業所を管轄する統括支店へ毎月送付する（供給支障がない場合は送付しない）。

b. 統括支店

統括支店は、「計測器事故報告書（供給支障分）」の内容を確認し、半期毎に総括保守管理者へ、年毎に電気主任技術者へ報告を行う。

図 VII-1-2 高低圧計測器不具合発生時の調査業務フロー

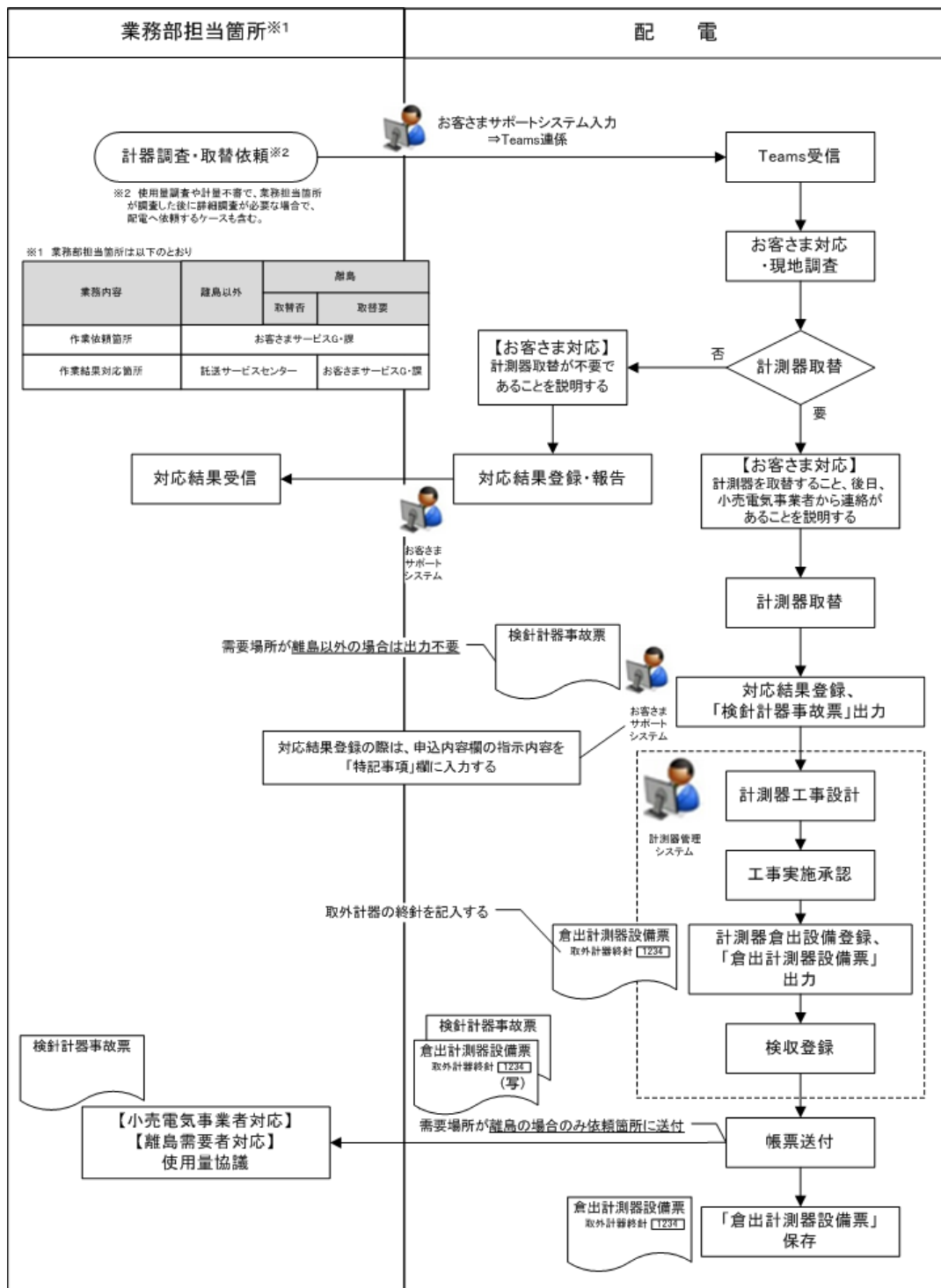


(4) 使用電力量の協定

協定とは、計測器事故等により使用電力量を正しく計量できなかった場合において、各種約款の使用電力量の協定に基づき、お客さまと協定方法および協定電力量を協議して定めることをいう。

配電担当箇所は、計測器事故による取替や改修を行うことから、対応状況を速やかに関係箇所へ報告を行い、小売事業者がお客さまと対応を行う。配電が実施する業務フローは図VII-1-3のとおり。

図 VII-1-3 使用電力量協定時の業務フロー（配電対応分のみ）



(5) 計測器損害賠償請求

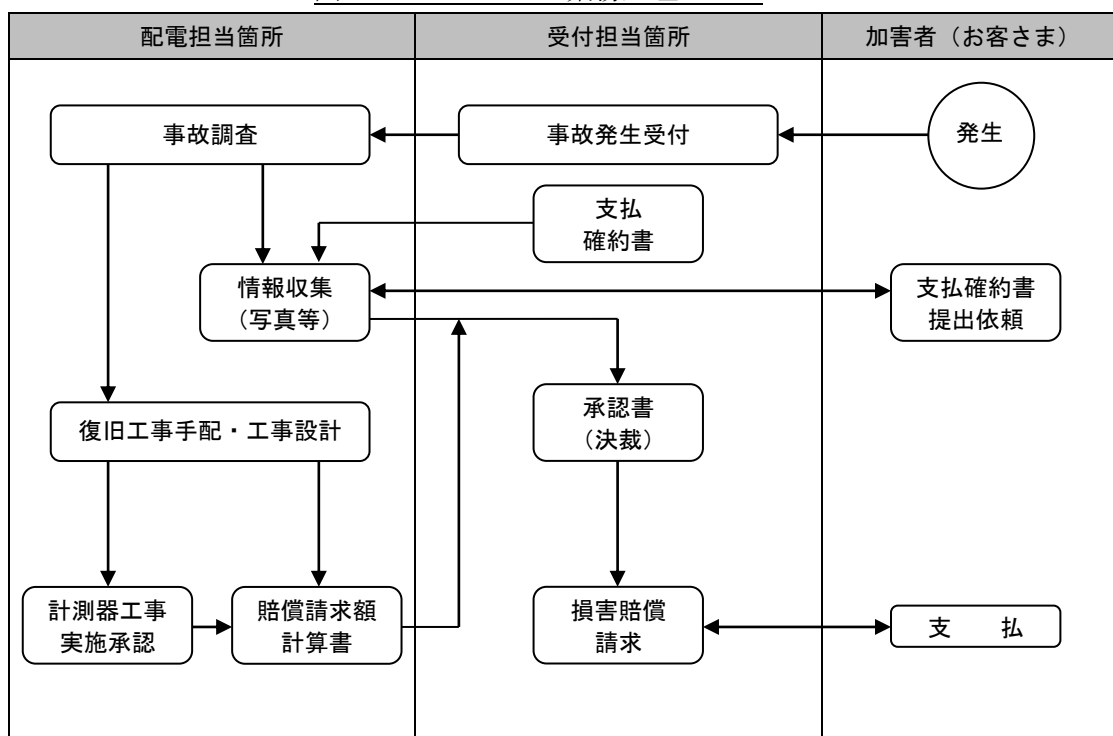
a. 適用目的

各種約款の設備の賠償に基づき、お客さまの故意または過失によって、その需要場所内に設備されている当社の計測器が損傷または亡失した場合に適用する。

なお、第三者が故意または過失によって当社の計測器を損傷または亡失した場合は、損害賠償請求所管箇所（総務担当箇所）にて請求を行い、その際の請求額算定方法は本取扱いに基づく。

損害賠償請求の業務フローは、図VII-1-10のとおり。

図 VII-1-10 業務処理フロー



b. 適用単価

表 VII-1-3 適用単価

工 量	単 価	当年度の工量単価を適用（点/円）	
	工事点数		「配電工事基準・マニュアル工量基準編（計測器）」を適用
資 材 代	計 測 器	当年度の貯蔵品予定払出単価を適用	
	副 資 材	当年度の当社買取り単価を適用	配電工事副資材標準単価に手数料を加算した価格や、箱・板や2次配線等、資材部にて決定した本体価格に手数料を加算した価格

c. 賠償請求額算定方法

計測器の破損状態により、以下のとおり算出する。

(a) 計量器および変成器

- ・修理可能な場合

$$\text{算定額 (Y1)} = \text{貯蔵品払出単価} - \text{貯蔵品除却単価} + \text{取替工費}$$

- ・修理不可能または亡失の場合

$$\text{算定額 (Y2)} = \text{貯蔵品払出単価} \times \text{残価率 (表VII-1-4を適用)} + \text{取替工費}$$

ただし、 $Y1 > Y2$ とならないこと。

(b) 変成器を除く非資産単位物品 (SB、TS、計測器箱・板、2次配線、試験用開閉器他)

- ・修理可能な場合

$$\text{算定額 (Y3)} = \text{貯蔵品払出単価} - \text{貯蔵品除却単価} + \text{取替工費}$$

- ・修理不可能または亡失の場合

$$\text{算定額 (Y4)} = \text{貯蔵品払出単価} + \text{取替工費}$$

ただし、 $Y3 > Y4$ とならないこと。

表 VII-1-4 残価率表 (事故年月-製造年月*)

1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満
1.00	0.94	0.88	0.82	0.76	0.70	0.64	0.58
8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上 11年未満	11年以上 12年未満	12年以上 13年未満	13年以上 14年未満	14年以上 15年未満	15年以上
0.52	0.46	0.40	0.34	0.28	0.22	0.16	0.10

※計量器および変成器は製造年しか判らないため、製造年月は「(製造年+1)年3月」とする。

d. 事故処理方法

計測器の損害賠償事故については、初期対応として現地調査を行う際、写真撮影等の情報収集に努め、加害者に対して支払確約書の提出を依頼する (交通事故の場合は、必要に応じ運転免許証や対物保険証のコピーの提出を依頼する)。

なお、復旧工事手配は、協定処理が発生しないよう即日改修・即日取替とする。また、すみやかに次の証拠書類を取り揃え、受付担当箇所へ承認行為および損害賠償請求行為を依頼する。

- (a) 計測器工事総括表・内訳表
- (b) 賠償請求額計算書
- (c) 支払確約書
- (d) 現場写真
- (e) 運転免許証および対物保険証のコピー (必要に応じて)

e. その他

賠償請求額計算書については、図VII-1-11の様式を参考とする。

賠償請求額計算書

1. 計量器・変成器

(1) 修理可能な場合

$$Y1 = \text{貯蔵品払出単価} - \text{貯蔵品除却単価} + \text{取替工費}$$

$$(\quad) = (\quad) - (\quad) + (\quad)$$

(2) 修理不可能な場合

$$Y2 = \text{貯蔵品払出単価} \times \text{残価率} + \text{取替工費}$$

$$(\quad) = (\quad) \times (\quad) + (\quad)$$

※ただし、 $Y1 > Y2$ とならないこと

2. 変成器を除く非単位物品（SB、TS、計測器箱・板、試験用開閉器、2次配線等）

(1) 修理可能な場合

$$Y3 = \text{貯蔵品払出単価} - \text{貯蔵品除却単価} + \text{取替工費}$$

$$(\quad) = (\quad) - (\quad) + (\quad)$$

(2) 修理不可能な場合

$$Y4 = \text{貯蔵品払出単価} + \text{取替工費}$$

$$(\quad) = (\quad) + (\quad)$$

※ただし、 $Y3 > Y4$ とならないこと

3. 請求額の合計

$$\text{合計} = Y1 \text{ または } Y2 + Y3 \text{ または } Y4$$

$$(\quad) = (\quad) + (\quad)$$

4. 残価率（事故年月－製造年月[※]）

1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満
1.00	0.94	0.88	0.82
4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満
0.76	0.70	0.64	0.58
8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上11年未満	11年以上12年未満
0.52	0.46	0.40	0.34
12年以上13年未満	13年以上14年未満	14年以上15年未満	15年以上
0.28	0.22	0.16	0.10

※残価率を乗じて生ずる円未満は切り捨て

注：計量器および変成器は製造年しか判らないため、製造年月は「(製造年+1)年3月」とする。

2. パルス提供

(1) パルス提供と種類

高圧のお客さまから発信パルスの提供の申し出があった場合は、次のとおり取り扱う。

a. 提供パルス要素および定格パルス定数

(a) 有効電力量

有効電力量パルスの提供可能な計器(電力需給用複合計器)が施設された場合に限る。

定格パルス定数は、定格値〔50,000pulse/kWh(三相3線式の場合)〕とする。

(b) 無効電力量(既提供のお客さまのみを対象とする)

無効電力量パルスの提供可能な計器(電力需給用複合計器)が施設されている場合に限る。定格パルス定数は定格値(50,000pulse/kvarh)とする。

なお、無効電力量パルスを提供しているお客さまについては、検満取替前までに、関係箇所と協力し、無効電力量パルスの提供解消について確認を行う。

(c) 時限(既提供のお客さまのみを対象とする)

時限パルスの提供可能な計器(電力需給用複合計器)が施設されている場合に限る。

定格パルス定数は定格値(1pulse/30min)とする。

なお、時限パルスを提供しているお客さまについては、検満取替前までに、関係箇所と協力し、時限パルスの提供解消について確認を行う。

b. パルス提供方式

パルス検出器(貫通形CT)にて検出する間接検出方式とする(図VII-2-1、VII-2-2参照)。

c. パルス引渡し点

パルスの引渡し点は、パルス検出器(貫通形CT)の挿入点とする。

d. パルス引渡し装置の施設場所

パルス検出器は、当社取引用計量盤のパルスを検出するためのパルス検出部(パルス引渡し装置)と検出した微小パルスを増幅・変換するパルス検出器本体から構成されており、パルス検出部(パルス引渡し装置)は当社取引用計量盤内とし、それ以外はすべて盤外とする。

e. 施工費負担

パルス提供に要する施工費は、すべてお客さまの負担とする。

f. お客さまの電力管理装置駆動電源

当社の取引用計量器からは供給しない(パルス変換器補助電源等すべてのお客さま設備の電源)。

g. お客さまパルス受量装置の認定および検収

施設するお客さまパルス受量装置は原則として間接検出方式とし、当社の工事立会いまたは検収を受ける。

h. パルス定数変更およびパルス提供の解消による当社責務

当社取引用計量器取替等により、パルス提供の解消を行う場合は、予めお客さまに連絡するが、この変更によるお客さまに対する責務は一切負わない。

(2) パルス提供の承認処理

パルス提供の承認処理については、次のように取扱う。

a. 業務分担

(a) 受付担当箇所

- ①申込書の受付、内容審査
- ②承認（配電担当箇所の確認後）および承諾書の作成

(b) 配電担当箇所

- ①申込書の図面審査
- ②施工時の工事立会または検収
- ③パルス提供情報の計測器管理システムへの登録

b. その他

(a) 承諾書の保管

承諾書は（正）、（副）2部作成し（正）は申し出のお客さまへ、（副）は受付担当箇所で保管する。

なお、工事立会または検収の確認印は、その確認時に（正）、（副）各々に押印する。
また、パルス提供中のお客さまの契約変更等が発生した場合、受付担当箇所は配電担当箇所へパルス提供中であることを明示した上で書類を回付する。

(b) 承諾書の失効

当社との電気需給契約が消滅した日以降は、承諾書は失効するものとする。

図 VII-2-1

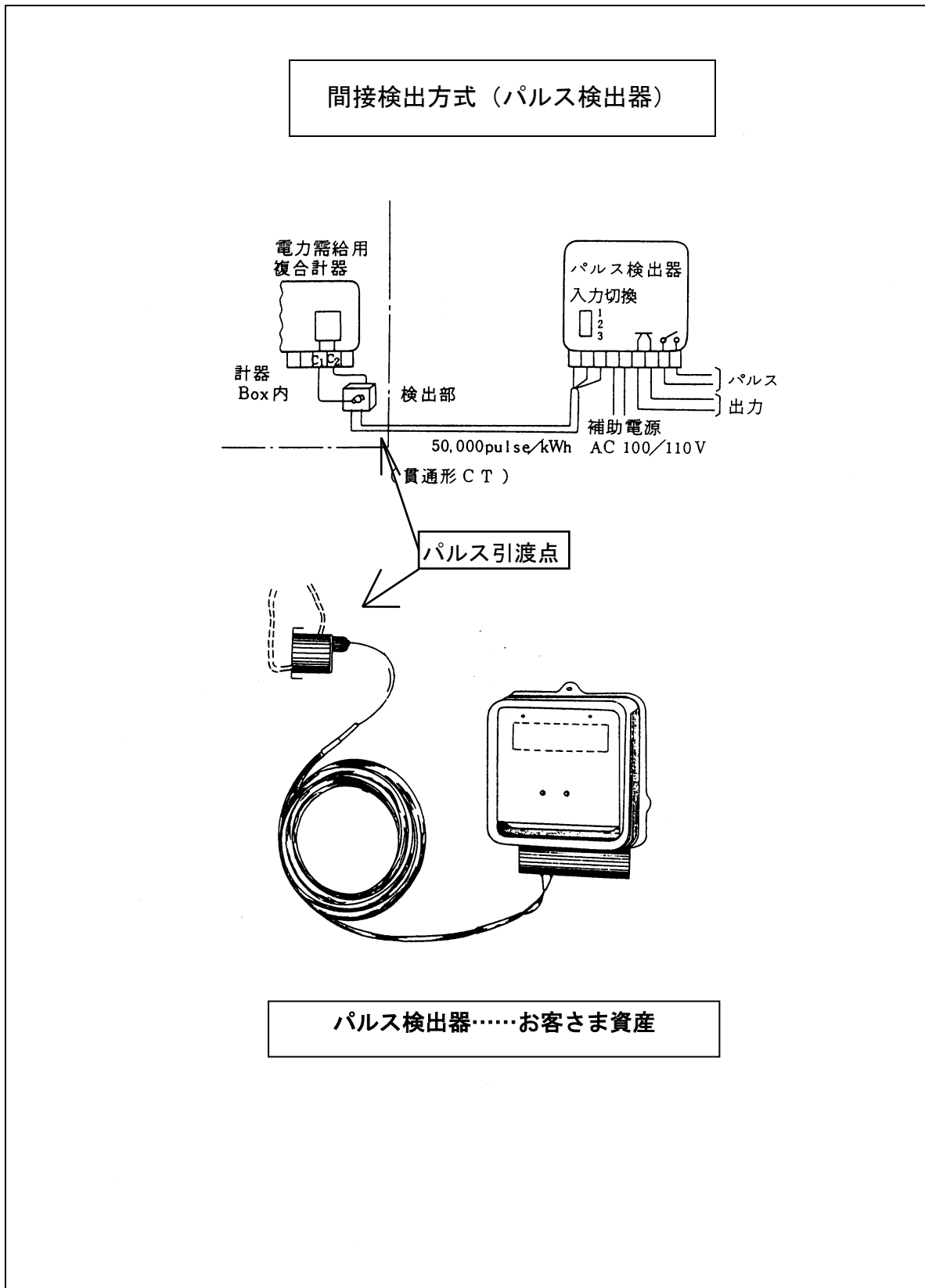
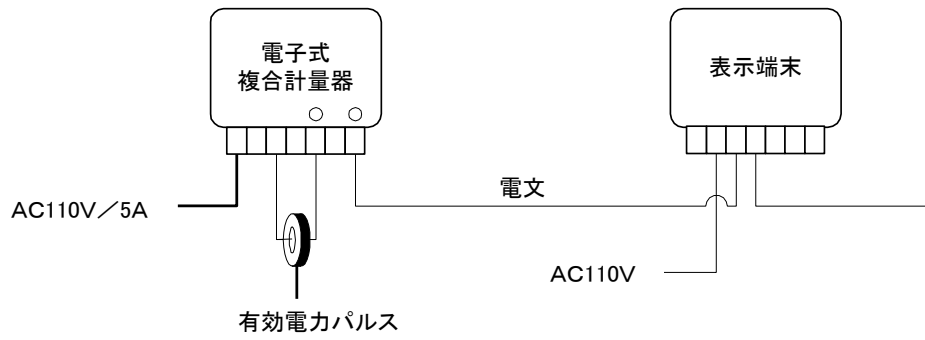


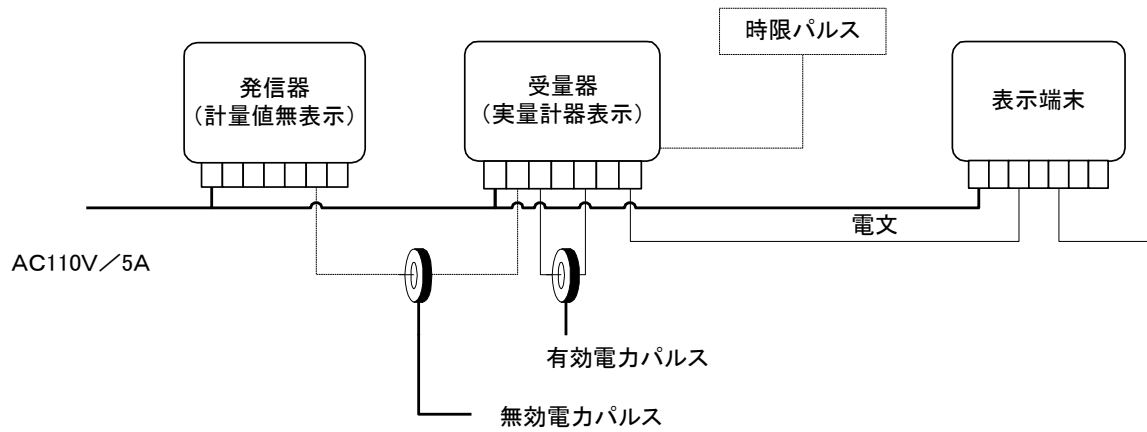
図 VII-2-2

パルス提供時の回路例

a. 1回線受電（単回路仕様）



b. 1回線受電（多回路方式の単回路仕様）



3. 計測器ネジキャップの取扱い

(1) 計測器ネジキャップの目的

計測器ネジキャップ（計測器ワイヤー、計測器ワイヤーロックを含む）は、定期調査時の作業効率低下防止のため、送電停止中（断路バー開放中）であること目印として使用する。

(2) 適用範囲

この取扱いは、電力量の取引に使用する当社の計量器・付属装置（変成器・計測器箱）に適用する。

(3) 計測器ネジキャップ施工箇所

計測器ネジキャップは、表Ⅶ-3-1の箇所に取付ける。

表 Ⅶ-3-1 計測器ネジキャップ箇所

対 象		取付箇所	
		当社計測器箱の場合	お客さま計測器箱の場合
計 量 器	低 圧 電 力 量 計	計測器箱カバーの留めネジ	計量器端子カバー
	高 圧 電 力 量 計		
	特 別 高 圧 電 力 量 計	計量盤の封印ビス（計測器ワイヤーと計測器ワイヤーロックを使用）	
付 属 装 置	低 圧 変 流 器	計測器箱カバーの留めネジ	2次端子カバーの留めネジ（計測器ワイヤーと計測器ワイヤーロックを使用）
	タ イ ム ス イ ッ チ		ガラスカバー取付ネジおよび計量器端子カバーの留めネジ
	高 圧 変 成 器	2次端子箱の留めネジ（計測器ワイヤーと計測器ワイヤーロックを使用）	
	特 別 高 圧 変 成 器		

(4) 計測器ネジキャップ色

表Ⅶ-3-2のとおり計測器ネジキャップの色を定める。

表 Ⅶ-3-2 計測器ネジキャップ色

	計測器ネジキャップの色	主な用途
料金担当（委託会社含む）	黄	送電停止中

4. TS設定ブロックの取扱い

(1) TS設定ブロックの使用目的

TSに取付するTS設定ブロック（以下、「設定ブロック」という。）は、TSの通電・遮断時間を正確に設定することを目的とし使用する。

(2) TS設定ブロックの種類

設定ブロックは表VII-4-1のとおり8種類を定め、契約に対応した設定ブロックを使用する。

なお、TS設定ブロックは新規購入出来ないため、在庫がない場合は、入・切設定ピンを使用して設定する。

表 VII-4-1 設定ブロックの種類

通電・遮断区分	設定ブロック略号	設定ブロックの色
通電（5時間）	T 5	赤色
通電（8時間）	T 8	橙色
通電（10時間）	T 10	桃色
連続遮断（2時間）	S 2	水色
連続遮断（5時間）	S 5	白色
断続遮断（15分断続）	D 15	黄緑色
断続遮断（30分断続）	D 30	黄色
断続遮断（60分断続）	D 60	茶色

(3) TS設定ブロックの払出

計測器倉出箇所（計測器受払業務委託箇所を含む）にてTS倉出時に設定ブロックを必要な数量だけ払出する。

なお、設定ブロックの払出後の紛失を防止するため、工事会社に予備は渡さない。

a. 設備工事

TS倉出時に電気使用申込書に捺印された内容（通電・遮断時間）に基づき設定ブロックを払出する（規則的な通電・遮断パターンは全て設定ブロックを払出する）。

b. 検満工事

当社が工事内容に基づき、工事会社または工事組合へ設定ブロックの必要数を払出する。

5. 変成器 2 次配線の取扱い

(1) 2 次配線の太さの選定について

変成器と計量器を接続する 2 次配線の太さは、2 次配線抵抗の負担 (VA) と計量器の負担 (VA) の合計負担 (VA) が、接続する変成器の使用負担範囲内になるよう、次のとおり選定する。

a. 特定検定計量器の場合

(a) 普通級

2 次配線の太さと施設亘長は表 VII-5-1 のとおりとする。

表 VII-5-1 選定早見表 (普通級)

太さ	3.5 mm ²	5.5 mm ²	8 mm ²	14 mm ²
亘長 (m)	3~30	5~45	7~65	12~100

付属機器：通信端末 (電源の接続相については下表参照)

設備種別	VCT 単独	VCT 共用	
		供給 (L) 側	受給 (G) 側
FF：高圧通信端末 (LTE 用)	P3-P2		P1-P2
FW：高圧通信端末 (Ethernet 用)	P3-P2		P1-P2

(b) 精密級

2 次配線の太さと施設亘長は表 VII-5-2 のとおりとする。

表 VII-5-2 選定早見表 (精密級)

太さ	3.5 mm ²	5.5 mm ²	8 mm ²	14 mm ²	22 mm ²
亘長 (m)	1~15	1~25	1~35	1~60	1~100

付属機器：通信端末 (電源の接続相については (a) と同じ)

b. 特定検定以外の計量器の場合

表 VII-5-1、表 VII-5-2 に準じて選定する。ただし、施設亘長が特に長い場合は、事前に本店倉庫の委託会社との打合せを必要とする。

(2) 2 次配線の施工

2 次配線は当社で施工する。ただし、お客さま都合で、2 次配線亘長が 10 m (特別高圧は 100 m) を超過する場合は、お客さま負担とする。

なお、新設時は、計量器等を「検針および取付け取外し工事が容易な場所に取り付ける」ことをお客さまにお願いしているため、これにより 2 次配線が 10 m (特別高圧は 100 m) を超過した場合は全て当社都合として扱い、お客さま負担とはしない。

(3) 既設の取扱い

既設の 2 次配線についてお客さまから譲渡の依頼があった場合は、無償譲受とする。

6. 未使用計測器（残材品等）の取扱い

(1) 取扱区分

計測器工事のために倉出した計測器が工事不調、工事取消（工事不要）等により使用されず、未使用となった場合は表Ⅶ－6－1のとおり区分する。

表 Ⅶ－6－1 未使用計測器の取扱区分

取扱区分	工事種別	説明
残材品	検満工事	工事完了後、工事不要等により未使用となった計測器を良品として倉庫へ返納する計測器
	電設工事	工事完了後、工事変更・取消等により未使用となった計測器を良品として倉庫へ返納する計測器
残材品以外	電設工事 検満工事	計測器払出後から工事完了までの間に未使用計測器に損傷が確認され、工事品として使用できないため計測器払出箇所へ返納する計測器
倉庫品		計測器受払箇所（事業所、工事組合）に保管している未使用計測器

(2) 損傷の確認

計測器受払箇所および工事会社は、表Ⅶ－6－2を参考に未使用計測器の状態確認を行い、損傷の有無を確認する。

表 Ⅶ－6－2 計測器の損傷確認内容

対象品	確認項目
電力量計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観の変形、損傷等の有無確認（端子蓋を含む） ・ 端子部のネジ抜け、ネジ折れ等の有無確認 ・ プレッシャーネジの状態確認（空回り、損傷等の有無） ・ 検定封印の破損、検定満了シールの有無 ・ 計量パターンシール等の状態確認（破損、剥がれの有無）
タイムスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観の変形、破損等の有無確認（端子蓋を含む） ・ 端子部のネジ抜け、ネジ折れ等の有無確認
マグネットスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観の変形、破損等の有無確認（接続端子部を含む） ・ 制御線接続端子部のネジ抜け、ネジ折れ等の有無確認
VCT	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外箱の変形、破損等の有無確認（端子蓋を含む） ・ ブッシング破損の有無確認
変流器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観の確認、破損等の有無確認（端子蓋、一次端子を含む） ・ 二次端子部のネジ抜け、ネジ折れ等の有無確認

(3) 取扱方法

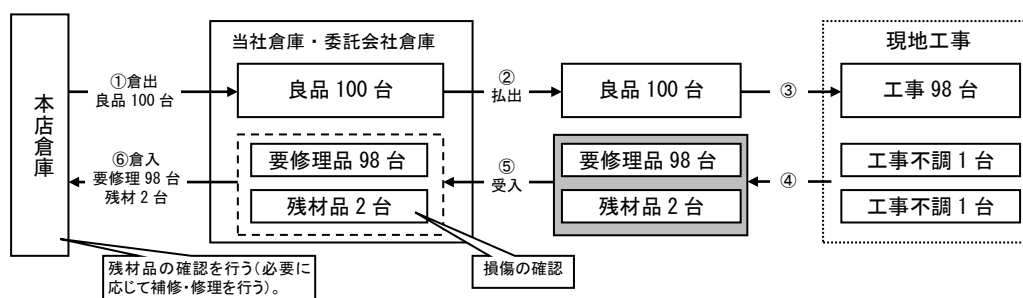
未使用計測器は、取扱区分、計測器の状態（損傷有無）および工事種別により、以下のとおり取扱う。

a. 残材品

(a) 損傷が無い場合

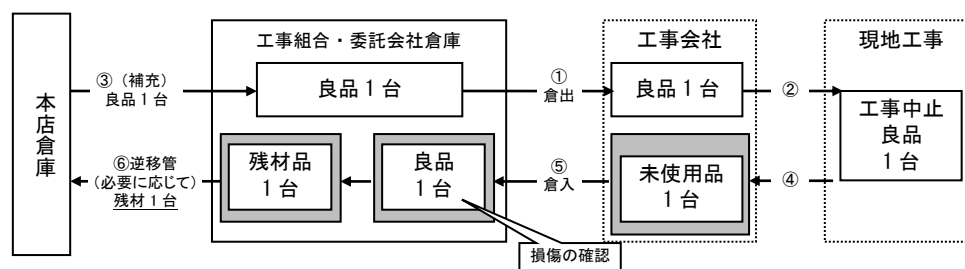
《検満工事》

- ・「残材品」として処理を行う。



《電設工事》

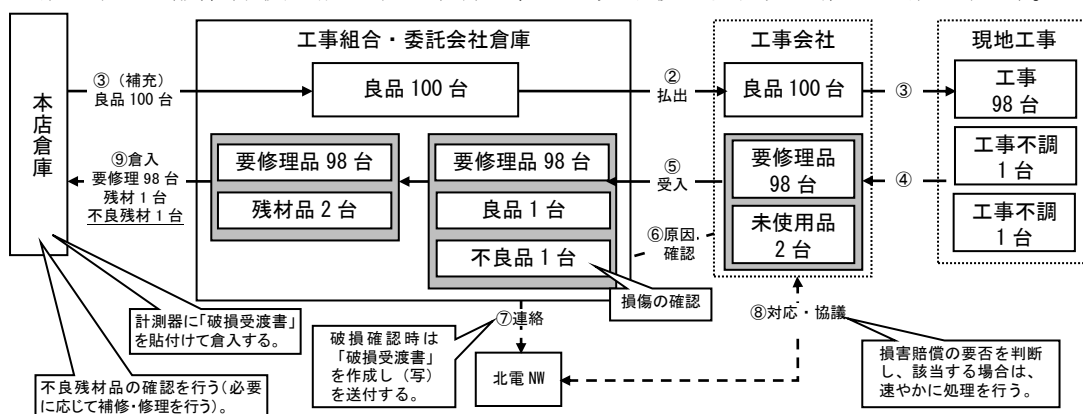
- ・「残材品」として倉入れを行う。



(b) 損傷がある場合

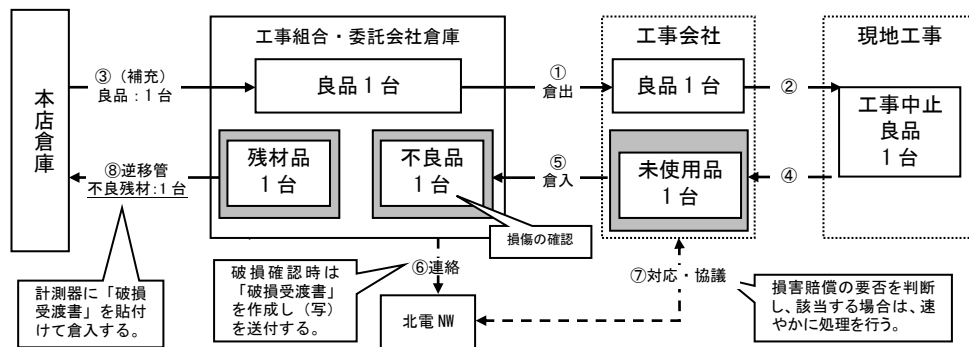
《検満工事》

- ・計測器受払箇所にて「残材・移管（不良品）破損受渡書（以下、「破損受渡書」という。）」（参考資料－16（1）参照）を作成し、損傷が確認された計測器に貼付のうえ、当該工事の返納計測器とともに「残材品」として倉入を行う。
- ・損傷原因を確認し、損害賠償に該当する場合は、損害賠償処理（後述（4）参照）を速やかに行う（損害賠償に該当する場合は、処理完了後に委託先へ倉入を行う）。
- ・受払箇所が委託先（工事組合）の場合は、破損受渡書のコピーを配電担当箇所へ送付（必要に応じて電話連絡）し、配電担当箇所で損害賠償の要否を判断した後、委託先へ倉入を指示する（損害賠償に該当する場合は、処理完了後に委託先へ倉入を指示する）。



《電設工事》

- ・計測器受払箇所にて破損受渡書を作成し、損傷が確認された計測器に貼付のうえ、「残材品」として事業所倉庫へ倉入を行う。
- ・損傷原因を確認し、損害賠償に該当する場合は、損害賠償処理（後述（４）参照）を速やかに行う。
- ・事業所倉庫への倉入完了後、損傷が確認された計測器の本店倉庫への移管請求を行い、定期便にて移管を行う（損傷が確認された計測器に破損受渡書を貼付した状態で移管する）。
- ・受払箇所が委託先（工事組合）の場合は、破損受渡書のコピーを配電担当箇所へ送付（必要に応じて電話連絡）し、配電担当箇所にて損害賠償の可否を判断した後、委託先へ損害賠償の可否を伝え自所倉庫への倉入を指示する。倉入完了後、配電担当箇所は破損が確認された計測器の本店倉庫への移管請求を行い、委託先へ移管を指示する（破損が確認された計測器に破損受渡書を貼付した状態で移管する）。

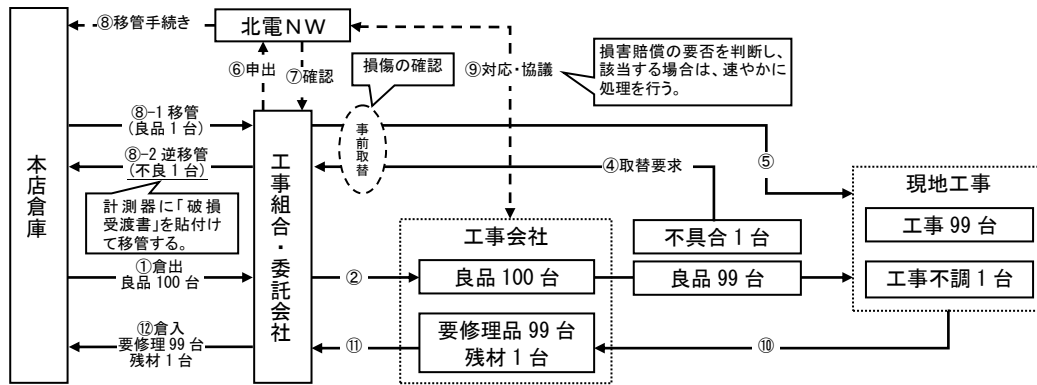


b. 残材品以外

(a) 検満工事

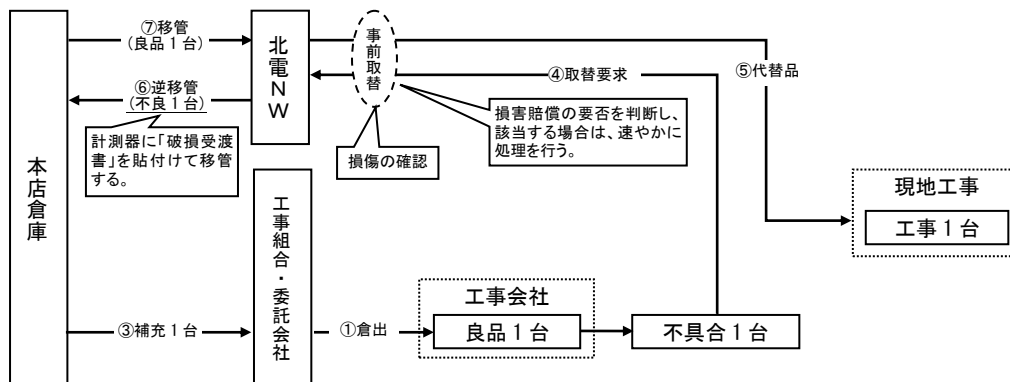
- ・計測器受払箇所は損傷が確認された計測器を回収し、新たに代替品（倉庫品）を払出して工事を完了させる。ただし、電設工事の場合は、払出箇所（当社・委託先）に関わらず全て当社で計測器の回収、代替品の払出しを行う（注12）。
- ・計測器受払箇所は破損受渡書を作成し、破損が確認された計器に貼付のうえ、移管請求後、定期便にて「良品」として本店倉庫へ移管を行う（不良品であっても良品として取扱う）。
- ・損傷原因を確認し、損害賠償に該当する場合は、損害賠償処理（後述（４）参照）を行う。
- ・受払箇所が委託先（工事組合）の場合は、破損受渡書のコピーを配電担当箇所へ送付（必要に応じて電話連絡）し、配電担当箇所にて損害賠償の可否を判断した後、本店倉庫への移管請求を行い、委託先へ損害賠償の可否を伝えるとともに移管の指示を行う。委託先は配電担当箇所からの指示に基づき定期便にて「良品」として本店倉庫へ移管を行う（破損が確認された計測器に破損受渡書を貼付した状態で移管する）。

（注 12）計測器取替に伴い、倉出計測器設備票の登録データ変更、電気使用申込書に貼付したQRシールの貼替が必要となるため受払委託箇所（工事組合・委託会社）での対応は不可とする。



(b) 電設工事

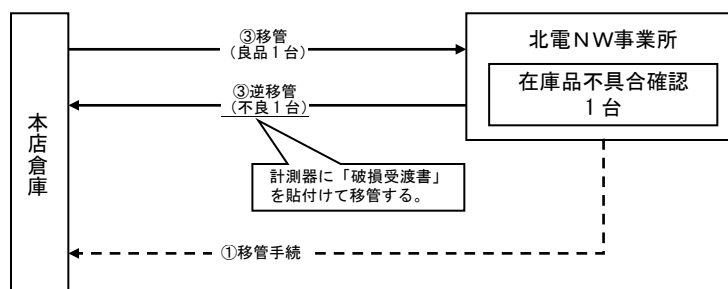
- ・配電担当箇所は損傷が確認された計測器を回収し、新たに代替品（倉庫品）を払出して工事を完了させる（払出箇所（当社・委託先）に関わらず全て当社で計測器の回収、代替品の払出しを行う）。
- ・配電担当箇所は破損受渡書を作成し、破損が確認された計器に貼付のうえ、移管請求後、定期便にて「良品」として本店倉庫へ移管を行う（不良品であっても良品とし取扱う）。
- ・損傷原因を確認し、損害賠償に該当する場合は、損害賠償処理（後述（4）参照）を行う。



c. 倉庫品（貯蔵品）

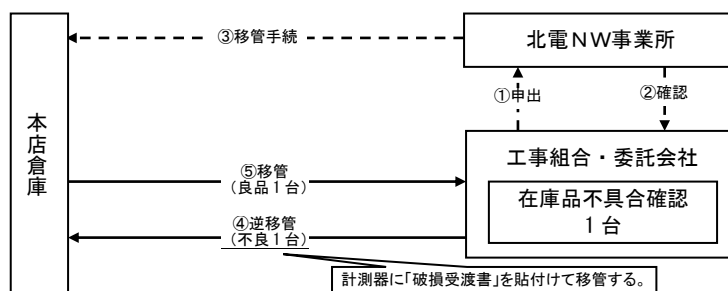
(a) 当社倉庫で確認された場合

- ・配電担当箇所にて破損受渡書を作成し、損傷が確認された計測器に貼付のうえ、移管請求後、定期便にて「良品」として本店倉庫へ移管を行う（不良品であっても良品とし取扱う）。



(b) 委託先（工事組合・委託会社）倉庫で確認された場合

- ・委託先にて破損受渡書を作成し、コピーを配電担当箇所へ送付（必要に応じて電話連絡）する。
- ・配電担当箇所は移管請求後、委託先へ移管を指示する。
- ・委託先は配電担当箇所からの指示に基づき定期便にて「良品」として本店倉庫へ移管を行う（破損が確認された計測器に破損受渡書を貼付した状態で移管する）。



(4) 損害賠償処理

a. 損害賠償の要否判断

配電担当箇所と工事会社で損傷原因の確認を行い、その原因が工事会社にあり、かつ責任が明確に問える場合は損害賠償対応を行う。

なお、①計測器端子ネジ（プレッシャーネジ含む）のネジ切れ・ネジ折れ、②責任が不明確な場合、③不可抗力等止むを得ない場合、は損害賠償の対象外とする。

表 VII-6-3 損害賠償対象概要

対象品	損害賠償対象項目	発生原因
電力量計 タイムスイッチ	筐体の変形、端子部の破損、ガラスの破損、機能損傷	・計測器への電線接続または結線を誤り損傷させたもの ・取扱者の取扱い不備により損傷させたもの
変流器 マグネットスイッチ	筐体の変形、機能損傷	
VCT	筐体の変形、ブッシングの破損、機能損傷	

b. 損害賠償に係わる手続き

計測器の損傷が損害賠償に該当すると判断された場合、配電担当箇所は以下のとおり損害賠償手続きを行う。

- ・配電担当箇所は工事会社から「電力量計類の破損について」（参考資料-16（2）参照）を取得する。
- ・配電担当箇所は「損害賠償対応依頼票」（参考資料-16（3）参照）を作成し、工事会社から受領した「電力量計類の破損について」を貼付し資材担当箇所へ送付する。

(5) 倉入・移管について

残材品等の倉入、移管（逆移管）および良品の補充は、スポット配送を回避し、可能な限り定期補充を活用すること。

(6) 破損受渡書の保管

計測器の損傷を確認した場合に発行（受領）する「破損受渡書」（写）は1年間保管する。

Ⅷ. 計測器業務の委託

1. 業務の委託内容

主な業務の委託内容は次による。

(1) 計測器受払い業務

北海電気工事株式会社（技術担当）がある事業所は、次の計測器業務を委託する。

委託業務項目	委託業務内容
計測器工事・異動作業の実施に伴う計器類の受払い業務	<ul style="list-style-type: none"> ・計測器工事・異動作業に伴う関係原票の作成と提出およびオンライン入力業務 ・受付整理と工事・作業関係書類の工事店配布 ・計測器および付属品の受払いと検収 ・返納計測器および付属品の運送手配 ・上記に付帯する業務
定数管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・計測器受払い業務日報、定数連絡票の作成・提出 ・定数補充品の授受 ・定数品の保管・管理 ・上記に付帯する業務

(2) 低圧検満業務

北海電気工事株式会社（技術担当）がある事業所（道央統括支店直轄区域内と名寄・滝川NWCを除く）は、次の低圧検満業務を委託する。また、道央統括支店直轄区域内の事業所は、次の低圧検満業務のうち工事検収を除く業務項目を北海電気工事株式会社（計器担当）に委託する。

委託業務項目	委託業務内容	マニュアル参照元
検満工事計画	<ul style="list-style-type: none"> ・工事組合または施工会社と工事月を調整し工事予定月を設定 ・上期計画分を前年度1月、下期計画分を7月に実施 ・上記に付帯する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ－2（2）
工事設計	<ul style="list-style-type: none"> ・検満工事計画により検満工事予定となった低圧お客さまに対する、計測器管理システム入力による検満工事設計 ・「計測器検満アラームリスト」に出力された未設計分の検満工事設計 ・検満工事不能分の再設計 ・上記に付帯する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ－2（3）
工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ・工事組合または施工会社への工事依頼 ・行動系業務管理システムによる検満作業情報管理 ・「計測器検満アラームリスト」、「計測器未竣工工事内訳表」等による工事進捗管理 ・お客さまや施工会社からの問い合わせに関わる対応および当社への取次ぎ ・検満工事に関わる施工会社への指示 ・上記に付帯する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ－2（5） ・Ⅲ－2（6） ・Ⅲ－2（10） ・Ⅲ－2（11） ・Ⅴ－3（2）
工事検収	<ul style="list-style-type: none"> ・工事組合または施工会社との工事完了分検満計測器工事票の受渡し ・計測器管理システム入力による設計修正や工事検収（書類検収）、現地検収（抜取り）の実施 ・上記に付帯する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ－2（7） ・Ⅲ－2（8） ・Ⅲ－2（9）

※工事組合：検満計測器の受払い業務を委託している各地方電気工事業協同組合をいう。

2. 委託の予算

北海電気工事株式会社（技術担当）に委託する場合は「N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（包括委託）」、北海電気工事株式会社（計器担当）に委託する場合は「N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（一般）」によるものとする。

3. 委託の実施計画

(1) 北海電気工事株式会社（技術担当）への委託

「N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（包括委託）」によるものとする。

なお、業務委託実施計画表は、計測器受払い業務は「計測器受払い業務委託取扱要領 北海電気工事株式会社（技術担当）編」の「計測器受払委託計画表」を、低圧検満業務は「低圧検満業務委託計画表」（参考資料-17参照）による。

(2) 北海電気工事株式会社（計器担当）への委託

「N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（一般）」によるものとし、委託契約の締結については、「RJ-1-4 委託契約マニュアル」に則り、資材担当箇所に依頼する。

4. 委託業務の付託および受託

(1) 北海電気工事株式会社（技術担当）への委託

本店配電部より確定後の委託業務量および委託工量単価の通知を受け、当社計測器管理者の承認を得た後、「業務付託票（委-2）」（N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（配電保守業務）参照）により年度一括分を付託し、北海電気工事株式会社（技術担当）はこれを受託する。

付託業務	帳票	計画策定方法	付託時期
計測器受払い業務	業務付託票（委-2）	年間分を一括作成	3月20日迄
低圧検満業務			

(2) 北海電気工事株式会社（計器担当）への委託

資材担当箇所より確定後の委託単価の通知を受け、事業所の専決権限に基づき委託の実施承認を得た後、「業務付託票（委-2）」（N-1-1 配電業務管理マニュアル業務委託編（配電保守業務）参照）により年度一括分を付託し、委託会社はこれを受託する。

付託業務	帳票	計画策定方法	付託時期
低圧検満業務	検満業務付託表	年間分を一括作成	3月20日迄

5. 委託業務の実施

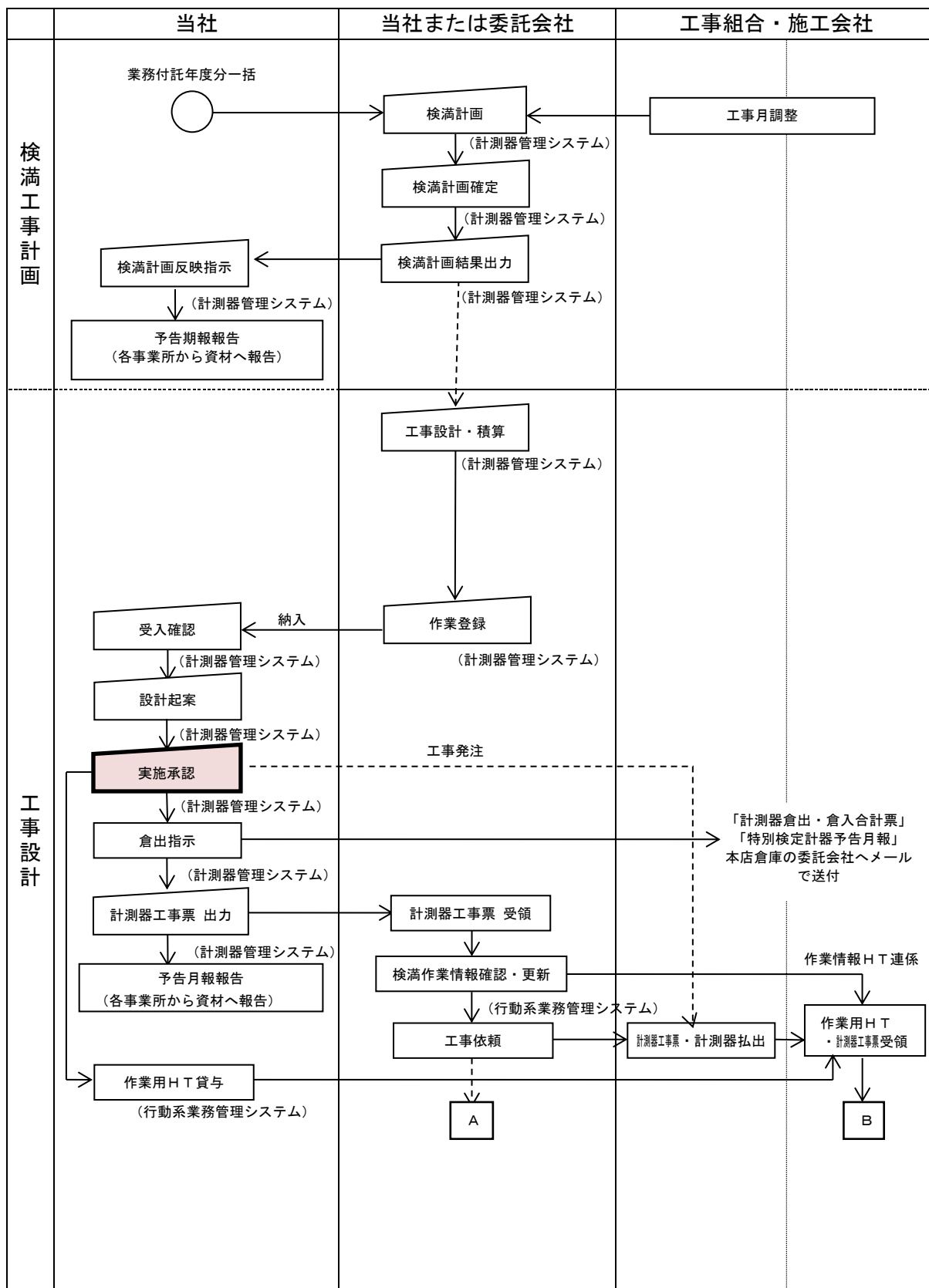
(1) 計測器受払い業務

委託業務の実施にあたっては、別に定める「計測器受払い業務委託取扱要領 北海電気工事株式会社（技術担当）編」によるものとする。

(2) 低圧検満業務

- a. 委託業務の基本的な処理内容は、前述「Ⅲ－２」によるほか、委託に関わる業務処理および業務分担は、図 Ⅷ－５－１ 低圧検満業務委託処理フローのとおりとする。
- b. 委託業務に関わる委託会社から当社への取次ぎや連絡事項および対応記録は、「連絡箋（委－３）」（N－１－１ 配電業務管理マニュアル業務委託編（包括委託）参照）を発行して行うものとする。ただし、工事組合や施工会社からの連絡で保安上緊急措置を要するものや、お客さまの問い合わせ等で早急に当社の対応が必要な場合は、直ちに当社に連絡を行うものとする（「連絡箋（委－３）」は事後に発行のこと）。
- c. 工事組合・施工会社、お客さま対応の基本事項
 - (a) 工事組合・施工会社の工程管理
 - i. 委託会社は、計器の検定有効期間を超過する前に計器取替を完了するよう、工事組合・施工会社に対して適確な工程管理を行う。
 - ii. 工事組合・施工会社の問い合わせに対して、親切かつ丁寧な対応を行い、必要に応じて工事施工場所に出向し、指示を行う。
 - (b) お客さま対応
 - i. お客さまの問い合わせに対して、親切かつ丁寧な対応を行い、必要に応じてお客さまを訪問し、対応を行う。
 - ii. 対応の結果、お客さまの理解を得ることが困難な場合は、速やかに当社へ連絡し、当社へ取次ぎまたは指示を受ける。
 - (c) お客さま情報の利用について
委託会社がお客さまサービスグループ／課にお客さま情報の提供を求める場合は、お客さま情報の業務目的外使用を防止するために、当社経由による所定の確認手続きを経たうえで提供を受ける。
- d. 業務の納入
 - (a) 委託会社は、工事設計時と工事検収後に検満計測器工事票および関係書類を、当社に納入する。
 - (b) 当社は、委託会社から納入された関係書類を確認し検収する。
なお、納入された関係書類に不備・不足がある場合は、委託先へ再提出を求める。
 - (c) 委託会社は、低圧検満業務に係わる実績を確認し、必要に応じて実績補正（計測器管理システム入力による）を行い、当社に納入する。
- e. 研修・安全パトロール
委託会社は、当社が工事組合・施工会社を対象に実施する検満工事研修会や安全パトロールに、当社の要請に基づき参加する。
- f. 委託業務管理
当社は、計測器管理システムの「インフォメーション画面の検満工事進捗情報」、「検満対象設備工事進捗（システムメニュー）」および行動系業務管理システムの検満作業情報管理により、都度委託業務の実施状況を確認する。

図 VIII-5-1 低圧検漏業務委託処理フロー（作業用HT使用の場合）



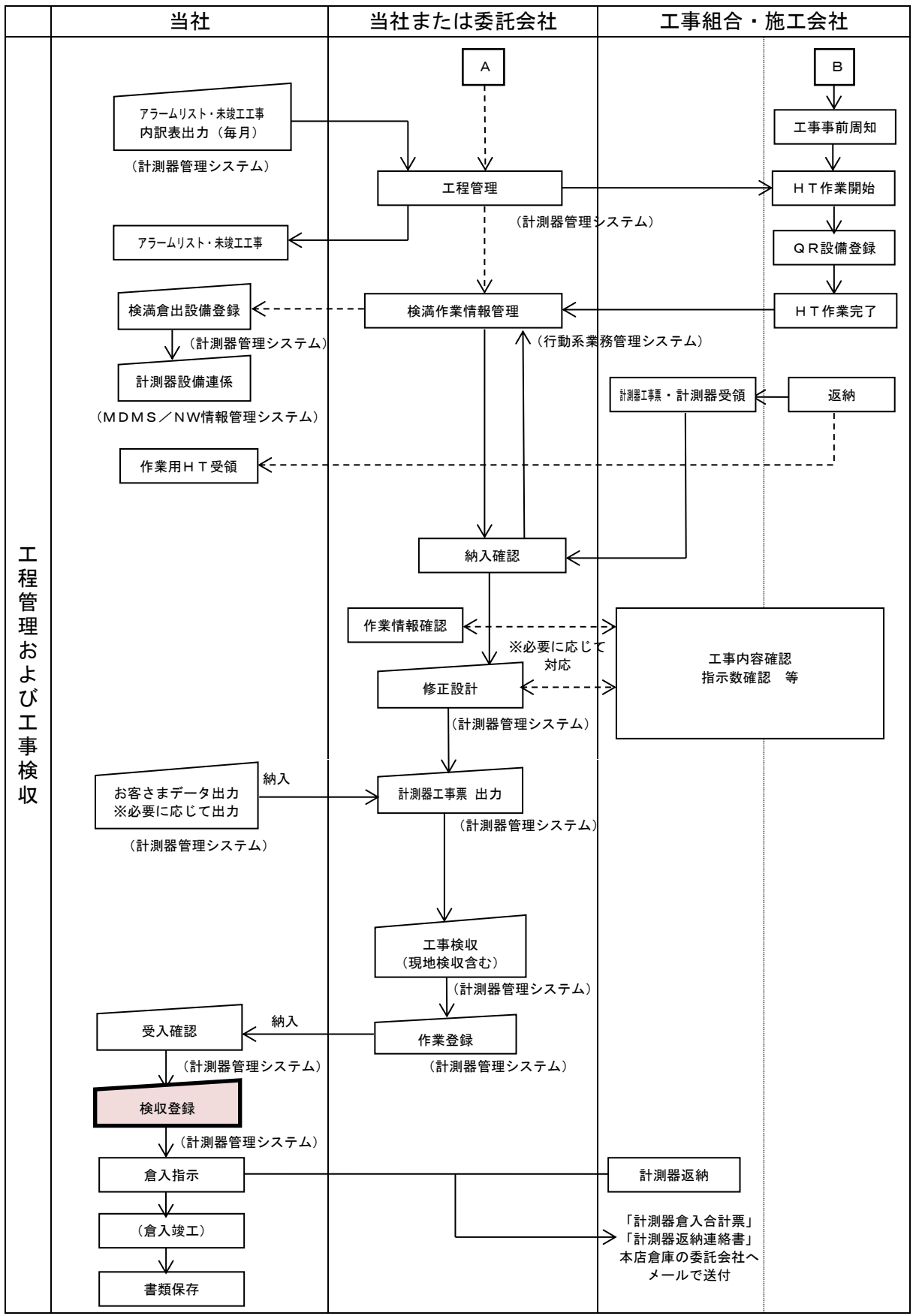
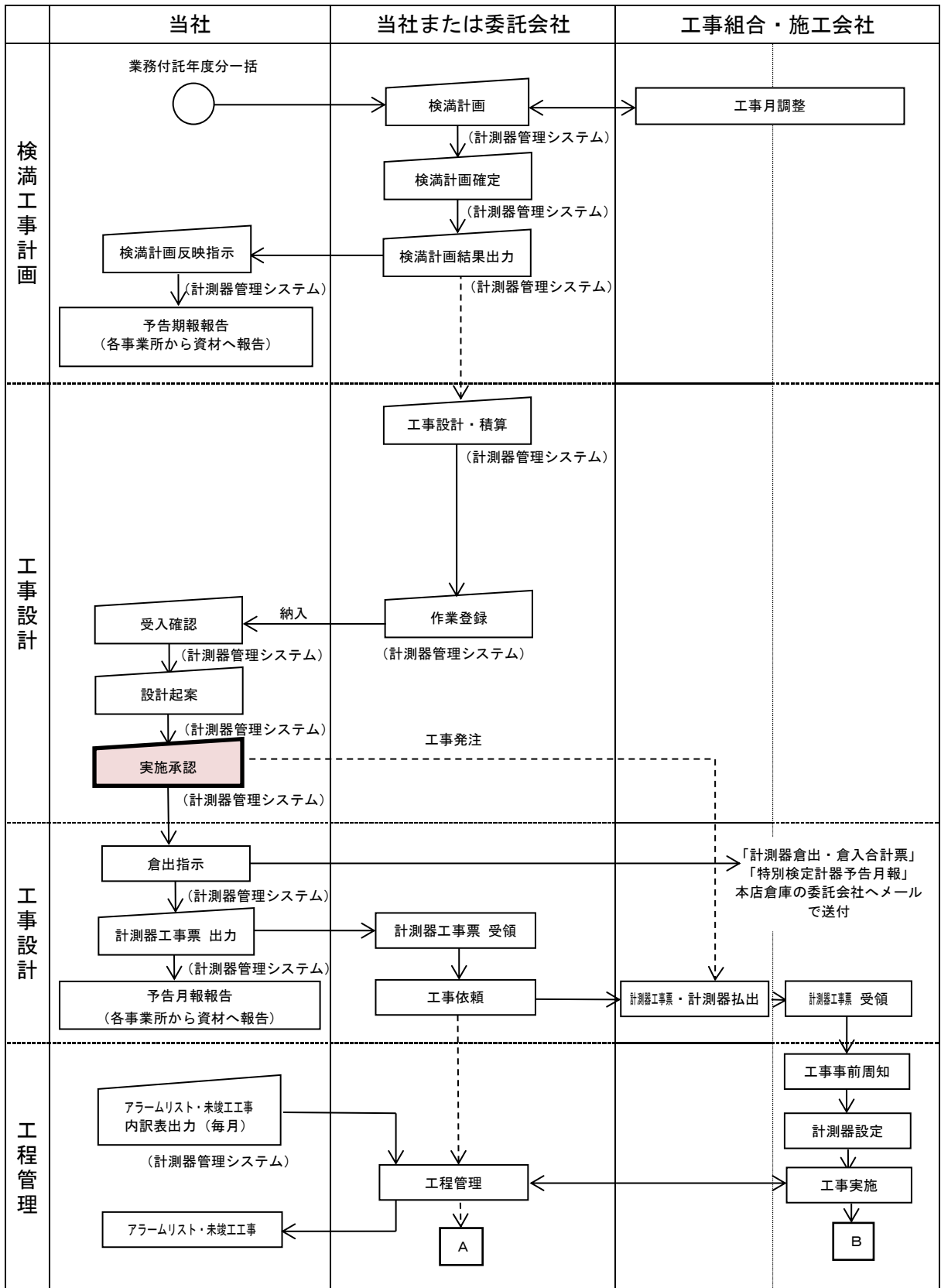
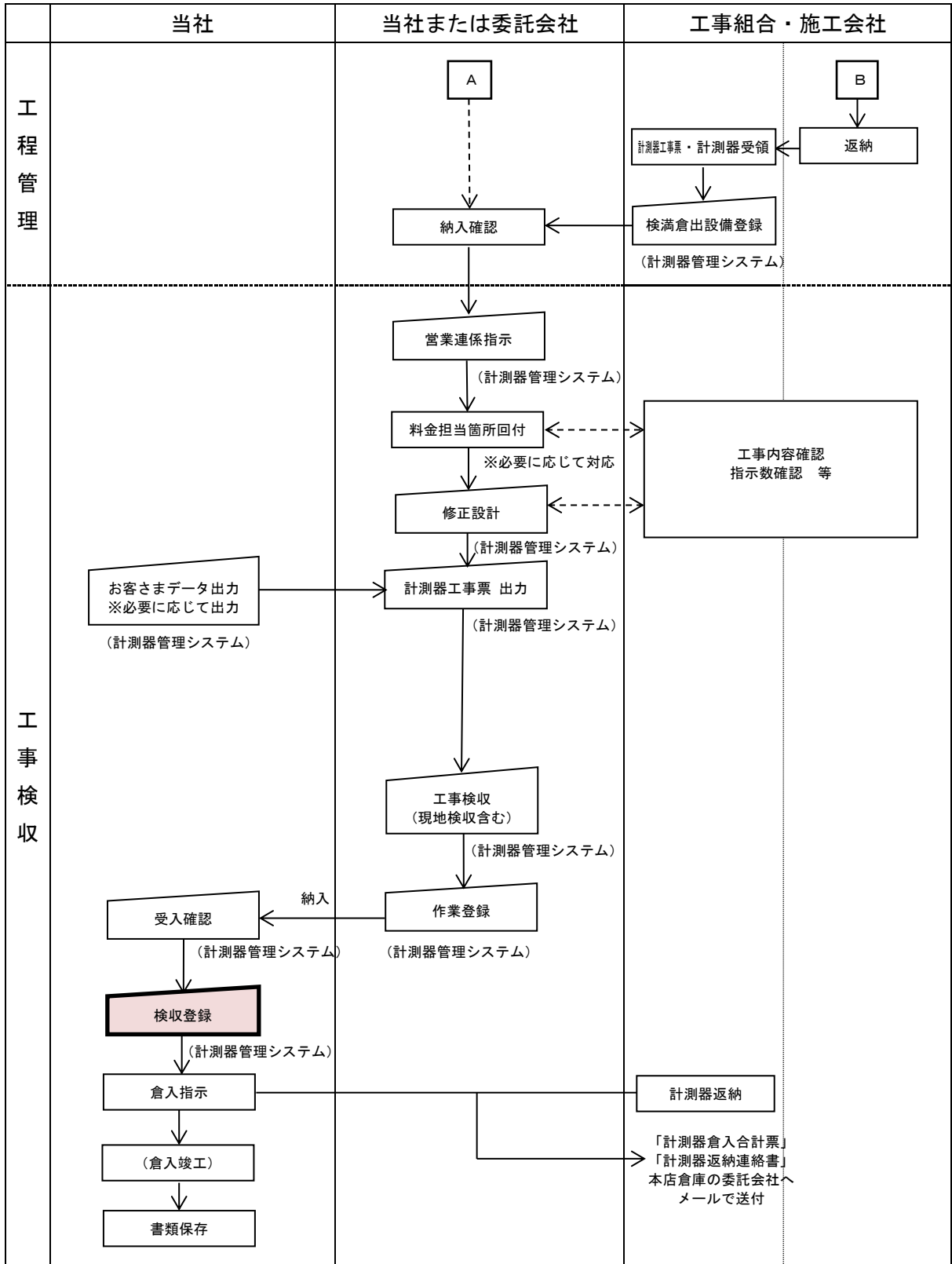


図 Ⅷ-5-2 低圧検満業務委託処理フロー（作業用HT未使用の場合）





参 考 資 料

1. 計測器略号一覧	
(1) 計測器略号	1 2 5
(2) 設備区分と設備種別	1 2 6
2. インプット原票一覧	
(1) 高低圧事故計測器調査原票	1 2 7
(2) スマートメーター (SM) 不具合調査票	1 2 7
(3) 計測器事故報告書 (供給支障分)	1 2 8
3. アウトプット帳票一覧	
3-1. 計測器管理システムから出力可能な帳票	
(1) 計測器倉出・倉入合計票	1 2 9
(2) 計測器未竣工工事内訳表	1 3 0
(3) 計測器竣工工事内訳表	1 3 1
(4) 計測器工事票	1 3 2
(5) 計測器工事実施内容書	1 3 3
(6) 計測器工事予算総括表	1 3 4
(7) 計測器工事予算内訳表	1 3 4
(8) 計測器工事予実算管理表 (建口)	1 3 5
(9) 計測器工事予実算管理表 (除口)	1 3 5
(10) 計測器工事予実算管理表 (修繕・諸費)	1 3 6
(11) 計測器受払データエラーリスト	1 3 6
(12) 計測器設備訂正承認リスト	1 3 7
(13) 計測器チェックリスト (設備整合性)	1 3 8
(14) 倉出計測器設備票	1 3 9
(15) 倉出計測器設備票 (高圧)	1 4 0
(16) 計測器建仮工事月報 (建設工事口)	1 4 1
(17) 計測器建仮工事月報 (除却工事口)	1 4 1
(18) 計測器関係修繕工事月報	1 4 2
(19) 計測器受払票務委託実績表 (当社用)	1 4 2
(20) 計測器受払業務委託実績表 (委託先用)	1 4 3
(21) 計測器受払業務委託内訳表	1 4 3
(22) 計測器受払委託支払明細表	1 4 4
(23) 計測器工事件数月報 (材料)	1 4 4

(24) 計測器工事件数月報(工量)	145
(25) 計測器工事会社別計器箱板個数月報	145
(26) 検満自動設計対象外リスト	146
(27) 検満計測器工事票	147
(28) 検満計測器工事票(高圧)	148
(29) 検満計画データ作成エラーリスト	149
(30) 計測器検満アラームリスト	149
(31) 計測器工事実績管理表	150
(32) 計測器工事委託実績表	150
(33) 未反映契約異動データ一覧	151
(34) (行動系) 検満倉出設備連係エラーリスト	151
(35) 設計中通電遮断時間変更リスト	152
(36) 計測器工事 仕入明細書	153

3-2. 計測器管理システムから出力可能なEXCELファイル

(1) 計測器月別検満計画表	154
(2) 特別検定計器予告期報	154
(3) 電力量計請求予告月報	155
(4) 特別検定計器予告月報	155

3-3. 計測器管理システムから出力可能なCSVファイル

(1) 検満工事設計対象お客さまデータ	156
(2) 高圧検満工事対象お客さまデータ	157
(3) 高圧検満計画対象お客さまデータ	157
(4) 年度末設備情報	158

3-4. 経理・資材帳票

(1) 営業修繕工事事業所別実績表	159
(2) 配電計器工事債務内訳表	159
(3) 計測器受払データリスト	160

(参考) 計測器関係書類の保管・保存期間	161
----------------------------	-----

4. 計量法	
(1) 計量法とは	1 6 3
(2) 検定の種類	1 6 3
(3) 検定の区分	1 6 3
(4) 検定の種類・区分と対象計器	1 6 5
(5) 計量器の有効期間と精度階級	1 6 6
(6) 変成器付計器の検定サイクル	1 6 7
(7) 特定検定の高圧計器における変成器取替工事の一部緩和措置	1 6 9
(8) 検定公差と使用公差	1 7 0
5. 荷札	1 7 2
6. 修繕工事関係用紙一覧	
(1) 計測器箱・板修繕工事内訳表	1 7 3
(2) 計測器関係修繕工事設計書	1 7 3
(3) 計測器工事設計票（一般用）A票	1 7 4
(4) 計測器工事検収処理票	1 7 5
7. 計測器業務の年間予定	1 7 6
8. 計測器事故処理関係資料	
(1) 高低圧事故計測器調査原票	1 7 7
(2) スマートメーター（SM）不具合調査票	1 7 9
(3) 計第92号様式	1 8 2
9. パルス提供関係資料	1 8 3
10. 電力取引用計量器の取替完了のお知らせ	1 8 6
11. ほくでんネットワークから電気メーター取替のお知らせ	
(1) 当社にて検満工事を実施する場合	1 8 7
(2) 低圧検満業務を委託している場合	1 8 8
12. 停電作業による電気メーター取替時のお願い	1 8 9
13. ほくでんネットワークから電気メーター取替完了のお知らせ	1 9 0

1 4. 検満計測器工事票 受渡票	
(1) 委託会社（道央統括支店直轄区域内を除く）用（正・副）	1 9 1
(2) 委託会社（道央統括支店直轄区域内）（正・副）	1 9 3
(3) 施工会社用（正・副）	1 9 5
(4) 料金担当箇所用（正・副）	1 9 7
1 5. 計測器返納連絡書	1 9 9
1 6. 未使用計測器（残材品等）関係書類	
(1) 残材・移管（不良品）破損受渡書	2 0 0
(2) 電力量計類の破損について	2 0 1
(3) 損害賠償対応依頼票	2 0 2
1 7. 低圧検満業務委託計画表	2 0 4
1 8. 誤差試験	2 0 5
1 9. 変成器付計測器工事自主検査票兼現地検査処理票	
(1) 低圧単相 2 線式用	2 0 6
(2) 低圧単相 3 線式用	2 0 8
(3) 低圧三相 3 線式用	2 1 0
(4) T S機能付C T付S M（単相 2 線式用）	2 1 2
(5) T S機能付C T付S M（単相 3 線式用）	2 1 4
(6) T S機能付C T付S M（三相 3 線式用）	2 1 6
(7) 高圧V C T単独用	2 1 8
(8) 高圧V C T共用	2 2 0

1. 計測器略号一覧

(1) 計測器略号

計測器略号は次のとおり表わす。

種 別		名 称	設備区分	略号
計 測 器	計 量 器	電力量計	A	WHM
	変 成 器	計器用変圧変流器	B	VCT (PCT、MOF)
		変流器		CT
		計器用変圧器		VT (PT)
	タ イ ム ス イ ッ チ	タイムスイッチ	C	T S
		力測用タイムスイッチ		R T S
	併 用 開 閉 器	電磁接触器	D	MC (MGS)
		高圧開閉器		H A S
	電 流 制 限 器	契約用安全ブレーカ	E	S B
	通 信 端 末	通信端末	F	T T U
S M 計 量 部	低圧SM計量部 (単独)	J		
S M 端 子 部	低圧SM用端子ブロック (標準)	K		
試験用開閉器			—	T T

※上記略号欄の()内の慣用語は、正式用語に置き換えるための照合用として併記したもの。

(2) 設備区分と設備種別

設備区分とは計測器を大別するものであり、設備区分毎に小別するものが設備種別である。

■ 設備区分

A	計器・受変器
B	変成器
C	タイムスイッチ
D	併用開閉器
E	契約用安全ブレーカ
F	通信端末
G	付属装置
H	(付属装置2・予備)
J	SM計量部
K	SM端子部

■ 設備種別

計測器管理シール(QRシール)発行対象設備

※設備種別の名称は、全角20文字以内とする。

設備区分 A	設備区分 B	設備区分 C	設備区分 D	設備区分 E
A0 (使用不可)	B0 (使用不可)	C0 (使用不可)	D0 (使用不可)	E0 (使用不可)
A1 低圧誘導形(単独)	B1 低圧CT	C1 TS共用	D1 MC	E1 SB
A2 低圧電子式(単独)	B2 低圧VT	C2 TSマンション用	D2 HAS	E2
A3 低圧誘導形(変成器付)	B3	C3 TS力率測定用	D3 補助継電器	E3
A4 低圧電子式(変成器付)	B4	C4	D4	E4
A5	B5 高圧VCT	C5	D5	E5
A6	B6 高圧VT	C6	D6	E6
A7 高圧誘導形	B7 高圧CT	C7	D7	E7
A8 高圧誘導形(分離形)	B8	C8	D8	E8
A9 高圧電子式	B9	C9	D9	E9
AA 高圧時間帯別受変器	BA 特別高圧VCT(GIS用)	CA TS素通し器具	DA TS形開閉器(120A)	EA SB素通し器具
AB	BB 特別高圧VT(GIS用)	CB 中継端子台	DB	EB
AC	BC 特別高圧CT(GIS用)	CC リレー端子台 100V	DC	EC
AD 特高誘導形(分離形)	BD 特別高圧VCT(碍子形)	CD リレー端子台 200V	DD	ED
AE 特高電子式	BE 特別高圧VT(碍子形)	CE	DE	EE
AF 特高複合受変器	BF 特別高圧CT(碍子形)	CF	DF	EF
AG 特高時間帯別受変器	BG	CG	DG	EG
AH 特高複合表示装置	BH	CH	DH	EH
AI (使用不可)	BI (使用不可)	CI (使用不可)	DI (使用不可)	EI (使用不可)
AJ	BJ	CJ	DJ	EJ
AK SNW誘導形(分離形)	BK SNW(ハルス合成)VCT	CK	DK	EK
AL SNW電子式	BL SNW(ハルス合成)CT	CL	DL	EL
AM SNW複合受変器	BM SNW(ハルス合成)VT	CM	DM	EM
AN SNW時間帯別受変器	BN	CN	DN	EN
AO (使用不可)	BO (使用不可)	CO (使用不可)	DO (使用不可)	EO (使用不可)
AP	BP	CP	DP	EP
AQ	BQ	CQ	DQ	EQ
AR	BR SNW(CT合成)分割形CT	CR	DR	ER
AS	BS SNW(CT合成)合成CT	CS	DS	ES
AT	BT SNW(CT合成)補助電源変圧器	CT	DT	ET
AU	BU	CU	DU	EU
AV	BV	CV	DV	EV
AW	BW	CW	DW	EW
AX	BX	CX 仮想TS	DX	EX
AY	BY	CY	DY	EY
AZ その他	BZ その他	CZ その他	DZ その他	EZ その他

設備区分 F	設備区分 G	設備区分 J	設備区分 K
F0 (使用不可)	G0 (使用不可)	J0 (使用不可)	K0 (使用不可)
F1 通信端末 光回線用	G1 最大需要電力計	J1 低圧_SM計量部(単独)	K1 低圧_SM用端子ブロック(標準)
F2 通信端末 メタル回線用	G2 昼間力測定電力計	J2 低圧_SM計量部(変付)	K2 低圧_SM用端子ブロック(TS用)
F3 通信端末 携帯電話回線用	G3 無効電力計	J3 低圧_SM計量部(単独 TS開閉器内蔵)	K3 低圧_計器用連結端子台
F4 通信端末 NTT電話回線用	G4 電力量表示器	J4 低圧_SM計量部(単独 TS外部開閉器)	K4
F5	G5 使用電力量表示端末	J5 低圧_SM計量部(変付 TS外部開閉器)	K5
F6	G6 ハルス合成器(複合形)	J6	K6
F7	G7 複合発信装置	J7	K7
F8	G8 電源選択継電器	J8	K8
F9	G9	J9	K9
FA T-NCU	GA	JA	KA
FB CASH子装置(光)	GB	JB	KB
FC CASH子装置(メタル)	GC	JC	KC
FD	GD	JD	KD
FE 高圧Bluetooth専用端末	GE	JE	KE
FF 高圧通信端末(LTE用)	GF	JF	KF
FG	GG	JG	KG
FH	GH	JH	KH
FI (使用不可)	GI (使用不可)	JI (使用不可)	KI (使用不可)
FJ	GJ	JJ	KJ
FK	GK	JK	KK
FL	GL	JL	KL
FM	GM	JM	KM
FN	GN	JN	KN
FO (使用不可)	GO (使用不可)	JO (使用不可)	KO (使用不可)
FP	GP	JP	KP
FQ	GQ	JQ	KQ
FR	GR	JR	KR
FS	GS	JS	KS
FT	GT	JT	KT
FU	GU	JU	KU
FV	GV	JV	KV
FW 高圧通信端末(Ethernet用)	GW	JW	KW
FX	GX	JX	KX
FY	GY	JY	KY
FZ その他	GZ その他	JZ その他	KZ その他

2. インプット原票一覧

(1) 高低圧事故計測器調査原票

<p>原票番号 <input type="text"/></p> <p>発行所 北電電工</p> <p>発行所主任 担当 調査</p> <p>※原票印は白行印を捺印すること</p> <p>発行: 西暦 <input type="text"/>年 <input type="text"/>月 <input type="text"/>日</p> <p>高低圧事故計測器調査原票</p> <p>1. 現場・設備・事故発生状況 (発生事業所記入)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業所コード</td> <td>計測区分</td> <td>種別</td> <td>電圧</td> </tr> <tr> <td>発生場所 (住所)</td> <td>容量</td> <td></td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>重要名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>供給地点特定番号</td> <td>製造者/製造年 (西暦)</td> <td>/</td> <td>年製</td> </tr> <tr> <td>契約電圧/容量/電力</td> <td>計器No</td> <td></td> <td>通信方式</td> </tr> <tr> <td>事故発生年月日 西暦 年 月 日</td> <td>検査年月 西暦 年 月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式/有無</td> <td>協定有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>供給元側事故有無</td> <td>自動検知有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>VIC事故時の劣-動作</td> <td>「不具合調査原票」</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>事故発生状況 (該当する事故発生状況をリストから選択)</p> <p>(事故発生時の状況に関する補足事項)</p> <p>※送り渡し原票は、リストから選択すること</p> <p>2. 調査結果 (北電電工記入)</p> <table border="1"> <tr> <td>受付年月日 西暦 年 月 日</td> <td>調査完了年月日 西暦 年 月 日</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>調査結果</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 管理良好 <input type="checkbox"/> 異常不備</td> <td><input type="checkbox"/> 計測器故障無 <input type="checkbox"/> 有</td> </tr> </table> <p>事故箇所</p> <p><input type="checkbox"/> 内部断線 <input type="checkbox"/> 端子部 <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル) <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル)</p> <p><input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル) <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル) <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル)</p> <p><input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル) <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル) <input type="checkbox"/> 外部断線(ケーブル)</p> <p>事故原因</p> <p><input type="checkbox"/> 過電圧・過電流 <input type="checkbox"/> 過電圧 <input type="checkbox"/> 過電流</p> <p><input type="checkbox"/> 経年劣化 <input type="checkbox"/> 経年劣化・異常電圧 <input type="checkbox"/> 製造・修理不良</p> <p><input type="checkbox"/> 施工不良 <input type="checkbox"/> 経年劣化 <input type="checkbox"/> 外部断線</p> <p><input type="checkbox"/> 外部断線 <input type="checkbox"/> 外部断線 <input type="checkbox"/> 外部断線</p> <p><input type="checkbox"/> 外部断線 <input type="checkbox"/> 外部断線 <input type="checkbox"/> 外部断線</p> <p>型式 製造番号 製造年月 検査年月日</p> <p>通信方式 契約区分 修理年月日 修理番号</p> <p>※5桁以内の数字を半角で記入</p>	事業所コード	計測区分	種別	電圧	発生場所 (住所)	容量		A	重要名称				供給地点特定番号	製造者/製造年 (西暦)	/	年製	契約電圧/容量/電力	計器No		通信方式	事故発生年月日 西暦 年 月 日	検査年月 西暦 年 月			型式/有無	協定有無			供給元側事故有無	自動検知有無			VIC事故時の劣-動作	「不具合調査原票」			受付年月日 西暦 年 月 日	調査完了年月日 西暦 年 月 日	調査内容	調査結果	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常	<input type="checkbox"/> 管理良好 <input type="checkbox"/> 異常不備	<input type="checkbox"/> 計測器故障無 <input type="checkbox"/> 有	<p>a. 目的 高低圧計測器が取付け中に発生した事故において作成する。</p> <p>b. 説明 記入方法については「VII 1. 計測器事故処理業務」を参照。</p> <p>c. 帳票サイズ A 4</p>
事業所コード	計測区分	種別	電圧																																										
発生場所 (住所)	容量		A																																										
重要名称																																													
供給地点特定番号	製造者/製造年 (西暦)	/	年製																																										
契約電圧/容量/電力	計器No		通信方式																																										
事故発生年月日 西暦 年 月 日	検査年月 西暦 年 月																																												
型式/有無	協定有無																																												
供給元側事故有無	自動検知有無																																												
VIC事故時の劣-動作	「不具合調査原票」																																												
受付年月日 西暦 年 月 日	調査完了年月日 西暦 年 月 日																																												
調査内容	調査結果																																												
<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																												
<input type="checkbox"/> 管理良好 <input type="checkbox"/> 異常不備	<input type="checkbox"/> 計測器故障無 <input type="checkbox"/> 有																																												

(2) スマートメーター (SM) 不具合調査票

<p>原票番号 <input type="text"/></p> <p>発行所 担当</p> <p>※原票印は白行印を捺印すること</p> <p>発行: 西暦 <input type="text"/>年 <input type="text"/>月 <input type="text"/>日</p> <p>スマートメーター(SM)不具合調査票</p> <p>1. 現場・設備情報</p> <table border="1"> <tr> <td>現場名称</td> <td>計測器製造者/製造年</td> <td>/</td> <td>年製</td> </tr> <tr> <td>発生場所(住所)</td> <td>計測器型名/型式</td> <td>/</td> <td>年製</td> </tr> <tr> <td>重要名称</td> <td>計測器No/計測器</td> <td>/</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>事故発生年月日 西暦 年 月 日</td> <td>検査年月(初回)</td> <td>年 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不具合検出年月日 西暦 年 月 日</td> <td>修理開始年度 西暦 年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>修理完了年月</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>不具合情報</p> <p><input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良</p> <p><input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示不良</p> <p>2. 不具合の内容</p> <p>3. 現場写真</p>	現場名称	計測器製造者/製造年	/	年製	発生場所(住所)	計測器型名/型式	/	年製	重要名称	計測器No/計測器	/	A	事故発生年月日 西暦 年 月 日	検査年月(初回)	年 月		不具合検出年月日 西暦 年 月 日	修理開始年度 西暦 年				修理完了年月			<p>4. 確認事項 (不具合発生時の状況を記入) ※確認事項はチェックで記入する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>確認事項</th> <th>備考欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">SM本体</td> <td>外部断線</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部断線</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部断線</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計測器の状態</td> <td>計測器の状態</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測器の状態</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測器の状態</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧値</td> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧値</td> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧値</td> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電圧値</td> <td><input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 添付資料</p> <p><input type="checkbox"/> SM401子-202 <input type="checkbox"/> 200後継機 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【留意事項】</p> <p>SM不具合の原因調査に当たり、不具合発生時の状況を維持する必要があります。以下のことに留意願います。</p> <p>・不具合が発生した現場の状況(作業手順、SM計測器の設置場所や電圧値等の状況)について可能な限り写真撮影をお願いします。</p> <p>・製造メーカーでの原因調査に当たり、不具合品の状態を維持する必要がありますため、極力電圧の印加中継子および電圧値を維持することをお願いします。</p>	項目	確認事項	備考欄	SM本体	外部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		内部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		外部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		計測器の状態	計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常		電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常	
現場名称	計測器製造者/製造年	/	年製																																																																											
発生場所(住所)	計測器型名/型式	/	年製																																																																											
重要名称	計測器No/計測器	/	A																																																																											
事故発生年月日 西暦 年 月 日	検査年月(初回)	年 月																																																																												
不具合検出年月日 西暦 年 月 日	修理開始年度 西暦 年																																																																													
	修理完了年月																																																																													
項目	確認事項	備考欄																																																																												
SM本体	外部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	内部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	外部断線	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
計測器の状態	計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	計測器の状態	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
電圧値	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												
	電圧値	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常																																																																												

(3) 計測器事故報告書（供給支障分）

計測事故報告書(供給支障分)	<特高・配電線路保守規程より ・電業主任技術者・年令 ・取扱長守管理者(CGL)・半期毎																																																																																																			
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">電業主任技術者</td> <td style="width:15%;">統括支店管理番号</td> <td style="width:15%;">保守管理者</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	電業主任技術者	統括支店管理番号	保守管理者																																																																																																
電業主任技術者	統括支店管理番号	保守管理者																																																																																																		
2018年2月 事故計器(誘導型)調査報告書 供給支障有り																																																																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th>番号</th> <th>調査内容</th> <th>作業日</th> <th>事故状況</th> <th>事故箇所</th> <th>事故原因</th> <th>相線</th> <th>電圧</th> <th>電流</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>検測</th> <th>調査結果・補足</th> <th>事業所</th> <th>供給支障</th> <th>発生年月</th> <th>取扱</th> <th>製造番号</th> <th>メーカー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																
番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																		
2018年2月 事故計器(電子式)調査報告書 供給支障有り																																																																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th>番号</th> <th>調査内容</th> <th>作業日</th> <th>事故状況</th> <th>事故箇所</th> <th>事故原因</th> <th>相線</th> <th>電圧</th> <th>電流</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>検測</th> <th>調査結果・補足</th> <th>事業所</th> <th>供給支障</th> <th>発生年月</th> <th>取扱</th> <th>製造番号</th> <th>メーカー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																
番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																		
2018年2月 事故計器(SM)調査報告書 供給支障有り																																																																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th>番号</th> <th>調査内容</th> <th>作業日</th> <th>事故状況</th> <th>事故箇所</th> <th>事故原因</th> <th>相線</th> <th>電圧</th> <th>電流</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>検測</th> <th>調査結果・補足</th> <th>事業所</th> <th>供給支障</th> <th>発生年月</th> <th>取扱</th> <th>製造番号</th> <th>メーカー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																
番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																		
2018年2月 事故計器(その他)調査報告書 供給支障有り																																																																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th>番号</th> <th>調査内容</th> <th>作業日</th> <th>事故状況</th> <th>事故箇所</th> <th>事故原因</th> <th>相線</th> <th>電圧</th> <th>電流</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>検測</th> <th>調査結果・補足</th> <th>事業所</th> <th>供給支障</th> <th>発生年月</th> <th>取扱</th> <th>製造番号</th> <th>メーカー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																
番号	調査内容	作業日	事故状況	事故箇所	事故原因	相線	電圧	電流	型式	製造年	検測	調査結果・補足	事業所	供給支障	発生年月	取扱	製造番号	メーカー																																																																																		
*作業日は、最終調査日を示す。調査結果・補足欄の(メーカー)との記入は、当該品設計メーカーにて調査したものを示す。																																																																																																				
a. 目的	本店配電部で、本店倉庫の委託会社より送付される事故調査報告書から高低圧の供給支障となったものを抽出し統括支店ごとに作成する。事故発生事業所を管轄する統括支店配電（工事・技術）Gへ毎月送付する（供給支障がない場合は送付しない）。																																																																																																			
b. 説明	記入方法については「VII 1. 計測器事故処理業務」を参照。																																																																																																			
c. 帳票サイズ	A 3																																																																																																			

3. アウトプット帳票一覧

3-1. 計測器管理システムから出力可能な帳票

(1) 計測器倉出・倉入合計票

ページ: 1/1

補充希望日	年	月	日				
納入場所							

	発行元	担当	裏付	担当	倉出・倉入	担当
計測器倉出・倉入合計票						

設計事業所 3500000 小樽支店	所属事業所: 小樽支店
倉庫 3921 小樽電協	作成日付: 2022年01月17日 15:43
	作成担当: 北電口 担当小樽

No	品名	品名コード	相	線	電圧	容量	倉出数量	倉入数量			合計対象設計No	工事区分	備考 (受電希望日)	
								要修理口	廃品口	残材 良品 工事不要				
1	他圧誘導単2・100V30A	0810103	1	2	1	30	0	10	0	0	0	522161	他圧供給	2021/09/28
2	他圧誘導単2・200V30A	0810203	1	2	2	30	0	2	0	0	0	522160	他圧臨時	
3	他圧誘導単2・200V120A	0810212	1	2	2	120	0	1	0	0	0	522158	他圧臨時	2021/09/24
4	他圧誘導単3・100V30A	0830103	1	3	1	30	2	13	0	0	0	522156	他圧供給	
5	他圧誘導単3・100V120A	0830112	1	3	1	120	3	1	0	0	0	522155	他圧供給	
6	他圧誘導三相・200V30A	0830203	3	3	2	30	0	2	0	0	0	522154	他圧供給	
7	他圧誘導三相・200V120A	0830212	3	3	2	120	0	3	0	0	0	522153	他圧供給	
8	他圧単3(2時帯マルチ)30A	0830881	1	3	1	30	0	1	0	0	0	522152	他圧供給	
9	他圧単3(2時帯マルチ)120A	0830883	1	3	1	120	0	1	0	0	0	522151	他圧供給	
10	SM(A1A型)単2・100V30A	0837001	1	2	1	30	8	8	0	0	0	522150	他圧供給	
11	SM(A1B型)単2・100V30A	0837002	1	2	1	30	0	1	0	0	0	522149	他圧供給	
12	SM(A5A型)単3・100V60A	0837049	1	3	1	60	25	2	0	0	0	522148	他圧供給	
13	SM(A5B型)単3・100V60A	0837050	1	3	1	60	1	0	0	0	0	522147	他圧供給	
14	SM(C1B型)単2・100V120A	0837206	1	2	1	120	0	1	0	0	0	522146	他圧供給	
15	SM(C5A型)単3・100V120A	0837247	1	3	1	120	1	3	0	0	0	522145	他圧供給	
16	SM(C7A型)三相・200V120A	0837420	3	3	2	120	2	1	0	0	0	522144	他圧供給	
17	SM(C7B型)三相・200V120A	0837423	3	3	2	120	1	0	0	0	0	522143	他圧供給	
18	SM端子部単2・100V30A	0839501	1	2	1	30	8	3	0	0	0	522137	他圧供給	
19	SM端子部単2・100V120A	0839503	1	2	1	120	0	1	0	0	0	522136	他圧容量	2021/09/28
20	SM端子部単3・100V60A	0839522	1	3	1	60	26	2	0	0	0	522135	他圧容量	2021/09/21

a. 目的	配送資材の本店倉庫の委託会社確認帳票
b. 説明	<p>(倉出時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上長回付後、速やかに（最終は倉庫到着日の5営業日前まで）本店倉庫の委託会社へ本票をメールにて送付する^(注13)。 納品場所欄に「倉庫名」、補充希望日欄に「倉庫到着日」を明記する。 特別検定計器分が記載されている場合は、その行を黄色で塗りつぶし識別するとともに、該当する「特別検定予告期報」を本票のブックヘシート追加し送付する。 <p>(倉入時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上長回付後、速やかに（最終は倉庫発送日の1営業日前まで）本店倉庫の委託会社へ本票をメールにて送付する^(注13)。 納品場所欄に「本店倉庫の委託会社」、補充希望日欄に「倉庫発送日」を明記する。 <p>(注13)</p> <ul style="list-style-type: none"> メールの件名およびファイル名は、本店倉庫の委託会社で業務種別が判別できるよう、「月日(4桁)+種別+倉庫名」とする。 例: △△支店 4月1日 倉出(倉入)分 の場合 件名・ファイル名「0401倉出(倉入) 北部電協稚内」 ※日付は倉庫到着日(発送日) 同一日に複数のメールを送付する場合は、件名毎に送付する。 電力量計請求予告月報と倉出内容(品名・数量)に差異がないことを確認する。
c. 帳票サイズ	A4縦 (EXCEL)
d. 出力タイミング	必要の都度
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(2) 計測器未竣工工事内訳表

設計No	工事区分	工事会社	工 事 費 内 訳					工 期	費 入 日	検 査 日	費 出 後	費 担 金	備 考	
			請負工事	建設口/修繕	実施承認日	費 出 日	費 入 日							
520919	01 仮住供給	C1573 有限会社 ニックス	3,360	12,913	2021/06/21	2021/09/13				5		2021/09/13	0040718450	
520932	01 仮住供給	C1311 (株)一ホムメンテナンス 札幌事業所 *	3,360	12,913	2021/06/25	2021/09/17				5		2021/09/17	0012483889	
521178	21 仮住容室	C1434 福島電設 *	4,800	12,673	2021/07/12	2021/09/13				5		2021/09/13		
521380	84 高圧昇降	C3702 渡邊電気株式会社	39,920	69,740	2021/07/29	2021/09/03	2021/09/15	2021/09/17		5		検収登録	2021/09/17	
521381	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	49,200	117,320	2021/07/29	2021/09/15	2021/09/17	2021/09/17		5		検収登録	2021/09/17	
521382	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	49,200	167,320	2021/07/29	2021/09/15	2021/09/17	2021/09/17		5		検収登録	2021/09/17	
521384	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	55,920	122,840	2021/07/29	2021/08/17				6		費出	2021/08/17	
521516	01 仮住供給	C1830 株式会社 日和住設 *	6,240	25,346	2021/08/05	2021/09/10				5		費出	2021/09/10	0041047220
521534	01 仮住供給	C1208 株式会社 A-D	3,360	12,913	2021/08/10	2021/09/14				5		費出	2021/09/14	0041059130
521542	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	107,520	282,760	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521543	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	174,480	481,034	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521544	31 仮住検漏	C3906 株式会社 シノキ電気 *	146,880	529,550	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521546	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	329,760	1,247,994	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521547	31 仮住検漏	C3906 株式会社 シノキ電気 *	74,400	330,150	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521548	31 仮住検漏	C3906 株式会社 シノキ電気 *	266,160	878,644	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521550	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	110,880	434,864	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521552	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521553	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521554	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521555	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521556	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521557	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521558	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521559	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521560	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521561	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	85,870	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521562	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		費出決定	2021/09/09	
521563	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521564	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521565	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	113,040	387,570	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521566	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521567	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521568	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521569	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	16,640	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521571	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	164,160	583,310	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521572	31 仮住検漏	C3906 株式会社 シノキ電気 *	61,440	225,680	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521573	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521574	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	200,640	743,098	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521575	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	16,640	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521576	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521577	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521578	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	16,640	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521579	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09	2021/09/16	2021/09/16		5		検収登録	2021/09/16	
521580	31 仮住検漏	C3913 株式会社 丸高高橋電気商会	223,920	862,422	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	
521581	34 高圧検漏	C3702 渡邊電気株式会社	11,760	28,980	2021/08/12	2021/09/09				5		費出決定	2021/09/09	

北 海 道 電 力 ネ ッ ト ワ ー ク 株 式 会 社

VIS04000A

a. 目的	計測器工事の未竣工管理
b. 説明	計測器工事設計が勘定締切日時において、未竣工となっているものを出力する。
c. 帳票サイズ	A3横 (PDF)
d. 出力タイミング	月報+日報
e. システム内保存期間	前日または前月末分を保存

(3) 計測器竣工工事内訳表

設計事務所		工事組合		計測器竣工工事内訳表 (2021年04月)						長			担当		ページ 1/1	
3500000 小樽支店															所属事務所 小樽支店 作成日付 2022年01月20日 16:14 作成担当者 北電工口 担当小樽	
設計No	工事会社	工事区分	工事区分略号	建設工事口			除却工事口			総工事費 (税込み)	諸費	倉出日 倉入日	竣工日	支払金額 (税抜き)	支払金額 (税込み)	
				請負工費	資材代	工事会社持 資材	その他	除却費用	資材代							売却代
519776	H0000	竣工		0	6,780	0	0	0	0	6,780	0	2021/03/31	2021/04/01	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/03/31		0	0	
519791	H0000	竣工		0	52,700	0	0	0	0	52,700	0	2021/04/01	2021/04/02	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/01		0	0	
519792	H0000	竣工		0	5,400	0	0	0	0	5,400	0	2021/04/02	2021/04/06	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/02		0	0	
519826	H0000	竣工		0	950	0	0	0	0	950	0	2021/04/05	2021/04/06	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/05		0	0	
519955	H0000	竣工		0	3,450	0	0	0	0	3,450	0	2021/04/07	2021/04/08	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/07		0	0	
519908	H0000	竣工		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/08		0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/07		0	0	
519922	H0000	竣工		0	1,230	0	0	0	0	1,230	0	2021/04/09	2021/04/12	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/09		0	0	
519967	H0000	竣工		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/13	2021/04/14	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/13		0	0	
519968	H0000	竣工		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/13	2021/04/14	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/13		0	0	
519997	H0000	竣工		0	6,100	0	0	0	0	6,100	0	2021/04/14	2021/04/15	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/14		0	0	
520076	H0000	竣工		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/20	2021/04/21	0	0	
01	低圧供給	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/20		0	0	
520195	H0000	竣工		0	960	0	0	0	0	960	0	2021/04/26	2021/04/27	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/26		0	0	
520209	H0000	竣工		0	1,550	0	0	0	0	1,550	0	2021/04/28	2021/04/30	0	0	
01	低圧非単	増減		0	0	0	0	0	0	0	0	2021/04/28		0	0	
【工事会社計】	増減			0	0	0	0	0	0	65,000	0			0	0	

北海道電力ネットワーク株式会社

Y3M01000A

a. 目的	計測器工事の竣工実績管理
b. 説明	計測器工事設計が勘定締切日時において、竣工処理されたものを出力する。
c. 帳票サイズ	A3横 (PDF)
d. 出力タイミング	月報
e. システム内保存期間	12ヵ月分を過去5年度分+当年度保存

(5) 計測器工事实施内容書

計測器工事实施内容書																				
決 裁	*****		起 算 所	小樽支店																
			決 裁	2017年07月18日																
			起 算	2017年07月13日																
起 算 (所 寄)	(起 算) *****		工 期	2017年10月16日 から 2017年11月17日 まで																
合 議	*****	通 知	*****	工 事 種 別	低圧供給															
				発注先 工事会社	株 会 客 電															
件 名	事業所 3500000 設計No [REDACTED] 件名No 3901 株 会 客 電 ナ ー ボ ト 給 事 の 実 施 に つ い て																			
	請 負 工 費	資 材 代	そ の 他	消 費 税	合 計															
施設工事口	1,680	7,650		-----	9,330															
除却工事口				-----																
修繕費				-----																
合 計	1,680	7,650		134	9,464															
1. 工事概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">単位物品</th> <th style="width: 20%;">取付数</th> <th style="width: 20%;">取外数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧単相計器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧三相計器</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧計器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別高圧計器</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単位物品	取付数	取外数	低圧単相計器			低圧三相計器	1		高圧計器			特別高圧計器		
単位物品	取付数	取外数																		
低圧単相計器																				
低圧三相計器	1																			
高圧計器																				
特別高圧計器																				
2. 申込内容 異動種別 001 新設、001 新設 契約種別 発電側契約 契約(設備)容量 1kW 口数 1口 受電希望日 2017年10月31日																				
3. 備 考 工事点数 240 円/点 異動種別： 設 契 件 口																				
添付書類	1. 計測器工事予算格納書 2. 計測器工事予算内訳書 3.																			

北海道電力ネットワーク株式会社 VXBM02000A

a. 目的	計測器工事の実施承認
b. 説明	計測器工事の実施承認(電子承認)時に使用する(当該帳票の画面確認も可能)。
c. 帳票サイズ	A4縦(EXCEL)
d. 出力タイミング	必要の都度
e. システム内保存期間	工事竣工後5年

(6) 計測器工事予算総括表

ページ:1/1																																																							
計測器工事予算総括書																																																							
事業所 3500000 小樽支店	所属事業所: 小樽支店																																																						
工事点数 (円/点) 240	作成日付: 2022年01月21日 16:00																																																						
	作成担当者: 北電口口 担当小樽																																																						
設計No [] 件名No 3981	工事件名 [] 臨時工事																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目、項、目、節</th> <th colspan="4">小節</th> </tr> <tr> <th>請負工事費</th> <th>資材代</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>070 建設仮勘定(特定)</td> <td>3,360</td> <td>2,110</td> <td></td> <td>5,470</td> </tr> <tr> <td>05 建設工事口</td> <td>3,360</td> <td>2,110</td> <td></td> <td>5,470</td> </tr> <tr> <td>58 需要者屋内装置未竣工口</td> <td>3,360</td> <td>2,110</td> <td></td> <td>5,470</td> </tr> <tr> <td>85 低圧単相計器</td> <td>3,360</td> <td>2,110</td> <td></td> <td>5,470</td> </tr> <tr> <td>05 請負工事費</td> <td>3,360</td> <td></td> <td></td> <td>3,360</td> </tr> <tr> <td>06 主要材料</td> <td></td> <td>2,110</td> <td></td> <td>2,110</td> </tr> <tr> <td>200 88 仮払消費税雑流動資産</td> <td></td> <td></td> <td>338</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科目、項、目、節	小節				請負工事費	資材代	その他	計	070 建設仮勘定(特定)	3,360	2,110		5,470	05 建設工事口	3,360	2,110		5,470	58 需要者屋内装置未竣工口	3,360	2,110		5,470	85 低圧単相計器	3,360	2,110		5,470	05 請負工事費	3,360			3,360	06 主要材料		2,110		2,110	200 88 仮払消費税雑流動資産			338	338										
科目、項、目、節	小節																																																						
	請負工事費	資材代	その他	計																																																			
070 建設仮勘定(特定)	3,360	2,110		5,470																																																			
05 建設工事口	3,360	2,110		5,470																																																			
58 需要者屋内装置未竣工口	3,360	2,110		5,470																																																			
85 低圧単相計器	3,360	2,110		5,470																																																			
05 請負工事費	3,360			3,360																																																			
06 主要材料		2,110		2,110																																																			
200 88 仮払消費税雑流動資産			338	338																																																			
a. 目的	計測器工事の実施承認 (工事予算総括)																																																						
b. 説明	計測器工事の実施承認 (電子承認) 時に使用する (当該帳票の画面確認も可能)。																																																						
c. 帳票サイズ	A4縦 (EXCEL)																																																						
d. 出力タイミング	必要の都度																																																						
e. システム内保存期間	工事竣工後5年																																																						

(7) 計測器工事予算内訳表

ページ:1/1																																																																																																																																																																																																				
計測器工事予算内訳書																																																																																																																																																																																																				
事業所 3500000 小樽支店	所属事業所: 小樽支店																																																																																																																																																																																																			
設計No []	作成日付: 2022年01月21日 16:00																																																																																																																																																																																																			
工事区分 11 既設臨時	作成担当者: 北電口口 担当小樽																																																																																																																																																																																																			
工事件名 []	工事点数 240 円/点																																																																																																																																																																																																			
工事会社 []																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工事内訳</th> <th rowspan="2">品名コード 工事コード 単位換算</th> <th rowspan="2">付外</th> <th rowspan="2">電圧方式 相 線 電圧</th> <th rowspan="2">主 注</th> <th rowspan="2">良 否</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">実価内訳</th> <th colspan="2">竣工内訳</th> <th rowspan="2">件名 コード</th> <th rowspan="2">箇所 コード</th> <th rowspan="2">倉出/倉入 日付</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>単価 (円) 工事点数(点)</th> <th>金額 (円)</th> <th>数量</th> <th>単価 (円) 工事点数(点)</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【建設費】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧単相・三相計器一般加算</td> <td>L115</td> <td></td> <td>1 1 3 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1,200</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1,200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧用の用安全ブレーカ (Sは兼用し) 加算</td> <td>L134</td> <td></td> <td>1 1 3 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>720</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>720</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧用の・ミニ・シングル用BC加算</td> <td>L165</td> <td></td> <td>1 1 3 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td>860</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>860</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【材料費】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧用単相・100V30A</td> <td>0630103</td> <td></td> <td>1 1 3 1 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>560</td> <td>560</td> <td>1</td> <td>560</td> <td>3981 3981</td> <td>2021/09/14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単相・低圧用安全ブレーカ→40A</td> <td>0631331</td> <td></td> <td>1 1 3 1 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1,550</td> <td>1,550</td> <td>1</td> <td>1,550</td> <td>3982 3981</td> <td>2021/09/14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【電気工事費】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低圧電力工事 単</td> <td>電</td> <td></td> <td>1 1 3 1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【設備・消耗費】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資材材料費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>480</td> <td></td> <td>1</td> <td>480</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		工事内訳	品名コード 工事コード 単位換算	付外	電圧方式 相 線 電圧	主 注	良 否	種 別	実価内訳		竣工内訳		件名 コード	箇所 コード	倉出/倉入 日付	備考	数量	単価 (円) 工事点数(点)	金額 (円)	数量	単価 (円) 工事点数(点)	金額 (円)	【建設費】																低圧単相・三相計器一般加算	L115		1 1 3 1				1	5	1,200	1	5	1,200				低圧用の用安全ブレーカ (Sは兼用し) 加算	L134		1 1 3 1				1	3	720	1	3	720				低圧用の・ミニ・シングル用BC加算	L165		1 1 3 1				1	4	860	1	4	860				【材料費】																低圧用単相・100V30A	0630103		1 1 3 1 1				1	560	560	1	560	3981 3981	2021/09/14		単相・低圧用安全ブレーカ→40A	0631331		1 1 3 1 1				1	1,550	1,550	1	1,550	3982 3981	2021/09/14		【電気工事費】																低圧電力工事 単	電		1 1 3 1				1			1						【設備・消耗費】																資材材料費			1					1	480		1	480			
工事内訳	品名コード 工事コード 単位換算								付外	電圧方式 相 線 電圧	主 注	良 否					種 別	実価内訳		竣工内訳		件名 コード	箇所 コード	倉出/倉入 日付	備考																																																																																																																																																																											
		数量	単価 (円) 工事点数(点)	金額 (円)	数量	単価 (円) 工事点数(点)	金額 (円)																																																																																																																																																																																													
【建設費】																																																																																																																																																																																																				
低圧単相・三相計器一般加算	L115		1 1 3 1				1	5	1,200	1	5	1,200																																																																																																																																																																																								
低圧用の用安全ブレーカ (Sは兼用し) 加算	L134		1 1 3 1				1	3	720	1	3	720																																																																																																																																																																																								
低圧用の・ミニ・シングル用BC加算	L165		1 1 3 1				1	4	860	1	4	860																																																																																																																																																																																								
【材料費】																																																																																																																																																																																																				
低圧用単相・100V30A	0630103		1 1 3 1 1				1	560	560	1	560	3981 3981	2021/09/14																																																																																																																																																																																							
単相・低圧用安全ブレーカ→40A	0631331		1 1 3 1 1				1	1,550	1,550	1	1,550	3982 3981	2021/09/14																																																																																																																																																																																							
【電気工事費】																																																																																																																																																																																																				
低圧電力工事 単	電		1 1 3 1				1			1																																																																																																																																																																																										
【設備・消耗費】																																																																																																																																																																																																				
資材材料費			1					1	480		1	480																																																																																																																																																																																								
a. 目的	計測器工事の実施承認 (工事予算内訳)																																																																																																																																																																																																			
b. 説明	計測器工事の実施承認 (電子承認) 時に使用する (当該帳票の画面確認も可能)。																																																																																																																																																																																																			
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)																																																																																																																																																																																																			
d. 出力タイミング	必要の都度																																																																																																																																																																																																			
e. システム内保存期間	工事竣工後5年																																																																																																																																																																																																			

(8) 計測器工事予実算管理表 (建口)

工事区分		年度予算				年度実績				年度実績				年度実績			
		実算		経理		実算		経理		実算		経理		実算		経理	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
計測器工事	計測器工事	100	1,021,000	488,000	1,000	8,168,411	6,297,200	15,026,211	7,300	8,640							
	建口	7	81,250	71,000	38	539,370	118,000	681,351	15,300	3,470							
	除口	93	1,179,850	417,000	962	7,629,041	6,179,200	14,344,860	1,980	5,170							
	工事	178	3,039,850	779,000	1,038	10,077,370	6,816,370	15,011,471	9,010	6,010							
	工事	8	8,000	18,000	191	319,791	616,400	661,400	1,810	3,810							
計測器工事	計測器工事	4	3,000	11,000	108	232,142	348,000	970,720	1,000	3,000							
	建口	1	81,250	19,000	31	176,814	288,700	1,819,270	9,700	2,700							
	除口	3	2,918,750	9,000	77	55,328	359,300	960,950	1,290	2,300							
	工事	11	3,000,000	30,000	139	790,886	707,300	1,931,670	6,770	5,700							
	工事	1,007	3,039,850	1,009,700	4,817	10,077,370	6,816,370	15,011,471	9,010	6,010							
計測器工事	計測器工事	48	1,019,710	414,200	388	6,078,366	3,880,600	11,313,450	12,000	9,700							
	建口	40	1,019,710	399,200	379	5,999,316	3,816,600	10,779,270	11,400	10,000							
	除口	8		15,000	9	79,050	64,000	33,180	600	700							
	工事	1,480	19,019,040	3,019,520	4,813	61,769,847	15,474,560	47,036,227	18,754	2,200							
	工事	1	9,710	4,000	11	99,790	31,400	119,130	9,700	3,800							

a. 目的	計測器工事予算の管理
b. 説明	計測器工事の予算管理 (建設工事口) に使用する。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	日、月
e. システム内保存期間	当年度分 (4月中旬までは前年度分もあり)

(9) 計測器工事予実算管理表 (除口)

工事区分		年度予算				年度実績				年度実績				年度実績			
		実算		経理		実算		経理		実算		経理		実算		経理	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
計測器工事	計測器工事	40	43,500	89,840	1,370	394,110	3,099,640	770	1,470								
	建口	6	6,000	12,720	40	67,710	177,200	1,600	2,920								
	除口	34	37,500	77,120	1,330	326,400	2,922,440	770	1,550								
	工事	10	100,700	177,000	1,370	1,181,850	6,205,800	890	1,700								
	工事	3	3,800	7,840	170	193,190	399,790	891	1,990								
計測器工事	計測器工事	8	3,400	7,440	120	185,100	259,780	891	1,990								
	建口	1	17,100	18,100	60	193,470	181,200	1,540	1,710								
	除口	7	1,700	4,340	60	65,630	78,580	751	1,280								
	工事	10	117,300	84,300	60	117,630	169,200	1,100	1,700								
	工事	1,007	1,019,710	1,009,700	4,817	6,078,366	3,880,600	11,313,450	12,000	9,700							
計測器工事	計測器工事	40	148,100	170,240	388	763,830	674,100	1,860	1,710								
	建口	40	148,100	170,240	388	763,830	674,100	1,860	1,710								
	除口	0	0	0	0	0	0	0	0								
	工事	1,480	3,039,850	3,019,520	4,813	61,769,847	15,474,560	47,036,227	18,754	2,200							
	工事	1	9,710	4,000	11	99,790	31,400	119,130	9,700	3,800							

a. 目的	計測器工事予算の管理
b. 説明	計測器工事の予算管理 (除却工事口) に使用する。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	日、月
e. システム内保存期間	当年度分 (4月中旬までは前年度分もあり)

(10) 計測器工事予実算管理表 (修繕・諸費)

[説明]		計測器工事予実算管理表(修繕・諸費)										作成業務所: 小橋実直 作成日: 2021年11月10日 14:14 作成機名: 北電7102 印刷内容: 印刷								
工事区分	件名	単位数	実算承認済			年度累計				当月実績(併)			累計工事分(再)							
			原価	材料費	諸費 工事費	原価	材料費	諸費 工事費	合計	原価	材料費	諸費 工事費	原価	材料費	諸費 工事費					
修繕	修理2線	7100	100,000																	
修繕	修理3線	7100	80,000																	
修繕	修正	7100	10,000		5,000	2,400														
修繕	修繕	7100	80,000																	
修繕	その他	7100	200,000																	
計			400,000		7,200	2,400	4	10,000	30,400	100,000										
計	修理費	7100	300,000		4,200			10,000	28,000	70,000										
計	材料費	7100	4,000,000	2	11,400	10,700	87	70,470	80,400	1,400,000										
計	諸費	7100	10,000	2			80	10,000	2,400											
計	工事費	7100	300,000					10,000	10,000	10,000										
計	計		6,100,000	4	16,770	17,040	169	80,000	100,720	1,410,000										
計	その他	7100	1,000,000																	
計	計		1,000,000																	
計	材料費	7100	1,000,000																	
計	計		2,200,000	2	54,450	60,000	80	107,700	210,200	1,200,000										
計	計		4,300,000	12	65,000	69,740	169	1,107,400	1,000,000	1,410,000										
計	年度累計	7100	11,400,000	14	72,000	100,000	500	2,140,000	1,100,000	3,000,000										
計	修理費	7100																		
計	材料費	7100																		
計	諸費	7100																		
計	工事費	7100																		
計	その他	7100																		
計	年度累計	7100	11,400,000	14	72,000	100,000	500	2,140,000	1,100,000	3,000,000										
[特記事項]																				
年度予算		年度実績																		
		年度累計																		

a. 目的	計測器工事予算の管理
b. 説明	計測器工事の予算管理 (修繕・諸費) に使用する。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	日、月
e. システム内保存期間	当年度分 (4月中旬までは前年度分もあり)

(11) 計測器受払データエラーリスト

計測器受払データエラーリスト															1/1ページ										
															作成業務所:										
															作成日付:										
															作成担当者:										
事業所	設計	勘定年度	地理区分	品名コード/品名	【勘定科目情報】					【受払エラー】①勘定年月 ②区分 ③連携日 ④品名															
		データ連携日	倉庫コード	付外	主様	残数	工事区分	科目	勘定区分	理	目	部	小部	⑤受払区分 ⑥数量 ⑦箇所 ⑧勘定科目 ⑨発注伝票											
		受払区分	引落/倉入平定日	工 事 会 社			【合計伝票情報】					⑩差コード ⑪引渡日 ⑫数量% ⑬その他 ⑭点検機													
		受払区分	残材倉出日	数	量	金額	返却単価	姓名	増減	数	コード	エラーメッセージ													
												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭

a. 目的	資材の適正受払
b. 説明	資材システム上で計測器が受払いされない場合に出力する。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	都度
e. システム内保存期間	20営業日

(12) 計測器設備訂正承認リスト

計測器設備訂正 承認リスト

設備事業所： 岩見沢支店
No: [REDACTED]

担当	
----	--

所属事業所：岩見沢支店
作成日付：2021年11月18日 18:00
作成担当者：北電□□ 権限岩見沢

<お客さま情報>
供給(受電) 地点特定番号 [REDACTED] 階シーケンス番号 [REDACTED] 送電メニュー 21210 契約種別 20A 契約区分 00 常予備区分 常時 供給相線電圧 122

お客さま名 [REDACTED] 住所 [REDACTED]

<電力備計>
処理 施設No SPID 設備種別 相線電圧 メーカー 型式 製造年 容量 計器No 乗率 合番号 略称 合番号No 取付位置 指示数 指示時刻 相線 試験用 力測形 DM形
削除 旧 1 [REDACTED] A4 332 05 69 2004 750 [REDACTED] 150 A [REDACTED] 3 42

処理 カレンダー 種別 年月 伝送記号 検定取得項目 計量精度 画面設定 表示形 パルス提供 パルス種別 パルス定数 施工会社 施工年月日 検満年月 標準期間外検満工事年月
削除 旧 [REDACTED] 2020/11/30 2031/12

<変成器>
処理 施設No SPID 設備種別 相線電圧 メーカー 型式 製造年 容量 製造番号 合番号 略称 合番号No 取付位置 VCT共用区分 2次配線太さ 2次配線延長
処理 2次配線異径区分 取付変成器指定 施工会社 施工年月日 受検年月

計器・受量器、変成器の承認リスト

計測器設備訂正 承認リスト (SM)

設備事業所： 岩見沢支店
No: [REDACTED]

担当	
----	--

所属事業所：岩見沢支店
作成日付：2021年11月18日 18:01
作成担当者：北電□□ 権限岩見沢
ページ：1/1

<お客さま情報>
供給(受電) 地点特定番号 [REDACTED] 階シーケンス番号 [REDACTED] 送電メニュー 21210 契約種別 20A 契約区分 00 常予備区分 常時 供給相線電圧 121

お客さま名 [REDACTED] 住所 [REDACTED]

処理区分	削除	設備区分	SM計量部
旧		施設No SPID 設備種別	相 線 電圧 容量 メーカーCD
新		2 [REDACTED] J1	1 3 1 60 02
旧		計測器型式CD 製造年 計器No	乗率 合番号 略号CD 合番号No 受給契約計量方向区分 取付位置CD
新		A5A 2015 [REDACTED]	1 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 2
旧		指示数桁 整数部 指示数桁 小数部 通信装置 通信ID 通信装置 メーカーCD 通信装置 型式CD 通信装置 製造年 通信装置 製造番号 通信装置 Aルート通信方式	
新		5 1 [REDACTED] 02 [REDACTED] 2015 [REDACTED]	[REDACTED] 1
旧		通信装置 ルート通信方式 施工会社 施工年月日 検満年	検満月 標準期間外検満工事年 標準期間外検満工事月
新		1 [REDACTED] 2018/06/22 2025	11 2024 6

SM計量部の承認リスト

a. 目的	計測器資産単位物品訂正時の承認帳票
b. 説明	設備区分A(計器・受量器)、設備区分J(SM計量部)および設備区分B(変成器)の登録訂正が対象。
c. 帳票サイズ	A4横(PDF)
d. 出力タイミング	設備データベース登録訂正時、設備訂正承認リスト再出力時
e. システム内保存期間	システムによる電子承認対象となるものは承認日より5年、それ以外は操作日(登録訂正日)より5年。 なお、電子承認の対象は、「計器・受量器、SM計量部および変成器の新規・削除登録」、「計器・受量器で、相線電圧、計器No、乗率、合番号(略称・No)、指示数桁、検満年月のいずれかを修正した場合」および「変成器で、相線電圧、合番号(略称・No)、VCT共用区分、受検年月のいずれかを修正した場合」である。

(13) 計測器チェックリスト (設備整合性)

事業所 5300000 高小教支店		計測器チェックリスト (設備整合性) (2018年01月)				ページ: 1/11	
						所属事業所: 高小教支店 作成日時: 2018年02月01日 15:14 作成担当者: 野澤 聖徳	
No.	供給地点特定番号	エラーメッセージ	エラー 回数	検出 日	検出 年月	受検 年月	備考
		特別検定額りの恐れあり (電子式計器)	38	05	1	2021/11	2000/03
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	48	05	1		
		過保額率に対応する料額が未登録	2	05	1		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	2	05	2		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	18	05	1		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	18	05	2		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	48	05	1		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	32	05	1		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	22	01	1		
		定成額料数額に対応する定成額が未登録	22	05	1		

a. 目的	計測器設備整合性チェック処理によりエラーとなった情報の確認。
b. 説明	計測器設備整合性チェック処理によりエラーとなった場合に出力される。
c. 帳票サイズ	A4横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	都度 (処理日の翌営業日から次回処理日の翌営業日まで出力可能)
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(14) 倉出計測器設備票

倉出計測器設備票 (1/1)

事業所 3130000 札幌西NWC 設計No. [] 工事名 [] 工事会社 [] 倉庫C.D. 1032 北海電工:旧計工	所属事業所: 札幌西NWC 作成日付: 2021年12月07日 10:43 作成担当者: 北電□□ 権限札幌西
供給(受電)地点特定番号 [] 契約区分 00 供給(発電)電気方式 3相3線式200 異動種別 [] グルーピング番号 []	お客さま住所 [] 電柱番号 [] お客さま名 [] 電話番号 []

施設No 1

計測器内容 (計器・SM計量部)										通信装置 (SM)			
付外区分	種別	型式	相線電圧	ノコ	製造年	容量	計器No	乗率	合番号	検測年月 年 月 日	通ID	通信方式	
取付	SM	GHA	332	71	2021	200	[]	40	[]	H40 7 42	[]	Aルート	Bルート
取外	機械式	65	332	03	2000	200	[]	40	[]	H34 4 41	[]	920	920

付外区分	指示数1	指示数2	指示数3	位置
取付	0000.81	0000.00	[]	3
取外	[]	[]	[]	[]

作業用HT情報

取外SM設定内容	取付SM組合用QR
Bルート	S8設定(A)
[]	[]
通電遮断時間内容	NR受付番号
通電遮断時間	[]

計測器内容 (SM端子部)									
付外区分	相線電圧	容量	ノコ	型式	製造年				
取付	[]	[]	[]	[]	[]				
取外	[]	[]	[]	[]	[]				

計測器内容 (C.T)										2次配線		
付外区分	相線電圧	容量	ノコ	型式	製造年	受検年月 年 月	合番号	製造番号	位置	太さ	長さ (m)	資産区分
取付	332	200	05	11	7842	2021 7	[]	[]	3	1	1	1
取付	332	200	05	11	7842	2021 7	[]	[]	3	[]	[]	[]
取外	332	200	09	11	0005	H17 3	[]	[]	3	1	1	1
取外	332	200	09	11	0005	H17 3	[]	[]	3	[]	[]	[]

※資産区分
1: 当社資産
2: お客さま資産
※2次配線太さ
1: 3.5
2: 5
3: 8
4: 14
5: 22
6: 38

計測器内容 (TS)									
付外区分	設備種別	容量	ノコ	型式	製造年	製造番号	位置		
取付	TSTB	13	13	45	2019	[]	3		
取外	TS	30	13	22	2012	[]	3		

※取付位置
1: 屋外
2: 屋外柱
3: キュービクル
6: 屋内
7: 集合股
8: 受電室

計測器内容 (MC)									
付外区分	設備種別	相線電圧	容量	ノコ	型式	製造年	位置		
取付	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
取外	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		

計測器内容 (SB)									
付外区分	設備種別	相線電圧	容量	ノコ	製造年				
取付	[]	[]	[]	[]	[]				
取外	[]	[]	[]	[]	[]				

記事欄 []

1: 容量、番号、位置、動作表示はよいか
 2: 取り付け状態、配線はよいか
 3: 結線および接続の状態はよいか
 4: 端子部の締め付け状態はよいか
 5: 資材は、当社指定品を使用しているか
 6: TS通電・遮断時刻はよいか
 7: TSが切のとき、計器の一次側は無電圧か
 8: 電子式計器 (スマートメーター除く) の現在時刻、時刻別時刻はよいか
 9: 全計器の二次側配線を開放したとき、全ての計器の一次側電圧はあるか
 10: 電流制限器の容量、取り付け方法はよいか
 11: スマートメーター通信端末のLED表示はよいか

自主検査日: 年 月 日 検査者 []
 TS通電・遮断時刻[]-[]: [] ブロック[]
 □配線チェックによる確認を行ったか

作業・調査・検収 日時	担当者
年 月 日 時 分	[]

北海道電力ネットワーク株式会社 VXEN01000A

a. 目的	計測器設計時の入力設備情報と施設計器との内容確認。受付担当への計測器情報の連絡。
b. 説明	一般工事において、取付する計測器の設備情報を計測器管理シールのQRコードから計測器管理システムに入力することにより出力が可能。 取替工事においては取外計器の指示数(終針)を記入することで、料金担当箇所への終針報告にも使用する。
c. 帳票サイズ	A4縦(PDF)
d. 出力タイミング	倉出設備情報登録時
e. システム内保存期間	随時(システム内に保存しない)

(15) 倉出計測器設備票 (高圧)

倉出計測器設備票 (高圧)

事業所 3500000小樽支店 設計 No 工事件名 工事会社 倉庫 C D 3821 小樽支店	所属事業所: 小樽支店 作成日付: 2022年01月26日 10:58 作成担当者: 北電□□ 担当小樽■ ページ: 1/1
--	---

供給 (受電) 地点特定番号	契約区分 00	供給 (発電) 電気方式 3相3線式6kV	計量確定日 1	異動種別
お客さま住所	お客さま名	電話番号	電柱番号	グループ番号

計測器内容 (計器)

施設 No	相線電圧	メーカー	型式	製造年	容量	計器 No	乗率	合番号	検定年月 年 月	桁	指示数 時間帯1	指示数 時間帯2	指示数 時間帯3	指示数 時間帯4
取外	336	05	N9	2010	100		120		H36	3	52			

施設 No	指示数 全日有効	力測 桁	指示数 力測用有効	指示数 力測用無効	DM 桁	指示数 最大需要電力	指示数 累積最大需要電力	需給カレンダー	位置
取外		51			22	00.00		全日2 (1+1)	8

計測器内容 (VCT)

施設 No	相線電圧	容量	メーカー	型式	製造年	受検年月 年 月	合番号	製造番号	2次配線			
									位置	太さ	長さ (m)	資産区分

計測器内容 (VT)

施設 No	相線電圧	容量	メーカー	型式	製造年	受検年月 年 月	合番号	製造番号	2次配線			
									位置	太さ	長さ (m)	資産区分

計測器内容 (CT)

施設 No	相線電圧	容量	メーカー	型式	製造年	受検年月 年 月	合番号	製造番号	2次配線			
									位置	太さ	長さ (m)	資産区分

計測器内容 (TS)

施設 No	容量	メーカー	型式	製造年	製造番号	位置

計測器内容 (HAS)

施設 No	相線電圧	容量	メーカー	型式	製造年	製造番号	位置

計測器内容 (通信端末)

施設 No	メーカー	型式	製造年	製造番号	既設計器No	電源取得先	取付位置	収納箇所

※取付位置

- 1: 屋外
- 2: 屋外柱
- 3: キュービクル
- 6: 屋内
- 7: 集合盤
- 8: 受電室

※2次配線太さ

- 1: 3.5
- 2: 5.5
- 3: 8
- 4: 14
- 5: 22
- 6: 38

※資産区分

- 1: 当社資産
- 2: お客さま資産

※電源取得先

- 1: 変成器
- 2: お客さま

※収納箇所

- 1: 当社計器箱
- 2: 当社計量盤
- 3: お客さま計量盤
- 4: 露出

記事欄

計器停電 (取外)	年 月 日 時 分
計器充電 (取付)	年 月 日 時 分
現地検収 年月日 担当者	
年 月 日	

北海道電力ネットワーク株式会社 VXEN01000C

a. 目的	計測器設計時の入力設備情報と施設計器との内容確認。受付担当への計測器情報の連絡。
b. 説明	一般工事において、取付する計測器の設備情報を計測器管理シールのQRコードから計測器管理システムに入力することにより出力が可能。 取替工事においては取外計器の指示数 (終針) を記入することで、料金担当箇所への終針報告にも使用する。
c. 帳票サイズ	A4縦 (PDF)
d. 出力タイミング	倉出設備情報登録時
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(16) 計測器建仮工事月報 (建設工事口)

事業所 530000 苫小牧支店		計測器建仮工事月報 (建設工事口)										所属事業所: 苫小牧支店	
(2017年度12月分)												作成日付: 2018年02月01日 15:17	
												作成担当者: 配管部 菅澤博	
工事区分	単位	当月実績				合計	累計実績 (b1)+(b2)+(b3)+(b4)=(B)				合計	平均単価	
		物品数	資材代	工費	総費		物品数(A)	資材代(B)	工費	総費		(A)/(B)	(C)/(A)
供給工事	張	315	3,633,882	1,172,640		4,806,522	4,138	55,935,748	15,014,880		70,950,628	15,524	5,830
	庄	12	202,220	52,560		254,780	140	2,749,589	849,560		3,599,149	16,454	4,299
	巻	6	1,049,226	146,880		1,196,106	25	5,135,780	893,120		6,028,900	154,135	24,794
	総						1	214,280	870,224		895,183	214,900	897,224
	合	333	4,885,472	1,372,080		6,257,552	4,314	64,056,047	17,025,785		81,081,832	14,948	3,947
臨時工事	張	44	133,770	142,080		275,850	556	1,949,510	1,778,180		3,327,670	2,787	3,195
	庄						4	12,600	15,120		27,720	2,100	2,520
	巻						1	107,408	21,120		128,528	897,408	21,120
	総												
	合	44	133,770	142,080		275,850	561	1,962,110	1,814,400		3,456,198	2,987	3,222
計	377	5,019,242	1,514,160		6,533,402	4,875	66,018,157	18,840,185		84,538,030	17,935	4,169	

a. 目的	計測器工事の予実算管理
b. 説明	計測器工事における建設仮勘定(建設工事口)の当月実績分と年度累計を表示。
c. 帳票サイズ	A3横(EXCEL)
d. 出力タイミング	月報(月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	当年度と前年度は12ヵ月分、過年度は年度末累計(当該年度の3月分)を9年間保存

(17) 計測器建仮工事月報 (除却工事口)

事業所 530000 苫小牧支店		計測器建仮工事月報 (除却工事口)										所属事業所: 苫小牧支店						
(2017年度12月分)												作成日付: 2018年02月01日 15:17						
												作成担当者: 配管部 菅澤博						
工事区分	単位	当月実績				合計	累計実績				平均単価	備考欄						
		物品数	資材代	除却費	総費		物品数(A)	資材代(B)	除却費(C)	総費		(A)/(B)	(C)/(B)	低圧単相	低圧三相	高圧	特高	合計
供給工事	張	257	204,185	394,800	3,683	3,233,945	5,335,600	876	1,903									
	庄	13	16,201	25,680	141	239,078	282,000	1,485	1,752									
	巻	1	51,773	22,520	13	669,620	283,280	62,371	28,252									
	合	271	272,159	442,900	3,837	4,132,643	5,900,880	1,374	1,877									
	計	271	272,159	442,900	3,837	4,132,643	5,900,880	1,374	1,877									
臨時工事	張	88	86,334	119,040	464	465,919	824,880	1,043	1,775									
	庄																	
	巻																	
	合	88	86,334	119,040	464	465,919	824,880	1,043	1,775									
	計	88	86,334	119,040	464	465,919	824,880	1,043	1,775									
計	359	358,493	561,940	4,301	4,598,562	6,725,760	2,417	3,652										

a. 目的	計測器工事の予実算管理
b. 説明	計測器工事における建設仮勘定(除却工事口)の当月実績分と年度累計を表示。
c. 帳票サイズ	A3横(EXCEL)
d. 出力タイミング	月報(月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	当年度と前年度は12ヵ月分、過年度は年度末累計(当該年度の3月分)を9年間保存

(18) 計測器関係修繕工事月報

事業所 5300000 高小牧支店		計測器関係修繕工事月報 (2017年度12月分)						所屬事業所: 高小牧支店 作成日付: 2018年02月03日 15:19 作成担当者: 船橋部 菅澤博						
工事区分	件名	当 月 実 績						前 月 実 績						平均単価
		件数	取付材料費	取外材料費	諸工事業費	諸費	合計	件数	取付材料費	取外材料費	諸工事業費	諸費	合計	
修 繕	単相2線	7100					3					19,440	19,440	6,480
	単相3線	7105			2,400		9	3,453			30,960	34,413	3,840	
	三相	7101			2,400		3	3,915			16,320	20,235	1,305	
	高 圧	7102					1	31,992			33,600	65,592	31,962	
	特 殊	7106												
事 業	タイムスイッチ	7103												
	その他	7104												
計 算					4,800		16	39,357			100,320	139,677	2,460	
積 算	計測器	7110	21	97,535		168,000	170	265,535	170	264,747	1,366,320	2,921,067	5,616	
	取付架	7112	5				45							
	特 殊	7114				6,480				1,962,500	1,125,000	3,087,500		
	その他	7113	26	97,535		174,480	219	272,015	219	1,254,994	324,720	624,967		
計 算			26	97,535		174,480	219	272,015	219	1,254,994	3,667,940	1,125,000	6,047,934	
グリーンカード		7109	152	147,770	24,714		794	194,484	794	621,020	914,210	14,240	1,029,960	

a. 目的	計測器工事の予実算管理
b. 説明	計測器工事における修繕費の当月実績分と年度累計を表示。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	当年度と前年度は12ヵ月分、過年度は年度末累計 (当該年度の3月分) を9年間保存

(19) 計測器受払業務委託実績表 (当社用)

事業所 委託先名		計測器受払業務委託実績表(当社用) (2018年度3月分)						所屬事業所: 本店 作成日付: 2018年11月24日 14:10 作成担当者: 船橋部 結城高徳博							
種 別	数量	(a) 計 算		当 月 実 績				(b) 実 績				計	(a-b) 予 算 残	実績訂正 年月日	
		数量	金額 (千円)	数量	単価 (円)	税抜金額 (円)	消費税 (円)	合計金額 (円)	数量	税抜金額 (円)	消費税 (円)				合計金額 (円)
一 般	低 圧	30,000	5,610	5,492	237	715,204		29,072	7,482,694		73,218	3,823	1,147	---/---/---	
	高 圧													---/---/---	
	高圧特殊													---/---/---	
種 別	低 圧	58,000	8,228	5,245	142	474,990		6,880	54,735	7,770,850		109,490	3,675	488	---/---/---
	高 圧													---/---/---	
	高圧特殊													---/---/---	
合 計		88,000	13,848	5,297	1,199,194	119,019	1,209,213	14,188	59,797	15,253,514		187,688	7,203	1,995	---/---/---

品 種 別 内 訳	低 圧										高 圧																		
	低圧電力計			変流器			契約用ブレーカ			タイムスイッチ			電磁接触器			その他			高圧電力計			タイムスイッチ			電磁接触器			その他	
当月分数量	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
一 般	供給	5,031	84	2,115			35	39	1	2,171																			
	検時	197	4	191			79			261																			
	受変	39	4	34			1	1	2	39																			
	架敷	19		19			2		3	39																			
計		5,355	101	2,555			118	34	5	2,430																			
繰越		3,197	87	3,190			121	39		2,249																			
合計		5,248	188	5,545			119	145	89	4,679																			
一 般	供給	29,141	396	21,027	39	430	407	39		21,952																			
	検時	2,075	49	2,115			6	850		2,890																			
	受変	696	88	622	7	235	7	4		675																			
	架敷	159	29	181	17	4	21	14		297																			
計		22,955	990	23,945	69	1,547	485	48		26,072																			
繰越		44,833	2,179	47,102	218	6,499	1,235	54,735		54,735																			
合計		67,788	2,449	71,147	287	1,847	6,544	1,171		80,787																			

a. 目的	計測器資材受払業務委託費の管理および支払い処理用資料 (北電用)
b. 説明	計測器受払業務を委託している場合に出力する。受払委託数量と金額の実績が記載されており、これを参考に委託費の支払いを行う。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	10年間保存 (当年度および前年度は12ヵ月分、その他は当該年度3月分の年度末累計)

(20) 計測器受払業務委託実績表 (委託先用)

委託先名 小樽地方電気工事協同組合 *		計測器受払業務委託実績表 (委託先用)										所屬事業所 : 小樽支店			
事業所 倉庫 ---		(2020年度 4月分)										作成日付 : 2022年01月26日 08:55			
												作成担当者 : 工事組合 小樽地方			
【数量・金額】															
種別	(a) 計 画				実 績				(b) 実 績				(a-b) 予 算 残	実績訂正 年月日	
	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)			
低圧			703	287	201,761			2,109			703	201,761			---
高圧															---
一般															---
検			1,382	142	196,244			2,764			1,382	196,244			---
測															---
高圧															---
高圧特殊															---
合 計			2,085		398,005			39,800			437,805			4,873	

【品種別内訳】																					
計測器種別	計測器	低圧電力量計				変圧器				契約用タイムスイッチ				電磁接触器				その他			
		単相	三相	小計	その他	単相	三相	小計	その他	単相	三相	小計	その他	単相	三相	小計	その他				
計測器	供給	531	34	565				30	17									612			
	臨時	40	2	42				2	13									57			
	計測	19	3	22				2	8									34			
	計	590	39	629				4	51									703			
検測器	供給	1,091	71	1,162			9		192									1,382			
	臨時																				
	計測	1,481	110	1,791			13		51									2,085			
	計	1,481	110	1,791			13		51									2,085			

a. 目的	計測器資材受払業務委託費の管理および支払い処理用資料 (委託先用)
b. 説明	計測器受払業務を委託している場合に委託先で出力する。 受払委託数量と金額の実績が記載されており、委託費の確認を行う。
c. 帳票サイズ	A3横 (PDF)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	10年間保存 (当年度および前年度は12ヵ月分、その他は当該年度3月分の年度末累計)

(21) 計測器受払業務委託内訳表

事業所 2110000 名寄NWC		計測器受払業務委託内訳表										所屬事業所 名寄NWC	
委託先名		(2019年度3月分)										作成日付 2021年11月24日 14:19	
倉庫名												作成担当者 北電口 権限名寄	
No	設計事業所	設計No	工事区分	工事種別	倉出入	品名コード	品名略号	倉出(入)年月日	数量	単価(円)	備	考	
1	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810103	ト-21 1 30	2020/03/08	34	213			
2	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810112	ト-21 1 120	2020/03/08	1	213			
3	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810203	ト-21 2 30	2020/03/08	2	213			
4	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810212	ト-21 2 120	2020/03/08	1	213			
5	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820103	ト-21 31 30	2020/03/08	81	213			
6	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820112	ト-21 31 120	2020/03/08	2	213			
7	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820203	ト-22 2 30	2020/03/08	4	213			
8	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820212	ト-22 2 120	2020/03/08	2	213			
9	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0830251	2HE2-24 3P 30A	2020/03/08	1	213			
10	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0830253	2HE2-24 3P 120	2020/03/08	1	213			
11	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0837048	SM-A5A-131-80A	2020/03/08	1	213			
12	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0832601	2E-2F2(1.5/1.5)F30	2020/03/08	1	213			
13	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0832601	2E-2F2(1.5/1.5)F30	2020/03/08	1	213			
14	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0832603	TS 120A	2020/03/08	1	213			
15	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810103	ト-21 1 30	2020/03/08	88	213			
16	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810203	ト-21 2 30	2020/03/08	18	213			
17	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0810212	ト-21 2 120	2020/03/08	1	213			
18	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820103	ト-21 31 30	2020/03/08	49	213			
19	名寄NWC		31	低圧検測	倉入	0820112	ト-21 31 120	2020/03/08	1	213			

a. 目的	計測器資材受払業務委託費の管理および支払い処理用資料
b. 説明	委託による計測器受払実績を工事設計票・工事種別・品名別等に分類した内訳。委託先も出力可能。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	12ヵ月分を8年間保存

(22) 計測器受払委託支払明細表

事業所 3110000 名寄NWC		計測器受払委託支払明細表						所屬事業所:名寄NWC			
委託先名 倉庫名		(2019年度3月分)						作成日付:2021年11月24日 14:19			
								作成担当者:北電口 権限名寄■			
No	品名コード	品名略号	検 査			そ の 他			単 価 (円)		備 考
			意 出	意 入	計	意 出	意 入	計	検 査	そ の 他	
1	0810109	メタ1 1 30		180	180	20		200	213	431	
2	0810112	メタ1 1 120		1	1			1	213		
3	0810303	メタ2 2 30		20	20	4		24	213	431	
4	0810312	メタ2 2 120		4	4			8	213	431	
5	0830109	メタ131 30		142	142	5		147	213	431	
6	0830112	メタ131 120		8	8			16	213	431	
7	0830113	メタ131H"光"30									
8	0830120	メタ131 200		2	2			2	213		
9	0830203	メタ2 2 30		5	5	4		9	213	431	
10	0830212	メタ2 2 120		4	4			4	213		
11	0830305	メタ331000250A		3	3			3	213		
12	0830381	250A-S4 30 30A		2	2	3		5	213	431	

ページ: 1/2

a. 目的	計測器資材受払業務委託費の管理および支払い処理用資料
b. 説明	委託による計測器の受払数量を品名別に分類している。委託先も出力可能。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	12ヵ月分を8年間保存

(23) 計測器工事件数月報 (材料)

事業所 4380000 新得NWC		計測器工事件数月報 (材料:建設工事口)						所屬事業所:新得NWC		
		(2019年度3月分)						作成日付:2021年11月22日 11:07		
								作成担当者:北電口 権限新得■		
種別	品名CD	品名略号	当 月 分			一 般 経 緯			票 計	
			建 設	取 外	計	建 設	取 外	計	取 外	
検定単	026109	CVT 8								15
検定単	026406	測定線スリーブ60-60				1				1
検定単	026406	測定線スリーブ125-125				11				11
検定単	0810103	検定励磁単2-100V30A		1		1				1
検定単	0810112	検定励磁単2-100V120A					2		1	2
検定単	0810203	検定励磁単2-200V30A						3		3
検定単	0810212	検定励磁単2-200V120A						1		1
検定単	0811203	検定励磁単2-200V200A		1		1		2		2
検定単	0830103	検定励磁単3-100V30A	3				1	94		97
検定単	0830112	検定励磁単3-100V120A		1				3		4
検定単	0831120	検定励磁単3-100V200A		2		2		4		4
検定単	0831130	検定励磁単3-100V300A								2
検定単	0832001	SM(A1A)単2-100V30A	5		5		97	75		402
検定単	0832002	SM(A1B)単2-100V30A	3		3	1	47	27	1	195
検定単	0832003	SM(A3A)単2-200V30A								2
検定単	0832004	SM(A3B)単2-200V30A								2
検定単	0832005	SM(A3A)単2-100V30A		2		2				2
検定単	0832006	SM(A3B)単2-100V30A		2		2				2

ページ: 1/3

事業所 4380000 新得NWC		計測器工事件数月報 (材料:除却工事口)						所屬事業所:新得NWC		
		(2019年度3月分)						作成日付:2021年11月22日 11:07		
								作成担当者:北電口 権限新得■		
種別	品名CD	品名略号	当 月 分			一 般 経 緯			票 計	
			建 設	取 外	計	建 設	取 外	計	取 外	
検定単	0810103	検定励磁単2-100V30A	6		6	148		154	472	18
検定単	0810112	検定励磁単2-100V120A								3
検定単	0810203	検定励磁単2-200V30A		15	15		12		131	145
検定単	0810212	検定励磁単2-200V120A		7	7		4		56	60
検定単	0810220	検定励磁単2-200V200A		1	1				2	2
検定単	0811203	検定励磁単2-200V200A		1	1				2	2
検定単	0830103	検定励磁単3-100V30A	18	10	28	1	142	172	98	588
検定単	0830112	検定励磁単3-100V120A	1	2	3		11	5	31	39
検定単	0830113	検定励磁単3(回転禁止)100V30A	1		1					2
検定単	0830120	検定励磁単3-100V200A		1	1					2
検定単	0830122	検定励磁単3(回転禁止)100V120A	1		1					2
検定単	0830130	検定励磁単3-100V300A							1	1
検定単	0830305	検定電子計励磁単2-100V250A							1	4
検定単	0830371	検定電子計励磁単2(光)100V30A							11	12

a. 目的	計測器工事件数 (材料) の把握
b. 説明	計測器工事件数を建設工事口・除却工事口・工事区分・品名別に分けた実績。
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	当年度と前年度は12ヵ月分、過年度は年度末累計 (当該年度の3月分) を9年間保存

(24) 計測器工事件数月報 (工量)

ページ: 1/2

計測器工事件数月報 (工量: 建設工事口)
(2019年度3月分)

所属事業所: 新橋NWC
作成日付: 2019年11月29日 11:07
作成担当者: 北電口口 権限新橋■

事業所 4320000 新橋NWC

種別	工事CD	工事略号	当月分					一般修繕	累計					一般修繕		
			供給	臨時	機	過	事故		取外	供給	臨時	機	過		事故	取外
既設単程	L100	既設SM単程一般加算	10					12						12	111	9
既設単程	L101	既設SM単程特殊加算			130			130						601	601	
既設単程	L102	既設SM単程3・三相一般加算	39				1	40	3	348				41	393	7
既設単程	L103	既設SM単程3・三相特殊加算			113			113						781	781	
既設単程	L111	既設単程計器一般加算	1					1	1	2				2	4	11
既設単程	L112	既設単程計器特殊加算			1			1						5	5	
既設単程	L113	既設単程3・三相計器一般加算			4			4		97				1	98	7
既設単程	L117	既設SM制御ケーブル有単程一般加算							1						1	
既設単程	L118	既設SM制御ケーブル有単程特殊加算			4			4						25	25	
既設単程	L122	既設単程高圧加算			1			1						2	2	
既設単程	L123	既設単程3・三相交流加算			2			2		8				8	8	
既設単程	L134	既設制御用安全プレッカ (S.B.差渡し) 加算			2			2		57				4	61	2
既設単程	L144	既設タイムスイッチ加算												5	5	
既設単程	L148	既設計器用濃硫酸端子台加算								12					12	
既設単程	L147	既設TS差渡し器具加算					12	12						1	127	

ページ: 1/1

計測器工事件数月報 (工量: 除却工事口)
(2019年度3月分)

所属事業所: 新橋NWC
作成日付: 2019年11月29日 11:07
作成担当者: 北電口口 権限新橋■

事業所 4320000 新橋NWC

種別	工事CD	工事略号	当月分					一般修繕	累計					一般修繕		
			供給	臨時	機	過	事故		取外	供給	臨時	機	過		事故	取外
既設単程	L100	既設SM単程一般加算	2					3	1	23				2	27	3
既設単程	L102	既設SM単程3・三相一般加算	2					3	3	18				1	18	6
既設単程	L111	既設単程計器一般加算	9					11	1	105				22	128	10
既設単程	L112	既設単程計器特殊加算			135			135						631	631	
既設単程	L113	既設単程3・三相計器一般加算	23	12				35	182	104				28	324	6
既設単程	L114	既設単程3・三相特殊加算			113			113						781	781	
既設単程	L122	既設単程高圧加算			1			1						2	2	
既設単程	L123	既設単程3・三相交流加算			2			2		8				8	8	
既設単程	L134	既設制御用安全プレッカ (S.B.差渡し) 加算			5			7	1	45	58			22	138	8
既設単程	L144	既設タイムスイッチ加算					18	18						1	171	
既設単程	L147	既設TS差渡し器具加算								8				1	2	
既設単程	L152	既設2A B OX加算	1					2	3	1				10	17	13
既設単程	L183	既設3C ミニシングルBOX加算			8			8	3	23	76			4	105	10

a. 目的	計測器工事件数 (工量) の把握
b. 説明	計測器工事件数を建設工事口・除却工事口毎、工量コード別に分けた実績。
c. 帳票サイズ	A 3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	当年度と前年度は12ヵ月分、過年度は年度末累計 (当該年度の3月分) を9年間保存

(25) 計測器工事会社別計器箱板個数月報

ページ: 1/2

計測器 工事会社別計器箱板個数月報
(2017年度1月分)

所属事業所: 苫小牧支店
作成日付: 2018年02月01日 15:53
作成担当者: 配電部 管理用

工事組合 H5003 苫小牧電気工業協同組合

上段 当月設計個数
下段 当年度累計

出力対象工事会社: 当年度内にて修繕の工事区分で下配材料が設計された工事会社
出力個数: 全工事区分の当月設計個数および年度累計個数

北電コード	工事会社名	2A	3C	ミニシングルボックス	シングルボックス	ピッキングシングルボックス	トリプルボックス	変流器箱 (FRP)	計器用保護カバー	取替ボード				
										取替ボード 単2用	取替ボード 単3用	補修ボード 単2用	補修ボード 単3用	
		1			15	7	4				1			
		10									1			
		5			34	2	1				1			1
					7	6					2			2
		9			60	47	5				31		17	41

a. 目的	工事組合別の計測器箱・板使用個数のチェック
b. 説明	11協同組合にて、工事会社別の計測器箱販売個数と設計個数を毎月チェックし、計測器箱・板使用個数の適正化を確認する。
c. 帳票サイズ	A 3横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	12ヵ月分を3年間保存

(26) 検満自動設計対象外リスト


検満自動設計対象外リスト									
事業所 2100000 設計No					ページ: 1/2 所属事業所: 旭川支店 作成日付: 2022年01月17日 09:42 作成担当者: 北電口口 権限旭川				
No	供給(受電)	地点特定番号	契区	施設No	設備種別	相線電圧	型式CD	容量	対象外理由
1	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト1							
2	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト2							
3	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト3							
4	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト4							
5	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト5							
6	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト6							
7	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト7							
8	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト8							
9	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト9							
10	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト10							
11	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト11							
12	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト12							
13	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト13							
14	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト14							
15	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト15							
16	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト16							
17	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト17							
18	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト18							
19	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト19							
20	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト20							
21	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト21							
22	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト22							
23	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト23							
24	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト24							
25	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗
		テスト25							
26	01-0-19-2-26-047-10-009-00-96-00	お客さま名	00	1	C1	122	22	60	取外・取付PAT変換失敗

北海道電力ネットワーク株式会社

VXFBO3000A

a. 目的	検満設計時に、撤去設備情報から取付設計データが計測器管理システム内で自動生成できなかった計測器の表示。
b. 説明	当該帳票に出力された設備に対して設計修正を行う。
c. 帳票サイズ	A4縦 (PDF)
d. 出力タイミング	検満設計支援時
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(27) 検満計測器工事票

検満計測器工事票 (1/1)											
事業所 2110000 名寄NWC			設計 No			支店名 : 旭川支店					
工事件名 4 分風地 (内建 満事)						所属事業所: 名寄NWC					
工事会社 B3605 株会竹電						作成日付 : 2022年01月24日 15:55					
						作成担当者: 北電口 権限名寄					
供給(受電)地点特定番号			契約区分		供給(発電)電気方式		契約容量				
			00		単相2線式100V		1234567.890A				
お客さま住所 名市連新町25			電柱番号			※取付位置 1: 屋外 2: 屋外柱 3: 柱上 4: 屋内 5: 屋内 6: 集合盤 7: 集合盤 8: 受電室					
お客さま名 清彦			電話番号								
施設No 1 SPID											
1. 計測器内容(計器)					計測器内容(SM端子部)						
付外区分	種別	相線電圧	容量	型式	計器No	乗率	検測年月 年 月	合番号	取付位置	付外区分	容量
取付	SM	121	30	A1B						取付	30
取外	機械式	121	30	O5		1	H34	5	1	取外	
付外区分	指示数1		指示数2		指示数3		夜間開始時刻		※次の場合は配電に落ちに連絡すること ・取外計器の設定が左記と異なる ・夜間開始時刻が2・23・24以外		
取付									取付設備設定状況 22・23・24 (該当箇所には印をすること)		
取外											
											
無停電 割増			計器シール貼付箇所								
要 深夜 時間外			端子部シール取付要								
否 日祝 指定											
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:											
2. 計測器内容(CT)											
付外区分	相線電圧	容量	型式	受検年月 年 月	合番号	製造番号	CT 取付位置	2次長 (m)			
取付											
取外											
取付											
取外											
無停電 割増			CTシール貼付箇所								
要 深夜 時間外			CTシール貼付箇所								
否 日祝 指定											
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:											
3. 計測器内容(TS)											
付外区分	設備種別	容量	型式	製造番号	取付位置	通電・遮断時間		ビン 使用	ブロック 使用	※通電・遮断時間等の設定に使用したものに印をすること (ブロック機時は記入すること)	
取付											
取外											
無停電 割増			TSシール貼付箇所								
要 深夜 時間外			TSシール貼付箇所								
否 日祝 指定											
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:											
4. 計測器内容(MC)											
付外区分	設備種別	相線電圧	容量	型式	取付位置	無停電 割増		MCシール貼付箇所			
取付						要 深夜 時間外		MCシール貼付箇所			
取外						否 日祝 指定					
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:											
施工日付		年 月 日		記事項							
施工者											
北海道電力ネットワーク株式会社											
VXF04000D											

a. 目的	検満工事(低圧)現地作業項目の表示ならびに作業結果の記入。
b. 説明	検満工事の対象設備により、1セットの出力枚数が変わる。
c. 帳票サイズ	A4縦(基本的にホスト出力とするが事業所にてPDF出力も可能)
d. 出力タイミング	検満工事設計実施承認後
e. システム内保存期間	随時(システム内に保存しない)

(28) 検満計測器工事票 (高圧)

検満計測器工事票 (高圧4)																
事業所 2110000 名寄NWC 設計 No. [] 工事件名 5 分長 長川 機組組 ~ 検満工事 工事会社 株 会 長川 機 倉庫 C D 2811 名寄NWC	支店名 : 旭川支店 所属事業所 : 名寄NWC 作成日付 : 2022年02月07日 16:14 作成担当者 : 北電口 担当名寄 ページ : 2/2															
供給 (受電) 地点特定番号 供給 (発電) 電気方式 契約容量 3相3線式 6 kV 18kW																
お客さま住所 北 市 五 丁目 お客さま名 北 電 長川 機組組																
計測器内容 (TS) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> <th>製造</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施設No	容量	メーカー	型式	製造	1					取外				
施設No	容量	メーカー	型式	製造												
1																
取外																
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																
計測器内容 (HAS/MC) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相線</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施設No	相線	容量	メーカー	型式	1					取外				
施設No	相線	容量	メーカー	型式												
1																
取外																
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																
計測器内容 (通信端末) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>設備種別</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>LT E用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td>携帯端末</td> <td>01</td> <td>03</td> </tr> </table>		施設No	設備種別	メーカー	型式	1	LT E用			取外	携帯端末	01	03			
施設No	設備種別	メーカー	型式													
1	LT E用															
取外	携帯端末	01	03													
02110000499427000284 工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																
北海道																

検満計測器工事票 (高圧3)																
事業所 2110000 名寄NWC 設計 No. [] 工事件名 5 分長 長川 機組組 ~ 検満工事 工事会社 株 会 長川 機 倉庫 C D 2811 名寄NWC	支店名 : 旭川支店 所属事業所 : 名寄NWC 作成日付 : 2022年01月24日 15:41 作成担当者 : 北電口 権限名寄 ページ : 2/3															
供給 (受電) 地点特定番号 供給 (発電) 電気方式 契約容量 3相3線式 6 kV 234567.890kV																
お客さま住所 北 市 五 丁目 お客さま名 北 電 長川 機組組																
計測器内容 (VT) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相線</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施設No	相線	容量	メーカー	型式	1					取外				
施設No	相線	容量	メーカー	型式												
1																
取外																
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																
計測器シール貼																
計測器内容 (CT) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相線</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施設No	相線	容量	メーカー	型式	1					取外				
施設No	相線	容量	メーカー	型式												
1																
取外																
02110000499427000284 工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																
北海道																

検満計測器工事票 (高圧1)																																																	
事業所 2110000 名寄NWC 設計 No. [] 工事件名 5 分長 長川 機組組 ~ 検満工事 工事会社 株 会 長川 機 倉庫 C D 2811 名寄NWC	支店名 : 旭川支店 所属事業所 : 名寄NWC 作成日付 : 2022年02月07日 16:14 作成担当者 : 北電口 担当名寄 ページ : 1/2																																																
供給 (受電) 地点特定番号 契約区分 計量確定日 00 1 日																																																	
供給 (発電) 電気方式 契約容量 主任技術者所属 主任技術者氏名 電話番号 3相3線式 6 kV 18kW 保安協会																																																	
お客さま住所 北 市 五 丁目 お客さま名 北 電 長川 機組組																																																	
計測器内容 (計器) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相線</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>計器No</th> <th>乗率</th> <th>検満年月</th> <th>合番号</th> <th>取付</th> <th>割増</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td>336</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>A9</td> <td>2007</td> <td>B500327</td> <td>24</td> <td>H33</td> <td>10</td> <td>66-20</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>深夜 時間外 日祝 指定</td> </tr> </table>		施設No	相線	容量	メーカー	型式	製造年	計器No	乗率	検満年月	合番号	取付	割増	1												取外	336	20	13	A9	2007	B500327	24	H33	10	66-20	3												深夜 時間外 日祝 指定
施設No	相線	容量	メーカー	型式	製造年	計器No	乗率	検満年月	合番号	取付	割増																																						
1																																																	
取外	336	20	13	A9	2007	B500327	24	H33	10	66-20	3																																						
											深夜 時間外 日祝 指定																																						
指示数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相</th> <th>指示数 全日有効</th> <th>指示数 時間帯1</th> <th>指示数 時間帯2</th> <th>指示数 時間帯3</th> <th>指示数 時間帯4</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td>52</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施設No	相	指示数 全日有効	指示数 時間帯1	指示数 時間帯2	指示数 時間帯3	指示数 時間帯4	1							取外	52																																
施設No	相	指示数 全日有効	指示数 時間帯1	指示数 時間帯2	指示数 時間帯3	指示数 時間帯4																																											
1																																																	
取外	52																																																
指示数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>方相</th> <th>指示数 力測用有効</th> <th>指示数 力測用無効</th> <th>DM 相</th> <th>指示数 最大需要電力</th> <th>指示数 業務最大需要電力</th> <th>電圧 降下率</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> <td>22</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> </tr> </table>		施設No	方相	指示数 力測用有効	指示数 力測用無効	DM 相	指示数 最大需要電力	指示数 業務最大需要電力	電圧 降下率	1								取外	51			22			13																								
施設No	方相	指示数 力測用有効	指示数 力測用無効	DM 相	指示数 最大需要電力	指示数 業務最大需要電力	電圧 降下率																																										
1																																																	
取外	51			22			13																																										
0211000049942700028404401 計測器シール貼付箇所 高圧標準																																																	
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																																																	
計測器内容 (VCT) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施設No</th> <th>相線</th> <th>容量</th> <th>メーカー</th> <th>型式</th> <th>製造年</th> <th>受検年月</th> <th>合番号</th> <th>製造番号</th> <th>VCT 取付位置</th> <th>2次直長 (m)</th> <th>割増</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取外</td> <td>336</td> <td>20</td> <td>01</td> <td>28</td> <td>1996</td> <td>H19</td> <td>2</td> <td>66-20</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>深夜 時間外 日祝 指定</td> </tr> </table>		施設No	相線	容量	メーカー	型式	製造年	受検年月	合番号	製造番号	VCT 取付位置	2次直長 (m)	割増	1												取外	336	20	01	28	1996	H19	2	66-20		3	3												深夜 時間外 日祝 指定
施設No	相線	容量	メーカー	型式	製造年	受検年月	合番号	製造番号	VCT 取付位置	2次直長 (m)	割増																																						
1																																																	
取外	336	20	01	28	1996	H19	2	66-20		3	3																																						
											深夜 時間外 日祝 指定																																						
0211000049942700028404402 計測器シール貼付箇所																																																	
工事不要 撤去・取替済 方式・容量不適 その他:																																																	
施工日時 計器充電(取外): 年 月 日 時 分 計器充電(取付): 年 月 日 時 分																																																	
北海道電力ネットワーク株式会社 VXF04000CT																																																	

a. 目的	検満工事 (高圧) 現地作業項目の表示ならびに作業結果の記入。
b. 説明	検満工事の対象設備により、1セット (注14) の出力枚数が変わる。 (注14) 「高圧1、高圧3、高圧4」の3枚で1セット。 ・高圧1の計測器内容: 計器、VCT ・高圧3の計測器内容: VT、CT ・高圧4の計測器内容: TS、HAS/MC、通信端末
c. 帳票サイズ	A4縦 (基本的にホスト出力とするが事業所にてPDF出力も可能)
d. 出力タイミング	検満工事設計実施承認後
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(29) 検満計画データ作成エラーリスト

検満計画データ作成エラーリスト										
事業所 3100000 計画年度 2021年度 下期						ページ: 1/18 所属事業所: 札幌支店 作成日付: 2021年12月08日 10:04 作成担当者: 北電口 権限札幌				
No	供給(受電)地点特定番号 お客さま名	契約区	施設No	設備種別	相線電圧	型式CD	容量	数量	エラー区分	エラー内容
1		00	1	F3	336	03		1	確定時	設備が既に設計中です
2		00	1	F3	336	03		1	確定時	設備が既に設計中です
3			1					1	確定時	設備情報が存在しません
4		00	1					1	確定時	設備情報が存在しません
5		SS	1	F3	336	03		1	確定時	設備が既に設計中です
6		00	1	F3	336	03		1	確定時	設備が既に設計中です

a. 目的	検満計画抽出データから「検満計画データ作成エラーリスト」が作成され、検満工事計画結果出力から出力可能となる。
b. 説明	エラー内容に応じ、「検満月別実施計画表」および「特別検体計器請求予告期報」へ手補正を行い、資材担当箇所へ報告する。
c. 帳票サイズ	A 4 縦 (EXCEL)
d. 出力タイミング	検満計画時
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(30) 計測器検満アラームリスト

計測器検満アラームリスト (2021年09月)										
事業所 2100000 旭川支店						ページ: 1/5 所属事業所: 旭川支店 作成日付: 2021年12月07日 11:05 作成担当者: 北電口 権限旭川				
No	供給(受電)地点特定番号 お客さま名	お客さま住所	計測器No	計測器種別	計測器容量	検定有効期間	検定有効期限	検定有効期限	検定有効期限	備考
1			1							
2			2							
3			3							
4			4							
5			5							
6			6							
7			7							
8			8							
9			9							
10			10							

a. 目的	計測器の有効期間超過および変成器の使用期間超過の防止
b. 説明	計測器管理システムに登録されている計測器および変成器に関して、有効期間満了の年月まで3ヵ月以下 [変成器については、変成器検定有効期間が12ヵ月以下] となった場合に出力する。当社の計測器および変成器は、計算法により有効期間内での使用が定められており、有効期間満了前に必ず取替工事を行わなければならない。 当該帳票は各事業所の上長のみ出力可能。
c. 帳票サイズ	A 3 横 (PDF)
d. 出力タイミング	月報 (月初めの営業日に前月分の出力が可能)
e. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(31) 計測器工事实績管理表

北電コード		工事会社名		計測器倉出実績						検測工事実績			修繕工事実績				
				供給工事		臨時工事		低圧検満			高圧検満		箱取替				
				即日倉出 (件)	即日倉出以外 (件)	即日倉出率 (%)	即日倉出 (件)	即日倉出以外 (件)	即日倉出率 (%)	工事数 (台)	無停電工事 (台)	無停電率 (%)	工事数 (台)	手数料無 (台)	手数料有 (台)	箱取替 (個)	計器修設 (箇所)
				1	0	0.0			0.0			0.0					
				23	0	0.0			0.0			0.0					1
					0	0.0			0.0			0.0					
				6	0	0.0	7	1	87.5			0.0					
				2	0	0.0	3	1	75.0			0.0					
				19	0	0.0	23	2	92.0			0.0					5

a. 目的	計測器工事における各種工事实績値の管理（工事組別別）
b. 説明	即日倉出率、無停電工事率、残材率（工事不要手数料率）、一部修繕工事数量の管理。
c. 帳票サイズ	A3横（EXCEL）
d. 出力タイミング	月報（月初めの営業日に前月分の出力が可能）
e. システム内保存期間	12ヵ月分を3年間保存

(32) 計測器工事委託実績表

事業所 3500000 小樽支店		計測器工事委託実績表		長 黒 担当			所属事業所：小樽支店		
委託先		(2021年度02月分)					作成日付：2022年01月18日 15:53		
							作成担当者：北電□□ 担当小樽■		
区分	計画予算		当月実績		実績累計			実績訂正 年月日	
	数量	金額（円）	数量	金額（円）	数量	金額（円）	管理費（円）		
計器受払	一般低圧	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	一般高圧	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	一般高圧特殊	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	検満低圧	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	検満高圧	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	検満高圧特殊	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
	検満設計	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--
工程管理	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--	
現地検収	0	0	0	0	0	0	0	---/--/--	
合計	0	0	0	0	0	0	0		

a. 目的	委託会社による計測器業務委託の実績値管理
b. 説明	委託会社で実施した計測器受払、検満設計、工程管理・現地検収（検満）の当月作業実績（数量、金額）を集計し出力する。
c. 帳票サイズ	A4横（EXCEL）
d. 出力タイミング	都度（月初めの営業日に前月分の出力が可能）
e. システム内保存期間	当年度と過去5年度分のデータ

(33) 未反映契約異動データ一覧

未反映契約異動データ一覧										ページ:1/1	
事業所 3500000 小樽支店				所属事業所: 小樽支店						作成日付: 2022年01月18日 16:13	
				作成担当者: 北電□□ 担当小樽支							
No	削除	供給(受電)地点特定番号	NWシーケンス番号	お客さま名	異動		契約種別 (送電メニュー)	契約 開始	目 標	登録日	
					年月日	種別					
1					2021/04/15	13		*		2021/04/16	
2					2021/09/30	12	L電灯定額			2021/09/01	
3					2021/09/31	10	S特高時間特別			2021/09/01	
4					2021/09/31	10	S特高時間特別			2021/09/01	
5					2021/09/31	12	L電灯定額			2021/09/02	
6					2021/09/26	12	L電灯定額			2021/09/03	
7					2021/09/03	12	L電灯定額			2021/09/07	
8					2021/09/13	12	L電灯定額			2021/09/15	
9					2021/09/10	12	L電灯定額			2021/09/15	
10					2021/09/02	12	L電灯定額			2021/09/15	
11					2021/09/01	12	L電灯定額			2021/09/15	
12					2021/09/14	12	L電灯定額			2021/09/16	

a. 目的	NW情報管理システムから連係された完了異動情報のNWシーケンス番号(連係Key情報)が計測器管理システムに存在しない場合、計測器管理お客さま情報を更新できず未反映契約異動データが発生する。
b. 説明	未反映契約異動データについて対処を行う(対処方法は、「計測器管理システム_オンライン操作ガイド」を参照)。
c. 帳票サイズ	A4横(EXCEL)
d. 出力タイミング	都度(「未反映契約異動データ一覧」としてEXCEL出力も可能)。
e. システム内保存期間	随時(システム内に保存しない)

(34) (行動系) 検満倉出設備連係エラーリスト

(行動系) 検満取付完了設備連係エラーリスト							ページ:1/2
事業所 2560000				所属事業所: 網走NWC			作成日付: 2021年11月18日 13:08
				作成担当者: 北電□□ 権限網走電			
No	エラー年月日	設計No	供給(受電)地点特定番号 お客さま名	施設No	設備種別	対象外理由	
						1	2021/09/17
2	2021/09/15			1	J1	検満倉出設備連係登録済	
3	2021/09/10			2	J4	検満倉出設備連係登録済	

a. 目的	行動系検満連係エラーが発生した場合に出力。
b. 説明	エラー内容を確認し、必要に応じ検満倉出設備登録、検満倉出設備連係を実施する(エラー確認方法は、「計測器管理システム_オンライン操作ガイド」を参照)。
c. 帳票サイズ	A4横(EXCEL)
d. 出力タイミング	都度(「(行動系) 検満倉出設備連係エラーリスト」としてEXCEL出力も可能)。
e. システム内保存期間	随時(システム内に保存しない)

(35) 設計中通電遮断時間変更リスト

ページ: 1/1

設計中通電遮断時間変更リスト

所属事務所: 小樽支店
作成日付: 2022年01月19日 09:14
作成担当者: 北野門口 担当小樽支

事業所 3300000

No	変更年月日	受付番号	設計No	検査	検査済年月日	供給地点特定番号 お客さま名	施設 No	通電遮断時間	
								変更前	変更後
1	2021/06/29						3	0 6 : 0 0 から 6 時間通電	0 1 : 0 0 から 6 時間通電
2	2021/06/14						2	2 1 : 0 0 から 8 時間通電	0 6 : 0 0 から 8 時間通電
3	2020/10/07			*			1	3 : 1 5 から 1 5 分断続遮断	配電部に問い合わせ(22,1800)
4	2020/09/24			*	2020/09/17		1	3 : 1 5 から 1 5 分断続遮断	配電部に問い合わせ(22,1800)

a. 目的

計測器設計後にNWSにて通電遮断の設定時間変更があった場合に、システムにて自動更新された結果をリスト出力する。

リスト内容を確認しエラー（注15）等があれば通電遮断時間設定内容を手更新する。

（注15）エラーの対応方法については以下のとおり。

●「変則遮断時間設定要」の場合

事業所 5100000

No	変更年月日	受付番号	設計No	検査	検査済年月日	供給地点特定番号 お客さま名	施設 No	通電遮断時間	
								変更前	変更後
1	2018/01/20		123456	*	2018/01/24	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	1	2 3 : 0 0 から 8 時間通電	2 4 : 0 0 から 8 時間通電
2	2018/01/20		123456	*		NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	1	2 3 : 0 0 から 8 時間通電	変則遮断時間設定要

設計中お客さま通電遮断時間登録訂正画面

設計中お客さま通電遮断時間登録訂正

「その電断断」を選択

「その電断断」を選択

<変則遮断> ①【通電時刻-遮断時刻】欄に直接時刻を入力します。（HH:MM形式 通電最初は00:00から、遮断最後は24:00）

②全て入力後、計算ボタンをクリックし、遮断時間を確認します。

No	通電時刻	遮断時刻	No	通電時刻	遮断時刻	No	通電時刻	遮断時刻	No	通電時刻	遮断時刻
1	00:00	17:00	2	17:15	17:45	3	18:00	18:30	4	18:45	19:15
5	19:30	19:30	6	21:45	22:15	7	22:30	24:00	8		

遮断時間総額は24:00

【合計遮断時間】 2:00 計算

●「配電部に問い合わせ（パターンCD、時刻）」の場合

事業所 5100000

No	変更年月日	受付番号	設計No	検査	検査済年月日	供給地点特定番号 お客さま名	施設 No	通電遮断時間	
								変更前	変更後
1	2018/01/20		123456	*	2018/01/24	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	1	2 3 : 0 0 から 8 時間通電	2 4 : 0 0 から 8 時間通電
2	2018/01/20		123456	*		NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	1	2 3 : 0 0 から 8 時間通電	変則遮断時間設定要
3	2018/01/20	1234567890	123456			NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	2	2 3 : 0 0 から 8 時間通電	配電部に問い合わせ (22,0600)

設計中お客さま通電遮断時間登録訂正画面

「通電遮断パターン」が計測器管理システムにて設定できる一覽に無い通電遮断時間で、NW情報管理システムから運搬されたもの。

※一覽表は、計測器管理システムコード表参照時間変更を受付した営業担当に問い合わせを行う。正しい情報に修正して完了異動まで進めていただき、再運搬する。もしくは、配電にて修正を実施する。

c. 帳票サイズ	A4横 (EXCEL)
d. 出力タイミング	日次機械処理後、インフォメーションへのアラーム通知時
e. システム内保存期間	設計竣工後12ヵ月間

(36) 計測器工事 仕入明細書

発行ID C-310-2023-00002546
データ作成年月日 2023年12月28日

計測器工事 仕入明細書

取引先CD: H3009
登録番号: 17430001021532
北海道電気工事株式会社 (計器) 御中

北海道電力ネットワーク株式会社

本書受領後、一定期間内に誤りのある旨の連絡がない場合には、記載内容のとおり確認があったものとします。

<設計情報>

工事会社CD: C9205 工事会社: 北海道電気工事株式会社 (計器)

事業所CD: 3100000 計測器工事設計No.: [] 件名No.: 3951 工事区分: 31 発注年月日: 2023/08/28 取引年月日: 2023/12/28 勘定年月: 2023/12

取引内容 (工事名称): [] 検測工事

<支払額>

工事単価 A	実施承認時	229 円/点	消費税込単価 Z	実施承認時	10 %
	竣工時	229 円/点		竣工時	10 %

実施承認時						竣工時					
工事点数 (点)	請負工費 (税抜)	前資材代	支払額 (税抜)	支払消費税額	支払額 (税込)	工事点数 (点)	請負工費 (税抜)	前資材代	支払額 (税抜)	支払消費税額	支払額 (税込)
E=a+b	G=A×E	F=c×F	H=G+F	I=H×Z	J=H×I	E=a+b	G=A×E	F=c×F	H=G+F	I=H×Z	J=H×I
296	67,784	0	67,784	6,778	74,562	465	106,027	0	106,027	10,603	116,630

<工事内訳>

工事内訳	工量・品名コード	配電方式			実施承認時				竣工時			
		付外区分	相線	電圧	数量 b	単位	単位数 (点)	工事点数 (点)	数量 b	単位	単位数 (点)	工事点数 (点)
							e=b×c				e=b×c	
							f=b×d				f=b×d	
【請負工費】												
低圧3M単相検測加算	L101	1	1	2	21	台	4	84	21	台	4	
低圧3M単3・三相検測加算	L103	1	1	3	15	台	5	75	14	台	70	
低圧単相電圧加算	L291	1	1	2	1	台			21	台	63	
低圧単相電圧3・三相加算	L292	1	1	3	1	台			14	台	70	
低圧検測事前周知加算	L304	1	1	2	1	点			16	点	16	
低圧検測事前周知加算	L304	1	1	3	1	点			13	点	13	
検作業割増		1				点			8	点	8	
運搬距離		1				点			8	点	8	
低圧単相計器検測加算	L112	2	1	2	1	台	3	63	21	台	63	
低圧単3・三相計器検測加算	L114	2	1	3	1	台	3	45	14	台	42	
低圧工事工事手数料加算	L400	2	1	3	1	点			1	点	3	
検作業割増		2				点			5	点	5	
運搬距離		2				点			8	点	8	
前期運搬割増		2				点			8	点	8	

【保存期間】 取引年度の翌年度4月1日から8年に達するまで

1/1

a. 目的	インボイス帳票の必要項目の記載。取引内容の詳細 (数量、点数、金額等) を記載。
b. 説明	計測器工事設計毎に作成され、実施承認時、竣工時の数量および点数、金額等を表示することで、本帳票1枚でインボイス対応が可能。
c. 帳票サイズ	A4横
d. 出力タイミング	毎月2営業日
e. システム内保存期間	取引年度の翌年度4月1日から8年 (文書管理システム内)

3-2. 計測器管理システムから出力可能なEXCELファイル

(1) 計測器月別検満計画表

計測器月別検満計画表									
所属事業所：苫小牧支店 作成日付：2018年02月01日 16:22 作成担当者：配電部 管理用									
種別	月別	品名コード	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単2・100V30A	0610103	0	0	0	0	0	0	0
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単2・100V120A	0610112	0	0	0	0	0	0	0
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単2・200V30A	0610203	0	0	0	1	3	2	6
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単2・200V120A	0610212	0	0	0	0	1	0	1
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単3・100V30A	0630103	0	0	0	0	0	0	0
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単3・100V120A	0630112	0	0	0	0	0	0	0
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単3(逆転防止)100V30A	0630113	0	0	0	0	0	0	0
A1 低圧誘導形(単独)	低圧誘導単3(逆転防止)100V120A	0630122	0	0	0	0	0	0	0

a. 目的	検満計画結果の資材担当箇所報告
b. 説明	当該ファイルを「特別検定計器予告期報」と共に、事業所毎に資材担当箇所へ報告する(毎年7月末、1月末)。
c. 帳票サイズ	A4縦(EXCEL)
d. 出力タイミング	検満計画時
e. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成成分を削除

(2) 特別検定計器予告期報

特別検定計器予告期報																
所属事業所：札幌支店 作成日付：2021年12月08日 09:50 作成担当者：配電部 札幌札幌																
No	事業所名	お客さま名	品名	品名コード	相線電圧	容量(A)	登録年月	No	型式	製造番号	型式	製造番号	工事月	検定月	備考	
1	札幌支店		低圧誘導単3相・200V200A	0630220	3P3W300V	200	2017	7	04304	05	11	10521	05	11	10522	12
2	札幌支店		SM(CO6A型) 単3・100V200A	0637901	3P3W100V	200	2015	8	05402	05	11	77727	09	11	77728	12
3	札幌支店		SM(CO6A型) 単3・200V200A	0640002	3P3W200V	200	2017	4	02210	05	11	10180				2
4	札幌支店			0630100V	500	2009	5	03101	05	11	73849	05	11	73870		2

低圧

特別検定計器予告期報																
所属事業所：札幌支店 作成日付：2021年12月08日 09:50 作成担当者：配電部 札幌札幌																
No	事業所名	お客さま名	品名	品名コード	相線電圧	容量(A)	登録年月	No	型式	製造番号	型式	製造番号	工事月	検定月	備考	
1	札幌支店		高圧4型2hFPS・3相5KV100A	0635402	3P3W5KV	100	2008	12	06308	05	29	09045				12
2	札幌支店		高圧5型2hFPS・3相5KV100A	0635502	3P3W5KV	100	2008	10	04503	05	29	04475				12
3	札幌支店		高圧5型2hFPS・3相5KV100A	0635502	3P3W5KV	100	2008	5	03008	05	29	07452				12
4	札幌支店		高圧4型2hFPS・3相5KV100A	0635401	3P3W5KV	100	2008	7	04572	05	29	07452				12

高圧

a. 目的	特別検定対象需要家および対象設備の資材担当箇所報告
b. 説明	当該ファイルを「計測器月別検満計画表」と共に、事業所毎に資材担当箇所へ報告する(毎年7月末、1月末)。
c. 帳票サイズ	A3横(EXCEL)
d. 出力タイミング	検満計画時
e. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成成分を削除

(3) 電力量計請求予告月報

苦小牧支店		電力量計請求予告月報 (2018年1月分)		ページ: 1/10 所属事業所: 苦小牧支店 作成日付: 2018年02月01日 16:32 作成担当者: 配電部 管理用	
種 別	項 目	品 名 コード	予告所要数		
			翌月 検満倉出数	翌月 一般倉出数	計
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単2・100V30A	0610103	0	0	0
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単2・100V120A	0610112	0	0	0
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単2・200V30A	0610203	0	0	0
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単2・200V120A	0610212	25	0	25
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単3・100V30A	0630103	0	0	0
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単3・100V120A	0630112	0	0	0
A1 低圧誘導形 (単独)	低圧誘導単3 (逆転防止) 100V30A	0630113	0	0	0
a. 目的	翌月分の計測器倉出予想数量の資材担当箇所報告				
b. 説明	当該ファイルを「特別検定計器予告月報」と共に、事業所毎に資材担当箇所へ報告する(毎年18日(注16)締め切り)。 当該ファイルの「翌月検満倉出数」は自動集計された結果が反映されているが、「翌月一般倉出数」は手補正が必要である。 (注16) 18日が非営業日の場合は、翌営業日。				
c. 帳票サイズ	A4縦 (EXCEL)				
d. 出力タイミング	資材担当箇所報告日の1営業日前(月報)				
e. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成成分を削除				

(4) 特別検定計器予告月報

札幌西NWC		特別検定計器予告月報 (2021年度10月分)		ページ: 1/1 所属事業所: 札幌西NWC 作成日付: 2021年11月24日 14:37 作成担当者: 北電口ロ 梅原札幌西										
N0	事業所名	お客さま名	品 名	品名コード	相検電圧	容量(A)	受検年月	N0	型式	製造番号	型式	製造番号	工事 予定月	備考
1	札幌西NWC	道江 有洋	SM (GDA型) 単2・200V20A	0640932	1P2000V	200	2021	5	09316	09	11	115947		08
低圧														
室蘭支店		特別検定計器予告月報 (2021年10月分)		ページ: 1/1 所属事業所: 室蘭支店 作成日付: 2022年02月07日 08:35 作成担当者: 室電口ロ 原島室蘭支										
N0	事業所名	お客さま名	品 名	品名コード	相検電圧	容量(A)	受検年月	N0	型式	製造番号	型式	製造番号	工事 予定月	備考
1	室蘭支店	伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤	高圧4型2h PPS・三相0KV100A	0635402	3P3W6V	100	2009	1	09311	09	29	06005		18
2	室蘭支店	石川 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤	高圧4型2h PPS・三相0KV100A	0635402	3P3W6V	100	2009	11	09315	09	29	05494		18
3	室蘭支店	石川 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤	高圧4型2h PPS・三相0KV200A	0635407	3P3W6V	200	2009	2	09309	01	29	70444		18
4	室蘭支店	伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤	高圧4型2h PPS・三相0KV200A	0635407	3P3W6V	200	2009	3	01531	01	29	03003		18
5	室蘭支店	伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤	高圧4型2h PPS・三相0KV100A	0635402	3P3W6V	100	2009	2	09574	09	29	04194		18
高圧														
a. 目的	翌月倉出分の特別検定対象需要家および対象設備の資材担当箇所報告													
b. 説明	当該ファイルを「電力量計請求予告月報」と共に、事業所毎に資材担当箇所へ報告する(毎月18日(注16)締め切り)。 (注16) 18日が非営業日の場合は、翌営業日。													
c. 帳票サイズ	A3横 (EXCEL)													
d. 出力タイミング	資材担当箇所報告日の1営業日前(月報)													
e. システム内保存期間	今回分作成時に前々回作成成分を削除													

3-3. 計測器管理システムから出力可能なCSVファイル

(1) 検満工事設計対象お客さまデータ

■ ダウンロード項目	
1. 事業所	38. 指針区分_時間帯 4
2. 設計No	39. 指示数_時間帯 4
3. 工期 (自)	40. 指針区分_時間帯 5
4. 工期 (至)	41. 指示数_時間帯 5
5. 供給 (受電) 地点特定	42. 指針区分_時間帯 6
6. 負担金	43. 指示数_時間帯 6
7. 契約区分	44. 指針区分_時間帯 7
8. お客さま名	45. 指示数_時間帯 7
9. 住所	46. 指針区分_時間帯 8
10. 引込注No	47. 指示数_時間帯 8
11. 契約電流	48. 指針区分_時間帯 9
12. 契約容量	49. 指示数_時間帯 9
13. 契約電力	50. 指針区分_時間帯 10
14. 契約設備電力	51. 指示数_時間帯 10
15. 最大受電電力	52. 力測桁数 (整数部&小数部)
16. 夜間開始時刻CD	53. 指示数力測有効電力量
17. 常予備区分	54. 指示数力測無効電力量
18. 計量確定日	55. DM桁数 (整数部&小数部)
19. 取付位置CD	56. 指示数累積最大需要電力
20. 施設No	57. 受検年月
21. 設備種別	58. 合番号No
22. 相線電圧	59. 2次配線実亘長
23. 容量	60. 計測器倉出確定フラグ
24. メーカーCD	61. 計測器倉出フラグ
25. 型式CD	62. 施工会社CD
26. 製造年	63. 施工年月日
27. 製造番号 (計器No)	64. SM_通信装置_メーカーCD
28. 指示数桁	65. SM_通信装置_型式CD
29. 乗率	66. SM_通信装置_製造年
30. 検満年月	67. SM_通信装置_製造番号
31. 指示数_全日有効電力量	68. SM_通信装置_通信ID
32. 指針区分_時間帯 1	69. SM_通信装置_Aルート通信方式CD
33. 指示数_時間帯 1	70. SM_通信装置_Bルート通信方式CD
34. 指針区分_時間帯 2	71. SM_指示数順潮流電力量
35. 指示数_時間帯 2	72. SM_指示数逆潮流電力量
36. 指針区分_時間帯 3	73. 作成年月日、時間
37. 指示数_時間帯 3	74. 作成者

1

a. 目的	検満工事設計書別の検満工事対象お客さまの把握
b. 説明	必要に応じて出力し使用する。
c. 出力タイミング	当該設計の実施承認後から検収登録前まで、かつ検満倉出設備登録が完了している契約について随時出力可能
d. システム内保存期間	随時 (システム内に保存しない)

(2) 高圧検満工事対象お客さまデータ

■ ダウンロード項目	
1.	事業所
2.	供給地点特定番号
3.	負担金
4.	お客さま名
5.	住所
6.	契約区分
7.	部分供給区分
8.	施設 No
9.	常予備区分
10.	設備種別
11.	製造番号 (計器 No)
12.	計器・受量器 検満年月
13.	工事予定年月
14.	作成日付
15.	作成者名

a. 目的	高圧検満工事対象お客さまの把握
b. 説明	料金担当箇所における無線検針対応などの事前準備資料として利用する場合がある。
c. 出力タイミング	検満計画確定後、随時出力可能
d. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成分を削除

(3) 高圧検満計画対象お客さまデータ

■ ダウンロード項目			
1.	事業所	14.	変成器_受検年月
2.	供給 (受電) 地点特定番号	15.	検定種別
3.	負担金	16.	工事予定年月
4.	お客さま名	17.	検満可能月フラグ 1
5.	お客さま住所	18.	検満可能月フラグ 2
6.	お客さま電話番号	19.	検満可能月フラグ 3
7.	契約区分	20.	検満可能月フラグ 4
8.	部分供給区分	21.	年次点検日
9.	施設 No	22.	主任技術者所属
10.	常予備区分	23.	主任技術者氏名
11.	設備種別	24.	主任技術者電話番号
12.	計器 No	25.	作成日付
13.	計器・受量器_検満年月	26.	作成者名

a. 目的	高圧検満時における作業スケジュール調整用情報の提供
b. 説明	高圧検満におけるお客さまとの停電調整等に活用する。
c. 出力タイミング	検満データ抽出時に対象お客さま分のみ出力可能
d. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成分を削除

(4) 年度末設備情報

■ ダウンロード項目

設備区分毎のダウンロード項目は下表のとおり。

ダウンロード項目	設備区分						
	計器・ 受量器 ， SM	変成 器	タイムス イッチ	併用開 閉器	契約用ブ レーカ	通信 端末	付属 装置
1. 事業所 CD	○	○	○	○	○	○	○
2. 契約者 SEQ	○	○	○	○	○	○	○
3. 契約区分	○	○	○	○	○	○	○
4. 施設 No	○	○	○	○	○	○	○
5. SPID	○	○	○	○	○	○	○
6. 送電メニュー	○	○	○	○	○	○	○
7. 契約種別	○	○	○	○	○	○	○
8. 多回路合成区分	○	○	○	○		○	○
9. 設備種別	○	○	○	○		○	○
10. 取付位置	○	○	○	○		○	○
11. 相	○	○		○	○		
12. 線	○	○		○	○		
13. 電圧	○	○		○	○		
14. 容量	○	○	○	○	○		
15. メーカーCD	○	○	○	○	○	○	○
16. 型式 CD	○	○	○	○		○	○
17. 製造年	○	○	○	○	○	○	○
18. 合番号 No	○	○					
19. 検満年	○	○	○	○		○	○
20. 検満月	○	○	○	○		○	○
21. 通信装置メーカーCD	●						
22. 通信装置型式 CD	●						
23. 通信装置製造年	●						
24. 通信方式 (A ルート)	●						
25. 通信方式 (B ルート)	●						
26. 【端子部】設備種別	●						
27. 【端子部】相	●						
28. 【端子部】線	●						
29. 【端子部】電圧	●						
30. 【端子部】容量	●						
31. 【端子部】メーカーCD	●						
32. 【端子部】型式 CD	●						
33. 【端子部】製造年	●						
34. 受検年		○					
35. 受検月		○					
36. 施工年月日			○	○			
37. 製造番号						○	

●：SM専用項目

a. 目的	年度末時の設備数量把握および官庁報告用資料の作成
b. 説明	計測器工事設備計画作成時の資料として活用する。
c. 出力タイミング	随時
d. システム内保存期間	今回分作成時に前回作成分を削除

3-4. 経理・資材帳票

(1) 営業修繕工事事業所別実績表

7111 補修 計器類		営業修繕工事事業所別実績表						送付先 決算G		1
主管 50 配電技術(計器)		項 35 配電費		1997年 8月		面議支店 面議営業部 面議営業部				
目	節	小節	勘定年月	取引単位	モニター番号 (検査番号)	事業年月日 (送付年月日)	業者番号 (送付番号)	摘要	数量	金額
30	覆板老廃内装	05 材料費	1997.8	721	210220	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	210038	1997.9.4		パナソニック		18480
			1997.8	721	213008	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	213053	1997.9.4		パナソニック		24140
			1997.8	721	213086	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	213096	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	213108	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	213124	1997.9.4		パナソニック		2587
			1997.8	721	213125	1997.9.4		パナソニック		2587

KIM380 EK0100FV

a. 目的	計測器工事票単位の修繕実績
b. 説明	当月勘定扱い分の支払先別一覧であり、誤り等があれば当該帳票を参考に訂正を行う。
c. 帳票サイズ	B4横 (ホスト出力)
d. 出力タイミング	月報

(2) 配電計器工事債務内訳表

工 業 電 力		配電計器工事債務内訳表						送付先 ---> パナソニック ケイワ		410	
業 務 作 成 : 97年 9月 4日		97年 8月 勘定		(マイク)		主 管 イキコ					
注文書No	科目	取 引 先	取付年月	注文No	品名	工事費	副資材代	物品売却代	消費税	違約金	支払合計
1	3	パナソニック ケイワ	97.8.28	110065	1323 トリフカイ	2133	1721		192		4046
2	6	*	97.8.28	10209	1352 ヲマツ ケイ	27729			1386		29115
3	6	*	97.8.28	10212	1392 ヲマツ ケイ	1896			94		1990
4	6	*	97.8.28	10213	1478 ヲマツ ケイ	4740			237		4977
5	6	*	97.8.28	10215	1352 ヲマツ ケイ	12087			804		12691
6	5	*	97.8.28	10216	1395 201 SB	1659			82		1741
7	6	*	97.8.28	10219	1364 301 ケイ ケイ	1422			71		1493
8	6	*	97.8.28	10220	1466 ヲマツ ケイ	3792			189		3981
9	5 3	*	97.8.28	10220	1466 211 110	2607	2587		259		5453
10	5	*	97.8.28	10231	1385 201 SB	1659			82		1741
11	6	*	97.8.28	10235	1352 ヲマツ ケイ	4740			237		4977

ES0090FV

a. 目的	取引先別の計測器工事費内訳
b. 説明	当月勘定分として取引先(協同組合等)へ支払う計測器工事費の内訳である
c. 帳票サイズ	B4横 (ホスト出力)
d. 出力タイミング	月報

(3) 計測器受払データリスト

計測器受払データリスト															作成年月日 2006年08月09日 ページ 16		
															出力年月日 2006年08月09日 08時34分		
															受払箇所 3901 札幌電気工事業(協) 札支		
勘定 年月 区分	ビル コート	受払 区分	事業所	設計NO	頁 NO	工事 区分	工事 区分	項目 NO	科目 目 節	勘定 区分 小節	牛名NO 資産NO	品名 コード	品名 仕様	受払日	数量	単位	(帳簿原価) 金額
08		53	3110000	471628	01	011	010	070	3110000	80	3903	0651215	契約用安全ブレーカー 1P2W15A	2006/8/7		1個	640
08		53	3110000	471628	01	011	011	070	3110000	80	3901	0610103	低圧電力計 1P1 30A WHM	2006/8/7		1個	1,190
08		31	3110000	471637	01	211	012	070	3110000	80	3921	0684001	修理電力計 1P 100V	2006/8/4		1個	799
08		31	3110000	471637	01	211	013	070	3110000	80	3923	0688003	修理契約用安全ブ レーカー 1P2W 20A	2006/8/4		1個	210
08		53	3110000	471662	01	011	010	070	3110000	80	3901	0630103	契約用安全ブレーカー 1P3WS0A	2006/8/7		1個	3,810
08		53	3110000	471665	01	013	010	070	3110000	80	3903	0651330	低圧電力計 1P3 W100V 30A WHM	2006/8/4		1個	2,580
08		53	3110000	471665	01	013	011	070	3110000	80	3903	0651330	契約用安全ブレーカー 1P3W30A	2006/8/4		1個	2,310
08		31	3110000	471670	01	211	012	070	3110000	80	3921	0684001	修理電力計 1P 100V	2006/8/7		1個	799
08		31	3110000	471670	01	211	013	070	3110000	80	3923	0688003	修理契約用安全ブ レーカー 1P2W 20A	2006/8/7		1個	210
08		31	3110000	471680	01	011	011	070	3110000	80	7120	0688102	修理契約用安全ブ レーカー 1P3W 30A	2006/8/3		1個	580
08		53	3110000	471684	01	012	010	070	3110000	80	3901	0610203	低圧電力計 1P2 00V 30A WHM	2006/8/4		1個	1,820
08		53	3110000	471684	01	012	011	070	3110000	80	3905	0683501	クオート式タイムス イッチ クオートタイムスイッチ 30A	2006/8/4		1個	4,980
08		53	3110000	471695	01	013	010	070	3110000	80	3901	0630103	低圧電力計 1P3 W100V 30A WHM	2006/8/4		1個	2,580
08		53	3110000	471695	01	013	011	070	3110000	80	3903	0651330	契約用安全ブレーカー 1P3WS0A	2006/8/4		1個	2,310
08		53	3110000	471714	01	013	010	070	3110000	80	3981	0630112	低圧電力計 1P3 W100V 120A WHM	2006/8/4		1個	3,100
08		53	3110000	471714	01	014	011	070	3110000	80	3981	0630212	低圧電力計 3P2 00V 120A WHM	2006/8/4		1個	4,350

a. 目的	計測器管理システムに入力した設計データの確認
b. 説明	「計測器工事設計票」において受払いを行った資材のリストであり、経理実績として計上する。
c. 帳票サイズ	A4横(資材配給端末より出力)
d. 出力タイミング	必要の都度(当該帳票の有無については、資材システム(貯蔵品管理システム)業務処理工程検索画面により確認が可能)

(参考) 計測器関係書類の保管・保存期間		上長回付	保管・保存期間(年)	
			本店	事業所
3-1. 計測器管理システムから出力可能な帳票				
(1)	計測器倉出・倉入合計票	○	—	—
(2)	計測器未竣工工事内訳表(月処理のみ)	○	—	1
(3)	計測器竣工工事内訳表	○	—	1(5)
(4)	計測器工事票	○	—	1
(5)	計測器実施承認票	電子承認	—	(5)
(6)	計測器予算総括表	電子承認	—	(5)
(7)	計測器予算内訳表	電子承認	—	(5)
(8)	計測器予算管理表(建口)		—	—
(9)	計測器予算管理表(除口)		—	—
(10)	計測器予算管理表(修繕・諸費)		—	—
(11)	計測器受払データエラーリスト		—	—
(12)	計測器設備訂正承認リスト	○(注17)	—	1(5(注18))
(13)	計測器チェックリスト(設備整合性)	○	—	1
(14)	倉出計測器設備票		—	1
(15)	倉出計測器設備票(高圧)		—	1
(16)	計測器建仮工事月報(建設工事口)	○	(10)	5(10(注19))
(17)	計測器建仮工事月報(除却工事口)	○	(10)	5(10(注19))
(18)	計測器関係修繕工事月報	○	(10)	5(10(注19))
(19)	計測器受払業務委託実績表(当社用)	○	(10)	5(10(注19))
(20)	計測器受払業務委託実績表(委託先用)		—	(10(注19))
(21)	計測器受払業務委託内訳表		—	(8)
(22)	計測器受払委託支払明細表		—	(8)
(23)	計測器工事件数月報(材料)		(10)	(10(注19))
(24)	計測器工事件数月報(工量)		(10)	(10(注19))
(25)	計測器工事会社別箱板個数月報	○	—	3(3)
(26)	検満自動設計対象外リスト		—	—
(27)	検満計測器工事票		—	5
(28)	検満計測器工事票(高圧)		—	5
(29)	検満計画データ作成エラーリスト		—	—
(30)	計測器検満アラームリスト	○	—	5
(31)	計測器工事実績管理表		(3)	(3)
(32)	計測器工事委託実績票	○	—	5
(33)	未反映契約異動データ一覧	○	—	1
(34)	(行動系)検満倉出設備連係エラーリスト		—	—
(35)	設計中通電遮断時間変更リスト		—	1
(36)	計測器工事 仕入明細書		—	(8)

※上長回付が必要な帳票について、上長は担当から遅滞無く回付されるよう管理すること。

※カッコ内の数字は、計測器管理システムにおける保存期間。

(注17)：次の項目の設備登録訂正については電子承認とする。計器・受量器情報の「相線電圧」、「計器 No」、「乗率」、「合番号(略称・No)」、「指示数桁」および「検満年月」。

変成器情報の「相線電圧」、「合番号(略称・No)」および「受検年月」。

(注18)：電子承認対象は承認日より5年、それ以外は操作日(登録訂正日)より5年。

(注19)：前々年度以前のもは3月(年度末)実績のみ出力可。

(参考) 計測器関係書類の保管・保存期間		上長回付	保管・保存期間(年)	
			本店	事業所
3-2. 計測器管理システムから出力可能なEXCELファイル				
(1)	計測器月別検満計画表	——	——	——
(2)	特別検定計器予告期報	——	——	——
(3)	電力量計請求予告月報	——	——	——
(4)	特別検定計器予告月報	——	——	——
3-3. 計測器管理システムから出力可能なCSVファイル				
(1)	検満工事設計対象お客さまデータ	——	——	——
(2)	高圧検満工事対象お客さまデータ	——	——	——
(3)	高圧検満計画対象お客さまデータ	——	——	——
(4)	年度末設備情報	——	——	——
3-4. 経理・資材帳票				
(1)	営業修繕工事事業所別実績表	——	——	5
(2)	配電計器工事債務内訳表	——	——	5
(3)	計測器受払データリスト	——	——	——

4. 計量法

(1) 計量法とは

計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保し、もって経済の発展及び文化の向上に寄与することを目的とした、各種計量器の検定等に関する規定である。

なお、当社におけるお客さまとの電気料金取引に使用する計器、および証明に使用する計器は、適正な計量の実施を確保するためにその構造又は器差に係る基準を定める必要があるものとして、計量法の中でも特に厳しい基準が適用される「特定計量器」に指定されている。

(2) 検定の種類

a. 提出検定

提出検定とは、単独計器または変成器付計器と変成器を対で日本電気計器検定所に提出して検査を受ける時の検定をいう。

b. 出張検定

出張検定とは、変成器付計器だけを日本電気計器検定所に提出して検査を受け、変成器はその所在の場所で検査を受ける検定をいう。

c. 特別検定

特別検定とは、変成器付計器だけを日本電気計器検定所に提出して検査を受け、変成器そのものは提出しない時の検定をいう。

d. 特殊検定

特殊検定とは、日本電気計器検定所で型式承認されていない特殊な仕様の計器に係る検定をいう。

当該計器については、型式承認と同等の試験を受け、さらに提出検定を受けなければならない。

なお、特殊検定の検定有効期間については、日本電気計器検定所で型式承認されているものと同じく、計量法施行令で定められた期間である。

(3) 検定の区分

a. 一般検定

一般検定とは、単独計器の提出検定、または変成器付計器と変成器との個々の組合せを指定した検定をいう。

b. 特定検定

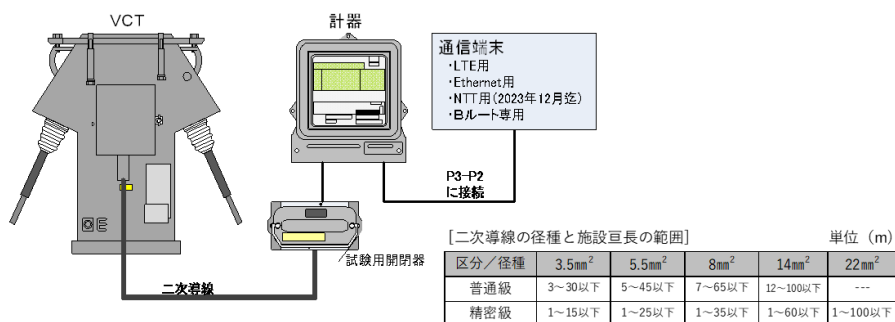
特定検定とは、変成器付計器の群と変成器の群との組合せを指定した検定をいう。

c. 一般検定と特定検定の対応一覧

(a) VCT 1台+計器 1台

VCT 1台に計器 1台と通信端末 1台を接続する場合の検定区分は以下のとおり（以下に無い組合せはすべて一般検定）。

相線電圧：	普通級			精密級		
	20/5A	50/5A	100/5A	200/5A	300/5A	500/5A
三相3線式 6,600V						
一般用VCT	特定検定	特定検定	特定検定	特定検定	特定検定	特定検定
耐塩用VCT	特定検定	特定検定	特定検定	特定検定	特定検定	一般検定

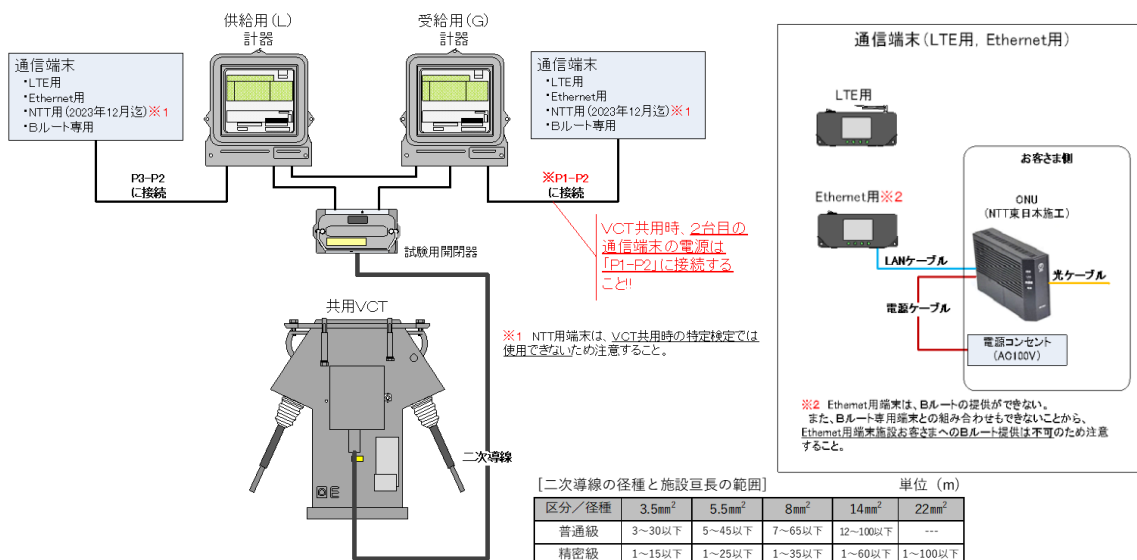


(b) VCT 1台+計器 2台

VCT共用の場合で、VCT 1台に計器と通信端末を 2台ずつ接続する場合の検定区分は以下のとおり（以下に無い組合せはすべて一般検定）。

相線電圧：	普通級			精密級		
	20/5A	50/5A	100/5A	200/5A	300/5A	500/5A
三相3線式 6,600V						
一般用VCT	特定検定	特定検定	一般検定	一般検定	一般検定	一般検定
耐塩用VCT	特定検定	特定検定	一般検定	一般検定	一般検定	一般検定

特に、精密級のVCT共用は「一般検定」のため、誤って特定検定品を施設しないよう注意すること（過去に誤って施設した事例あり）。



(4) 検定の種類・区分と対象計器

検定の区分		一般検定	特定検定
		単独計器の提出検定又は変成器付計器と変成器との個々の組合せを指定した検定	変成器付計器の群と変成器の群との組合せを指定した検定
検定の種類		対象となる計器等	
提出検定	計器および変成器が提出されたときの検定	<ul style="list-style-type: none"> ・単独計器 ・変成器付計器+変成器 	<ul style="list-style-type: none"> ・変成器付計器、 ・変成器
出張検定	変成器付計器だけが提出され、変成器はその所在の場所で検査する検定	<ul style="list-style-type: none"> ・変成器付計器 (提出検定要) ・変成器 	/
特別検定	変成器付計器だけが提出され、変成器は提出されないときの検定	<ul style="list-style-type: none"> ・変成器付計器 	/
特殊検定	日本電気計器検定所で型式承認していないものを、いきなり検定すること	<ul style="list-style-type: none"> ・単独計器 ・変成器付計器+変成器 (日本電気計器検定所の型式承認をとっていないものすべて) 	/

(5) 計量器の有効期間と精度階級

a. 有効期間

計器の種類		定格電流 (A)	有効期間			
単独計器 (注20)	普通電力量計	Ⅱ形	20	電子式	10年	
			60	誘導形	7年	
		Ⅲ形		30	10年	
			120	60	電子式	10年 (注22)
		Ⅳ形	200	10年		
		Ⅴ形	250	10年		
	変成器付計器 (注21)	普通電力量計 精密電力量計 特別精密電力量計	5	電子式	7年	(注23)
無効電力量計 最大需要電力計		誘導形		5年		

※「計量法施行令 第18条」参照

(注20) 単独計器とは、計器用変成器（変流器または計器用変圧器・変流器）と組み合わせず単独で使用する計器をいう。

(注21) 変成器付計器とは、計器用変成器と組み合わせて使用する計器をいう。

(注22) 平成19年5月16日施行の計量法施行令改正により、7年から10年に延伸化された。

(注23) 『定格電圧が300V以下の電力量計で定格一次電流が120A以下の変流器とともに使用されるもの（定格電圧が300Vを超える変成器とともに使用されるものを除く）』は、有効期間が「7年」になる。

なお、平成14年7月3日施行の計量法施行令改正前の変成器付計器（上記『 』に該当するものを除く）の有効期間については、電子式、誘導形ともに「5年」になる。

b. 精度階級

取引又は証明における計量に使用する電力量計の種類については、以下を最低の基準として選定すること。

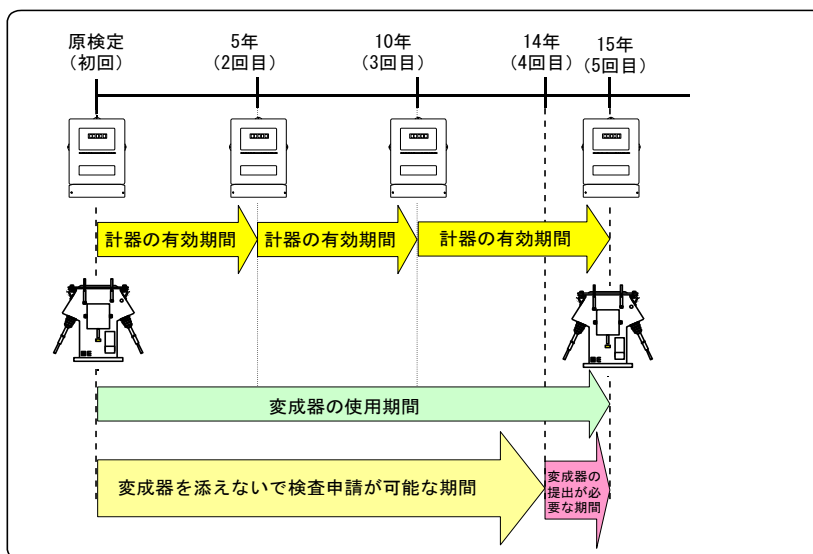
ただし、力率測定用のものは、この限りではない。

契約最大電力	電力量計の種類
10,000kW以上	特別精密級
500kW以上 10,000kW未満	精密級
500kW未満	普通級

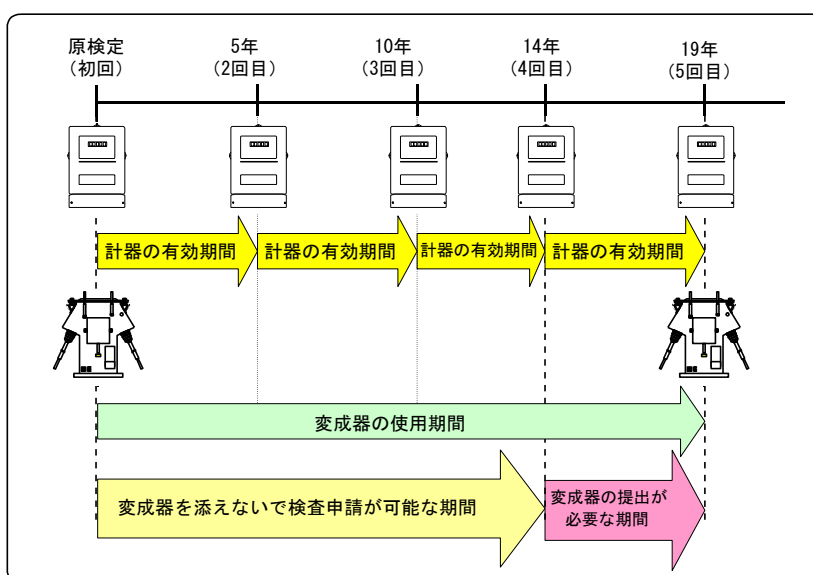
(計量法関係通達「取引又は証明における計量に使用する電力量計の種類について(H5.11.1発信)」参照)

(6) 変成器付計器の検定サイクル

a. 誘導形変成器付計器の場合



5年サイクルで取替た場合



変成器の最大使用期間

誘導形変成器付計器の有効期間は5年である。

変成器付計器における検定は、これとともに使用する変成器を添えて検査申請することとなっている^(注24)が、原検定^(注25)の受検年月から14年^(注26)を経過していない場合は、変成器を添えないで検査申請が可能(=特別検定が可能)である。

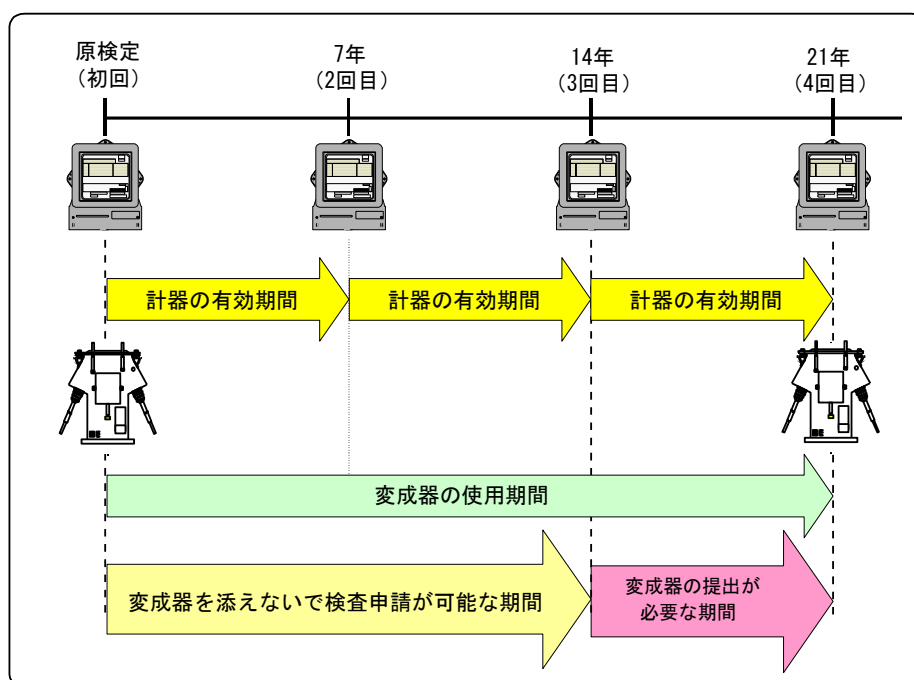
また、この場合における変成器の使用期間については、計器の検定有効期間により最大で19年となる。

(注24)「計量法 第73条 第2項」参照

(注25)「原検定」とは、提出および出張検定において合番号が付された時の検定をいう。

(注26) 変成器付電気計器の検査を受けようとする場合に、計器とともに使用する変成器を添えなければならない期間(=特別検定が可能な期間)は、「特定計量器検定検査規則(以下、検則とする)第4条第5項」に規定されている。

b. 電子式変成器付計器の場合



電子式変成器付計器の有効期間は7年^(注27)である。

変成器付計器における検定は、これとともに使用する変成器を添えて検査申請することとなっているが、原検定の受検年月から14年を経過していない場合は、変成器を添えないで検査申請が可能(=特別検定が可能)である。

また、この場合における変成器の使用期間については、計器の検定有効期間により最大で21年となる。

(注27) 計量法施行令の改正(平成14年7月3日改正)により、5年から7年に延伸化された。

(7) 特定検定の高圧計器における変成器取替工事の一部緩和措置

電子式変成器付計器の検定サイクルは、変成器の受検年から14年を経過し変成器の使用期間である21年までの間は提出検定とすることを運用の原則としているが、検定の区分が特定検定の計測器であって、変成器取替工事に必要な停電調整が困難であるなど、お客さまの都合上、やむを得ない場合に限り、本運用を超えて「特定検定実施要領（日本電気計器検定所）」の取り扱いに基づき、状況に応じて次のとおり変成器付計器のみの取替工事としても良い。

a. 検満計画時に工事変更する場合

- 配電担当者は、「計測器月別検満計画表」および「特別検定計器請求予告期報」と工事変更する理由を記載した「高圧検満計画対象お客さまデータ」を添付のうえ、上長へ回付する。
- 上長は、「高圧検満計画対象お客さまデータ」および「特別検定計器請求予告期報」を確認し、工事変更した対象が特定検定の計器であること、変成器の使用期間内であることを確認したうえで、検満工事計画反映指示のシステム処理を行う。

b. 設計時に工事変更する場合

- 配電担当者は、計測器管理システムの「計測器設備・登録訂正」の計器・変成器諸元画面をハードコピーし、工事変更する理由を記載して、上長回覧する。
- 上長は、工事変更した対象が特定検定の計器であること、変成器の使用期間内であることを確認する。

c. 実施承認後に工事変更する場合

- 配電担当者は、「計測器工事確認票（検収票）」を出力、工事変更する理由を記載し、計測器管理システムの「計測器設備・登録訂正」の計器・変成器諸元画面ハードコピーを添付のうえ、上長へ回付する。
- 上長は、「計測器工事確認票（検収票）」で変成器付計器と変成器の取替工事から変成器付計器のみの取替工事へ変更したこと、および計器・変成器諸元画面ハードコピーで工事変更した対象が特定検定の計器であること、変成器の使用期間内であることを確認する。

d. 工事竣工後

- 配電担当者は、計測器チェックリストに「特別検定誤りの恐れあり」のメッセージが出力されるので、計測器管理システムの「計測器設備・登録訂正」の計器・変成器諸元画面ハードコピーを添付のうえ、上長へ回付する。
- 上長は、変成器が使用期間内であることを確認する。

e. 変成器の管理

- 配電担当者は、変成器の使用期間内における停電取得可能年月を計測器管理システムの計測器設備登録訂正 - 検満情報 - 標準期間外検満工事年月へ入力後、「計測器設備訂正承認リスト」を出力し、計測器管理システム「計測器設備・登録訂正」の計器・変成器諸元画面ハードコピーを添付のうえ、上長へ回付する。
- 上長は、停電取得可能年月が変成器の使用期間内であることを確認する。

(8) 検定公差と使用公差

a. 検定公差

「検定公差」とは、電力量計、無効電力量および最大需要電力量計の検定時における器差（計器の誤差）の基準である。

なお、「公差」とは、電力量計、無効電力量および最大需要電力量計が変成器とともに使用される場合の、検定時における計器の器差と変成器の合成誤差を代数和した値である総合誤差の基準である。

計器種類毎の検定公差および公差は、次のとおり。

種 類	負荷電流 (定格電流に対する百分率)	検定公差 (%)		公 差 (%)	
		力率 0.5	力率 1	力率 0.5	力率 1
特別精密電力量計	10%以下	0.8		力率 0.5	1.1
				力率 1	1.0
	10%を超え 100%以下	0.5		力率 0.5	0.7
				力率 1	0.6
精密電力量計	10%以下	1.5		力率 0.5	2.0
				力率 1	1.8
	10%を超え 100%以下	1.0		力率 0.5	1.3
				力率 1	1.2
普通電力量計	---	力率 0.5	2.5	力率 0.5	2.5
		力率 1	2.0	力率 1	2.0
無効電力量計	---	2.5		2.5	
最大需要電力計	---	3.0		3.0	

※ 検定公差は「検則 第 680 条」「検則 第 724 条」を参照。

※ 公差は「検則 第 767 条」を参照。

また、器差検定の方法は、下表の左欄に掲げる種類に応じ、定格周波数、定格電圧、同表の中欄に掲げる力率及び同表の右欄に掲げる負荷電流の電力を加えた場合において、器差を測定して行う。

種 類	力率	定格電流に対する負荷電流の百分率 (%)
特別精密電力量計	0.5	10, 20, 50 及び 100
	1	5, 20, 50 及び 100
精密電力量計	0.5	10, 20, 50 及び 100
	1	5, 20, 50 及び 100
普通電力量計	0.5	20 及び 100
	1	2 (V形に限る), 2.5 (IV形に限る), 3.3 (III形に限る) 5 (II形又は変成器とともに使用されるものに限る), 50 及び 100
無効電力量計	0	100
	0.866	20, 50 及び 100

(最大需要電力計の器差検定の方法については省略)

※器差検定の方法は「検則 第 706 条」「検則 第 750 条」「検則 第 778 条」を参照。

b. 使用公差

「使用公差」とは、電力量計、無効電力量および最大需要電力量計の使用における器差（計器の誤差）の基準である。

なお、「公差」とは、電力量計、無効電力量および最大需要電力量計が変成器とともに使用される場合の、使用中における計器の器差と変成器の合成誤差を代数和した値である総合誤差の基準である。

計器種類毎の使用公差および公差は、次のとおり。

種 類	負荷電流 (定格電流に対する百分率)	使用公差 (%)	公 差 (%)
特別精密電力量計	10%以下	1.4	1.4
	10%を超え 100%以下	0.9	0.9
精 密 電 力 量 計	10%以下	2.5	2.5
	10%を超え 100%以下	1.7	1.7
普 通 電 力 量 計	---	3.0	3.0
無 効 電 力 量 計	---	4.0	4.0
最大需要電力計	---	4.0	4.0

※ 使用公差は「検則 第 708 条」「検則 第 752 条」を参照。

※ 公差は「検則 第 781 条」を参照。

また、器差検査の方法は、下表の左欄に掲げる種類に応じ、定格周波数、定格電圧、および同表の中欄に掲げる力率及び同表の右欄に掲げる負荷電流の電力を加えた場合において、器差を測定して行う。

種類	力率	定格電流に対する負荷電流の百分率 (%)
特別精密電力量計	1.0	10, 50 及び 100
精 密 電 力 量 計	1.0	10, 50 及び 100
普 通 電 力 量 計	1.0	20, 50 及び 100
無 効 電 力 量 計	0.866	50
最大需要電力計	1.0	50

※ 器差検査の方法は「検則 第 710 条」「検則 第 754 条」「検則 第 783 条」を参照。

5. 荷札

計測器返納票
(C票、D票)

計測器返納票 (C票)				
北海道電力株式会社 殿				
供給地点特定番号				
お客さま名				
WHM	SB	TS	MGS	
計器番号				
工事内容	計測器		<input type="checkbox"/> 容量変更 <input type="checkbox"/> 故障 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> その他	
	箱		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	板		<input type="checkbox"/> 2A <input type="checkbox"/> 3C <input type="checkbox"/> ミニシングル <input type="checkbox"/> シングル <input type="checkbox"/> ビッグシングル <input type="checkbox"/> トリプル	
			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	
撤去				
上記計測器返納いたします。				
取替：平成 年 月 日				
工事会社名				
返納計測器受領票 (D票)				
工事会社名				
お客さま名				
WHM	SB	TS	MGS	
計器番号				
上記計測器受領いたしました。				
平成 年 月 日				
受領者				
北海道電力ネットワーク株式会社				

変成器付計器取付取外指針票
(G票、H票)

計器70-4号											
変成器付計器取付取外指針票 (G票)											
お客さま名											
旧計器指針 変率×					新計器指針 変率×						
時間帯1	万	千	百	十	一	時間帯1	万	千	百	十	一
時間帯2	万	千	百	十	一	時間帯2	万	千	百	十	一
D M	万	千	百	十	一	D M	万	千	百	十	一
昼間有効	万	千	百	十	一	昼間有効	万	千	百	十	一
昼間無効	万	千	百	十	一	昼間無効	万	千	百	十	一
夜間DM	万	千	百	十	一	夜間DM	万	千	百	十	一
旧計器番号					新計器番号						
取付変成器		台番号		容量							
工事年月		年		月		日					
工事内容		新設・容量・契約変更・検定期間満了・故障・その他									
工事会社		社名									
計器添付用											
変成器付計器取付取外指針のお知らせ (H票)											
旧計器指針 変率×					新計器指針 変率×						
時間帯1	万	千	百	十	一	時間帯1	万	千	百	十	一
時間帯2	万	千	百	十	一	時間帯2	万	千	百	十	一
D M	万	千	百	十	一	D M	万	千	百	十	一
昼間有効	万	千	百	十	一	昼間有効	万	千	百	十	一
昼間無効	万	千	百	十	一	昼間無効	万	千	百	十	一
夜間DM	万	千	百	十	一	夜間DM	万	千	百	十	一
旧計器番号					新計器番号						
工事年月		年		月		日					
工事内容		新設・容量・契約変更・検定期間満了・故障・その他									
工事会社		社名									
北海道電力ネットワーク株式会社											

(3) 計測器工事設計票 (一般用) A票

計測器工事票(一般用)A票										所名 _____ No. _____						
供給地点特定番号					異動 コード		異動			備考						
					年	月	日									
住所				目録												
お客さま名																
取 付	計 器		項 目		変 成 器		タイムスイッチ		電 礎 接 触 器		項 目		S B			
	相 線(〃-〃) V(〃-〃)		電 気 方 式		相 線 V(電線数 相)		V		V		電 気 方 式		2 線・3 線			
	(CT容量)(3桁) A		容 量 合 番 号		(5桁)		(2桁) A		(3桁) A		容 量		(2桁) A			
	製 型(〃-〃)		製 造 者 名 型 式		製 型(〃-〃)		製(〃-〃)		製(〃-〃)		メ ー カ		製(〃-〃)			
	年 製		製 造 年		年 製		年		年		製 造 年		年			
	計器No		目 長		2次配線(3桁) m		年		年		年		年			
X		.桁4.5		乗 率・桁		年 月		年 月		年 月		年 月				
(外) 1.屋外 2.屋外柱 3.キニビクル内				取 付		(外) 1 2 3		タイムスイッチ取付区分 (通常) 1.共用(TSなし) 2.高圧開閉器あり								
(内) 6.屋内 7.集合板 8.受電室・屋外化 不要 函箱				位 置		(内) 6 7 8										
計器施設No		1・2		計器・計量区分		(通常) 01.1次側 計 02.2計量										
取 外	計 器		項 目		変 成 器		タイムスイッチ		電 礎 接 触 器		項 目		S B			
	相 線 V		電 気 方 式		相 線 V(電線数 相)		A		A		電 気 方 式		A			
	容 量 合 番 号		容 量 合 番 号		容 量 合 番 号		A		A		容 量		A			
	計器No		目 長		(撤去2次配線) m		許量区分(取外TS)		時~		時					
年 月		検 測 受 検		年 月												
指 示 数	取 付 (初針)				乗率		4 5		工 事 内 容 容 変・事 故・方 式 変 更 そ の 他 ()				工 事 年 月 日 作 業 者		発 行 者 作 業 者	
	取 外 (終針)				×		4 5									
(※処理済のチェック)																
計第30号様式																

(4) 計測器工事検収処理票

計測器工事検収処理票

長	長	担 当

1. 工 事 会 社 名
2. 電 話 連 絡 件 数
3. 工 事 票 N o .
4. 住 所 ・ お 客 さ ま 名
5. 検 収 員
6. 検 収 結 果

- (1) 1次検収 良 ・ 不良
- (2) 2次検収 良 ・ 不良
- (3) 改修指示

	内 容	改修期日
不良工事		

改 修 報 告 書

[北電]

長	長	担 当

[工事会社]

上記個所の改修を完了しましたので、お届けします。

1. 検 査 員
2. 改修年月日 年 月 日
3. 確認年月日 年 月 日

7. 計測器業務の年間予定

年 間 予 定	
月	項 目
4月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 一般損益予算（下部配付） ➤ 第4四半期決算処理[建仮（特定）]
5月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資材棚卸 ➤ 計測器工事設備計画策定（工事数量策定） ➤ 竣工確認（「竣工件名 未竣工データ一覧表」の出力・整理）【1回目】
7月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 検満工事計画策定（下期工事分） ➤ 期末予想[建仮（特定）、一般修繕、一般損益】【1回目】 ➤ 第1四半期決算処理[建仮（特定）]
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 計測器工事設備計画策定（予算策定） ➤ 竣工確認（「竣工件名 未竣工データ一覧表」の出力・整理）【2回目】
10月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 短期収支計画策定[修繕、除却、一般損益] ➤ 第2四半期決算処理[建仮（特定）] ➤ 期末予想[建仮（特定）、一般修繕、一般損益】【2回目】
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 竣工確認（「竣工件名 未竣工データ一覧表」の出力・整理）【3回目】
1月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 年度予算計画策定[修繕、除却、一般損益] ➤ 検満工事計画策定（翌上期工事分） ➤ 期末予想[建仮（特定）、一般修繕、一般損益】【3回目】 ➤ 第3四半期決算処理[建仮（特定）]
2月	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 建仮（特定）工事予算決定通知 ➤ 一般修繕予算決定通知 ➤ 一般損益予算決定通知 ➤ 竣工確認（「竣工件名 未竣工データ一覧表」の出力・整理）【4回目】 ➤ 計測器業務委託の付託

8. 計測器事故処理関係資料

(1) 高低圧事故計測器調査原票

原票番号 (システム自動付番、各事業所ごとの一連番号)
北海電工管理番号

発行箇所				北海電工
保守管理者		主任	担当	調査

※回覧印は日付印を押印すること
発行： XXXX年XX月XX日

高低圧事故計測器調査原票

1. 現地・設備・事故発生状況（発生事業所記入）

事業所コード					計器区分				
発生場所（住所）									
需要者名									
相線電圧	相線		電圧		容量		製造年		年製
供給地点特定番号					製造者				
契約電流/容量/電力					計器No/製造番号		型式CD		
事象発生年月日					検満年月				
雷発生有無					協定有無				
供給支障事故有無					自動検針有無				
VCT事故時のリレ動作					「SM不具合調査票」				
事故発生状況									
《事故発生時の状況に関する補足事項》									

2. 調査結果（北海電工記入）

受付年月日					調査完了年月日				
調査内容	<input type="checkbox"/> 事故	<input type="checkbox"/> 器差			別紙報告書有無	<input type="checkbox"/> 有 (No)			
	<input type="checkbox"/> 管理代行	<input type="checkbox"/> 調査不要				<input type="checkbox"/> 無			
事故箇所	<input type="checkbox"/> 1. 外観・全体 <input type="checkbox"/> 2. 端子部 <input type="checkbox"/> 3. 表示異常・消灯 <input type="checkbox"/> 4. 内部部品機構 <input type="checkbox"/> 5. 開閉機能 <input type="checkbox"/> 6. 電子回路 <input type="checkbox"/> 7. 通信機能 <input type="checkbox"/> 8. 時計機能 <input type="checkbox"/> 9. メモリ・データ <input type="checkbox"/> 10. 異常なし <input type="checkbox"/> 11. その他 ()				《調査内容の補足事項》 <input type="checkbox"/> システム入力あり				
事故原因	<input type="checkbox"/> 1. 風雨・雪害・浸水 <input type="checkbox"/> 2. 雷害 <input type="checkbox"/> 3. 火災 <input type="checkbox"/> 4. 汚損・劣化 <input type="checkbox"/> 5. 過負荷・異常電圧 <input type="checkbox"/> 6. 製造・修理不良 <input type="checkbox"/> 7. 施工不良 <input type="checkbox"/> 8. 落下・衝撃 <input type="checkbox"/> 9. 部品故障 <input type="checkbox"/> 10. 部品不良 <input type="checkbox"/> 11. 再現せず <input type="checkbox"/> 12. その他 ()								
型名	製造番号※			製造年※		検満年月※			
型式CD※	需要者名※			修理年月		修理番号			
※は発行内容と異なる場合に記入									

記載例

原票番号 1123112020015 <small>(システム自動付番、各事業所ごとの一連番号)</small>	発行箇所 北海道
システム自動付番 北海道管理番号	発行日 2021年1月21日

※同票印は日付印を捺印すること

事故調査原票システム
作成時の入力範囲

高低圧事故計測器調査原票

1. 現地・設備・事故発生状況 (発生事業所記入)

事業所コード	3100000	札幌	計器区分	SM
発生場所 (住所)	札幌市中央区大通東3丁目2-1 ○○マンション201			
需要者名	○○ 太郎			
相線電圧	相線	1P2W	電圧	100V
供給地特定番号	010-1232006301-00899-21-00	製造者	三菱	
契約電流/容量/電力	30	A	計器No./製造番号	M171381878
型式CD	ATA			
事故発生年月日	2021年1月19日	換流年月	2027年10月	
雷発生有無	雷発生 無	協定有無	協定 有	
供給支障事故有無	供給支障事故 有	自動検針有無	自動検針 有	
VCT事故時の形-動作	DGR	「SM不具合調査票」	添付 無	

事故発生状況
9. 表示不良

《事故発生時の状況に関する補足事項》
ブラックアウト
3相CT製造番号: 754134

単3や三相のCT2個組の場合、
2個目の製造番号は、補足事項へ入力すること

2. 調査結果 (北海道工記入)

受付年月日	調査完了年月日		
調査内容 <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> 管理代行	別紙報告書有無 <input type="checkbox"/> 有 (No) <input type="checkbox"/> 無		
事故箇所 <input type="checkbox"/> 1. 内部・全体 <input type="checkbox"/> 2. 端子部 <input type="checkbox"/> 3. 表示異常・消灯 <input type="checkbox"/> 4. 内部部品故障 <input type="checkbox"/> 5. 制御回路 <input type="checkbox"/> 6. 電子回路 <input type="checkbox"/> 7. 通信機能 <input type="checkbox"/> 8. 検針機能 <input type="checkbox"/> 9. A・Vリ・テーク <input type="checkbox"/> 10. 異常なし <input type="checkbox"/> 11. その他 ()	《調査内容の補足事項》 <input type="checkbox"/> システム入力あり		
事故原因 <input type="checkbox"/> 1. 風雨・雷害・洪水 <input type="checkbox"/> 2. 雷害 <input type="checkbox"/> 3. 火災 <input type="checkbox"/> 4. 汚損・劣化 <input type="checkbox"/> 5. 過電圧・異常電圧 <input type="checkbox"/> 6. 製造・修理不良 <input type="checkbox"/> 7. 雷害 <input type="checkbox"/> 8. 雷下・電撃 <input type="checkbox"/> 9. 絶縁故障 <input type="checkbox"/> 10. 部品不良 <input type="checkbox"/> 11. 異常発熱 <input type="checkbox"/> 12. その他 ()			
型式CD※	製造番号※	製造年※	換流年月※
需要者名※	修理年月	修理番号	

※は発行内容と異なる場合に記入

事故調査原票 - VFS602000 - Internet Explorer

SMネットワーク保守支援システム - 事故調査原票

原票番号: XXXXXXXXXX999 発行年月日: 2021/01/21

現地・設備・事故発生状況 (発生事業所入力)

事業所名	3100000	計器区分	SM
発生場所 (住所)	札幌市中央区大通東3丁目2-1 ○○マンション201		
発生場所 (建物)	○○マンション201		
需要者名	○○ 太郎		
供給地特定番号	010-1232006301-00899-21-00		
相線電圧	1P2W	100V	容量
製造者/製造年	三菱	2017	
契約電流/容量/電力	30	A	計器No./製造番号/型式CD
型式CD	ATA		
事故発生年月日	2021/01/19	換流年月	2027/10
雷発生有無	無し	協定有無	有り
供給支障事故有無	有り	自動検針有無	有り
VCT事故時の形-動作	DGR	事故発生状況	9表示不良

ブラックアウト
3相CT製造番号: 754134

単3や三相のCT2個組の場合、
2個目の製造番号は、補足事項へ入力すること

更新日時: 2019/12/31 12:59

SM不具合調査票

調査原票出力 | 調査原票CSV出力 | 保守情報 | 保守結果 | 確定 | 更新

(2) スマートメーター (SM) 不具合調査票

- 以下の事故・不具合の場合は発行不要とする。
- (1) 器差試験（お客さま対応上で必要な場合）。
 - (2) 原因が明らかに判明している場合。
 - ① 破損、焼損、浸水、腐食によるもの。
 - ② 雷害（外観が破損しているものに限る）。
 - ③ 施工不良（過電圧印加、ネジ損傷等）。

発行箇所				
保守管理者	主任			担当

※回覧印は日付印を押印すること
発行： xxxx年xx月xx日

スマートメーター (SM) 不具合調査票

1. 現地・設備情報

発生事業所名		引込柱番号	
発生場所（住所）			
事象発生日時		不具合SM取付日	
製造年/検満年月	年製 /	計量部形名/型式CD	形 /
通信ID		計器No/容量	/ A
計量部製造者			
通信端末製造者			
【不具合種別】			
<input type="checkbox"/> 表示不良 <input type="checkbox"/> 表示消灯 <input type="checkbox"/> 計量不審 <input type="checkbox"/> 時刻ズレ <input type="checkbox"/> 開閉器異常 <input type="checkbox"/> 不通電 <input type="checkbox"/> 通信端末異常 （ <input type="checkbox"/> 通信不良 、 <input type="checkbox"/> LED遷移異常 ） <input type="checkbox"/> その他 （ ブラックアウト ）			

2. 不具合の内容

3. 現地写真

4. 確認事項（不具合発生時の状況を記入）

項目		確認事項	備考欄	
S M 本 体	取付環境	①建屋種別 <input type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅		
		②設置場所		屋外壁 <input type="checkbox"/> 当社BOX <input type="checkbox"/> 私製BOX <small>・BOXの材質、窓の有無等、 詳細を備考欄に記載</small>
				屋内壁 <input type="checkbox"/> 当社BOX <input type="checkbox"/> 私製BOX <small>・BOXの材質、窓の有無等、 詳細を備考欄に記載</small>
		③取付高さ（地上※から m/階） <small>※集合住宅の場合、 階数を記載</small>		
計 量 部	計量部の状態	①異音の有無 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ②発熱の有無 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	液晶表示の 状態	①計量値の表示状態 <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅※ <input type="checkbox"/> 消灯 (※点滅周期： <input type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 不定 <input type="checkbox"/> その他)		
		②計量値の動作有無 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	③動作表示	順動作： <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 消灯 逆動作： <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 消灯		
端 子 部	電圧確認	①1S-2S (V) ④1L-2L (V) ②2S-3S (V) ⑤2L-3L (V) ③1S-3S (V) ⑥1L-3L (V)		
		電流確認		① 1 S (A) ② 2 S (A) ③ 3 S (A)
				ねじの締付 状態
	通信線			
		動作LEDの 最終点灯状態		
	電波LEDの 最終点灯状態 ※1：Nのみ			

5. 添付資料

SMイベントデータログ 30分指示数

その他 ()

【留意事項】

SM不具合の原因調査に当たり、不具合発生時の状況を維持する必要があるため、以下のことに留意願います。

- ・不具合が発生した現地の状況（作業手順、SM計量部の液晶表示や通信端末のLED等）について可能な限り詳しく記載願います。
- ・製造メーカーでの原因調査に当たり、不具合品の状態を維持する必要があるため、極力電圧の印加や端子ねじ等を緩めることはしないこと。

記載例

以下の事故・不具合の場合は発行不要とする。
 (1) 發差試験 (お客さま対応上で必要な場合)。
 (2) 原因が明らかに判明している場合。
 (3) 破損、焼損、浸水、腐食によるもの。
 (4) 雷害 (外観が破損しているものに限る)。
 (5) 施工不良 (過電圧印加、ネジ損傷等)。

発行箇所		
保守担当者	主任	担当

※ 発行印は日付印を捺印すること
 発行: 2021年1月21日

スマートメーター (S M) 不具合調査票

1. 現地・設備情報

発生事業所名	札幌支店	引込柱番号	414236-982172
発生場所 (住所)	札幌市中央区大通東3丁目2-1 O Oマンション201		
事業発生日時	2021年1月19日 07:00	不具合発生日時	2020年1月1日
製造年/検出年月	2017 年製 / 2021年10月	計量器形名/型式CD	ZK1-TCLr 形 / A1A
通信ID	M1202013605294	計器No/容量	M171381878 / 30 A
計量器製造者	三菱		
通信端末製造者	三菱電機		

【不具合種別】

表示不良 表示消灯 計量不審 時刻ズレ 閉閉器異常 不通電
 通信端末異常 (通信不良、 LED遷移異常)
 その他 (ブラックアウト)

2. 不具合の内容

【6月25日】
 ・定期検針時に液晶表示が「消灯」しているとの連絡あり。
 ・直営にて現地調査実施。液晶表示「消灯」確認後、端子カバーを開け、通信端末のLEDも「消灯」していることを確認。
 ・各相の電圧、電流に異常が無い事からSMの不具合と判断し、取替えを実施。
 ・取替後、新規SMの正常動作を確認。

【その他】
 ・前回定期検針から当該事象発見までに雷害などの事象なし (LLsMapで確認済み)

調査票システム作成時の入力範囲

スマートメーター不具合調査票

引込柱番号: 414236982172
 事故発生日時: 2021/01/19 07:00
 不具合発生日時: 2020/1/1
 計量器形名: ZK1-TCLr 型式CD: A1A
 通信ID: M1202013605294

不具合種別:
 表示不良 表示消灯 計量不審 時刻ズレ 閉閉器異常
 不通電 通信端末異常 (通信不良 LED遷移異常)
 その他 (ブラックアウト)

不具合の内容:
 【6月25日】
 ・定期検針時に液晶表示が「消灯」しているとの連絡あり。
 ・直営にて現地調査実施。液晶表示「消灯」確認後、端子カバーを開け、通信端末のLEDも「消灯」していることを確認。
 ・各相の電圧、電流に異常が無い事からSMの不具合と判断し、取替えを実施。
 ・取替後、新規SMの正常動作を確認。

【その他】
 ・前回定期検針から当該事象発見までに雷害などの事象なし (LLsMapで確認済み)



4. 確認事項 (不具合発生時の状況を記入)

項目	確認事項	備考欄
S M 本体	1 建築種別 <input type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅	鉄製BOX、否あり
	2 設置場所	屋外壁 <input type="checkbox"/> 当社BOX <input type="checkbox"/> 私製BOX (BOXの種類、窓の有無等、詳細を備考欄に記述) 屋内壁 <input type="checkbox"/> 当社BOX <input type="checkbox"/> 私製BOX (BOXの種類、窓の有無等、詳細を備考欄に記述) シェッド内 <input type="checkbox"/> 私製BOX (BOXの種類、窓の有無等、詳細を備考欄に記述)
	3 取付高さ (地上※から 1.8 m/階)	※ 異常発生時の場合、階数を必ず記載
計量部	1 異常の有無 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
	2 発熱の有無 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
	1 計量値の表示状態 <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 消灯 (※点滅周期: <input type="checkbox"/> 一定 <input type="checkbox"/> 不定 <input type="checkbox"/> その他)	
端子部	1 電圧確認	① 1S-2S (105 V) ④ 1L-2L (104 V) ② 2S-3S (V) ⑤ 2L-3L (V) ③ 1S-3S (V) ⑥ 1L-3L (V)
	2 電流確認	① 1 S (12 A) ② 2 S (12 A) ③ 3 S (A)
	ねじの締付状態	1 計量器取付ねじ <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 2 計量器電源ケーブル取付ねじ <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 3 断接用端子取付ねじ <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 4 端子ねじ <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良
通信端末	1 通信線	① コネクタの接続状態 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 ② PLC番号線の接続状態 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良
	動作LEDの最終点灯状態	① 点灯状態 <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 消灯 ② 点灯色 <input checked="" type="checkbox"/> 赤色 <input type="checkbox"/> 緑色
	電源LEDの最終点灯状態 ※ 1: Nのみ	① 点灯状態 <input checked="" type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 消灯 ② 点灯色 <input type="checkbox"/> 赤色 <input type="checkbox"/> 緑色

調査票システム作成時の入力範囲

確認事項 - S M 本体

建築種別: 戸建住宅
 設置場所: 屋外壁-私製BOX
 取付高さ: 地上から1.8 m/階
 SM本体種別: 鉄製BOX、否あり

確認事項 - 計量部

計量部 - 異常の有無: なし
 計量部 - 発熱の有無: なし
 添付 - 計量値表示: 消灯
 添付 - 動作表示 (電): 消灯
 添付 - 動作表示 (磁): 消灯

確認事項 - 端子部

電圧 (1S-2S): 105 V 電圧 (1L-2L): 104 V
 電圧 (2S-3S): V 電圧 (2L-3L): V
 電圧 (1S-3S): V 電圧 (1L-3L): V
 電流 (1S): 12 A
 電流 (2S): 12 A
 電流 (3S): A

計量器取付ねじ 締付状態: 良好 計量器電源ケーブル取付ねじ 締付状態: 良好
 断接用端子取付ねじ 締付状態: 良好 端子ねじ 締付状態: 良好

確認事項 - 通信端末

コネクタの接続状態: 良好 PLC番号線の接続状態:
 動作LED最終点灯状態 点灯状態: 点滅 点灯色: 赤色
 電源LED最終点灯状態 点灯状態: 点灯 点灯色: ※1Nのみ

添付ファイル

添付ファイル種類: SMイベントデータログ 30分指示数 その他 (LLsMapデータ)

添付資料が電子データの場合は、システムへアップロードする

写真データをアップロードする

5. 添付資料

SMイベントデータログ 30分指示数
 その他 (LLsMapデータ)

【留意事項】
 SM不具合の原因調査に当たり、
 ・不具合が発生した現地の状況 (作業手順、SM計量部の液晶表示や通信端末のLED等) について可能な限り詳しく記載願います。
 ・製造メーカーでの原因調査にあたり、不具合品の状態を維持する必要があるため、極力電圧の印加や端子ねじ等を緩めることはしないこと。

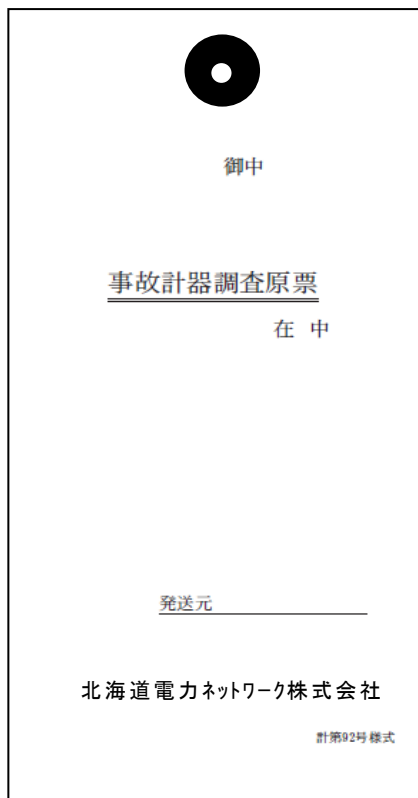
添付資料が電子データの場合は、システムへアップロードする

紙の場合は、SM倉庫に添付する

(3) 計第92号様式

「計第92号様式」は封筒になっており、「高低圧事故計測器調査原票」を折りたたんで入れ、事故計器とともに本店倉庫の委託会社へ送付する。

「スマートメーター（SM）不具合調査票」を作成した場合は、必ず同封すること。



御中

事故計器調査原票
在中

発送元 _____

北海道電力ネットワーク株式会社

計第92号様式

9. パルス提供関係資料

パルス検出器（分離器、変換器、増幅器）一覧表

サービスパルス(50,000pulse)対応パルス変換器

	接続図	一次入力		出力方式	二次入力	
		パルス形態	パルス定数		パルス形態	パルス定数
東芝 KE9A		DCパルス	2000pulse	変換出力 1:1出力	半導体リレー無電圧接点	任意設定pulse
		DCパルス	50000pulse	変換出力 1:1出力		任意設定pulse 50000pulse
東芝 KE8A	<p>※KE8Aの単独使用不可。KE8A(パルス検出器)にセットとする。</p>	DCパルス	2000pulse		半導体リレー無電圧接点	
		DCパルス	50000pulse	変換出力		任意設定pulse
東芝 KE6A		DCパルス	2000pulse	2000pulse分配	水銀リレー無電圧接点	2000pulse
		DCパルス	50000pulse	2000pulse分配 50000pulse分配	水銀リレー無電圧接点 オープンコレクタ	任意設定pulse 50000pulse
三菱 PC11A		DCパルス	2000pulse	変換出力	半導体リレー無電圧接点	任意設定pulse
		DCパルス	50000pulse	変換出力 1:1出力	半導体リレー無電圧接点 オープンコレクタ	任意設定pulse 50000pulse
大崎 OCK-2 OCK-2K		DCパルス	2000pulse	1:1出力 2000pulse分配	オープンコレクタ 水銀リレー無電圧接点	2000pulse 2000pulse
		DCパルス	50000pulse	1:1出力 2000pulse分配	オープンコレクタ 水銀リレー無電圧接点	50000pulse 2000pulse
大崎 OCK-4A		DCパルス	2000pulse	2000pulse分配 1:1出力 変換出力	オープンコレクタ 水銀リレー無電圧接点	2000pulse 2000pulse 任意設定pulse(50000pulse未対応)
		DCパルス	50000pulse	2000pulse分配 50000pulse分配 変換出力	オープンコレクタ 水銀リレー無電圧接点	2000pulse 50000pulse 任意設定pulse
富士 PD3		DCパルス	2000pulse	変換出力	フォトモスリレー無電圧接点	任意設定pulse
		DCパルス	50000pulse	変換出力		任意設定pulse
富士 FX3A						任意設定pulse
		DCパルス	50000pulse	1:1出力 2000pulse分配	オープンコレクタ 水銀リレー無電圧接点	50000pulse 2000pulse

10. 電力取引用計量器の取替完了のお知らせ

電力取引用計量器の取替完了のお知らせ

様

日頃より電気事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、お客さま宅に設置されております電力取引用計量器（電気メーター）の
工事を実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

計 量 器 1								計 量 器 2								
新 (取付) 計器	指示数	万	千	百	十	一	乗 率	新 (取付) 計器	指示数	万	千	百	十	一	乗 率	
	順潮流※ ¹ 1						(倍)		順潮流※ ¹ 1						(倍)	
	順潮流※ ¹ 2						時間帯		順潮流※ ¹ 2						時間帯	
	順潮流※ ¹ 3						別計器		順潮流※ ¹ 3						別計器	
	逆潮流※ ²						スマート メーター		逆潮流※ ²						スマート メーター	
	計器番号	(下3桁)							計器番号	(下3桁)						
旧 (取外) 計器	指示数	万	千	百	十	一	乗 率	旧 (取外) 計器	指示数	万	千	百	十	一	乗 率	
	順潮流※ ¹ 1						(倍)		順潮流※ ¹ 1						(倍)	
	順潮流※ ¹ 2						時間帯		順潮流※ ¹ 2						時間帯	
	順潮流※ ¹ 3						別計器		順潮流※ ¹ 3						別計器	
	逆潮流※ ²						スマート メーター		逆潮流※ ²						スマート メーター	
	計器番号	(下3桁)							計器番号	(下3桁)						
工 事 理 由	<input type="checkbox"/> 計量器の新設に伴う工事				<input type="checkbox"/> 計量器の検定期間満了に伴う取替工事				<input type="checkbox"/> 契約変更に伴う計量器の取替工事				<input type="checkbox"/> 計量器の故障に伴う取替工事			
	<input type="checkbox"/> その他 ()															
工 事 年 月 日	年 月 日															
本 票 記 載 者																

※1 順潮流：お客さまが使用される電力の流れ

※2 逆潮流：太陽光などの再生可能エネルギー発電設備からの電力の流れ
(発電設備をお持ちでないお客さまにも表示されます)

北海道電力ネットワーク株式会社

1 1. ほくでんネットワークから電気メーター取替のお知らせ

(1) 当社にて検満工事を実施する場合

お客さまへのご案内



ほくでんネットワークから電気メーター取替のお知らせ

電気メーターは「計量法」に定められた有効期限がございます。今回、お客さまの電気メーターが取替の時期となりました。お客さま敷地内への立ち入り等ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

取替工事のご案内

1. 取替予定日 月 日 ~ 月 日 午前・午後

※悪天候の場合は順延させていただく場合がございます。

2. 取替作業の停電

停電させていただきます

停電はいたしません

※万一お伺い時に停電が必要となった場合は取替前にご相談いたします。

3. 施工会社 **〇〇電気(株)**

電話：011-333-1234

工事に関するお問い合わせは、施工会社または弊社までご連絡をお願いします。(平日 9時~17時)

北海道電力ネットワーク株式会社〇〇ネットワークセンター

電話：011-333-5678 (平日 9時~17時)

4. ご留意事項

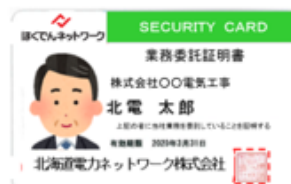
① 取替工事の際し、**費用はかかりません。**(印鑑・サイン等も不要です)

(北海道電力ネットワークの社員などを装った詐欺・窃盗、悪質な勧誘にご注意ください)

② 電気メーターの取替の際し、お客さま敷地内に立ち入らせていただく場合がございますのでご了承いただきますようお願いいたします。なお**室内に入らせていただくことはございません。**

③ **ご不在の場合でも取替作業をさせていただきます場合がございます。**ご都合が悪い場合は、上記施工会社までご連絡をお願いします。

④ 施工会社は**弊社で発行した写真付きの身分証明書を携帯しております。**



北海道電力ネットワーク株式会社〇〇ネットワークセンター 配電グループ 計器担当

電話：011-333-5678

(2) 低圧検満業務を委託している場合

お客さまへのご案内



ほくでんネットワークから電気メーター取替のお知らせ

電気メーターは「計量法」に定められた有効期限がございます。今回、お客さまの電気メーターが取替の時期となりました。お客さま敷地内への立ち入り等ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ほくでんネットワークは電気メーターの取替工事を〇〇電気（株）に委託しております。

取替工事のご案内

1. 取替予定日 月 日～ 月 日 午前・午後

※悪天候の場合は順延させていただく場合がございます。

2. 取替作業の停電

停電させていただきます

停電はいたしません

※万一お伺い時に停電が必要となった場合は取替前にご相談いたします。

3. 施工会社 〇〇電気（株）

電話：011-333-1234

工事に関するお問い合わせは、施工会社または北海電気工事（株）までご連絡をお願いします。（平日 9時～17時）

北海電気工事株式会社〇〇支店

電話：011-333-5678（平日 9時～17時）

4. ご留意事項

- 取替工事の際し、**費用はかかりません。**（印鑑・サイン等も不要です）
（北海道電力ネットワークの社員などを装った詐欺・窃盗、悪質な勧誘にご注意ください）
- 電気メーターの取替に際し、お客さま敷地内に立ち入らせていただく場合がございますのでご了承いただきますようお願いいたします。なお**容内に入らせていただくことはございません。**
- ご不在の場合でも取替作業をさせていただく場合がございます。**ご都合が悪い場合は、上記施工会社までご連絡をお願いします。
- 施工会社は**弊社で発行した写真付きの身分証明書を携帯しております。**



北海道電力ネットワーク株式会社〇〇支店 配電グループ 計器担当

電話：011-251-7777

12. 停電作業による電気メーター取替時のお願い

お客さまへのご案内



停電作業による電気メーター 取替時のお願い

日頃より、弊社電気事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度は、電気メーター（電力量計）の取替工事において、停電による作業についてご協力いただきありがとうございます。停電による取替工事の際し、お客さまの家電設備で注意が必要な場合がございますため、ご一読のうえご対応宜しくお願い致します。

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●作業中のデータが失われる場合があります。

パソコン等のご使用にあたってはあらかじめ外部記憶媒体（ハードディスク、USBメモリ、DVD、CDなど）へのバックアップをお勧めします。

（例）パソコン・レコーダーなど

●タイマーが解除される場合があります。

電気メーターの取替後、家電製品等のタイマーが解除されている場合は再設定をお願いします。

（例）テレビおよび録画予約／電子式の時計／エアコン／炊飯器／電気温水器など

●OFF状態のままの場合があります。

エアコンやテレビなど本体にスイッチがついている電気機器は、そのスイッチで電源を切ってください。取替完了後、ご使用の際はスイッチにて電源を入れてください。

（例）電気毛布／電気カーペット／給湯器／ファンヒーター／パソコンなど

●ホームセキュリティなど通知される場合があります。

ホームセキュリティなど、停電の際に他の場所において異常通知されるものにたいしては、お客さまにて事前にご連絡をいただくようお願いいたします。

●停電復帰時に自動点灯する場合があります。

照明器具の機種により、停電から復電すると自動点灯することがございますのでご注意ください。（壁のスイッチがある場合は、そのスイッチで切っておいてください）

【施工会社】

〇〇電気(株)

電話：011-333-1234

（営業時間 月曜日～金曜日 9時から17時）

北海道電力ネットワーク株式会社〇〇支店 配電グループ 計器担当

電話：011-251-7777（直通）

（営業時間 月曜日～金曜日 9時から17時）

13. ほくでんネットワークから電気メーターの取替完了のお知らせ

お客さまへのご案内



ほくでんネットワークから電気メーター 取替完了のお知らせ

日頃より電気事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、お客さま宅に設置されております電気メーターの工事を実施いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

取替完了のご案内

1. 取替完了日 ___月___日 午前・午後

2. 工事について

- ① 電気メーターの検定期間満了に伴う取替工事です。
- ② 当社から取替費用の請求はありません。(当社資産のため)

3. お客さまへのお願い

落雪等による電気メーターの傾斜などを発見された場合は、お手数でもお近くの北海道電力ネットワーク各事業所までご連絡をお願いいたします。

北海道電力ネットワーク株式会社〇〇支店 配電グループ
電話：011-251-7777

1 4. 検満計測器工事票 受渡票

(1) 委託会社（道央統括支店直轄区域内を除く）用

検満計測器工事票 受渡票[正]					発行箇所					
委託会社(道央統括支店直轄区域内を除く)用					発行日					
【注意事項】 本書は、 工事設計書受渡し単位 に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を委託先が1年間保存すること。					担当者					
					連絡先					
受渡し時(配電担当箇所↓委託先)	②			⑤						
	設計No.	帳票種別	受渡枚数	返付確認(返付日・返付者)	返付枚数					
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
		II.								
		I.		----						
	II.									
※工事票合計枚数を記入する。										
受渡方法		立 会 い の み								
③	当社 回付確認				④	道央統括支店直轄区域内以外の委託会社 回付確認				
	上長			担当		上長			担当	
【備考】										

検満計測器工事票 受渡票[副]
委託会社(道央統括支店直轄区域内を除く)用

①	発行箇所	
	発行日	
	担当者	
	連絡先	

【注意事項】
本書は、**工事設計書受渡し単位**に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を委託先が1年間保存すること。

受渡し時(配電担当箇所↓委託先)

②			⑤	
設計No.	帳票種別	受渡枚数	返付確認(返付日・返付者)	返付枚数
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			
	I.			
	II.			

※工事票合計枚数を記入する。

受渡方法	立会いのみ
------	-------

③	当社 回付確認			
	上長			担当

④	道央統括支店直轄区域内以外の委託会社 回付確認			
	上長			担当

⑥	当社 受領確認

【備考】

(2) 委託会社（道央統括支店直轄区域内）用

検測計測器工事票 受渡票[正] 委託会社(道央統括支店直轄区域内)用			①											
			発行箇所											
			発行日											
			担当者											
			連絡先											
【注意事項】本書は、 工事設計書受渡し単位 に〔正〕・〔副〕を作成し、受渡票〔正〕は配電担当、受渡票〔副〕（写しを含む）は料金担当（委託先含む）および検測業務委託先が1年間保存すること。														
②			⑨											
設計No.	帳票種別	受渡枚数	受渡履歴											
			一括		分割1		分割2		分割3		分割4		分割5	
			受渡数 (不要分)	料金 引受日	受渡数 (不要分)	料金 引受日	受渡数 (不要分)	料金 引受日	受渡数 (不要分)	料金 引受日	受渡数 (不要分)	料金 引受日	受渡数 (不要分)	料金 引受日
			受渡数 (不要分)	配電 受領日	受渡数 (不要分)	配電 受領日	受渡数 (不要分)	配電 受領日	受渡数 (不要分)	配電 受領日	受渡数 (不要分)	配電 受領日	受渡数 (不要分)	配電 受領日
	I.		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	II.		()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当
	I.		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	II.		()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当
	I.		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	II.		()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当
	I.		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	II.		()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当
	I.		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	II.		()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当	()	配電 担当

※工事票合計枚数を記入する。

③	方法	受渡内容・方法確認	
	④	立会	送付
		配電 上長	配電 担当
【立会の場合】			
	⑤	受渡確認(立会)	
		配電 担当	北海 上長
			北海 担当
【送付の場合】			
	⑥	受渡確認(送付)	
		引渡発送	
		配電 担当	
	⑦	発送連絡	
		北海 担当	連絡日
	⑧	引受連絡	
		北海 担当	連絡日
	⑩	全数返付	
		配電 上長	配電 担当

検満計測器工事票 受渡票[副] (/)

委託会社(道央統括支店直轄区域内)用

【注意事項】本書は、工事設計書受渡し単位に[正]・[副]を作成し、受渡票[正]は配電担当、受渡票[副](写しを含む)は料金担当(委託先含む)および検満業務委託先が1年間保存すること。

⑨ 料金担当送付

①	発行箇所	
	発行日	
	担当者	
	連絡先	

設計No.	帳票種別	受渡枚数	⑩ 受渡履歴						⑪ 合計	⑫ 受渡方法・場所			
			一括	分割						受渡方法	発行回	ブロック	⑭ 受渡区分
				分割1	分割2	分割3	分割4	分割5					
			上段: 受渡数							下段: (工事不要枚数[再掲])			
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	
	I.		()	()	()	()	()	()	立会			全数	
	II.		()	()	()	()	()	()	送付			分割	

※工事票合計枚数を記入する。

③	方法	受渡内容・方法確認	
	立会 送付	④ 配電 上長	配電 担当

【立会の場合】

⑤	受渡確認(立会)		
	配電 担当	北海 上長	北海 担当

【送付の場合】

⑥	受渡確認(送付)	
	引渡発送	
配電 担当		

⑦	引受確認	
	北海 上長	北海 担当

⑧	引受連絡	
	配電 担当	連絡日

【立会の場合】

⑮	受渡確認(立会)	
料金 担当	北海 担当	

【送付の場合】

⑯	⑰	⑱
引渡発送	発送連絡	引受連絡
北海 担当	料金 担当 連絡日	料金 北海 担当 連絡日

⑲	全数引渡完了(北海→料金)	
	北海 上長	北海 担当

⑳	返付(料金→配電)	
	料金 担当	配電 担当

(3) 施工会社用

検満計測器工事票 受渡票[正] 施工会社用					発行箇所				
【注意事項】 本書は、 工事設計書単位 に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を施工会社が1年間保存すること。					①	発行日			
						担当者			
						連絡先			
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	設計No.	帳票種別	受渡枚数	【立会いの場合】 施工会社 受領確認 会社名 _____ 受領日 _____ 受領者 _____					
	I. _____ II. _____ ※工事票合計枚数を記入する。								
	受渡方法	立 会 い ・ 送 付		【送付の場合】 ⑥ 送付確認 送付日 _____ 送付者 _____ ⑦ 送付連絡確認 連絡日 _____ 先方対応者 _____ ⑧ 受領連絡確認 連絡日 _____ 先方対応者 _____					
	配電担当箇所 回付確認 上長 _____ 担当 _____								
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	受渡方法	返付枚数	⑨ 工事不要分枚数(再掲)	返付枚数	⑩ 工事不要分枚数(再掲)	⑩ 返付確認 (返付日・返付者)	⑪ 【送付の場合】 送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)	⑫ 受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)	
	帳票種別	I		II					
	一括返付	持参				----			
		送付							
	初回	持参					----		
		送付							
	中間1	持参					----		
		送付							
	中間2	持参					----		
		送付							
	中間3	持参					----		
		送付							
	中間4	持参					----		
送付									
中間5	持参					----			
	送付								
中間6	持参					----			
	送付								
中間7	持参					----			
	送付								
中間8	持参					----			
	送付								
最終	持参					----			
	送付								
返付枚数合計									
⑬ 配電担当箇所 完了確認 上長 _____ 担当 _____				【備考】					

検漏計測器工事票 受渡票[副]
 施工会社用

【注意事項】

本書は、**工事設計書単位**に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を施工会社が1年間保存すること。

①	発行箇所	
	発行日	
	担当者	
	連絡先	

回付時(配電担当箇所→施工会社)

②	設計No.	帳票種別	受渡枚数
		I. II.	

※工事票合計枚数を記入する。

③	受渡方法	立 会 い ・ 送 付
---	------	-------------

④	配電担当箇所 受渡確認		
	上長		担当

【立会の場合】

⑤	施工会社 受領確認		印
	会社名		
	受領日		
	受領者		

【送付の場合】

⑥	送付確認	送付日	
		送付者	
⑦	送付連絡確認	連絡日	----
		先方対応者	----
⑧	受領連絡確認	連絡日	
		先方対応者	

返付時(施工会社→配電担当箇所)

帳票種別	受渡方法	⑨				⑩ 返付確認 (返付日・返付者)	⑪ 【送付の場合】	
		返付枚数	工事不要分枚数(再掲)	返付枚数	工事不要分枚数(再掲)		送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)	受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)
		I		II				
一括返付	持参							
	送付				----			
初回	持参							
	送付							
中間1	持参							
	送付							
中間2	持参							
	送付							
中間3	持参							
	送付							
中間4	持参							
	送付							
中間5	持参							
	送付							
中間6	持参							
	送付							
中間7	持参							
	送付							
中間8	持参							
	送付							
最終	持参							
	送付							
返付枚数合計								

⑬	配電担当箇所 受領確認

【備考】

(4) 料金担当箇所用

<p>検満計測器工事票 受渡票[正] 料金担当箇所用</p>				<p>①</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>発行箇所</td><td></td></tr> <tr><td>発行日</td><td></td></tr> <tr><td>担当者</td><td></td></tr> <tr><td>連絡先</td><td></td></tr> </table>		発行箇所		発行日		担当者		連絡先																																				
発行箇所																																																
発行日																																																
担当者																																																
連絡先																																																
<p>【注意事項】 本書は、工事設計書単位に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を料金担当箇所が1年間保存すること。</p>																																																
② ③ ④ ⑤	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">設計No.</th> <th style="width:55%;">帳票種別</th> <th style="width:30%;">回付枚数</th> </tr> <tr> <td></td> <td>I.</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>II.</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※工事票合計枚数を記入する。</p>			設計No.	帳票種別	回付枚数		I.			II.		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>発行回</th> <th>ブロック①</th> <th>ブロック②</th> <th>ブロック③</th> <th>ブロック④</th> <th>ブロック⑤</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※発行回・ブロックは必要な場合のみ記入する。</p>			発行回	ブロック①	ブロック②	ブロック③	ブロック④	ブロック⑤																											
	設計No.	帳票種別	回付枚数																																													
		I.																																														
		II.																																														
発行回	ブロック①	ブロック②	ブロック③	ブロック④	ブロック⑤																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">③ 受渡方法</th> <td style="text-align: center;">持 参 ・ 送 付</td> </tr> </table>			③ 受渡方法	持 参 ・ 送 付	<p>【持参の場合】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">料金担当箇所 受領確認</th> </tr> <tr> <td style="width:10%;">⑤ 会社名</td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div> </td> </tr> <tr> <td>受領日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受領者</td> <td></td> </tr> </table>			料金担当箇所 受領確認			⑤ 会社名		<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>	受領日		受領者																																
③ 受渡方法	持 参 ・ 送 付																																															
料金担当箇所 受領確認																																																
⑤ 会社名		<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>																																														
受領日																																																
受領者																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">配電担当箇所 回付確認</th> </tr> <tr> <td style="width:15%;">④ 上長</td> <td></td> <td></td> <td style="width:15%;">担当</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			配電担当箇所 回付確認				④ 上長			担当					<p>【送付の場合】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width:5%;">⑥</td> <td rowspan="2" style="width:15%;">送付確認</td> <td style="width:15%;">送付日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送付者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦</td> <td rowspan="2">送付連絡確認</td> <td>連絡日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先方対応者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑧</td> <td rowspan="2">受領連絡確認</td> <td>連絡日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先方対応者</td> <td></td> </tr> </table>			⑥	送付確認	送付日		送付者		⑦	送付連絡確認	連絡日		先方対応者		⑧	受領連絡確認	連絡日		先方対応者														
配電担当箇所 回付確認																																																
④ 上長			担当																																													
⑥	送付確認	送付日																																														
		送付者																																														
⑦	送付連絡確認	連絡日																																														
		先方対応者																																														
⑧	受領連絡確認	連絡日																																														
		先方対応者																																														
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">受渡方法</th> <th colspan="2" style="width:55%;">⑨ 返付枚数</th> <th style="width:15%;">⑩ 返付確認 (返付日・返付者)</th> <th style="width:15%;">⑪</th> <th style="width:15%;">⑫</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="width:27.5%;">I</td> <td style="width:27.5%;">II</td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">【送付の場合】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="width:15%;">送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)</td> <td style="width:15%;">受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)</td> </tr> <tr> <td>一括返付</td> <td>持参</td> <td></td> <td style="text-align: center;">----</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>送付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		受渡方法	⑨ 返付枚数		⑩ 返付確認 (返付日・返付者)	⑪	⑫		I	II		【送付の場合】						送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)	受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)	一括返付	持参		----				送付					<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">配電担当箇所 完了確認</th> </tr> <tr> <td style="width:15%;">⑬ 上長</td> <td></td> <td></td> <td style="width:15%;">担当</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				配電担当箇所 完了確認				⑬ 上長			担当				
	受渡方法	⑨ 返付枚数		⑩ 返付確認 (返付日・返付者)	⑪	⑫																																										
		I	II		【送付の場合】																																											
					送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)	受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)																																										
一括返付	持参		----																																													
	送付																																															
配電担当箇所 完了確認																																																
⑬ 上長			担当																																													
<p>【備考】</p>																																																

検満計測器工事票 受渡票[副]
料金担当箇所用

【注意事項】

本書は、**工事設計書単位**に2部(正・副)作成し、受渡票[正]を配電担当箇所、受渡票[副]を料金担当箇所が1年間保存すること。

①	発行箇所	
	発行日	
	担当者	
	連絡先	

②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

設計No.	帳票種別	受渡枚数
	I.	
	II.	

※工事票合計枚数を記入する。

発行回	ブロック①	ブロック②	ブロック③	ブロック④	ブロック⑤

※発行回・ブロックは必要な場合のみ記入する。

③	受渡方法	持 参 ・ 送 付
---	------	-----------

⑤	料金担当箇所 受領確認		印
	会社名		
	受領日		
	受領者		

【送付の場合】

配電担当箇所 受渡確認			
上長			担当

⑥	送付確認	送付日	
		送付者	
⑦	送付連絡確認	連絡日	----
		先方対応者	----
⑧	受領連絡確認	連絡日	
		先方対応者	

⑨
⑩
⑪
⑫

帳票種別	受渡方法	⑨ 返付枚数		⑩ 返付確認 (返付日・返付者)	⑪ 送付の場合		⑫
		I	II		送付連絡確認 (連絡日・先方対応者)	受領連絡確認 (連絡日・先方対応者)	
一括返付	持参						
	送付						

⑬	配電担当箇所 受領確認
---	-------------

【備考】

15. 計測器返納連絡書

2023年3月18日

計測器返納連絡書

北海電気工事(株)計測器部計器G物流管理T 御中

下記日程にて、計測器類を返納致しますので、運送手配をお願い致します。

返納事業所		担当者	
事業所発送日		メールアドレス	
		トール	
		NTT	
		FAX	

【 検満 】 返納分荷姿内訳				【 一般 】 返納分荷姿内訳				【 合計 】			
ポリ容器		箱	kg	ポリ容器		箱	kg	ポリ容器		箱	kg
VCT		台	kg	VCT		台	kg	VCT		台	kg
ダンボール		箱	kg	ダンボール		箱	kg	ダンボール		箱	kg
その他 ()		箱	kg	その他 ()		-	kg	その他 ()		-	kg
計		個	kg	計		個	kg	計		個	kg

【 特記事項 】

北海電気工事(株)計測器部 計器G 物流管理T	
メールアドレス	haisou@hokkaidenki.co.jp
トール	80-7741
NTT	011-676-0019
FAX	011-676-0022

**※事業所発送日の 2営業日前までに
北海電気工事計測器部へ送付するようお願い致します。**

←入力可能セル

16. 未使用計測器（残材品等）関係書類

(1) 残材・移管（不良品）破損受渡書

【記入例】

端子ネジ（プレッシャーネジ
含）のネジ切れ・折れは損害
賠償対象外のため

残材・移管（不良品）破損受渡書		ほくでんNW		工事組合・委託 会社	
損害賠償対象（有・ 無 ）		上長	担当	上長	担当
事業所名：○○支店		印	印	印	印
消込 No.（設計 No.）：××××					
確認年月日	20xx 年 xx 月 xx 日		製造番号	12345678	
種別	計器	TS	VCT	その他：	
破損箇所	端子ネジ	プレッシャー ネジ	ガラスカバー 筐体	その他：	
破損時期	運搬中	施工中	不明	その他：	

判定結果（本店倉庫の委託 会社記入欄）	良品 ・ 要修理 ・ 廃品	品名 コード	
------------------------	---------------	-----------	--

(2) 電力量計類の破損について

【記入例】

電力量計類の破損について

北海道電力ネットワーク株式会社

●●支店 ●●G 宛

電力量計類の破損に関して、下記のとおり報告します。

なお、本件は、当方の行為により発生したことに相違ないため、後日、貴社から損害賠償の請求を受けた場合は、当方が全額支払います。

1. 発生日	××年××月××日（×曜日）
2. 発生場所	××市××区××条××丁目××-××
3. 破損品目	低圧電力量計 単三 100V 30A : 1台
4. 破損箇所	計器焼損
5. 破損状況	上記場所において電力量計施設の際、誤って結線し計器を焼損させたもの。
6. 特記事項	

××年××月××日

郵便番号：

住所：

会社名：

代表者役職名：

代表者名：

印

(本件事務手続の連絡先)

電話番号	() -	本件
FAX番号	() -	担当者名

(3) 損害賠償対応依頼票

【記入例】

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

損害賠償対応依頼票

資材担当箇所損害賠償担当GL 殿

〇〇統括支店配電部〇〇GL

下記の案件につきまして、損害賠償の対応方よろしくお願ひいたします。

No.	項 目	記 載	
1	不具合等の発生(発見)時期	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	
2	対象機器名 および仕様	品名 CD(7桁)	06XXXXXX
		品名仕様	低圧電力量計 単三 100V 30A
		台数	1台
		製造番号	XXXXXXXXXX ※可能な範囲で記載願ひます
3	不具合内容 (不具合発生時の状況)	別紙「電力量計類の破損について」のとおり報告を受けた。	
4	不具合の起因者の可能性のあるメーカーまたは施工会社	〇〇電設株式会社	
5	損害賠償の可能性があると判断した理由	施工会社から報告を受け、対象機器を確認したところ、報告どおり破損していたため。	
6	不具合の(推定)原因または原因の究明方法	別紙「電力量計類の破損について」のとおり。	
7	主管部の対応方針 (支払保留の依頼をする場合は、この欄に記載のこと)	※何かあれば記載する。	
8	基本契約の内容	a. 名 称:「取引用計測器工事に関する契約書」	
		b. 契 約 年 月 日:2019年3月29日	
		c. 発 注 者:北海道電力株式会社	
		d. 代 理 人:北海道電気工事業工業組合	
		e. 協 同 組 合:各地方電気工事業協同組合1から11	

No.	項 目	記 載
9	個別注文の内容 (計測器工事)	a. 工 事 設 計 No.: ××××××
		b. 注 文 年 月 日: ○○○年○○月○○日
		c. 保 証 期 間: ○年
		d. 契 約 金 額: ○○○, ○○○円
		e. 契 約 先 名: ○○電設株式会社
10	不具合への対策	破損品は、北海電気工事計測器部へ不良残材として倉入する。 (工事施工は、代替品を引当し実施する)
11	その他特記事項 (損害賠償担当に知らせておくべき情報)	※何かあれば記載する。
12	添付資料	別紙「電力量計類の破損について」
13	連絡先	○○統括支店配電部○○G:氏名○○(トール ○○-○○○○)

※本票の作成時に記入不可能な項目は、「後日報告」と記載し、記載内容が確定次第、別紙にて報告すること。

[資材担当箇所用欄]

コメント	資材担当箇所 担当グループ	

部長	G L	担当

17. 低圧検満業務委託計画表

〇〇年度 低圧検満業務委託計画表

〇〇支店

	単位	委託予定数量
検満計画・設計	台	
工程管理・検収	台	
現地検収	台	
合 計	台	

18. 誤差試験

お客さまの申し出のほか、必要に応じて誤差試験を実施する。誤差試験の実施方法は次のいずれかを基本とする。

(1) 現地にて誤差試験を行う場合

a. 試験方法

- (a) 試験はお客さまの了解を得たうえで、実負荷で行う。
- (b) 試験は回転標準電力量計を使用する。

b. 誤差計算

計器の回転数N（標準10回）の時の標準器の実回転数をTとすると、N回転に対する算定回転数を次式で表す。

$$M = N \cdot K / R$$

ただし、Rは計器定数（rev/kWh）、Kは標準器定数（rev/kWh）とする。

次に、計器の誤差S（%）は、次式で算出する。

$$S = 100 \cdot (M - T) / M + b$$

ただし、bは標準器の校正値（%）とする。

c. 規定値

上記（b）の計算方法を用いて算出した場合の使用公差は次のとおりとする。

種類	負荷電流（定格比）	使用公差（以下）
特別精密電力量計	1 / 10 以下	1.4 / 1,000
	1 / 10 超過 10 / 10 以下	9 / 1,000
精密電力量計	1 / 10 以下	2.5 / 1,000
	1 / 10 超過 10 / 10 以下	1.7 / 1,000
普通電力量計	10 / 10 以下	3.0 / 1,000
最大需要電力量計	10 / 10 以下	4.0 / 1,000
無効電力量計	10 / 10 以下	4.0 / 1,000

(2) 現地にて誤差試験を行わない場合

「Ⅶ. 計測器関連業務 1. 計測器事故処理業務」に則り、誤差試験を社外へ依頼し、実施する。

19. 変成器付計測器工事自主検査票兼現地検査処理票

(1) 低圧単相2線式用

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合（ただし、基本的な内容の変更および削除は不可）は、上長の確認を得ること。

低圧変成器付計器工事 自主検査票兼現地検査処理票（単相2線式用）

設計No		検満計測器工事票ページ	
------	--	-------------	--

【工事における自主検査】 工事前確認で誤りがあった場合は、
工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること

電圧確認（MCが設置している場合は、MCの電源側で測定）

TSがある場合、取外（既設）TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。

取外（既設）CTの向きは、K側が電源側である。

P1は、取外（既設）CTの電源側に接続されている。

合番号・二次配線（色の照合）の確認

- 計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

工事前確認

計器のみ取替照合（工事前）	取外（既設） 計器	合番号	端子記号	1 S	P 1	P 2	1 L
			確認				
⇕							
組替照合（工事後）	取外（既設） CT 1	合番号	端子記号	1 S	P 1		1 L
			確認				
	取外（既設） 中線		端子記号			P 2	
			確認				

工事後確認

計器のみ取替	取付 計器	合番号	端子記号	1 S	P 1	P 2	1 L
			確認				
⇕							
組替	取付 CT 1	合番号	端子記号	1 S	P 1		1 L
			確認				
	取付 中線		端子記号			P 2	
			確認				

・ 計器のみ取替の場合、【計器のみ取替】を確認

（注意）計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合

- 既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
- 合番号・二次配線の照合は、取外（既設）計器欄と取付計器欄との間で行う。

・ 組替の場合、【組替】を確認

取付計器の回転（動作）は、良好である。

取付計器の「変成器付計器取付取外指針票（G票）」を、取外計器にそのまま添付されている。

（組替時）

P1は、取付CTの電源側に接続されている。

取付TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。

取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日： 年 月 日

	自主検査者		施工者

(2) 低圧単相3線式用

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合（ただし、基本的な内容の変更および削除は不可）は、上長の確認を得ること。

低圧変成器付計器工事 自主検査票兼現地検査処理票（単相3線式用）

設計No	検満計測器工事票ページ
------	-------------

【工事における自主検査】

工事前確認で誤りがあった場合は、
工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること

- 電圧確認（MCが設置している場合は、MCの電源側で測定）
- TSがある場合、取外(既設)TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。
- 取外(既設)CTの向きは、K側が電源側である。
- P1・P3は、取外(既設)CTの電源側に接続されている。
- 合番号・二次配線（色の照合）の確認
 - ・計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

工事前確認

計器のみ取替照合（工事後）	既設照合（工事前）	取外(既設) 計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
		↕										
		取外(既設) CT1	合番号	端子記号	1S	P1						1L
				確認								
		取外(既設) CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
				確認								
		取外(既設) 中線		端子記号						P2		
				確認								

工事後確認

組替照合（工事後）	組替照合（工事後）	取付 計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
		↕										
		取付 CT1	合番号	端子記号	1S	P1						1L
				確認								
		取付 CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
				確認								
		取付 中線		端子記号						P2		
				確認								

・計器のみ取替の場合、【計器のみ取替】を確認

(注意) 計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合
 ・既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
 ・合番号・二次配線の照合は、取外(既設)計器欄と取付計器欄との間で行う。

・組替の場合、【組替】を確認

- 取付計器の回転(動作)は、良好である。
- 取付計器の「変成器付計器取付取外指針票(G票)」を、取外計器にそのまま添付されている。
- (MC取替時)
- 中線(中性線・接地側電線)は、MCを素通ししている。
- (組替時)
- P1・P3は、取付CTの電源側に接続されている。
- 取付TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。
- 取付のMC電源は、CTの電源側に接続されている。
- 取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日： 年 月 日

	自主検査者	施工者

(裏面)

【書類検収】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆書類検収結果 良 ・ 不良

上長		確認者

【現地検査】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆現地検査年月日

年 月 日

◆現地検査結果

- (1) 1次検査 良 ・ 不良
 (2) 2次検査 良 ・ 不良
 (3) 改修指示

上長		検査員

	内 容	改 修 期 限
不 良 工 事		

改 修 報 告

上記箇所の改修を完了しましたので、お届けします。

改修年月日（施工会社記入）： 年 月 日

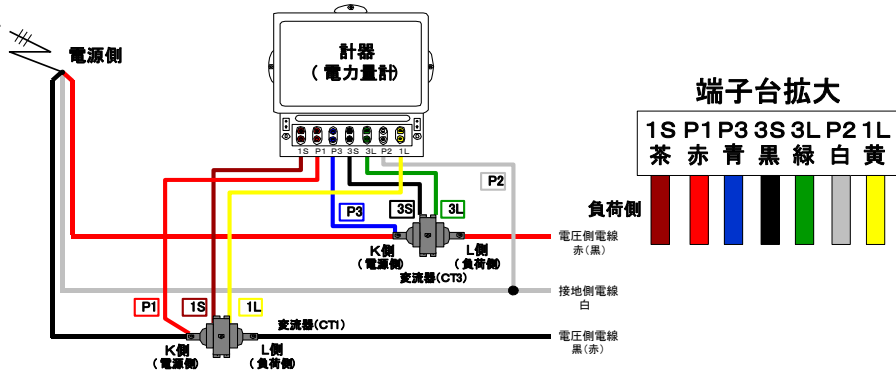
改修確認日： 年 月 日

（「ほくでんNW」または「業務委託先」記入）

施工会社使用欄		
「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄		
上長		確認者

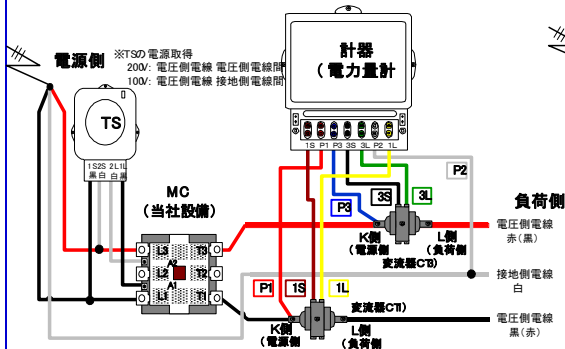
結線図（参考）

(1) 計器+CT

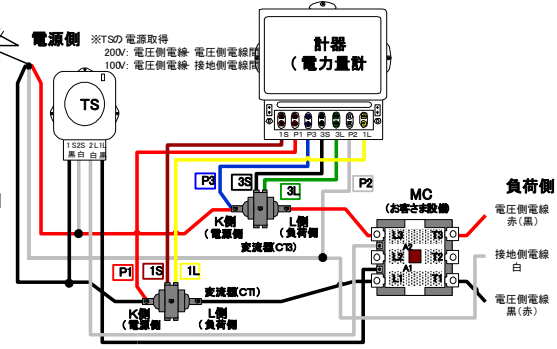


(2) 計器+CT+MC

◆当社設備のMC



◆お客さま設備のMC



(3) 低圧三相3線式用

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合（ただし、基本的な内容の変更および削除は不可）は、上長の確認を得ること。

低圧変成器付計器工事 自主検査票兼現地検査処理票（三相3線式用）

設計No.		検満計測器工事票ページ	
-------	--	-------------	--

【工事における自主検査】 工事前確認で誤りがあった場合は、工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること

電圧確認（MCが設置している場合は、MCの電源側で測定）

TSがある場合、取外（既設）TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。

取外（既設）CTの向きは、K側が電源側である。

P1・P3は、取外（既設）CTのK側に接続されている。

合番号・二次配線（色の照合）の確認

・計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

工事前確認

計器のみ取替照合（工事後）	既設照合（工事前）	取外（既設）計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
		↕										
		取外（既設）CT1	合番号	端子記号	1S	P1						1L
		確認										
		取外（既設）CT3	合番号	端子記号		P3	3S	3L				
				確認								
		取外（既設）中線		端子記号						P2		
				確認								

工事後確認

組替照合（工事後）	組替照合（工事後）	取付計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
		↕										
		取付CT1	合番号	端子記号	1S	P1						1L
		確認										
		取付CT3	合番号	端子記号		P3	3S	3L				
				確認								
		取付中線		端子記号						P2		
				確認								

・計器のみ取替の場合、【計器のみ取替】を確認

（注意）計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合

- ・既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
- ・合番号・二次配線の照合は、取外（既設）計器欄と取付計器欄との間で行う。

・組替の場合、【組替】を確認

取付計器の回転（動作）は、良好である。

取付計器の「変成器付計器取付取外指針票（G票）」を、取外計器にそのまま添付されている。

（MC取替時）

中線は、MCを素通ししている。

（組替時）

取付TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。

P1・P3は、取付CTの電源側に接続されている。

取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日： 年 月 日

	自主検査者	施工者

210

(裏面)

【書類検収】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆書類検収結果 良 ・ 不良

上長		確認者

【現地検査】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆現地検査年月日

年 月 日

上長		検査員

◆現地検査結果

- (1) 1次検査 良 ・ 不良
- (2) 2次検査 良 ・ 不良
- (3) 改修指示

	内 容	改 修 期 限
不 良 工 事		

改 修 報 告

上記箇所の改修を完了しましたので、お届けします。

改修年月日（施工会社記入）： 年 月 日

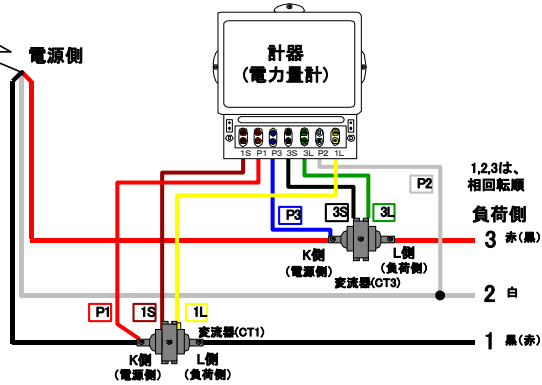
改修確認日： 年 月 日

（「ほくでんNW」または「業務委託先」記入）

施工会社使用欄		
「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄		
上長		確認者

結線図（参考）

(1) 計器 + CT

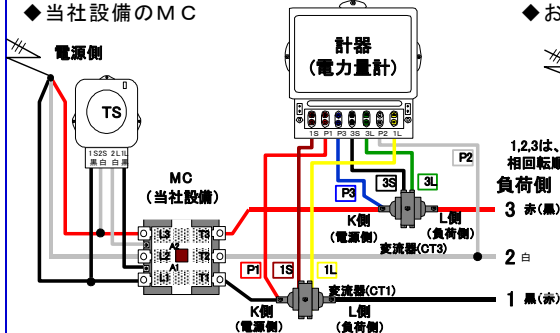


端子台拡大

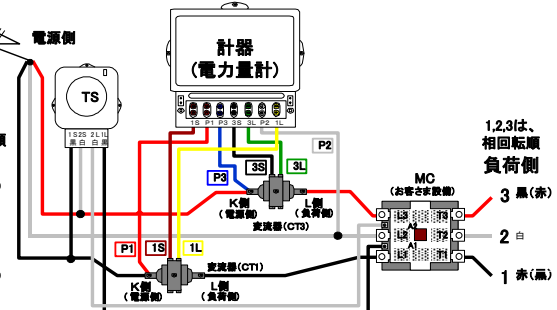


(2) 計器 + CT + MC

◆当社設備のMC



◆お客さま設備のMC



(4) TS機能付CT付SM (単相2線式用)

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合(ただし、基本的な内容の変更および削除は不可)は、上長の確認を得ること。

TS機能付変成器付SM工事 自主検査票兼現地検査処理票 (単相2線式用)

設計No.	検満計測器工事票ページ
-------	-------------

【工事における自主検査】 **工事前確認で誤りがあった場合は、工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること**

工事前確認

電圧確認 (MCが設置している場合は、MCの電源側で測定)
 TSがある場合、取外(既設)TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。
 取外(既設)CTの向きは、K側が電源側である。
 P1は、取外(既設)CTの電源側に接続されている。
 合番号・二次配線(色の照合)の確認
 ・計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設照合(工事前)	取外(既設) 計器	合番号	端子記号	1 S	P 1	P 2	1 L	確認	
			⇕	取外(既設) CT 1	合番号	端子記号	1 S	P 1		1 L	確認
		計器のみ取替照合(工事後)	取外(既設) 中線		端子記号			P 2		確認	
			取付 SM	合番号	端子記号	1 S	P 1	空	空	空	P 2
		組替照合(工事後)	電源/制御ケーブル	補助端子記号	L 1	A 1	空	L 3	A 2	確認	
			既設 MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L 1	L 3	A 1	A 2	確認	
			取付 CT 1	合番号	端子記号	1 S	P 1		1 L	確認	
			取付 中線	電源/制御ケーブル	端子記号			P 2		確認	
			取付 MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L 1	L 3	A 1	A 2	確認	

※電源ケーブルの端子記号がチェック票と異なる場合、端子記号を確認欄へ記入。

工事後確認

・計器のみ取替の場合、【計器のみ取替】を確認 ※電源ケーブルの端子記号がチェック票と異なる場合、端子記号を確認欄へ記入。

(注意) 計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合

- ・既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
- ・合番号・二次配線の照合は、取外(既設)計器欄と取付計器欄の間で行う。

・組替の場合、【組替】も確認

取付計器の動作は、良好である。
 取付計器の「変成器付計器取付取外指針票(G票)」を、取外計器にそのまま添付されている。
 電源/制御ケーブルの内、電源ケーブルはCT1次側に接続されている。

【組替】

P1は、取付CTの電源側に接続されている。
 取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日: _____ 年 月 日	自主検査者	施工者

(裏面)

【書類検収】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆書類検収結果 良 ・ 不良

上長		確認者

【検査結果（書類検査・現地検査）】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆検査年月日（現地検査の場合記入）

年 月 日

◆検査結果

(1) 1次検査 良 ・ 不良

(2) 2次検査 良 ・ 不良

(3) 改修指示

上長		検査員

	内 容	改 修 期 限
不良工事		

改 修 報 告

上記箇所の改修を完了しましたので、お届けします。

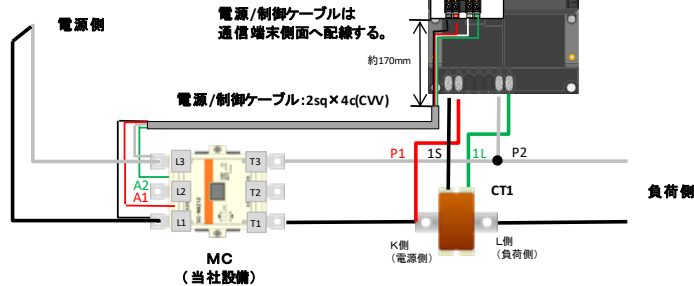
改修年月日（施工会社記入）： 年 月 日
 改修確認日： 年 月 日
 （「ほくでんNW」または「業務委託先」記入）

施工会社使用欄	
「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄	
上長	確認者

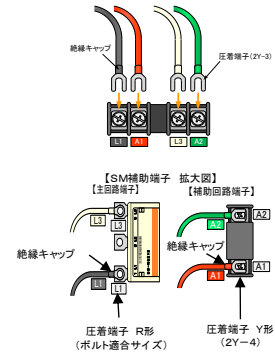
結線図（参考）

(1) TS機能付CT付SM+CT+MC

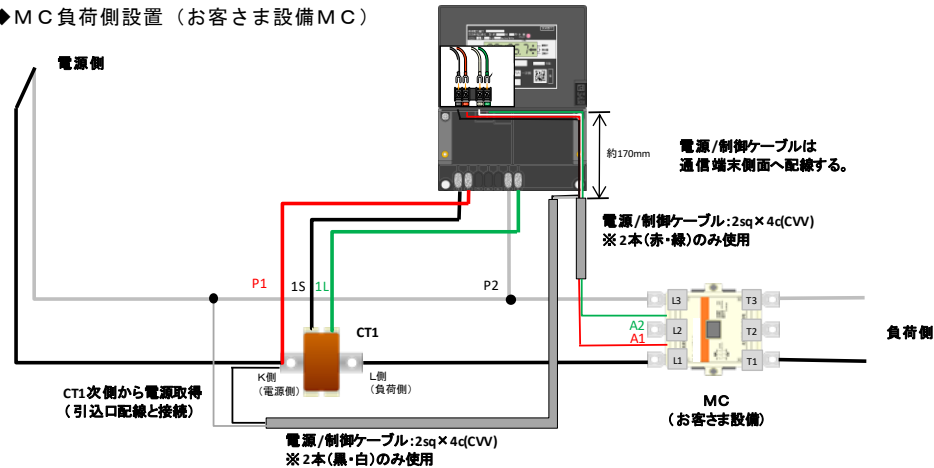
◆MC電源側設置（当社設備MC）



【電源/制御ケーブル接続箇所拡大図】



◆MC負荷側設置（お客さま設備MC）



(5) TS機能付CT付SM (単相3線式用)

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合(ただし、基本的な内容の変更および削除は不可)は、上長の確認を得ること。

TS機能付変成器付SM工事 自主検査票兼現地検査処理票 (単相3線式用)

設計No. 検測計測器工事票ページ

【工事における自主検査】

工事前確認で誤りがあった場合は、
工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること

- 電圧確認 (MCが設置している場合は、MCの電源側で測定)
- TSがある場合、取外(既設)TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。
- 取外(既設)CTの向きは、K側が電源側である。
- P1・P3は、取外(既設)CTの電源側に接続されている。
- 合番号・二次配線(色の照合)の確認

・計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

工事前確認

計器のみ取替照合(工事後)	既設照合(工事前)	取外(既設)計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
		取外(既設)CT1	合番号	端子記号	1S	P1						1L
				確認								
		取外(既設)CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
				確認								
		取外(既設)中線		端子記号						P2		
				確認								

工事後確認

組替照合(工事後)	取付SM	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
			確認								
	電源/制御ケーブル	補助端子記号	L1	A1	空	L3	A2				
		確認									
	既設MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L1	L3	A1	A2				
			確認								
	取付CT1	合番号	端子記号	1S	P1					1L	
			確認								
	取付CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
			確認								
	取付中線	電源/制御ケーブル	端子記号						P2		
			確認								
	取付MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L1	L3	A1	A2				
			確認								

・計器のみ取替の場合【計器のみ取替】を確認 ※電源ケーブルの端子記号がチェック票と異なる場合、端子記号を確認欄へ記入。

(注意) 計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合
 ・既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
 ・合番号・二次配線の照合は、取外(既設)計器欄と取付計器欄との間で行う。

- ・組替の場合、【組替】も確認
- 取付計器の動作は、良好である。
- 取付計器の「変成器付計器取付取外指針票(G票)」を、取外計器にそのまま添付されている。
- 電源/制御ケーブルの内、電源ケーブルはCT1次側に接続されている。
- (MC取替時)
- 中線(中性線・接地側電線)は、MCを素通ししている。
- 【組替】
- P1・P3は、取付CTの電源側に接続されている。
- 取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日: 年 月 日

自主検査者	施工者
<input type="text"/>	<input type="text"/>

(6) TS機能付CT付SM (三相3線式用)

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合(ただし、基本的な内容の変更および削除は不可)は、上長の確認を得ること。

TS機能付変成器付SM工事 自主検査票兼現地検査処理票 (三相3線式用)

設計No		検測計測器工事票ページ
------	--	-------------

【工事における自主検査】 工事前確認で誤りがあった場合は、工事を一時中断し、ほくでんNW(または業務委託先)へ連絡すること

電圧確認 (MCが設置している場合は、MCの電源側で測定)
 TSがある場合、取外(既設)TSの電源は、MCおよびCTの電源側に接続されている。
 取外(既設)CTの向きは、K側が電源側である。
 P1・P3は、取外(既設)CTの電源側に接続されている。
 合番号・二次配線(色の照合)の確認
 ・計器とCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入

工事前確認

既設照合(工事前)	計器のみ取替照合(工事後)	<input type="checkbox"/>	取外(既設)計器	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
					確認								
		⇕											
			取外(既設)CT1	合番号	端子記号	1S	P1					1L	
					確認								
			取外(既設)CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
					確認								
			取外(既設)中線	端子記号							P2		
					確認								

工事後確認

工事後確認

組替照合(工事後)		<input type="checkbox"/>	取付SM	合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
					確認								
					補助端子記号		L1	A1	空	L3	A2		
							確認						
			既設MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L1	L3	A1	A2				
					確認								
⇕													
			取付CT1	合番号	端子記号	1S	P1					1L	
					確認								
			取付CT3	合番号	端子記号			P3	3S	3L			
					確認								
			取付中線	端子記号							P2		
					確認								
			取付MC	電源/制御ケーブル	端子記号※	L1	L3	A1	A2				
					確認								

※電源ケーブルの端子記号がチェック票と異なる場合、端子記号を確認欄へ記入。

・計器のみ取替の場合【計器のみ取替】を確認 ※電源ケーブルの端子記号がチェック票と異なる場合、端子記号を確認欄へ記入。

(注意) 計器と別場所に設置等、既設CTを確認できない場合

- ・既設CTの合番号欄および二次配線確認欄に「-」を記入
- ・合番号・二次配線の照合は、取外(既設)計器欄と取付計器欄との間で行う。

・組替の場合、【組替】も確認

取付計器の動作は、良好である。

取付計器の「変成器付計器取付取外指針票(G票)」を、取外計器にそのまま添付されている。

電源/制御ケーブルの内、電源ケーブルはCT1次側に接続されている。

(MC取替時)

中線は、MCを素通ししている。

【組替】

P1・P3は、取付CTの電源側に接続されている。

取付CTの向きは、K側が電源側である。

自主検査年月日： 年 月 日	自主検査者	施工者

(裏面)

【書類検収】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆書類検収結果 良 ・ 不良

上長		確認者

【現地検査】 < 「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄 >

◆現地検査年月日

年 月 日

上長		検査員

◆検査結果

(1) 1次検査 良 ・ 不良

(2) 2次検査 良 ・ 不良

(3) 改修指示

	内 容	改 修 期 限
不 良 工 事		

改 修 報 告

上記箇所の改修を完了しましたので、お届けします。

改修年月日（施工会社記入）： 年 月 日

改修確認日： 年 月 日

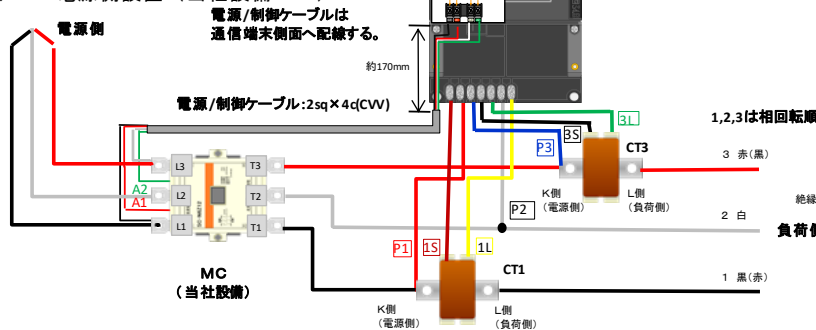
（「ほくでんNW」または「業務委託先」記入）

施工会社使用欄	
「ほくでんNW」または「業務委託先」使用欄	
上長	確認者

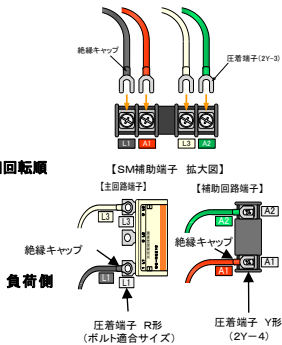
結線図（参考）

(1) TS機能付CT付SM+CT+MC

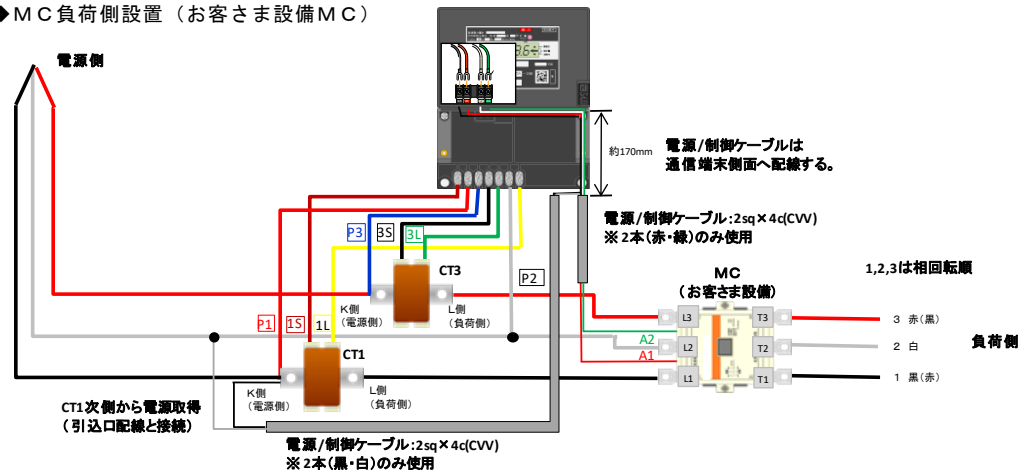
◆MC電源側設置（当社設備MC）



【電源/制御ケーブル接続箇所拡大図】



◆MC負荷側設置（お客さま設備MC）



(7) 高圧VCT単独用

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合（ただし、基本的な内容の変更および削除は不可）は、上長の確認を得ること。

高圧計測器工事 自主検査票兼現地検査処理票

設計No	検満計測器工事票ページ	
------	-------------	--

【工事着手前確認事項】

<input type="checkbox"/> 他電源（常時・予備・発電設備等）の有・無 <input type="checkbox"/> 停電範囲の確認 <input type="checkbox"/> 短絡接地器具の取付位置 <input type="checkbox"/> 先方作業の有・無	<input type="checkbox"/> 他電源「有」の場合、受電設備の現地確認（ 月 日） <input type="checkbox"/> 他電源「有」の場合、作業区内の充電部の有・無 <input type="checkbox"/> 他電源「有」かつ充電部「有」の場合、対策の確認
--	---

工事前確認で誤りがあった場合は、工事を一時中断し、ほくでんNWへ連絡すること

▲の項目は、電設工事や当社資産化工事等で、ほくでんNWが送電・現地検取・設置する場合は工事会社の自主検査は不要。

VCT容量・文字色の確認 → 容量 文字色
黄色：特定品
赤色：特定品以外

新旧計器のパルス定数は同じか（パルス提供ありの場合）

合番号・二次配線（色の照合）の確認
 ・計器とVCTの二次配線を確認し、一致の場合、「レ」を記入。不一致の場合、現地の配線色を記入
 → 計器のみ取替の場合、【計器のみ取替照合】を確認
（注意）計器のみ取替の場合、活線近接となることからVCTの二次配線確認は行わない。
合番号、二次配線の照合は、取外（既設）計器と取付計器欄のみ行う。

→ 組替の場合、【既設照合】および【組替照合】を確認

<input type="checkbox"/> (工事前) <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">計器のみ取替照合</div>	<input type="checkbox"/> 既設照合（工事前）	取外（既設）計器	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								
				試験用開閉器	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L
				計器側	確認							
				VCT側	確認							
		取外（既設）VCT	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
				確認								

(工事後)

組替照合（工事後）

取付計器	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
		確認								
		試験用開閉器	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L
		計器側	確認							
		VCT側	確認							
取付VCT	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
		確認								

▲ 電圧確認（計器のP1、P2、P3で測定）

▲ 相回転の確認 → 正相 ・ 逆相

▲ 取付計器の動作は、良好である。

▲ 取外（既設）計器と取付計器の計器識別シールは一致しているか。（新設工事は確認不要）

▲ 取付計器の「変成器付計器取付取外指針票（G票）」を、取外計器にそのまま添付。（新設工事は確認不要）

▲ C1・C2の接続・締付けは、良いか。（パルス提供ありの場合）

▲ DT・SGの接続・締付けは、良いか。（通信端末ありの場合）

▲ 通信端末の電源取得先（P3・P2）の接続・締付けは良いか。

▲ 通信端末のLED表示状態は良いか。（PW（電源）：緑点灯、A（アルート電波）：点灯※1）

※1 緑：強（8以上）、オレンジ：中（5～7）、赤：弱（3～4）、消灯：圏外（2以下）

（VCT取替時、使用材料等を記入）

VCT運搬※2	運搬	m	地下・地上	階	融着テープ	※2 VCT運搬 —車両から降ろし、改めて運搬が必要 な場合に記載する
蓄力コネクタ	号	個	号	個	一般用	個
引下カバー	・	個	・	個	耐塩用	個

自主検査年月日： 年 月 日

	自主検査者	施工者
--	-------	-----

施工日時	計器停電（取外）： 年 月 日 時 分	
	計器充電（取付）： 年 月 日 時 分	

(8) 高圧VCT共用

※本様式の使用を基本とするが、各事業所で修正する場合（ただし、基本的な内容の変更および削除は不可）は、上長の確認を得ること。

高圧計測器工事（VCT共用）自主検査票兼現地検査処理票

設計No	検満計測器工事票ページ
------	-------------

【工事着手前確認事項】

<input type="checkbox"/> 他電源あり（常時・予備・発電設備等）	<input type="checkbox"/> 受電設備の現地確認（ 月 日）
<input type="checkbox"/> 停電範囲の確認	<input type="checkbox"/> 作業区内の充電部の有・無
<input type="checkbox"/> 短絡接地器具の取付位置	<input type="checkbox"/> 充電部「有」の場合、対策の確認
<input type="checkbox"/> 先方作業の有・無	

【VCT共用時における自主検査】 工事前確認で誤りがあった場合は、工事を一時中断し、ほくでんNWへ連絡すること

▲の項目は、電設工事や当社資産化工事等で、ほくでんNWが送電・現地検取・設置する場合は工事会社の自主検査は不要。

【計器払出時に「ほくでんNW」が確認】

<input type="checkbox"/> 供給用・受給用計器の精度階級の確認。	<input type="checkbox"/> 精密級（500～10000kW未満）
→ 供給用： <input type="checkbox"/> 普通級（500kW未満）	<input type="checkbox"/> 精密級（500～10000kW未満）
→ 受給用： <input type="checkbox"/> 普通級（500kW未満）	<input type="checkbox"/> 精密級（500～10000kW未満）
<input type="checkbox"/> 供給用・受給用計器の検定区分は良いか。（精密級がある場合、一般検定品を使用すること）	

【送電前確認】

<input type="checkbox"/> VCT容量・文字色はよいか。	→	容量	A	文字色	黄色・赤色
				黄色（50A以下）：特定検定品	
				赤色（100A以上）：一般検定品	

- 「供給用」・「受給用」のシール貼付は良いか。
- 試験用開閉器（計器側）P1・P2・P3配線は棒端子圧着し絶縁キャップが取付られているか。
- 先方VCT撤去後の配線接続状態は良いか。（先方VCT撤去ありの場合）
- 下記チェック欄にて合番号・二次配線（色の照合）を確認し、一致の場合「レ」を記入。

配線の照合	<input type="checkbox"/> 供給用計器	計器No	▲通信ID	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L
					確認							
	<input type="checkbox"/> 受給用計器	計器No	▲通信ID	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L
					確認							
		試験用開閉器		端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L	
		供給用計器側		確認								
		受給用計器側		確認								
		VCT側		確認								
	共用VCT	▲合番号	端子記号	1S	P1	P3	3S	3L	P2	1L		
			確認									

【送電後確認】

- ▲ 電圧確認（計器のP1、P2、P3で測定）
- ▲ 相回転の確認 → 正相・逆相
- ▲ 取付計器の動作は、良好である。
- 供給用計器と受給用計器の計器識別シールは一致しているか。
- ▲ C1・C2の接続・締付けは良いか。（パルス提供ありの場合）
- ▲ DT・SGの接続・締付けは良いか。（通信端末ありの場合）
- ▲ 通信端末の電源取得先（供給用：P3・P2、受給用：P1・P2）の接続・締付けは良いか。
- ▲ 通信端末のLED表示状態は良いか。（PW（電源）：緑点灯、A（Aルート電波）：点灯※1）

※1 緑：強（8以上）、オレンジ：中（5～7）、赤：弱（3～4）、消灯：圏外（2以下）

（施工時の使用材料等を記入） ※2 VCT運搬：車両から降ろし、改めて運搬が必要な場合に記載する

VCT運搬※2	運搬	m/地下・地上	階/屋上	融着テープ	制御ケーブル
蓄カコネクタ	号	個/	号	個	一般用： 個
引下カバー	・	個/	・	個	耐塩用： 個
					太さ： sq
					長さ： m

自主検査年月日： 年 月 日

供給用	施工日時	計器停電(取外)：	年 月 日 時 分
		計器充電(取付)：	年 月 日 時 分
需給用	施工日時	計器停電(取外)：	年 月 日 時 分
		計器充電(取付)：	年 月 日 時 分

自主検査者	施工者

(裏面)

<p>【書類検収】 < ほくでんNW使用欄 ></p> <p>◆書類検収結果 良 ・ 不良</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">上長</td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;">確認者</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	上長		確認者													
上長		確認者															
<p>【検査結果（現地検査）】 < ほくでんNW使用欄 ></p> <p>◆検査年月日</p> <p>◆検査結果</p> <p>(1) 1次検査 良 ・ 不良</p> <p>(2) 2次検査 良 ・ 不良</p> <p>(3) 改修指示</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:60%; text-align: center;">内 容</td> <td style="width:25%; text-align: center;">改 修 期 限</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">不 良 工 事</td> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> </tr> </table>			内 容	改 修 期 限	不 良 工 事												
	内 容	改 修 期 限															
不 良 工 事																	
<p>改 修 報 告</p> <p>上記箇所の改修を完了しましたので、お届けします。</p> <p>改修年月日（施工会社記入） : 年 月 日</p> <p>改修確認日（ほくでんNW記入） : 年 月 日</p>		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">施工会社使用欄</td> </tr> <tr> <td style="width:33%; height: 40px;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">ほくでんNW使用欄</td> </tr> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%; text-align: center;">上長</td> <td style="width:33%; text-align: center;">確認者</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工会社使用欄						ほくでんNW使用欄				上長	確認者			
施工会社使用欄																	
ほくでんNW使用欄																	
	上長	確認者															
<p>結線図（参考）</p> <p>電源側 (K側) 負荷(受給)側 (L側)</p> <p>1,2,3は、箱内配線</p> <p>1 LK UL</p> <p>2 VK VL</p> <p>3 WK WL</p> <p>電源側 (K側) 負荷側 (L側)</p> <p>2P端子</p> <p>供給用</p> <p>受給用</p> <p>上面 (計器側)</p> <p>下面 (VCT側)</p> <p>供給用 P3・P2</p> <p>受給用 P1・P2</p> <p>【試験用開閉器(計器側)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1L(茶ケーブルにテーピング黄) ・3L(黒ケーブルにテーピング緑) ・P1・P2・P3は圧着端子を使用 <p>— : 電流回路</p> <p>- - - : 電圧回路</p>																	